

ユーザーズガイド
for Windows

**一発翻訳!900万語スペシャルパック
一太郎特別エディション**

お願い

一発翻訳!900万語スペシャルパック 一太郎特別エディションをお買い上げいただき、有り難うございました。本ユーザーズガイドは、製品の主要な使い方を説明しています。本ガイドに記載のない事柄につきましては、オンラインヘルプやLVナビをご参照いただけますようお願いいたします。

また本製品は、DVD-ROMから実行することはできません。製品パッケージに同梱されている『インストールガイド』をご覧ください、お使いのコンピュータに本製品をインストールしてからお使いください。

©LogoVista Corporation 1994-2018

U.S.Patent No. 5,528,491; 6,278,967; 6,470,306; 6,760,695.

※LogoVista、LogoVista電子辞典はロゴヴィスタ株式会社の商標または登録商標です。

※「一太郎」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。

※Readiris Pro© 1989-2018 Image Recognition Integrated Systems SA All rights reserved.

※Microsoft、Windows、Microsoft Internet Explorerは米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。Includes Microsoft Agent technology.

※TextBrigeの著作権は、米国Scansoft社に帰属します。TextBrigeは、米国Scansoft社の米国及びその他の国における登録商標です。

※「研究社新英和・和英中辞典」は株式会社研究社の著作物です。

※「海外生活で役立つ英文手紙文例集」(著者:久野揚子)は株式会社DHCの著作物です。

※ロジカルテック株式会社LT-CAT'S EYE PROエンジンを搭載しています。

※本製品は日本語声読み上げに(株)アクエストの規則音声合成ライブラリAquesTal®を使用しており、その著作権は同社に帰属します。

※記載された会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

- ・本製品は、優れた翻訳技術を備えた製品ですが、翻訳する原文によっては翻訳結果の内容が正確でない場合があります。予めご了承ください。
なお、ロゴヴィスタ(株)は本製品の翻訳結果の内容を保証するものではありません。翻訳結果につきましては、お客様の責任においてご使用ください。
- ・お客様が本ソフトウェアをインストールし、使用するためには、使用許諾契約の各条項をよくお読みいただき、お客様が本ソフトウェアをご使用された場合は、使用許諾契約の各条項にご同意いただいたものとみなされます。
- ・本製品のレンタルおよび中古販売による再使用を禁じます。
- ・本製品の仕様は、予告なく変更される場合があります。

Chapter 1

機能概要

こんなときにお使いください

一発翻訳! 900万語スペシャルパック 一太郎特別エディションには、いろいろな作業に適合する複数の翻訳アプレットがあります。翻訳アプレットは、翻訳作業を行うためのインタフェースです。また、Internet Explorer や一太郎、Office アプリケーション、Adobe Acrobat などに翻訳機能を組み込んで翻訳する機能も用意しています。作業場面に合った、適切な翻訳アプレットをお使いください。

◆主要な翻訳アプレット

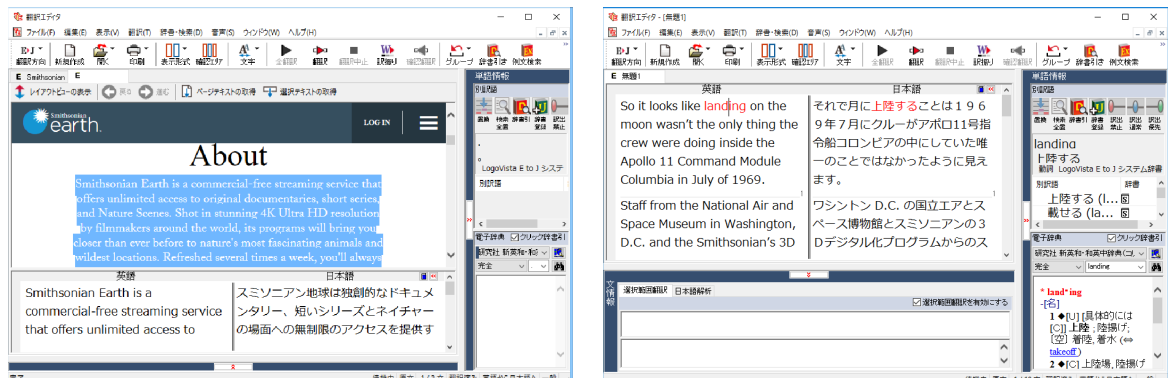
いろいろなアプリケーションの使用中に翻訳したいときは..... 操作パネル ⇨ 第2章

本製品の翻訳機能、辞書引き機能などを効率的に呼び出すために操作パネルを用意しています。ワープロ、表計算、Webブラウザ、メールソフトなど、文書を扱う様々なアプリケーションで翻訳を行うことが可能になります。



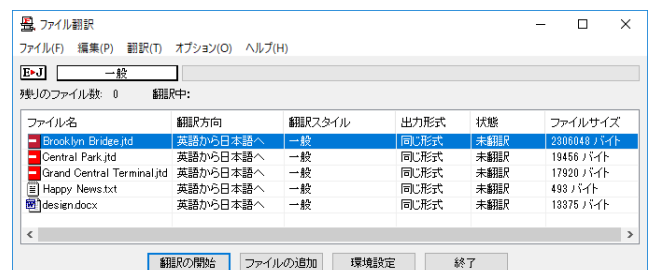
原文と訳文を比較しながら翻訳したいときは.....翻訳エディタ ⇨ 第3章

原文と訳文を比較検討しながら逐一翻訳結果を向上させることができるアプレットです。テキストファイルをはじめ、HTML形式などのWebページ、PDFファイルなど、いろいろな形式の文書ファイルを読み込んで翻訳することができます。さらに、翻訳エディタにWebページを呼び出して翻訳・辞書引きなどを行うことも可能です。



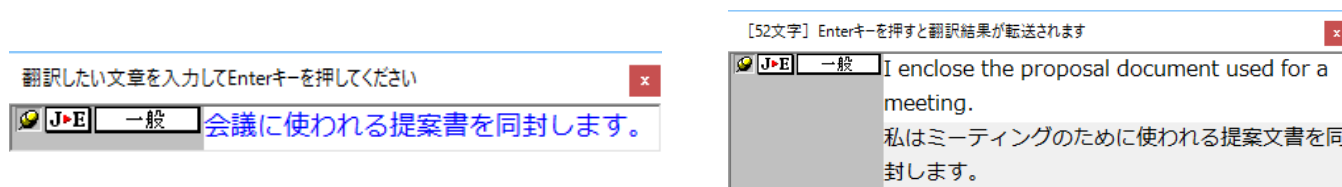
複数の原文ファイルをいっきに翻訳したいときは.....ファイル翻訳 ⇨ 第2章

原文が保存されているファイルを翻訳し、翻訳結果をファイルに保存します。複数のファイルを一度に翻訳できるほか、テキストファイル、HTMLファイル、一太郎文書ファイルなど多様な形式に文書ファイルを翻訳することができます。



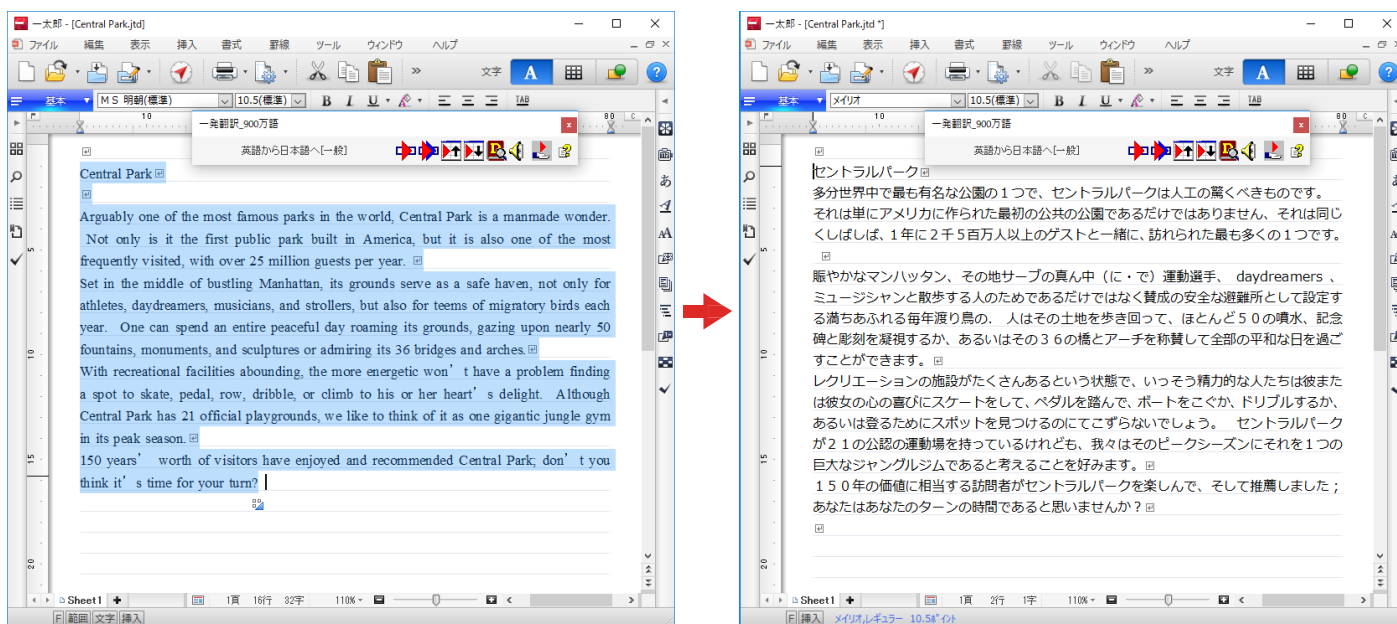
原文をタイプしながら訳文をアプリケーションに入力したいときは.....タイピング翻訳 ⇨ 第2章

タイピングされた原文を翻訳し、アプリケーションの文書に訳文を入力するツールです。



アプリケーションから直接翻訳したいときは.....アドイン翻訳 ⇨ 第6章

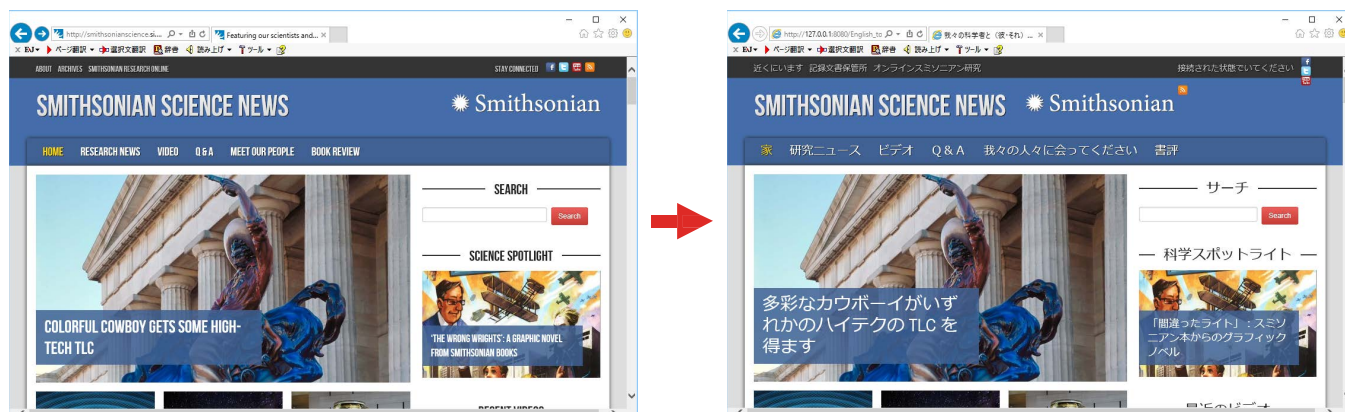
一太郎、Microsoft Office、Adobe Acrobatなどのアプリケーションに翻訳機能を組み込むことができます。これにより、それぞれのアプリケーションで直接翻訳を実行できるようになります。



◆ 翻訳しながらインターネット検索

Internet Explorerで呼び出したWeb ページを翻訳.....アドイン翻訳 ⇨ 第4章

Internet Explorer がインストールされている環境では、本製品の翻訳機能が組み込まれます。これらを使って、いつでも翻訳・辞書引きを行うことができます。下図は、呼び出した英文サイトを日本語に翻訳する例です。



◆Google Chrome拡張機能

Google Chromeでホームページを翻訳するには ⇨ 第4章

Google Chrome がインストールされている環境では、拡張機能を使って、いつでも翻訳・辞書引きを行うことができます。下図は、呼び出した英文サイトを日本語に翻訳する例です。



Chrome拡張機能をご利用いただくには以下「一発翻訳!900万語 拡張機能」と「拡張機能ヘルパー」を順にインストールする必要があります。インストーラは、ロゴヴィスタのウェブサイトからダウンロードしてください。

<http://www.logovista.co.jp/LVERP/information/support/download/koryaIPSPwin/Chrome.html>

The image shows a two-step process of translating a website. The top screenshot shows the English version of the New England Aquarium website with a translation overlay. The bottom screenshot shows the same website translated into Japanese.

Top Screenshot (English):

- URL: www.neaq.org/exhibits/exhibits/
- Page Title: Current Exhibits
- Translation Overlay:
 - 翻訳方向: 英語から日本語へ
 - 翻訳スタイル: 一般
 - ページ: 翻訳, 上下対訳, ヘッダ・リンクタグのみ, 再読み込み
 - 選択文: 翻訳, 辞書ビューフ, 読み上げ
 - タッチ辞書引き: ON/OFF
 - サイト: ヘルプ
 - バージョン: 一発翻訳!900万語 拡張機能: 1.1.19, 一発翻訳!900万語: SP, 拡張機能ヘルパー: 19.0.5.3

Bottom Screenshot (Japanese):

- URL: www.neaq.org/exhibits/exhibits/
- Page Title: 現在の展示物
- Navigation: 訪問, 展示, 学んで, サポート, 巻き込まれて, 海洋人生の間のアンダーソン・カポーター
- Section: 現在の展示物
- Text:

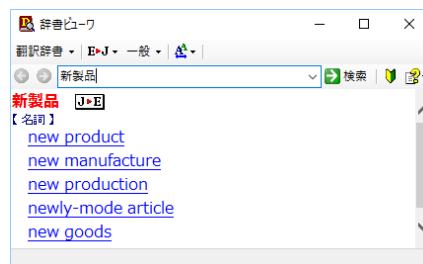
面白い、そして教育の実地の経験のためにニューイングランド水族館を訪問してください!

ニューイングランド水族館へのビジターが手を伸ばして、そして穏やかに cownose 光線、大西洋の光線に触れることができます、そして肩章サメが (彼・それ) らが The Trust Family Foundation Shark とレイを通して泳ぐ (とき・から・につれ

◆辞書ツール&支援ツール

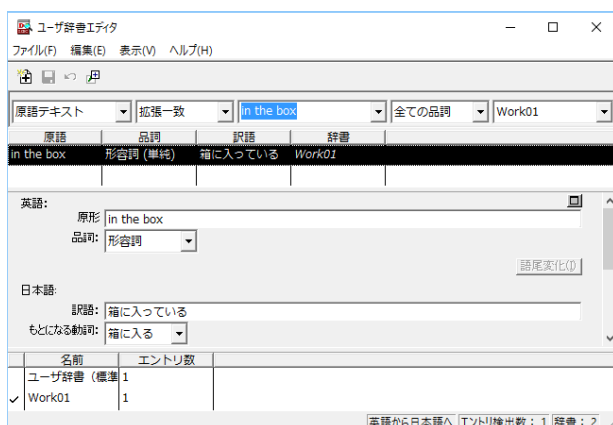
簡単操作で辞書引きしたいときは.....辞書ビューワ ⇨ 第2章

研究社の新英和・和英中辞典やクイック辞書、翻訳辞書で辞書引きできる「辞書ビューワ」を用意しています。LogoVista 電子辞典がインストールされていると、それらの辞書でも辞書引きできます。



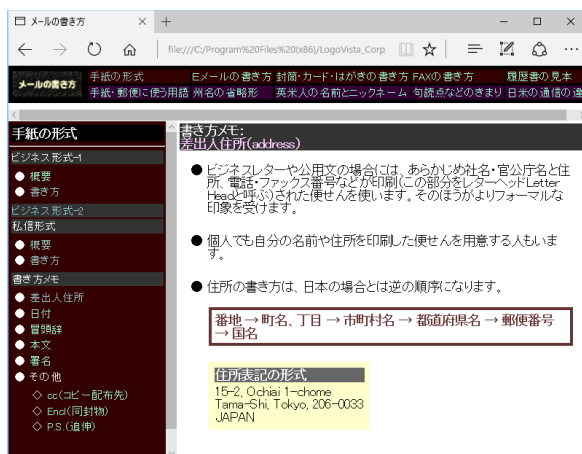
ユーザ辞書を編集したいときは.....ユーザ辞書エディタ ⇨ 第2章

本製品では、特異な語句をユーザ辞書に登録し、翻訳に活用することができます。ユーザ辞書に登録した内容は、編集したり、ファイルに書き出したりすることができます。もちろん、テキストファイルに保存した用語を読み込んでユーザ辞書を充実させることもできます。



役立つ支援ツールが揃っています ⇨ 第2章

手紙の書き方や英文法などを確認したいときに役立つツールも揃っています。

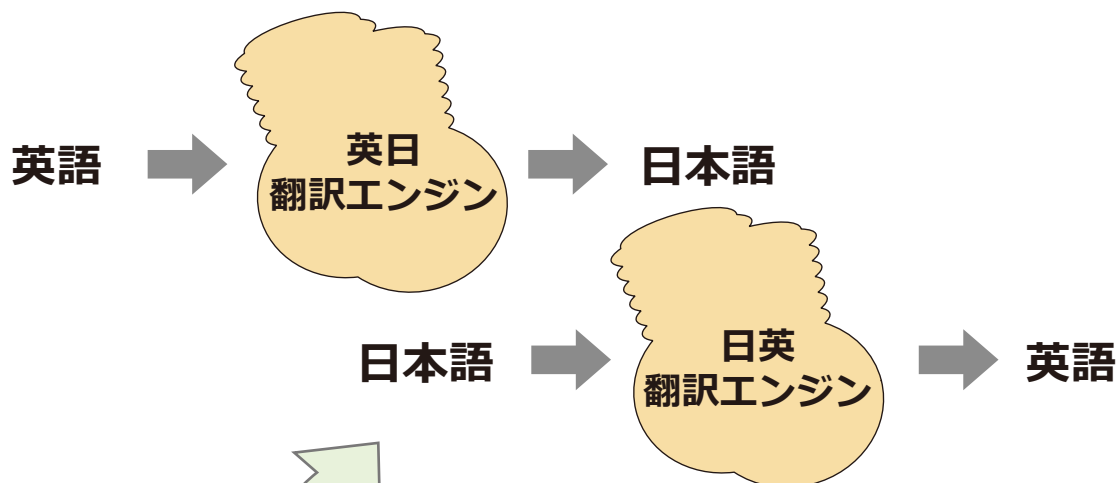


翻訳エンジンについて

「翻訳エンジン」とは、本製品の中で、実際に翻訳を実行するソフトウェアを指します。ここでは、翻訳エンジンの概要を説明します。

◆翻訳エンジンの働き

本製品では、英日翻訳と日英翻訳を行う2つの翻訳エンジンが働き、英日・日英の双方向の翻訳を行います。



翻訳スタイル

翻訳に使う辞書、訳文の生成方法など、翻訳結果を左右するいくつかの条件を設定できます。これを総称して「翻訳スタイル」といいます。翻訳スタイルは複数作成し、名前を付け区別して保存しておくことができます。状況に応じて翻訳スタイルを変更して、より精確な翻訳結果を得ることができるようになります。

翻訳スタイルについて

「翻訳スタイル」とは、翻訳するための複数の条件をセットとしてまとめたものです。翻訳スタイルには、使用する辞書と翻訳設定が含まれます。ここでは、翻訳スタイルの概要を紹介します。

☞ 翻訳スタイルの操作方法については、「第2章 操作パネルの使い方」の「3. 翻訳スタイルの選択ボタンの使い方」をご覧ください。

◆ 翻訳スタイルとは

翻訳スタイルとは、使用する辞書、翻訳設定（訳出する方法）を定義したひとまとまりの条件を言います。翻訳スタイルは名前を付けて登録しておくことができますので、翻訳目的にしたがって翻訳スタイルを切り替えるだけで、訳出方法を変えることができます。翻訳のたびに辞書や翻訳設定をいちいち変更する手間が無くなります。以下は英日用翻訳スタイル「趣味・娯楽」の設定例（初期値）です。

● 翻訳に使う辞書

ユーザ辞書：ユーザ辞書（標準）



システム辞書：LogoVista E to Jシステム辞書



専門辞書：エンターテインメントV2（標準）



● 翻訳設定

文体	～です調
固有名詞の訳出形式	日本語のみ
英数字	そのまま
全角と半角の間にスペースを挿入する	はい

◆ 翻訳に使う辞書（システム辞書・専門辞書・ユーザ辞書）

本製品では、システム辞書、専門辞書（分野辞書）、ユーザ辞書の3種類の辞書を利用できます。システム辞書は、常に使用する基本的な辞書です。専門辞書は分野別の専門用語を収録した辞書です。ユーザ辞書はお使いになる方が独自に使用する語句を登録しておく辞書で、複数作成することができます。また事例文をまとめた事例文ファイルを活用することもできます。使用する辞書を翻訳スタイルに登録すると、翻訳に利用されます。

システム辞書



専門辞書（複数可）



ユーザ辞書（複数可）



事例文ファイル

■ 使用できる辞書の種類

使用できる辞書については、次節「4. 翻訳に使用できる辞書について」をご覧ください。

◆ 翻訳設定

翻訳設定には、以下の訳出方法が定義されます。翻訳目的にそって設定を変更します。

設定項目	選択できる値
文体	「～だ調」、「～です調」※、「～である調」のいずれか
固有名詞の訳出形式	「英語のみ」、「日本語のみ」※、「日本語 (英語)」のいずれか
英数字	「そのまま」※、「半角 (1バイト)」、「全角 (2バイト)」のいずれか
全角と半角の間にスペースを入れる	「はい」※、「いいえ」のいずれか

※印は、翻訳スタイル「一般」に初期値として設定されている値

設定項目	選択できる値
箇条書きの表現	「命令文」※、「平叙文」、「動詞」、「to - 不定詞」、「3人称単数現在形の動詞句」のいずれか
主語のない文	「"it"を主語に補う」、「受動態で表現する」※、「人称代名詞を主語に補う」、「命令文で表現する」、「3人称単数現在形の動詞句で表現する」のいずれか
冠詞の付け方	「冠詞"the"を出力」、「冠詞"a/an"を出力」、「無冠詞」、「無指定」※のいずれか
略語・数字間のブランク	「ブランクあり」※、「ブランクなし」のいずれか

※印は、翻訳スタイル「一般」に初期値として設定されている値

翻訳に使用できる辞書について

本製品では、翻訳に必ず使用されるシステム辞書のほかに、以下の辞書を使用することができます。



これらの辞書は、いずれも「翻訳スタイル」に設定して有効になります。
設定方法については、「第2章 操作パネルの使い方」の「3. 翻訳スタイルの選択ボタンの使い方」をご覧ください。

◆ユーザ辞書

翻訳に必要な単語をユーザ自身が登録していく辞書です。ユーザ辞書はあらかじめ英日・日英用それぞれ、1つずつ空の辞書が用意されています。

◆分野辞書

本製品にあらかじめ搭載されている翻訳用の辞書です。翻訳を行う文章に合った分野辞書を指定して使用します。分野辞書は専門辞書的一种として扱われます。

英日翻訳用の分野辞書のジャンル.....

英日翻訳用には、以下のジャンルの分野辞書を用意しています。

ビジネス一般	科学技術一般	コンピュータ	エンターテインメント	パソコン用語
法律	ライフサイエンス	金融・経済	情報一般	軍事
医学	機械	電気電子通信	バイオ	応用物理
材料資源	建築	船舶鉄道	地球科学	応用化学
農業	化学	都市工学	物理	航空宇宙
土木	動物	生物	プラント	固有名詞：日本人名
固有名詞：日本地名	コンピュータIT総合			

日英翻訳用の分野辞書のジャンル.....

日英翻訳用には、以下のジャンルの分野辞書を用意しています。

ビジネス一般	科学技術一般	コンピュータ	カルチャー	パソコン用語
法律	ライフサイエンス	金融・経済	情報一般	軍事
医学	機械	電気電子通信	バイオ	応用物理
材料資源	建築	船舶鉄道	地球科学	応用化学
農業	化学	都市工学	物理	航空宇宙
土木	動物	生物	プラント	固有名詞
インターネット	コンピュータIT総合	自然・社会科学	住所	航空分野
ビジネスレター	トラベル			

◆ 専門辞書

翻訳用の専門辞書です。翻訳を行う文章に合った専門辞書を指定して使用します。

英日・日英翻訳の専門辞

ビジネス・法律 (日外アソシエーツ)
電気・電子・情報 (日外アソシエーツ)
科学技術 (日外アソシエーツ)
ビジネス (日中韓辞典研究所)
化学 (日中韓辞典研究所)
機械 (日中韓辞典研究所)
軍事 (日中韓辞典研究所)
情報 (日中韓辞典研究所)
数学 (日中韓辞典研究所)
電気 (日中韓辞典研究所)
農林 (日中韓辞典研究所)
輸送 (日中韓辞典研究所)

コンピュータ・IT (日外アソシエーツ)
機械・工学 (日外アソシエーツ)
人文社会 (日外アソシエーツ)
医学 (日中韓辞典研究所)
環境 (日中韓辞典研究所)
金属 (日中韓辞典研究所)
自動車 (日中韓辞典研究所)
食品 (日中韓辞典研究所)
地学 (日中韓辞典研究所)
土木 (日中韓辞典研究所)
物理 (日中韓辞典研究所)

ユーザデータを別のコンピュータに移すには

ここでは、使用したユーザ辞書や事例文ファイルなどのユーザデータを、別のコンピュータへ移動する方法を説明します。

◆ユーザデータを移動するには

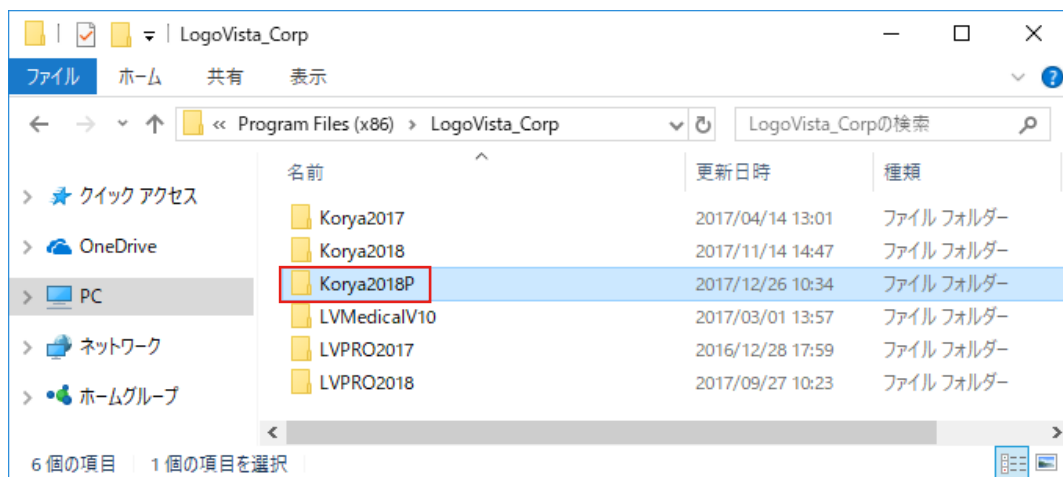
ユーザデータの保存場所はお使いのOSによって異なります。初期設定では下記の場所にユーザデータが保存されます。

C:\Users¥(ユーザーアカウント名)\Documents¥LogoVistaCorp¥Korya2018P

全てのユーザデータを移動するには.....

1 移動先のコンピュータに、本製品をインストールします。

2 ユーザデータが保存されている[Korya2018P]フォルダをコピーし、移動先のコンピュータ上の[Korya2018P]フォルダに上書きします。



Windows 10での[Korya2018P]フォルダ

移動したユーザ辞書や事例文ファイルを使用するには、翻訳スタイルマネージャで該当する辞書をロードします。

☞ 辞書のロード方法については、「第2章 操作パネルの使い方」の「3. 翻訳スタイルの選択ボタンの使い方」をご覧ください。

任意のユーザ辞書を移動するには.....

英日ユーザ辞書は初期設定では下記の場所に保存されます。

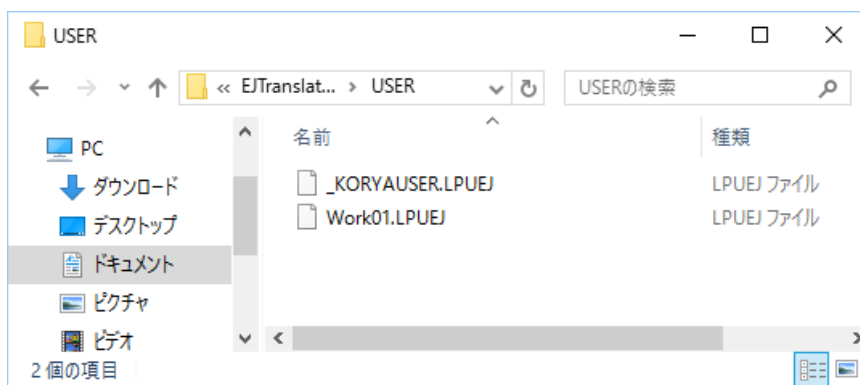
C:\Users\%ユーザーアカウント名%\Documents\LogovistaCorp\Korya2018P\19.0\EJTranslation\USER

日英ユーザ辞書は初期設定では下記の場所に保存されます。

C:\Users\%ユーザーアカウント名%\Documents\LogovistaCorp\Korya2018P\19.0\JTranslation\USER

1 移動先のコンピュータに本製品をインストールします。

2 ユーザ辞書が保存されている[USER]から、移したいユーザ辞書ファイル（拡張子「.LPUEJ」）をコピーし、移動先のコンピュータ上の[USER]フォルダに置きます。



Windows 10での[USER]フォルダ

移動したユーザ辞書を使用するには、翻訳スタイルマネージャで該当する辞書をロードします。

☞ 辞書のロード方法については、「第2章 操作パネルの使い方」の「8. 翻訳スタイルの選択ボタンの使い方」にある「◆翻訳スタイルマネージャ」をご覧ください。

Chapter 2

操作パネルの使い方

操作パネルの名称と機能

操作パネルには、翻訳エディタをはじめとする翻訳のためのツールや、翻訳を補助するための便利なツールが集められています。これらの機能は、操作パネル上のボタンをクリックすることで、ご利用いただけます。

◆操作パネルを起動するには

デスクトップの「一発翻訳！900万語 操作パネル」アイコンをダブルクリックします。



■「一発翻訳！900万語 操作パネル」アイコン

注意！

デスクトップに「一発翻訳！900万語 操作パネル」が見当たらないときは、[スタート]ボタン→[(すべての)プログラム]→[一発翻訳！900万語]→[操作パネル]の順に選択します。Windows 8.1の場合は、[スタート]→[アプリ]→[操作パネル]を選択します。

「一発翻訳！900万語 操作パネル」が表示されます。また、デスクトップのタスクトレイに「操作パネル」アイコンが表示されます。

■操作パネル



翻訳作業によく使うツールのみをコンパクトに表示可能です。



■操作パネルアイコン

タスクトレイの「操作パネル」アイコンをクリックすると操作パネルが最前面に表示されます。操作パネルが非表示になっているときや、他のウィンドウに隠れているときに使います。

◆操作パネルの名称と機能

操作パネルのボタンのうち、右側に▼が表示されているものは、複数の機能が用意されています。ボタンをクリックするとプルダウンメニューが表示されます。プルダウンメニューから機能させるコマンドを選択して実行します。その他のボタンもクリックして実行します。

以下では、それぞれのボタンの概要を紹介します。



翻訳・辞書引きの実行

翻訳方向の設定や翻訳スタイルの選択、選択辞書引きなどを行うことができます。

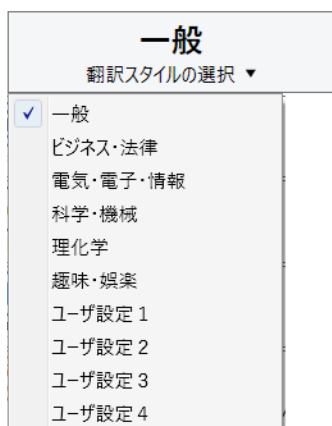
翻訳方向の選択



翻訳方向を選択するときに使います。

※詳細は、本章 [2 翻訳方向の選択ボタンの使い方] をご覧ください。

翻訳スタイルの選択



翻訳スタイルを選択するときに使います。

※詳細は、本章 [3 翻訳スタイルの選択ボタンの使い方] をご覧ください。

翻訳エディタを起動



翻訳エディタを起動します。

※詳細は、[第3章 翻訳エディタで翻訳するには] をご覧ください。

選択翻訳



メモ帳や Internet Explorer など、他のアプリケーションで選択したテキストを翻訳するときに使います。

※詳細は、本章 [4 選択翻訳ボタンの使い方] をご覧ください。

選択辞書引き



メモ帳や Internet Explorer など、他のアプリケーションで選択したテキストを辞書引きするときに使います。

※詳細は、本章 [5 選択辞書引きボタンの使い方] をご覧ください。

ファイル翻訳



ファイルごとに翻訳します。1つから複数のファイルを一括して翻訳することができます。

※詳細は、本章 [6 ファイル翻訳を起動] をご覧ください。

ツールの起動.....

その他ツールを起動

※詳細は、本章 [7 その他ツールを起動ボタンの使い方] をご覧ください。



次のツールを選択して起動することができます。

タイピング翻訳	タイピング翻訳を起動します。テキストを扱うことができるアプリケーションで、日本語を入力しながら翻訳してアプリケーションに入力することができるシンプルな翻訳アプレットです。
音声翻訳	音声入力から翻訳して再生までを行う音声入力翻訳再生機能です。日本語や英語で音声入力、英語又は日本語に翻訳して再生することができます。
ユーザ辞書エディタ	[ユーザ辞書エディタ]ウィンドウを開きます。本製品の翻訳アプレットで使用するユーザ辞書に語句を登録したり、登録済みの語句を編集することができます。
辞書ビューワ	[辞書ビューワ]ウィンドウを開きます。研究社 新英和・和英中辞典、本製品で翻訳に使用する辞書で辞書引きができます。
電子辞典 (研究社 新英和・和英中辞典)	[電子辞典 (研究社 新英和・和英中辞典)]ウィンドウを開きます。研究社 新英和・和英中辞典で辞書引きができます。
LogoVista電子辞典	LogoVista電子辞典がインストールされているときは、LogoVista電子辞典で辞書引きができます。
英文法ヘルプ	英文法ヘルプでは、英文法の基本がまとめられています。ちょっとした疑問を解決したいときにお使いください。
メールの書き方	メールの書き方には、いろいろな手紙の作成基準がまとめられています。英文メールを作成する際の参考にお使いください。

設定ツールを起動

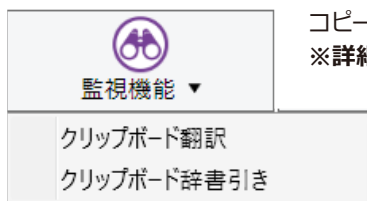
※詳細は、本章 [8 設定ツールを起動ボタンの使い方] をご覧ください。



次のツールを選択して起動することができます。

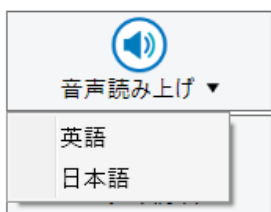
音声設定	音声合成エンジンがインストールされているとき、音声に関する設定を行います。音声合成エンジンは、本製品DVD-ROMからインストールすることができます。
フォント設定	翻訳アプレットで使用するフォントの設定をおこないます。
翻訳スタイルマネージャ	翻訳スタイルマネージャを起動します。翻訳に使用する専門辞書などを設定できます。
操作パネルの設定	操作パネルの表示方法を変更できます。「操作パネルの表示方法を設定するには」の項目をご参照ください。
HTTPプロキシ翻訳の設定	Firefoxなどの、Internet Explorer以外のブラウザでホームページを翻訳するための設定を行います。
ユーザデータフォルダの設定	ユーザ辞書などのユーザデータファイルを保存するフォルダを変更することができます。

監視機能



コピーコマンドなどでクリップボードに格納されたテキストの翻訳や、辞書引きを行います。
※詳細は、本章 [9 監視機能] をご覧ください。

音声読み上げ



音声合成エンジンがインストールされているときは、アプリケーションで選択されている語句を読み上げることができます。

アドイン設定

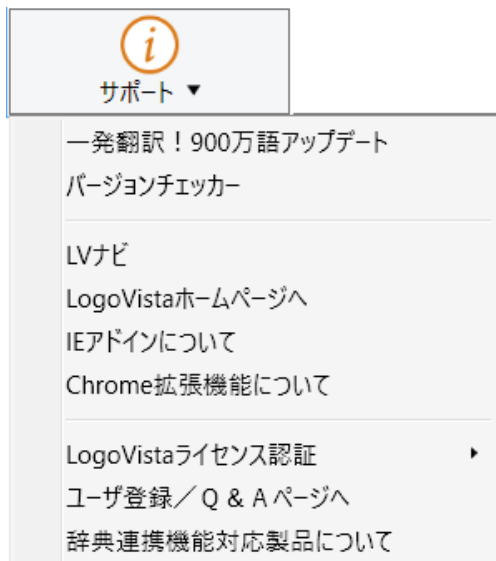


一太郎やMicrosoft Officeのアプリケーションなどに翻訳機能をアドインしたり、解除したりします。

※詳細は、[第6章 アプリケーションで翻訳するには] をご覧ください。

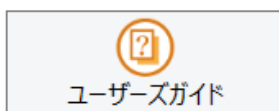
その他の機能.....

サポート



一発翻訳！900万語アップデート	インターネット上のサーバから本製品の更新情報を取得し、最新バージョンが存在すれば、アップデートをダウンロードします。
バージョンチェッカー	現在お使いの製品のバージョン情報や状態が表示されます。
LVナビ	本製品の使い方やサポート情報などを参照できます。
LogoVistaホームページへ	LogoVistaのホームページを開きます。
IEアドインについて	Internet Explorerを使用してホームページを翻訳する際の注意事項について記述しています。
Chrome拡張機能について	Google Chrome 使用してホームページを翻訳する際の翻訳モジュールのインストーラや機能拡張、注意事項について記述しています。
LogoVistaライセンス認証	ライセンス認証を起動します。
ユーザ登録/Q&Aページへ	製品のユーザ登録、サポートQ&Aページを開きます。
辞典連携機能対応製品について	辞典連携機能対応製品および翻訳辞書インストーラのダウンロードページを開きます。

ユーザズガイド



ロゴヴィスタのユーザサポートページにアクセスし、LogoVista製品マニュアルの一覧を表示します。

画像からテキストへ



OCR (光学文字認識) ソフト「Readiris」を起動します。詳しい使い方は「Readiris」のメニューからヘルプを選択してください。

翻訳方向の選択

[翻訳方向の選択]ボタンは、[操作パネル]で翻訳を行う際の翻訳方向を切り替えるときに使用します。

◆翻訳方向の変更方法

翻訳方向を変更する場合は、[翻訳方向]ボタンをクリックして開くメニューから「英語から日本語へ」または「日本語から英語へ」を選択して切り替えます。



翻訳スタイルの選択

翻訳スタイルは、翻訳結果を左右する条件をまとめたもので、使用する辞書（専門辞書、分野辞書、ユーザ辞書）が含まれます。ここでは、翻訳スタイルの選択方法を説明します。

◆ 翻訳スタイルについて（英日・日英を含む翻訳専用）

あらかじめ用意されている翻訳スタイルには、それぞれに名前がつけられています。本製品では、次の翻訳スタイルを用意しています。このうち、「一般」がデフォルトの翻訳スタイルです。「ユーザ設定 1」～「ユーザ設定 4」は、用意されたジャンル以外の翻訳スタイルを使いたいときに設定していただく翻訳スタイルです。以下の翻訳スタイルがあります。英日、日英ともに名称は同じです。

一般	ビジネス・法律	電気・電子・情報	科学・機械	理化学
趣味・娯楽	ユーザ設定 1	ユーザ設定 2	ユーザ設定 3	ユーザ設定 4

これを使い分けることによって、原文をより正確に翻訳できるようになります。

翻訳スタイルを変更するには.....

翻訳スタイルは、[翻訳スタイルの選択] ボタンをクリックしてメニューから選択して設定できます。[操作パネル] では、以下のメニューが表示されます。



このメニューから使用する翻訳スタイルを選択すると、その翻訳スタイルに設定されている辞書や翻訳設定が活用されて翻訳されます。

■ [翻訳スタイルの選択] ボタンをクリックして開くメニュー

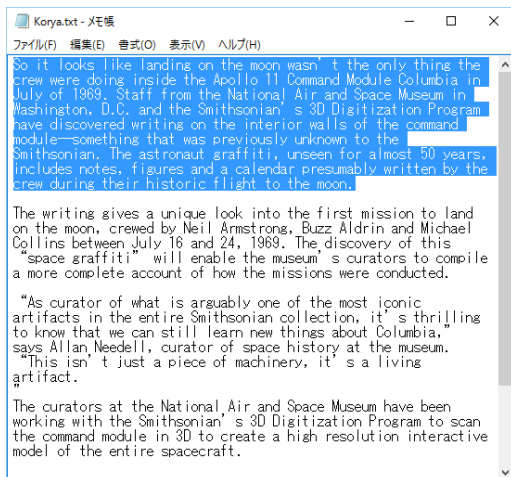
選択翻訳

[選択翻訳] ボタンはアプリケーション上で選択された文章を翻訳するときに使います。実行すると、翻訳ビューフが起動し、翻訳結果を表示します。

◆操作パネルで翻訳するには

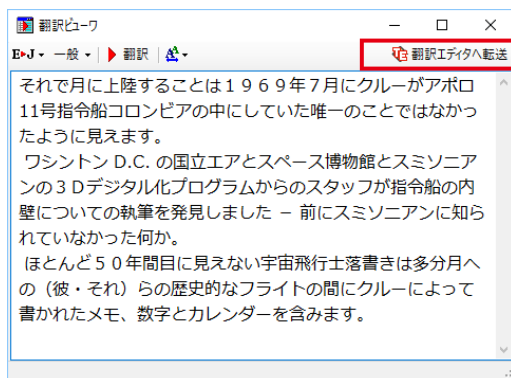
操作パネルを使って翻訳してみましょう。

1



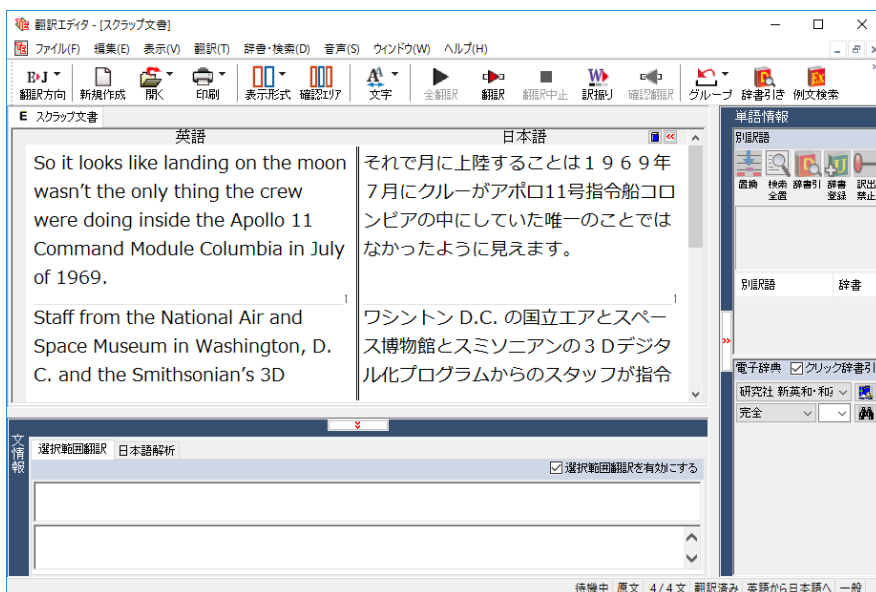
アプリケーションで翻訳するテキストを選択し、操作パネルで翻訳方向を設定して [選択翻訳] ボタンをクリックします。

2



翻訳ビューフが起動し、選択したテキストが翻訳され、表示されます。

[翻訳エディタへ転送] をクリックすると、翻訳エディタが起動し、編集することが可能になります。



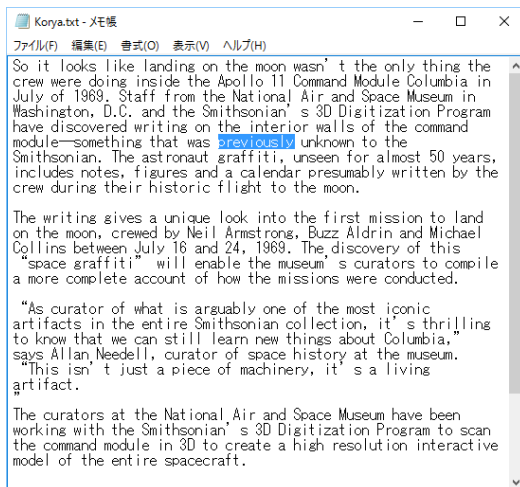
☞ 翻訳エディタの使い方については、「第3章 翻訳エディタで翻訳するには」をご参照ください。

選択辞書引き

[選択辞書引き]ボタンは、アプリケーション上で選択された語句の辞書引きを行うときに使います。このとき、英日・日英翻訳では、次のいずれかの辞書で辞書引きできます。その他の翻訳方向では、翻訳辞書で辞書引きすることができます。

◆辞書引きするには

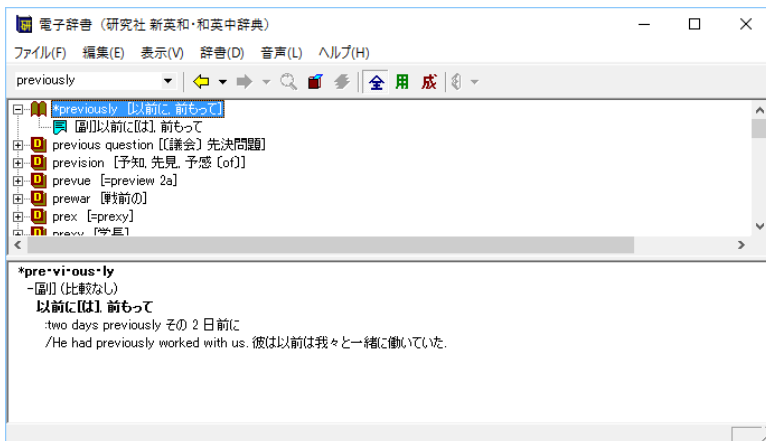
1



選択辞書引き

アプリケーションで辞書引きしたい語句を選択し、操作パネルで翻訳方向を設定して [選択辞書引き] ボタンをクリックします。

2



[電子辞書(研究社 新英和・和英中辞典)] ウィンドウが開き、辞書引き結果を表示します。

ファイル翻訳を起動

ファイル翻訳は、指定された原文ファイルを翻訳し、別の訳文ファイルを生成する翻訳アプリレットです。テキストファイル、HTMLファイル、一太郎、Word、Excel、PowerPointの文書ファイルを翻訳することができます。

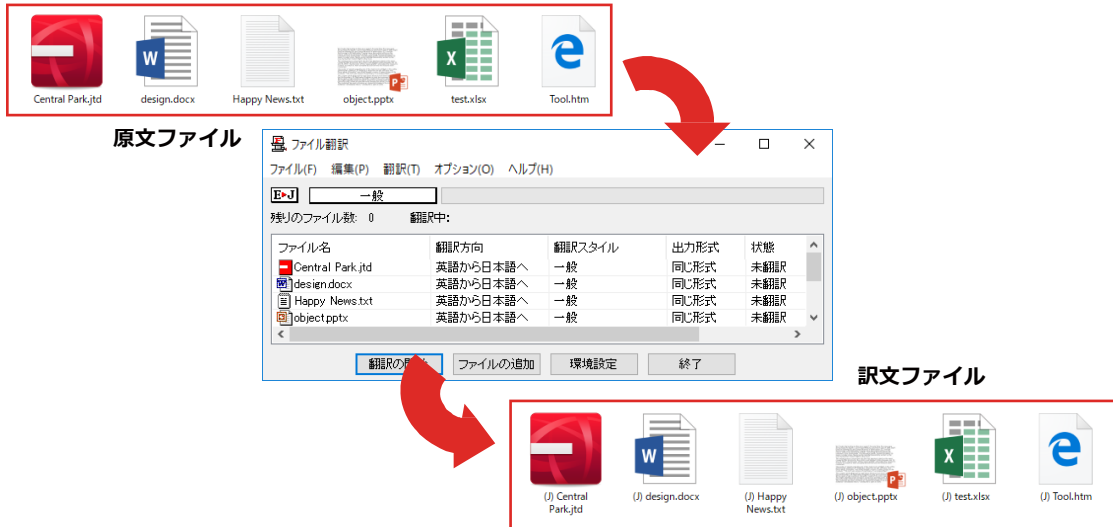


◆ファイル翻訳で行える翻訳

ファイル翻訳では、原文となるファイルを翻訳し、訳文を別のファイルに保存します。

- 一度に複数の原文ファイルを翻訳できます。
- ファイルごとに、適用する翻訳方向、翻訳スタイルを設定できます。
- テキストファイル、HTMLファイルなど、異なるタイプのファイルを一括して翻訳できます。

■ファイル翻訳の流れ



翻訳できるファイル.....

ファイル翻訳では、次のファイルを翻訳できます。

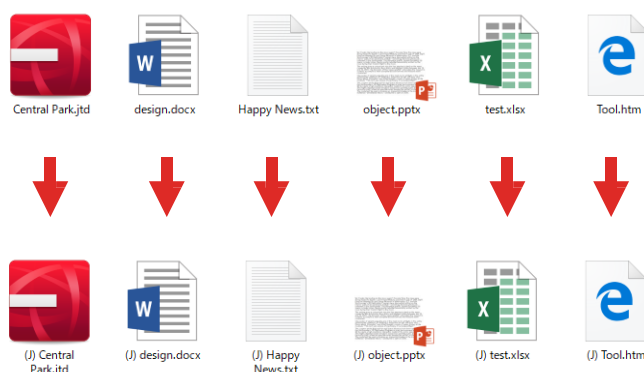
- テキストファイル
- HTMLファイル (Webブラウザで保存されたファイル、拡張子「htm」「html」など)
- 一太郎文書ファイル (拡張子「jtd」) ※1
- Word文書ファイル (拡張子「doc」「docx」「rtf」) ※2
- Excel文書ファイル (拡張子「xls」「xlsx」) ※2
- PowerPoint文書ファイル (拡張子「ppt」「pptx」) ※2

※1 対応しているアプリケーションのバージョンは、2013/2014/2015/2016/2017/2018です。

※2 対応しているアプリケーションのバージョンは、2010/2013/2016です。

翻訳されたファイル.....

翻訳結果は、それぞれに同じ種類 (同じ拡張子) の別のファイルに書き出され、初期値では、元のファイルがあるフォルダと同じフォルダに保存されます。



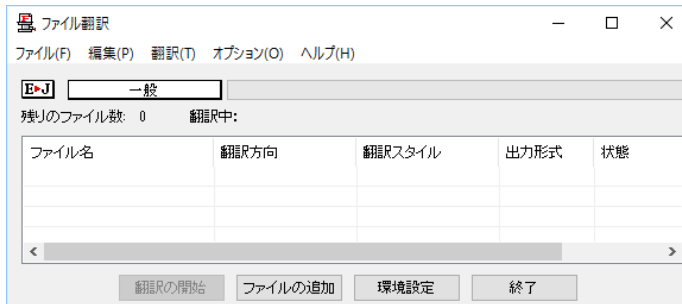
◆ファイル翻訳を起動するには

ファイル翻訳は、次の方法で起動することができます。



デスクトップの「一発翻訳!900万語 操作パネル」をダブルクリックして、操作パネルを起動し、「ファイル翻訳を起動」をクリックします。

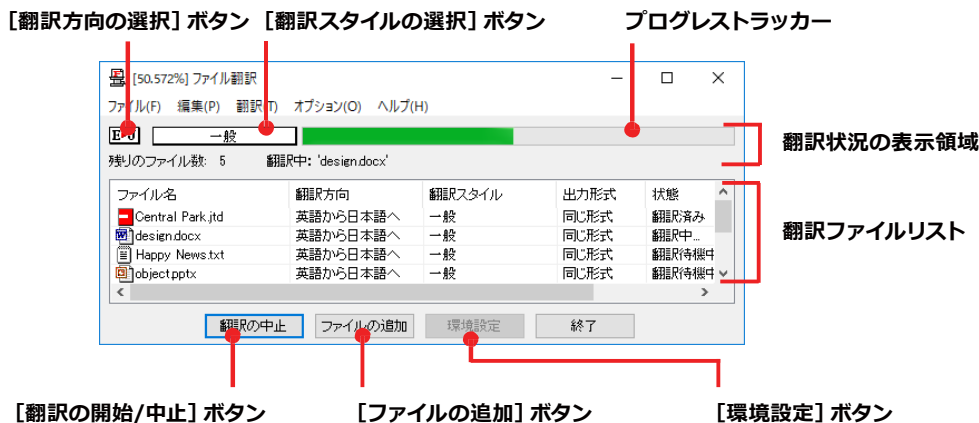
一太郎文書をファイル翻訳する場合、先にアドイン設定を行う必要があります。詳細は、Chapter 6の「2. ジャストシステム一太郎で翻訳を行うには」をご覧ください。



「ファイル翻訳」ウィンドウが表示されます。

◆「ファイル翻訳」ウィンドウの各部の名称と機能

「ファイル翻訳」ウィンドウの主な各部には、次の名称と機能があります。



【翻訳方向の選択】ボタン

原文ファイルを追加したときに適用される翻訳方向が表示されます。何もしないと、最後に翻訳したときに使われた翻訳方向が表示されます。変更するときは、右クリックしてコンテキストメニューから目的の翻訳方向を選択します。

【翻訳スタイルの選択】ボタン

原文ファイルを追加したときに適用される翻訳スタイルが表示されます。何もしないと、最後に翻訳したときに使われた翻訳スタイルが表示されます。変更するときは、右クリックしてコンテキストメニューから目的の翻訳スタイルを選択します。

翻訳状況の表示領域

ファイルの翻訳中に、以下の情報を表示します。

プログレストラッカー	翻訳の進行状況を表示します。翻訳が開始されると、左から右にバーが進み、進行状況を示します。
残りのファイル数	複数のファイルを翻訳するとき、まだ翻訳していないファイルの数を表示します。すべてのファイルを翻訳し終わると「0」になります。
翻訳中	翻訳中のファイル名を表示します。

翻訳ファイルリスト

原文ファイルを追加すると、このリストに表示されます。以下の情報が表示されます。

「ファイル名」「翻訳方向」「翻訳スタイル」「出力形式」「状態(未翻訳、翻訳待機中、翻訳中、翻訳済み)」「ファイルサイズ」
各行を右クリックすると、コンテキストメニューで翻訳方向や翻訳スタイルを変更できます。

【翻訳の開始】/【翻訳の中止】ボタン

翻訳ファイルリストに表示されているファイルの翻訳を開始します。翻訳中は【翻訳の中止】ボタンになり、クリックすると翻訳を中止します。

【ファイルの追加】ボタン

翻訳ファイルリストにファイルを追加します。クリックすると、【ファイルを開く】ダイアログが表示されます。

【環境設定】ボタン

ファイル翻訳の環境を設定します。このボタンをクリックすると、【ファイル翻訳の環境設定】ダイアログが開きます。

コンテキストメニュー

ファイルリストの上でマウスの右ボタンをクリックすると、次のコンテキストメニューが表示されます。ファイルごとに翻訳方向や翻訳スタイルを変更できます。また、リストから削除する際にもコンテキストメニューを使います。

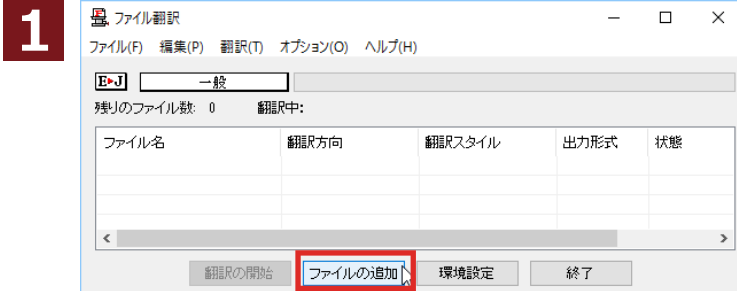
翻訳方向(T)	▶
翻訳スタイル(S)	▶
出力形式(O)	▶
リストから削除(D)	

◆ 翻訳を実行するには

翻訳するファイルの登録.....

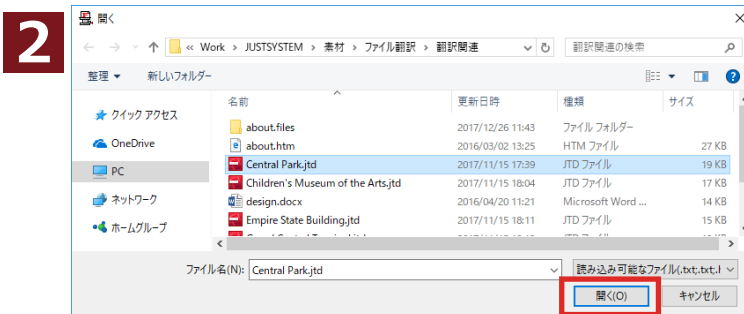
まず、翻訳する原文ファイルを [ファイル翻訳] ウィンドウのファイルリストに登録します。 [ファイルの追加] ボタンで登録する方法と、ドラッグ&ドロップして登録する方法があります。

[ファイルの追加]ボタンで登録する

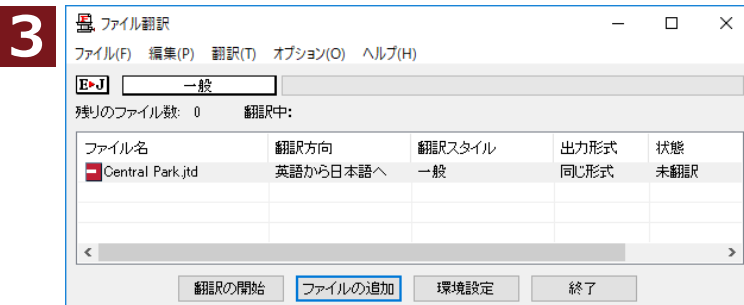


[ファイルの追加]ボタンをクリックします。

[ファイルを開く]ダイアログが開きます。



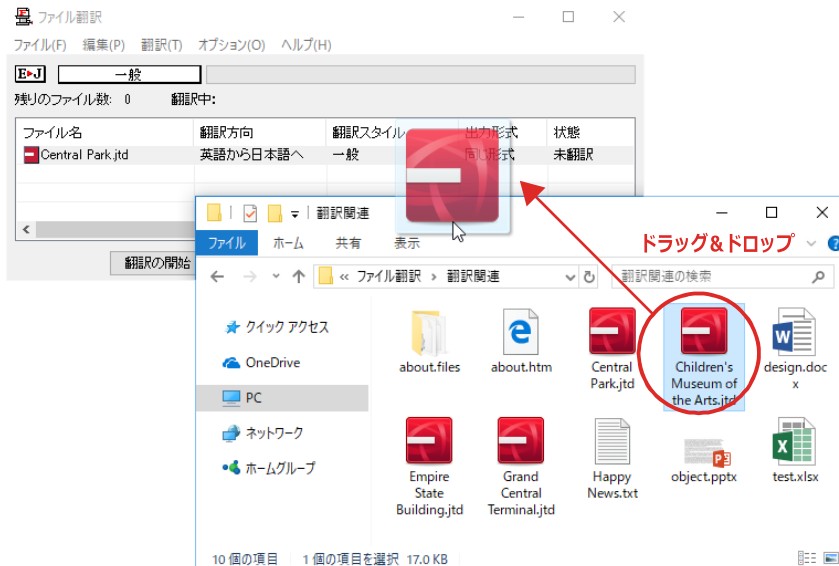
登録するファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。



原文ファイルがリストに登録されます。

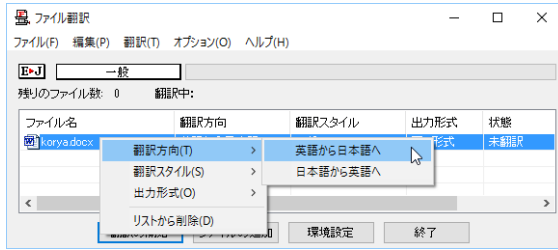
ドラッグ&ドロップして登録する

Windowsのエクスプローラーで原文ファイルを選択し、[ファイル翻訳] ウィンドウにドラッグ&ドロップします。これで、原文ファイルがリストに登録されます。複数のファイルを一度にドラッグ&ドロップで登録することもできます。



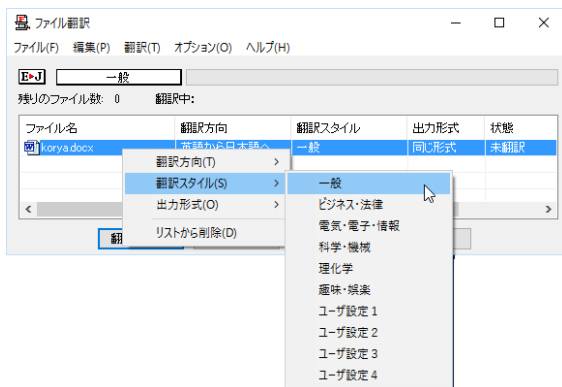
翻訳方向の変更

ファイルリストに登録した原文ファイルの個別の翻訳方向は、コンテキストメニューで個々に変更します。例えば、英日から日英に変更するとき、対象の原文ファイルを選択し、右クリックして開くメニューから[翻訳方向]→[日本語から英語へ]を選択します。



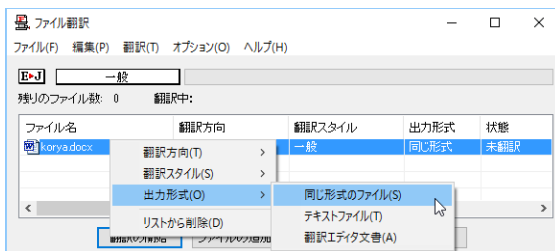
翻訳スタイルの変更

ファイルリストに登録した原文ファイルの個別の翻訳スタイルは、コンテキストメニューで個々に変更します。例えば、[一般]から[ビジネス・法律]に変更するとき、対象の原文ファイルを選択し、右クリックして開くメニューから[翻訳スタイル]→[ビジネス・法律]を選択します。



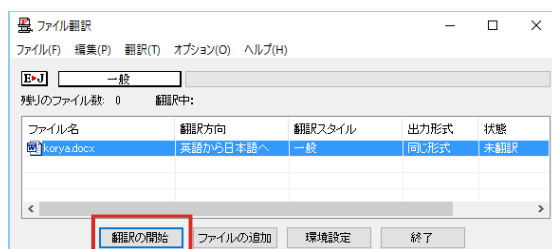
出力形式の変更

ファイルリストに登録した原文ファイルの出力形式は、コンテキストメニューで個々に変更します。例えば、翻訳エディタ文書に変更するとき、対象の原文ファイルを選択し、右クリックして開くメニューから[出力形式]→[翻訳エディタ文書]を選択します。



翻訳の実行

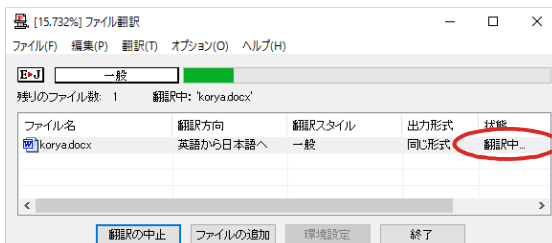
翻訳方向や、翻訳スタイルが設定できたら、[翻訳の開始] ボタンで翻訳を開始します。



[翻訳の開始]ボタンをクリックします。

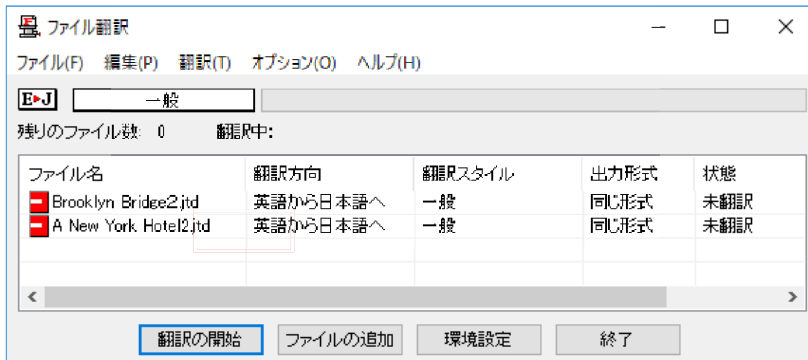
先頭ファイルから翻訳が実行されます。翻訳中は、プログレストラッカーが伸び、[状態]の列に「翻訳中」と表示されます。

一郎の場合は、一郎が起動して翻訳が完了すると終了します。起動と終了は一郎文書の数だけ繰り返されます。



翻訳された訳文ファイルは、初期値では、原文ファイルと同じフォルダに生成されます。

翻訳の実行（一太郎の場合）



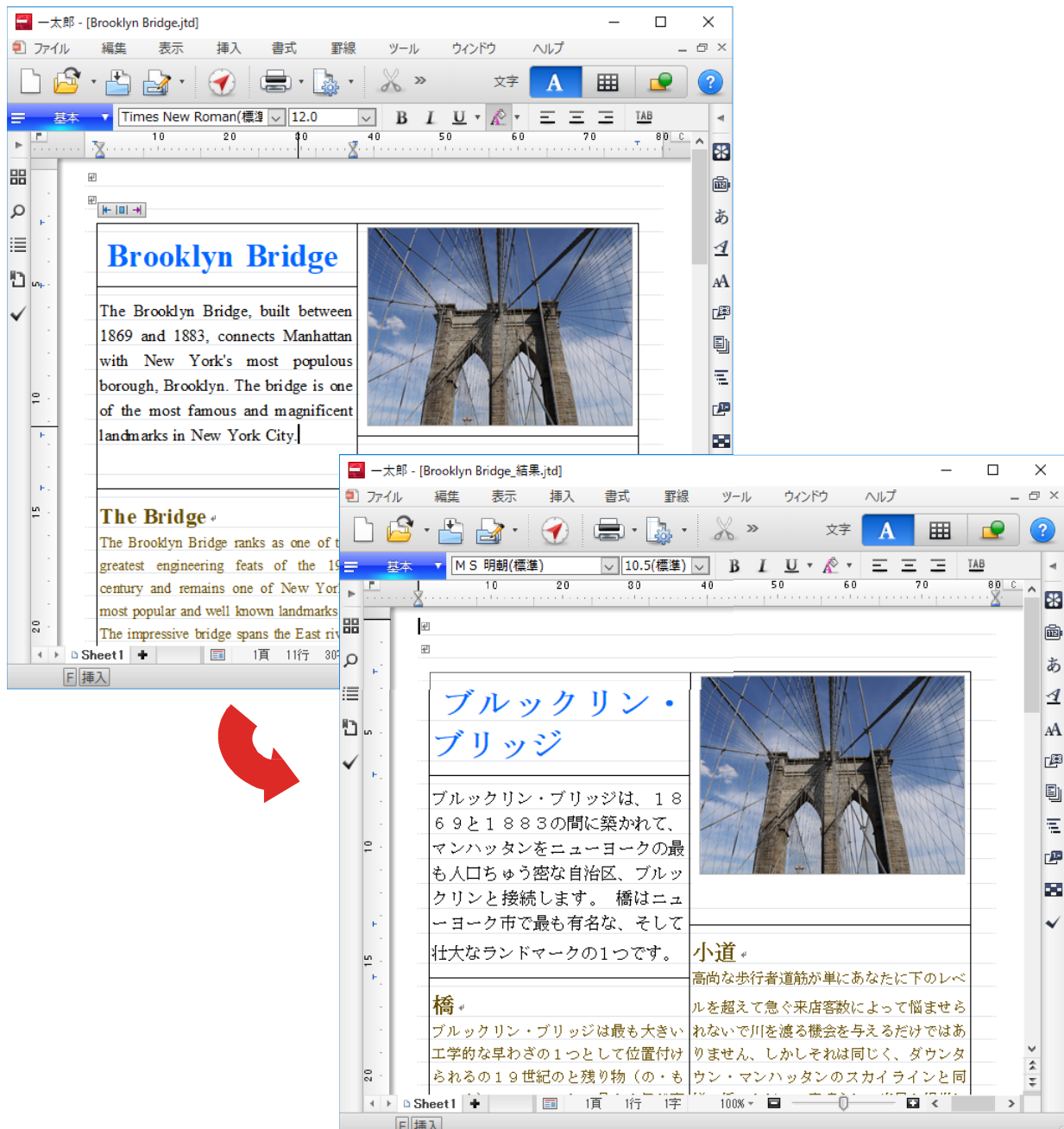
[翻訳の開始]ボタンをクリックします。

一太郎の場合は、一太郎が起動して翻訳が完了すると終了します。起動と終了は一太郎文書の数だけ繰り返されます。

翻訳された訳文ファイルは、初期値では、原文ファイルと同じフォルダに生成されます。

レイアウトを保って翻訳

一太郎文書のファイル翻訳の機能として、レイアウトを保ったまま翻訳が可能です。

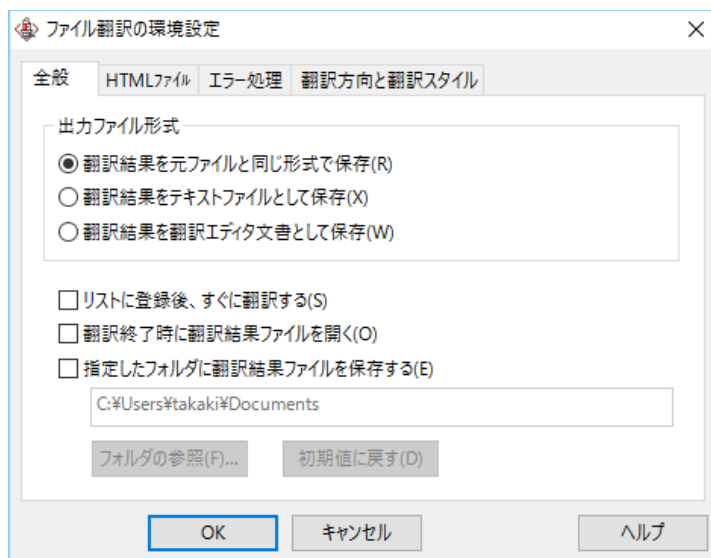


◆ファイル翻訳の環境を設定するには

ファイル翻訳の動作を変更したり、翻訳対象のHTMLファイルを指定したりすることができます。ファイル翻訳の環境設定は、[ファイル翻訳] ウィンドウの [環境設定] ボタンをクリックするか、[オプション] メニューから [ファイル翻訳の環境設定] を選択し、[ファイル翻訳の環境設定] ダイアログを表示されて行います。

◆ファイル翻訳の動作を設定するー [全般] タブ

[ファイル翻訳の環境設定] ダイアログの [全般] タブでは、以下の設定を行い、動作を変更することができます。



[出力ファイル形式]

翻訳ファイルリストに原文ファイルを追加したときに設定される出力形式を選択します。初期値では、このラジオボタンは [翻訳結果を元のファイルと同じ形式で保存] になっています。

[リストに登録後、すぐに翻訳する]

翻訳ファイルリストに原文ファイルを追加すると、すぐに翻訳を開始します。翻訳方向と翻訳スタイルは、[ファイル翻訳] ダイアログの [翻訳方向の選択] ボタンおよび [翻訳スタイルの選択] ボタンで設定されているものが適用されます。初期値では、このチェックボックスはオフになっています。

[翻訳終了時に翻訳結果ファイルを開く]

翻訳が終了すると、翻訳結果のファイル形式に従ってアプリケーションソフトを起動し、翻訳結果を表示します。初期値では、このチェックボックスはオフになっています。

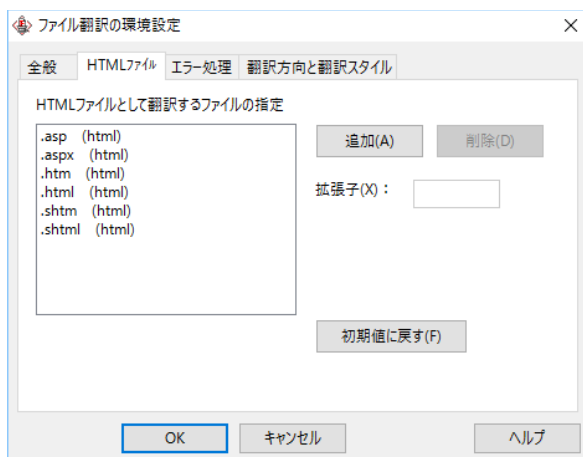
[指定したフォルダに翻訳結果ファイルを保存する]

チェックボックスがオンになっていると、翻訳結果のファイルまたはフォルダが保存先指定ボックスに入力したフォルダに保存されます。オフになっていると、訳文ファイルが原文ファイルと同じフォルダに保存されます。初期値では、このチェックボックスはオフになっています。

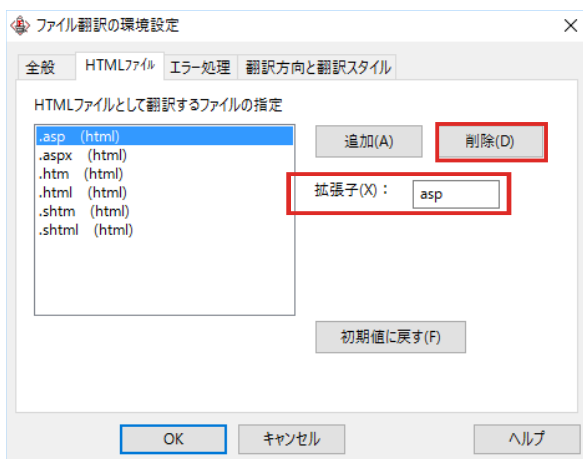
[保存先指定]ボックス	訳文ファイルを保存するフォルダを指定します。
[フォルダの参照]ボタン	クリックすると [フォルダの参照] ダイアログが表示されます。保存したいフォルダを選択して [OK] ボタンをクリックすると、そのフォルダのディレクトリが [保存先指定] ボックスに入力されます。
[初期値に戻す]ボタン	クリックすると、保存先が My Documentに戻ります。

◆ 翻訳対象の HTML ファイルを指定する —[HTML ファイル]タブ

[HTML ファイル] タブでは、ファイル翻訳で HTML ファイルとして識別させたい拡張子の追加登録または削除ができます。ここに登録されている拡張子を基準にファイルを識別し、HTML ファイルと判断した場合、自動的にタブを正しく処理して翻訳します。



拡張子の追加と削除

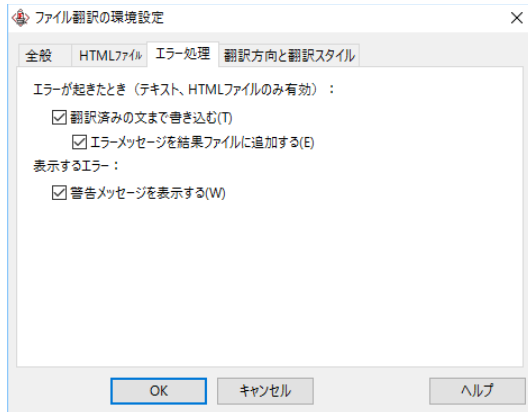


拡張子を追加する場合は、[追加] ボタンをクリックします。[拡張子] 入力ボックスが表示されますので、キーボードから拡張子を入力して登録します。

拡張子を削除する場合は、対象の拡張子を選択してから [削除] ボタンをクリックします。

エラー時の処理方法を変更するには — [エラー処理] タブ.....

[エラー処理]タブでは、翻訳を行っているときに起きたエラーの処理方法を設定します。



[エラーが起きたとき (テキスト、HTMLファイルのみ有効)]

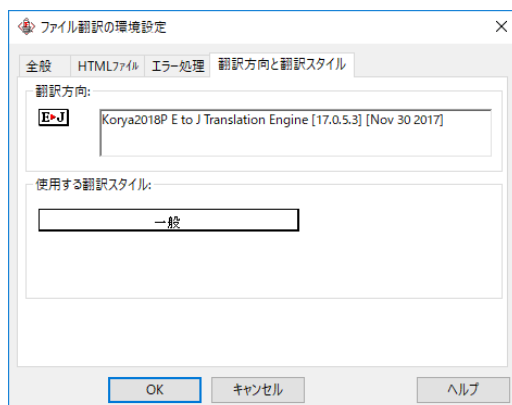
[翻訳済みの文まで書き込む]	エラー発生時以前に翻訳を終了していた文までを保存先のファイルに書き込みます。オフにすると、翻訳済みの文は保存されません。初期値では、このチェックボックスがオンになっています。
[エラーメッセージを結果ファイルに追加する]	エラーの内容を保存先のファイルに書き込みます。このタブは、[翻訳済みの文まで書き込む] チェックボックスがオンになっているときに有効です。この初期値ではこのチェックボックスがオンになっています。

[表示するエラー]

[警告メッセージを表示する]	エラーが発生したときにダイアログを開き、警告メッセージを表示します。初期値では、このチェックボックスがオンになっています。
----------------	---

翻訳方向と翻訳スタイルを設定するには — [翻訳方向と翻訳スタイル] タブ.....

原文ファイルを追加したとき、デフォルトで適用される翻訳方向と翻訳スタイルを指定します。



[翻訳方向]

デフォルトの翻訳方向が表示されます。クリックするとリストから別の翻訳方向を選択して変更できます。

[使用する翻訳スタイル]

原文ファイルを追加したときにデフォルトで適用される翻訳スタイルが表示されます。クリックするとリストから別の翻訳スタイルを選択して変更できます。

その他ツールを起動

[その他ツールを起動] ボタンには、本製品のいろいろな翻訳アプレットや辞書ツールが用意されています。ここでは、いろいろな翻訳アプレットの概要を紹介します。



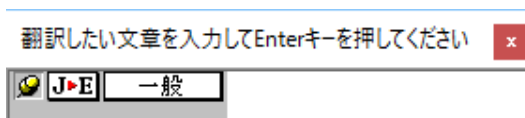
◆タイピング翻訳を行うには

タイピング翻訳は、日本語入力システムでカナ漢字変換するような感覚で、入力した原文を訳文に変換していくシンプルな翻訳アプレットです。メールソフトやワープロソフトなどのアプリケーションとともに使用すると、翻訳した訳文を [Enter] キーひとつで編集中の文書に入力できます。

タイピング翻訳の機能.....

タイピング翻訳の起動方法

操作パネルの [その他ツールの起動] ボタンをクリックして開くメニューから [タイピング翻訳] を選択します。[タイピング翻訳] ウィンドウが表示されます。



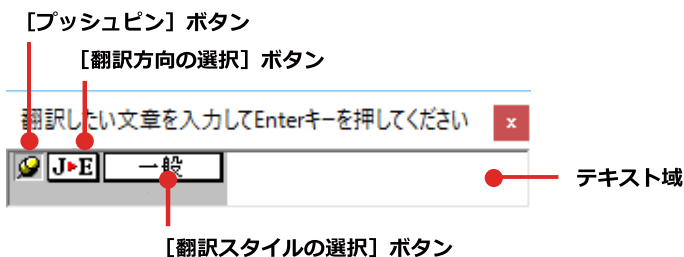
- [タイピング翻訳] ウィンドウ



必要に応じてワープロやメールソフトなど、タイピング翻訳で翻訳した訳文を入力したいアプリケーションを起動しておきます。

[タイピング翻訳]ウィンドウ各部の名称と機能

[タイピング翻訳]ウィンドウには、左側のボタン表示部と右側のテキスト域があります。



[プッシュピン]ボタン

タイピング翻訳を常に表示するかしないかの表示モードを切り替えます。ボタンをクリックするたびに、この2つの状態が切り替わります。



：固定位置表示



：浮動表示

【翻訳方向の選択】 ボタン

現在選択されている翻訳方向が表示されます。変更するときはクリックして、ポップアップリストから目的の翻訳方向を選択します。

【翻訳スタイルの選択】 ボタン

現在選択されている翻訳スタイルが表示されます。変更するときはクリックして、ポップアップリストから目的の翻訳スタイルを選択します。

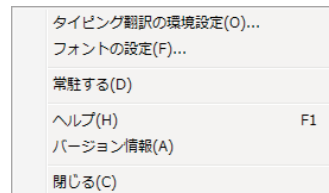
テキスト域

原文を入力します。原文は青で表示されます。入力後、[Enter] キーを押すと翻訳が行われ、原文が訳文に入れ替わり、確認翻訳の結果が下に表示されます。また、このテキスト域で訳文を編集することもできます。

タイピング翻訳メニュー

タイピング翻訳コマンドメニューは、以下のいずれかの方法で表示されます。

- [タイピング翻訳] ウィンドウのタイトルバーの上で、マウスの右ボタンをクリックします。
- タスクトレイのタイピング翻訳アイコンを右ボタンでクリックします。



タイピング翻訳アイコン

Windowsのタスクトレイに表示されます。クリックするとタイピング翻訳ウィンドウが、Windowsの最前面に表示されます。また、右クリックすると、タイピング翻訳メニューが表示されます。(上右図)

タイピング翻訳ウィンドウの表示モード

タイピング翻訳には、固定位置表示と浮動表示の2通りの表示モードがあります。作業の形態に合わせて、使いやすいモードを選択してください。


固定位置表示

常にウィンドウが画面上の一定の位置に表示されます。他のアプリケーションと重なる場合は、常にその前面に表示されます。表示する位置は自由に変更できます。翻訳結果を [Enter] キーでアプリケーションの文書に入力した後も、ウィンドウはアクティブなままになるので、すぐに別の原文を入力できます。タイピング翻訳で翻訳しながらアプリケーションに訳文を入力していくような場合に便利です。


浮動表示

[タイピング翻訳] ウィンドウが通常は非表示となり、ホットキーを押す、またはタスクトレイの「タイピング翻訳」アイコンをクリックしたときに表示されます。[Enter] キーで翻訳結果をアプリケーションの文書に入力した後は、自動的に非表示に戻ります。

タイピング翻訳を終了するには

タイピング翻訳を終了するには、タイトルバーの  をクリックします。またはタイピング翻訳メニュー (タイトルバー上で右クリック) から [閉じる] コマンドを選択します。[タイピング翻訳] ウィンドウおよびタスクトレイのアイコンが消え、プログラムが終了します。

タイピング翻訳を常駐させるには

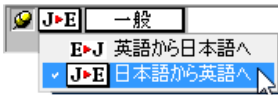
タイピング翻訳を常に使う場合、常駐させておくことができます。常駐させると、タイトルバーの  をクリックしてウィンドウを閉じても、タスクトレイにタイピング翻訳のアイコンが残ります。これをクリックするといつでもタイピング翻訳を起動できます。常駐させるときは、タイピング翻訳メニュー (タイトルバー上で右クリック) から [常駐する] コマンドを選択してチェックマークをつけます。常駐を解除するときはチェックマークを外します。

翻訳を実行するには.....

タイピング翻訳では [Enter] キーを押すだけで、テキスト域に入力した文書を翻訳できます。翻訳後は、別訳語への置き換えや、訳文の手直しができます。タイピング翻訳のテキスト域に、キーボードから原文を入力しながら翻訳できます。訳文は、同時に開かれていたワープロやメールソフトなどの文書に、[Enter] キーで入力できます。

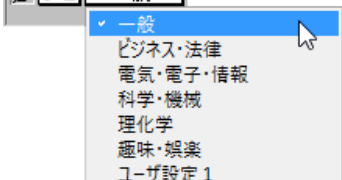
1 あらかじめ、ワープロやメールソフトなど、テキストを扱えるアプリケーションソフトを起動し、文書を開いておきます。

2 翻訳したい文章を入力してEnterキーを押してください



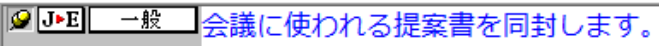
タイピング翻訳を起動します。[翻訳方向の選択] ボタンに使用したい翻訳方向が表示されているか確認します。変更するときは、[翻訳方向の選択] ボタンをクリックして、ポップアップリストから目的の翻訳方向を選びます。

3 翻訳したい文章を入力してEnterキーを押してください



[翻訳スタイルの選択] ボタンに使用したい翻訳スタイルが表示されているか確認します。変更するときは [翻訳スタイルの選択] ボタンをクリックして、ポップアップリストから目的の翻訳スタイルを選びます。

4 翻訳したい文章を入力してEnterキーを押してください

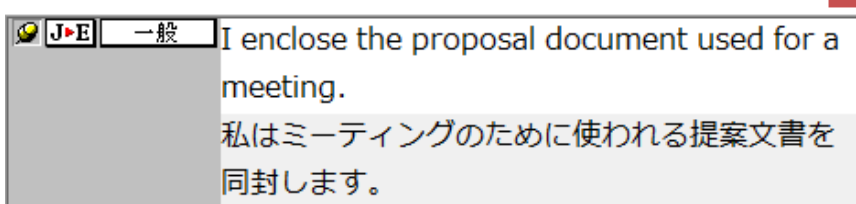


キーボードから原文を入力します。原文が青で表示されます。

ヒント 原文の入力を最初からやり直したい場合は、[Esc] キーを押して、入力テキストをクリアします。

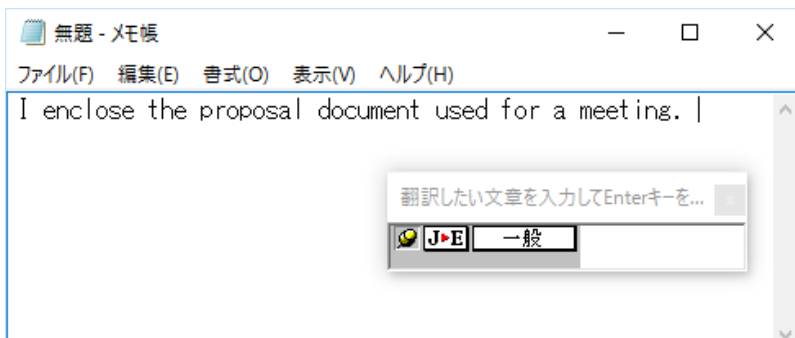
5 [Enter]キーを押します。原文が翻訳され、訳文に入れ替わり、確認翻訳の結果が下に表示されます。同時に訳文の文字数がタイトルに表示されます。Twitter などの文字数制限のある場合の入力時に参考にしてください。

[52文字] Enterキーを押すと翻訳結果が転送されます



この時点で必要に応じて訳文を編集することができます。

6 もう一度[Enter]キーを押します。訳文がアプリケーションソフトのカーソル位置に入力され、[タイピング翻訳]ウィンドウのテキスト域はクリアされます。

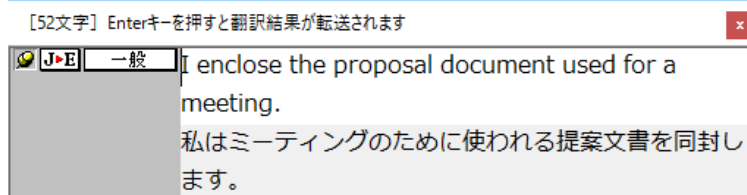


ヒント 固定位置表示モードになっている場合は、[タイピング翻訳]ウィンドウがアクティブなままになり、テキスト域にカーソルが表示され続けます。そのまま続けて、別の翻訳を行うことができます。浮動表示モードになっている場合は、[タイピング翻訳]ウィンドウは見えなくなります。

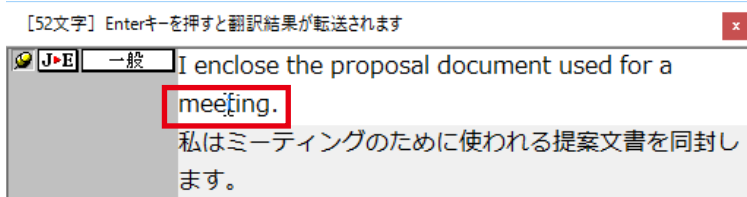
テキスト域の訳文を編集するには.....

翻訳後、別訳語への置き換えを行って、訳文を改良することができます。

- 1** この時点で必要に応じて訳文を編集することができます。

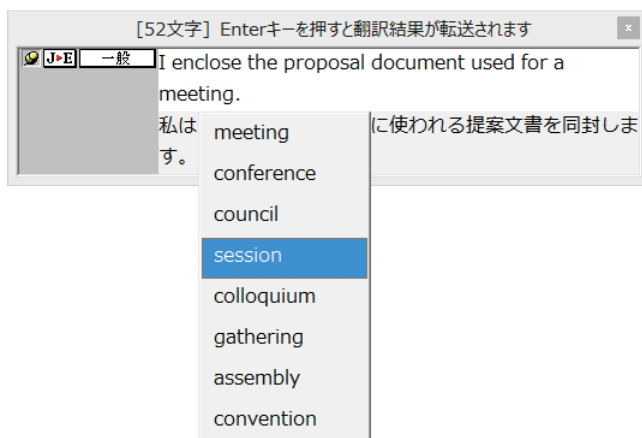


- 2** 別訳語に置き換えたい単語に caret を立てます。

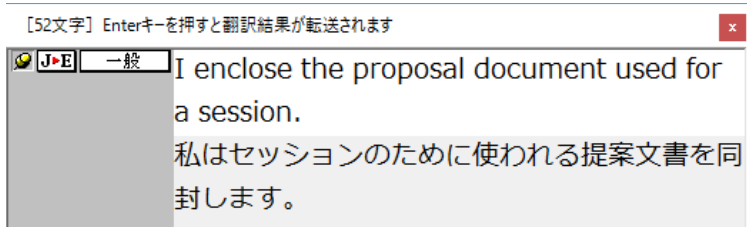


- 3** caret が立っている状態で、Ctrlキーを押したまま上矢印キーまたは下矢印キーを押すと、別訳語のリストが表示されます。選択された単語の、別訳語のリストが表示されます。

- 4** リストの中に使用したい訳語があるときは、さらに上または下矢印キーを押して、その訳語を選択し、[Enter] キーを押します。



翻訳結果のテキストの該当部分が別訳語に置き換わります。



ヒント 翻訳結果テキストは、手作業で自由に編集することができます。ただし、いったん手作業で修正を加えると、そのテキスト内での矢印キーによる語句の選択、別訳語の表示・選択はできなくなります。

◆音声翻訳を行うには

音声入力から翻訳して再生までを行う音声入力翻訳再生機能です。

注意！

- 事前にWindowsコントロールパネルにある音声認識の設定や言語パックのインストールが必要となります。また、OSによって利用できる言語の条件やインストール方法に違いがあります。対応するOSは、Windows10/8.1となります。
- ご使用のパソコンに入力装置がない場合は、別途入力装置が必要です。

1



操作パネルの[その他ツールを起動]をクリックし、音声翻訳を選択します。

2

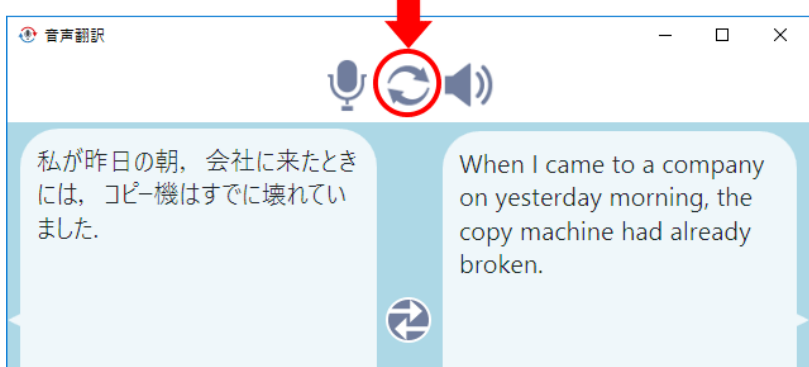
1.ここをクリック



音声翻訳画面がでできます。
マイクボタンをクリックします。
翻訳する原文を音声入力します。

3

2.ここをクリック



真ん中のボタンをクリックすると翻訳結果を自動で読み上げます。

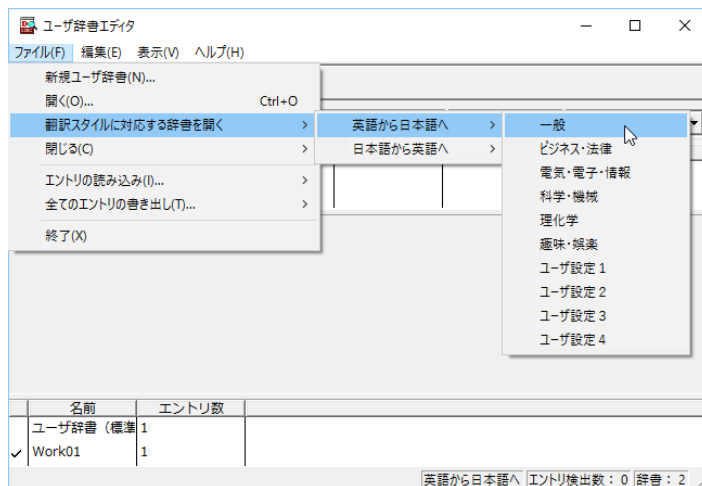
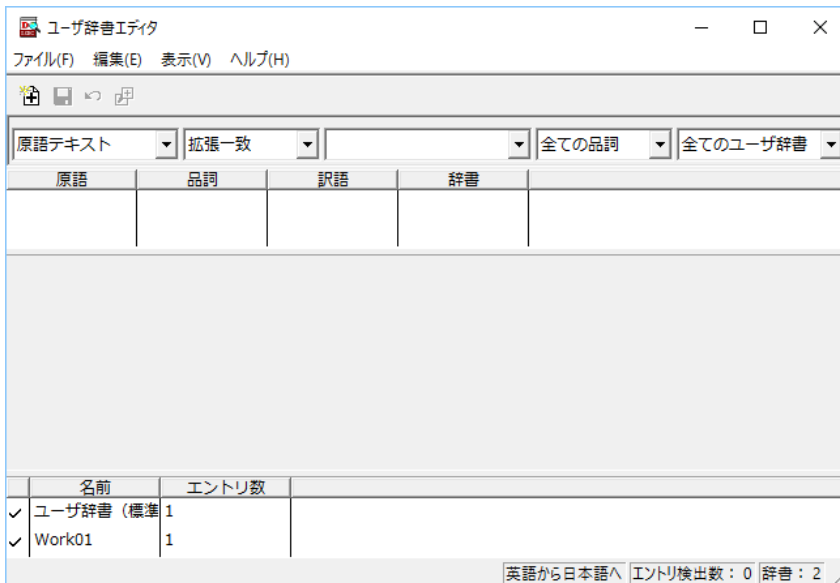
◆ユーザ辞書エディタを使うには

ユーザ辞書はお使いになる方が独自に語句を登録し、地名や人名など辞書にはない独特な語句を翻訳するときなどに活用します。このユーザ辞書に登録された語句などの編集を行うアプリレットが「ユーザ辞書エディタ」です。ここではユーザ辞書エディタの概要を紹介します。

ユーザ辞書エディタを起動するには.....

1 [その他ツールの起動]をクリックし、表示されるメニューから[ユーザ辞書エディタ]を選択します。ユーザ辞書エディタが起動し、次のウィンドウが開きます。

2 「ユーザ辞書(標準)」が開きます。



最初にユーザ辞書エディタを起動したときは、[英語から日本語へ]が選択されています。[ファイル]メニューから[翻訳スタイルに対応する辞書を開く]を選択し、翻訳方向と翻訳スタイルを指定します(この例では[英語から日本語へ]の「一般」)。



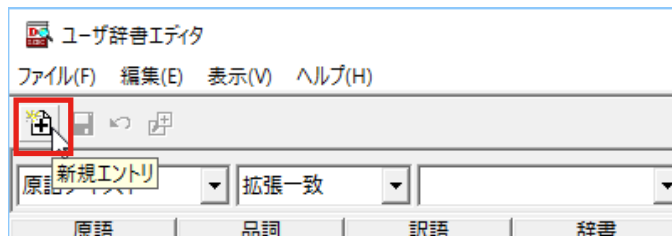
ユーザ辞書は複数作成でき、用途に合わせて使い分けことができます。使用するユーザ辞書は、翻訳スタイルを編集するときに指定できます。実際の翻訳作業では、翻訳スタイルを選択することで使用するユーザ辞書を使い分けます。

「翻訳スタイルに対応する辞書を開く」というのは、英日または日英の翻訳スタイルに登録(ロード)されているユーザ辞書のことです。複数のユーザ辞書をロードしているときは、すべてのユーザ辞書を対象にします。ここでは、翻訳スタイル「一般」にあらかじめ用意されている「ユーザ辞書(標準)」だけがロードされているものとして説明しています。

語句を登録するには.....

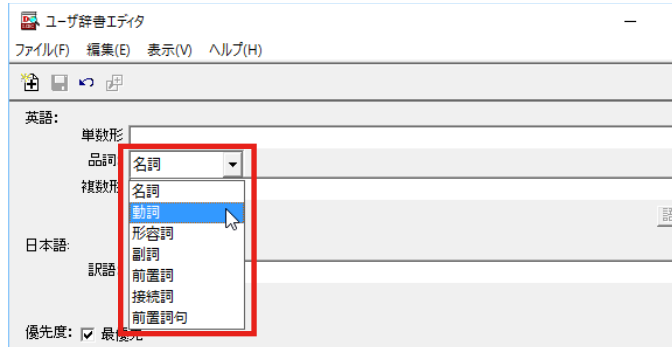
ユーザ辞書エディタで語句を登録するときは、以下の手順で行います。

1



[新規エントリ]ボタンをクリックします。
登録画面(詳細表示)に変わります。

2



これは名詞の語句を登録するための画面です。
登録する語句の品質によって画面が異なります。
たとえば、[品詞]のプルダウンリストから[動詞]を選択します。

動詞の登録画面になります。

3



例として、英語の語句「live」を他動詞で日本語訳を「～の生活をする」として登録する場合は、文型を「他動詞」にし、活用形や日本語訳を図のように入力、設定します。



[不定詞形]を入力し、[語尾変化]ボタンをクリックすると、活用形が表示されません。必要に応じて修正します。

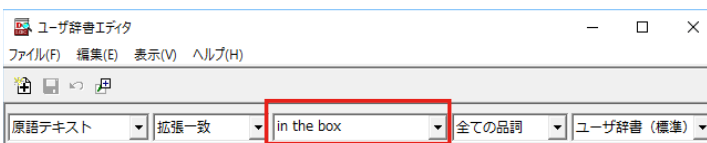
設定できたら、[エントリ保存]ボタン(📁)をクリックします。

画面が戻ります。登録した語句がリストに表示されます。終了するときは、[ファイル]メニューから[終了]を選択するか、右上のクローズボックスをクリックします。

語句を編集するには.....

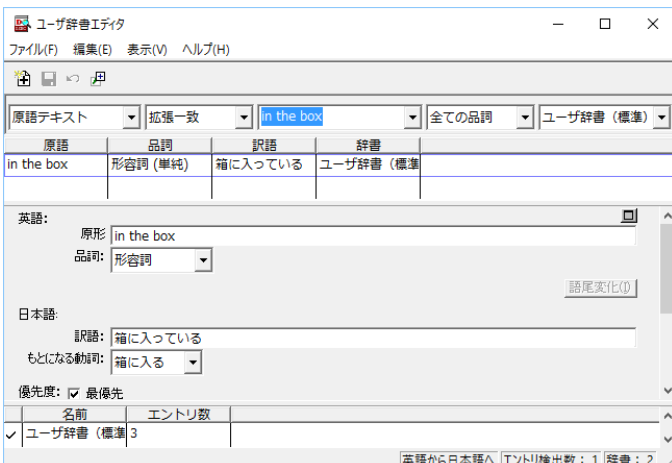
ユーザ辞書に登録した語句はユーザ辞書エディタで編集することができます。ユーザ辞書エディタで編集する語句を検索し、目的の語句を呼び出して編集します。

1



検索フィールドの見出し語入力ボックスに編集する語句を入力します。

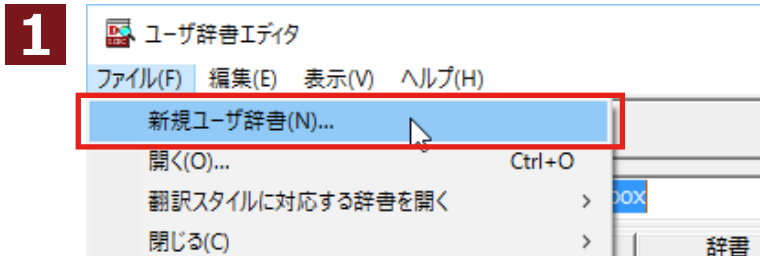
2



見出し語が入力されると、検索され、結果がリストに表示されます。必要な編集作業を行い、[エントリ保存]ボタンをクリックして保存し直します。

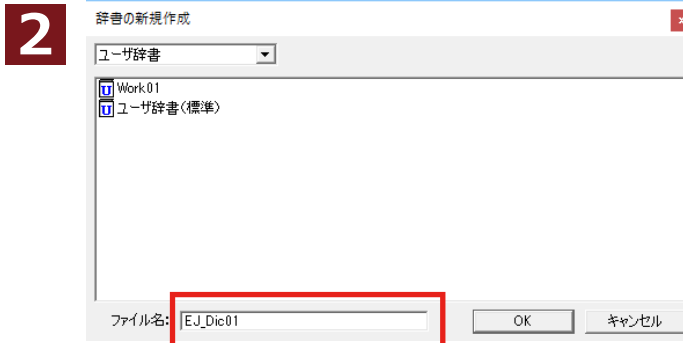
新規にユーザ辞書を作成するには.....

ユーザ辞書エディタから新規にユーザ辞書を作成することもできます。

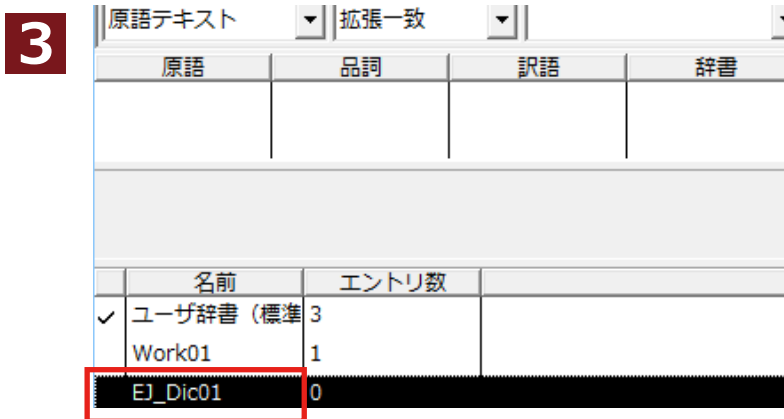


[ファイル]メニューから[新規ユーザ辞書]を選択します。

[辞書の新規作成]ダイアログが開きます。



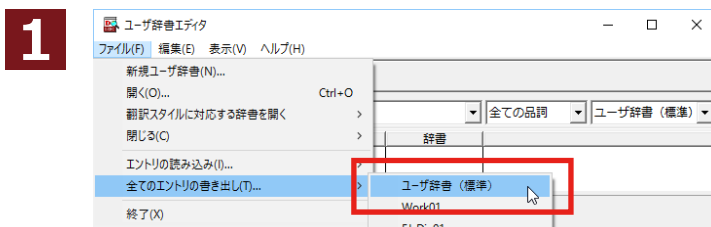
任意のファイル名を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



ユーザ辞書エディタに戻ります。作成したユーザ辞書はオープンされた状態になっています。これで新規にユーザ辞書を作成できます。

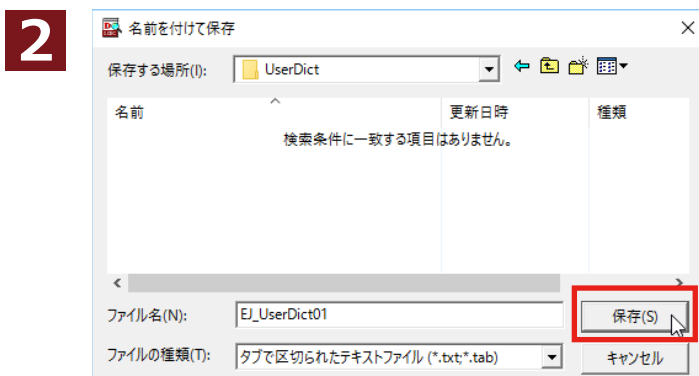
登録した語句を書き出すには.....

ユーザ辞書に登録した語句やその情報は、テキストファイルに書き出すことができます。テキストファイルに書き出すと、ワープロソフトや表計算ソフトで語句を管理・編集することができます。また、他のユーザ辞書にテキストファイルを読み込んで語句を一括して登録することができます。



[ファイル]メニューから[全てのエントリの書き出し]を選択し、対象のユーザ辞書(この例では「ユーザ辞書(標準)」)を選択します。

[名前を付けて保存]ダイアログボックスが開きます。

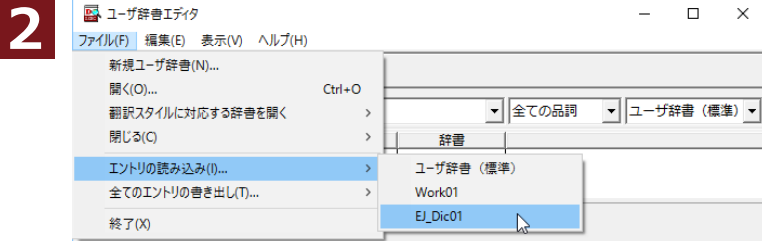


保存先のフォルダに移動し、任意にファイル名を入力して[保存]ボタンをクリックします。

テキストファイルの語句を読み込むには.....

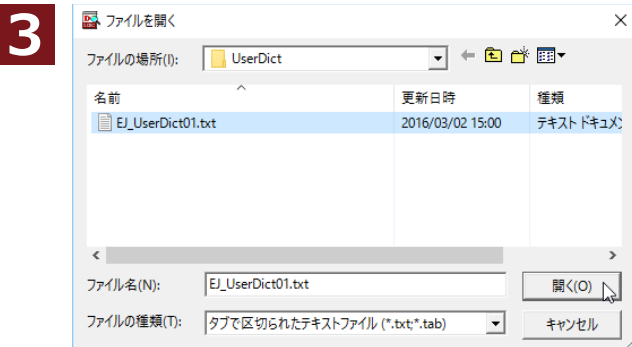
「登録した語句を書き出すには」で書き出したテキストファイルを別のユーザ辞書を読み込むことができます。これで一括して語句を登録することができます。

1 読み込むユーザ辞書を開いておきます。



[ファイル]メニューから[エントリの読み込み]を選択し、読み込み先のユーザ辞書を選択します。

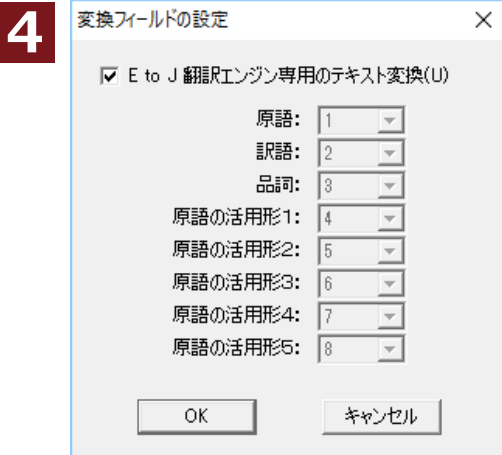
[ファイルを開く]ダイアログボックスが開きます。



ユーザ辞書形式のテキストファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックします。

[変換フィールドの設定]ダイアログボックスが表示されます。

ヒント ユーザ辞書から書き出したテキストファイルは1つのエントリが1行にまとめられ、項目間はタブ記号で区切られます。項目には順番があります。順番が異なると不正な内容が登録されてしまいます。[変換フィールドの設定]ダイアログボックスは項目の順番を調整するためにあります。通常は、このまま [OK] ボタンをクリックしてかまいません。



ここでは、このまま [OK] ボタンをクリックします。これでテキストファイルを読み込むことができます。

☞ 変換フィールドの設定の詳細は、オンラインヘルプをご覧ください。

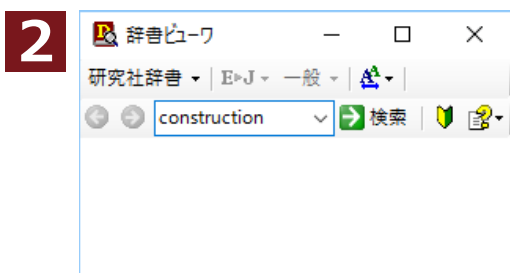
◆辞書ビューワで辞書引きするには

[その他ツールを起動]ボタンのリストから[辞書ビューワ]を選択すると、[辞書ビューワ]ウィンドウが開きます。辞書ビューワでは、英日・日英翻訳で、次のいずれかの辞書で辞書引きすることができます。その他の翻訳方向では、翻訳辞書で辞書引きすることができます。

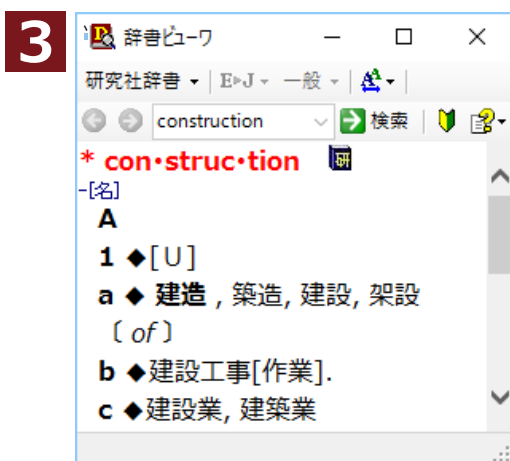
- 研究社 新英和・和英中辞典
- クイック辞書
- 翻訳辞書

基本的な辞書引き

- 1 [その他ツールを起動]ボタンをクリックして表示されるメニューから「辞書ビューワ」を選択します。
[辞書ビューワ]ウィンドウが開きます。

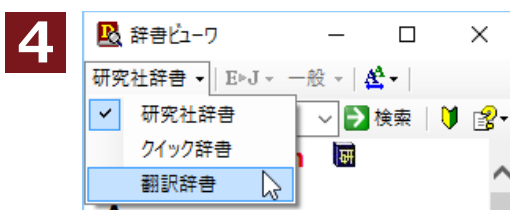


ツールバーの入力フィールドに辞書引きする語句を入力し、[検索] ボタンをクリックします。

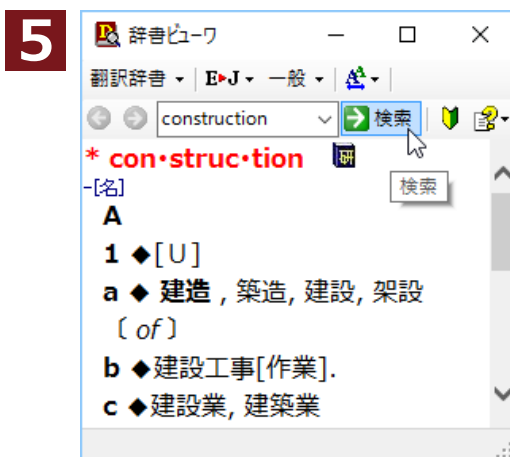


辞書引き結果が表示されます。この例では、研究社 新英和・和英中辞典で辞書引きが行われました。

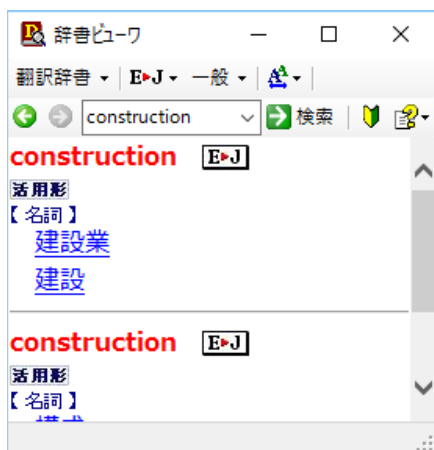
辞書の変更



今度は、別の辞書で辞書引きします。辞書のリストから「翻訳辞書」を選択します。

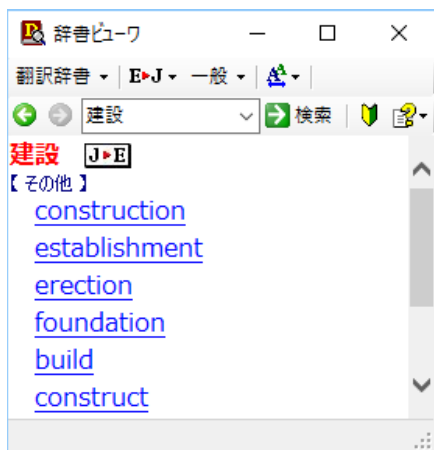


[検索]ボタンをクリックします。



翻訳辞書による辞書引き結果が表示されます。

6



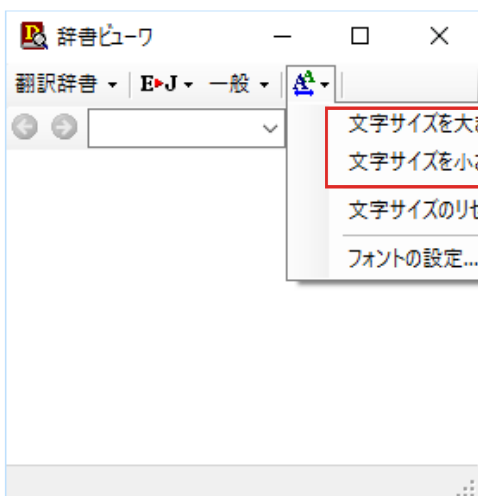
青字をクリックすると、関連する項目を参照できます。



- ・ [戻る] ボタンをクリックすると、1つ前の辞書引き結果に戻ることができます。[進む] ボタンで1つ後の辞書引き結果に進むことができます。
- ・ [クイック辞書] を選択した場合は、より高速な辞書引きが可能な専用の辞書から辞書引きすることができます。語句によっては、英語の発音記号を確認することもできます。

表示フォントを変更する.....

[フォント設定] ボタンをクリックするとメニューが表示され、文字サイズやフォントを変更することができます。



文字サイズを一段階変更します。

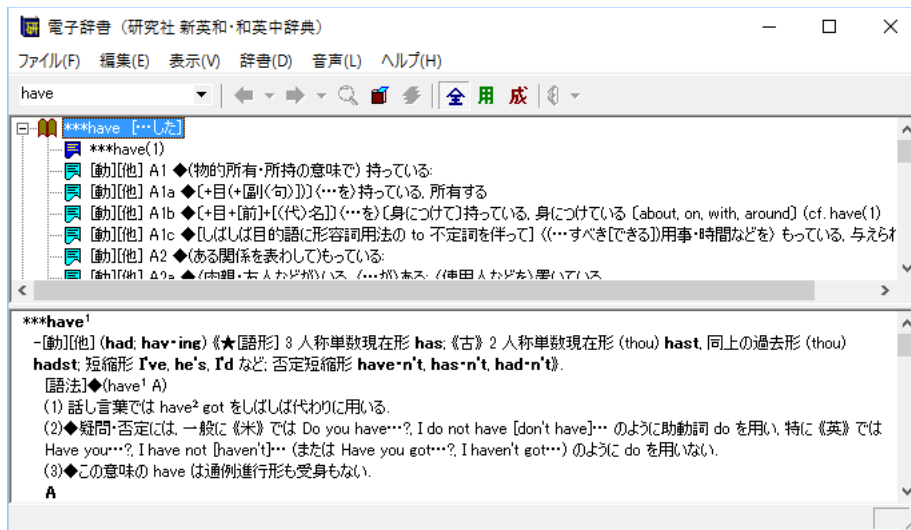
文字サイズをデフォルトに戻します。

言語別にフォントと文字サイズを設定します。

☞ その他の機能については、オンラインヘルプをご覧ください。

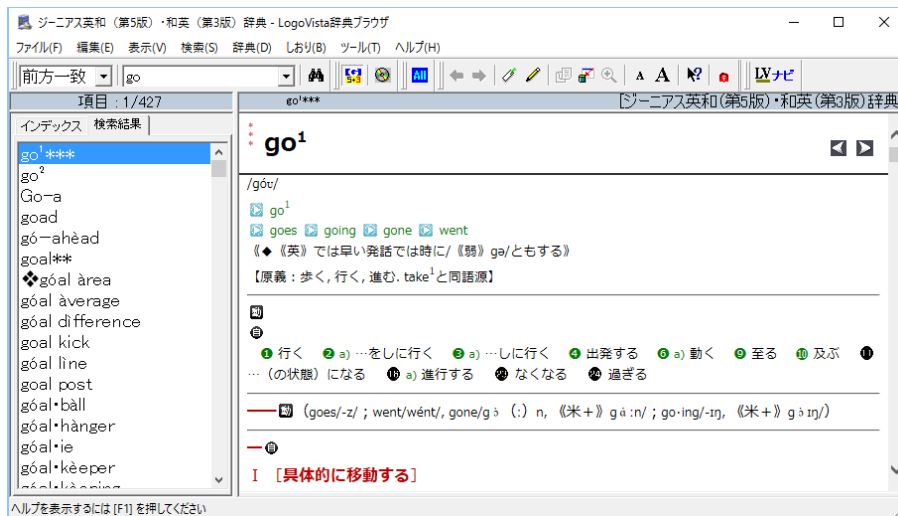
◆電子辞書（研究社 新英和・和英中辞典）

電子辞書（研究社 新英和・和英中辞典）を起動します。



◆LogoVista電子辞典

LogoVista 電子辞典ブラウザを起動します。

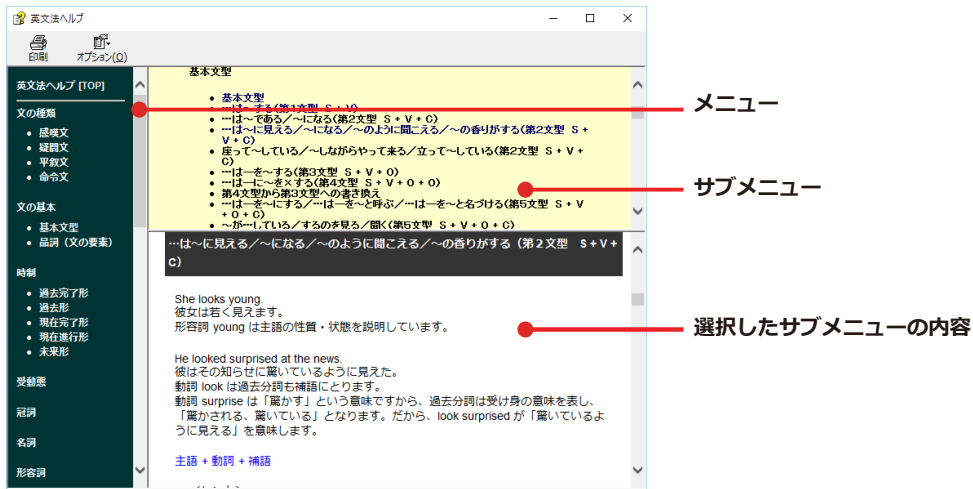


※画面は、別売の、大修館「ジーニアス英和(第5版)・和英(第3版)辞典」をインストールした LogoVista 電子辞典ブラウザです。

◆英文法ヘルプを参照するには

英文法ヘルプでは、英文法の基本がまとめられています。ちょっとした疑問を解決したいときにお使いください。

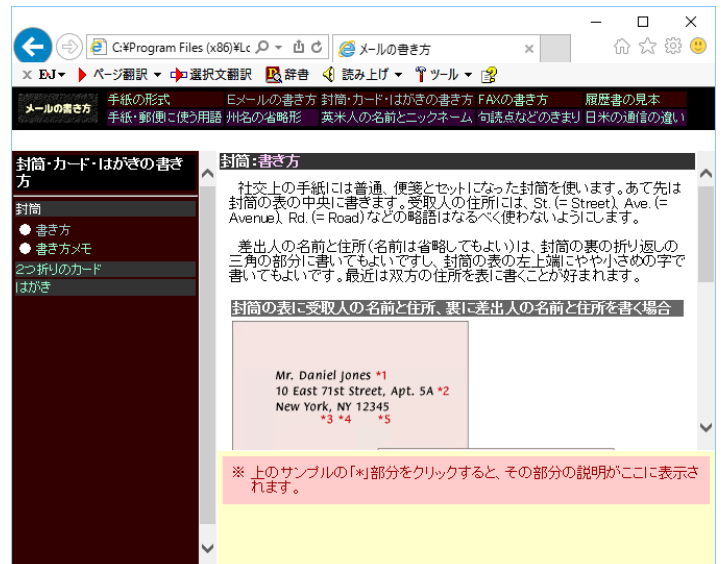
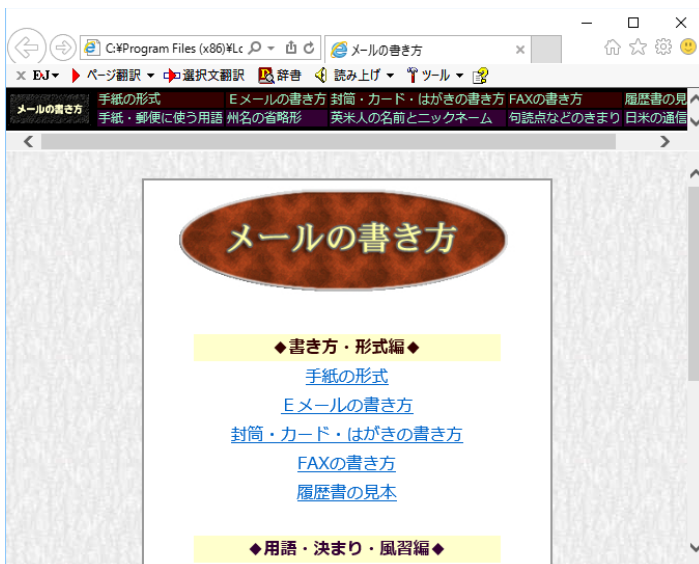
- 1 [その他ツールを起動]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[英文法ヘルプ]を選択します。英文法ヘルプが表示されます。
- 2 左側のメニューから、読みたいタイトルをクリックし、上のフレームに表示されたサブメニューからサブタイトルをクリックします。選択した内容が、下のフレームに表示されます。



◆メールの書き方を参照するには

メールの書き方には、いろいろな手紙の作成基準がまとめられています。英文メールを作成する際の参考にお使いください。

- 1 [その他ツールを起動]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[メールの書き方]を選択します。メールの書き方が表示されます。
- 2 参照したい項目をクリックして表示させます。



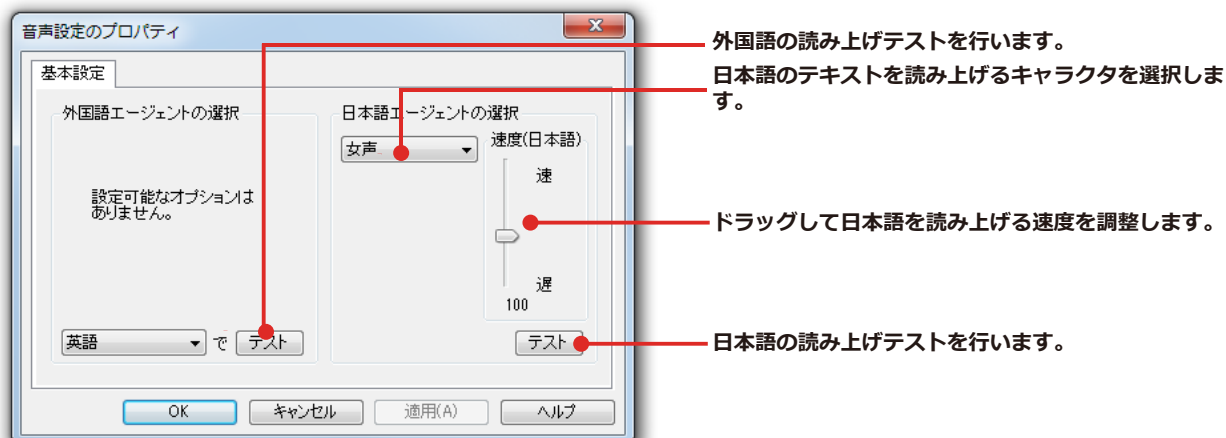
設定ツールを起動

[設定ツールを起動]ボタンには、音声読み上げのキャラクタや音量、速度を調節する「音声設定」を行う機能や、本製品の翻訳アプレットで使用するフォントの種類やサイズを設定する「フォント設定」などが用意されています。



◆音声設定

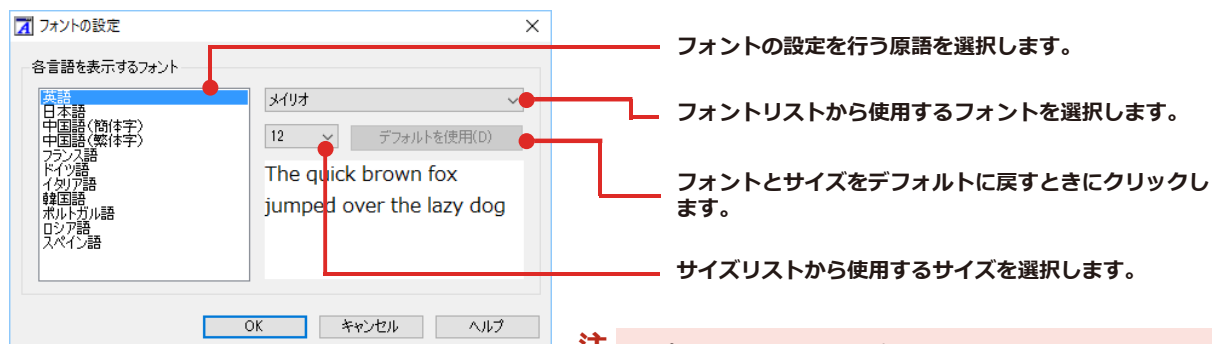
音声設定の読み上げ機能について、キャラクタを選択したり音量を調節したりすることができます。各項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。



※Windows8.1以降のOSの場合はコントロールパネルの音声認識のプロパティで設定を変更します。

◆フォント設定

本製品の各アプレットで表示するフォントの種類とサイズを設定します。[設定ツールを起動] ボタンから [フォント設定] を選択して [フォントの設定] ダイアログボックスを開いて設定します。



注意!

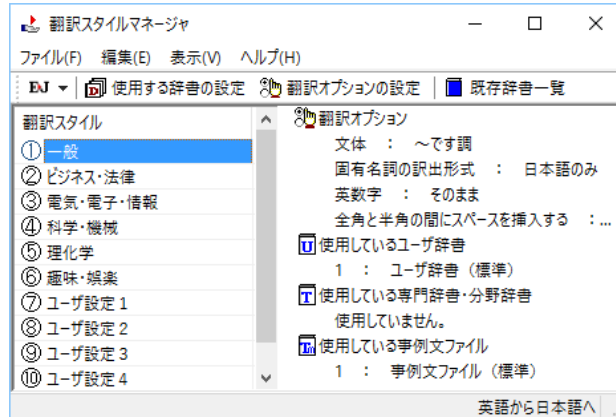
アプレットによっては、処理の都合上、「フォント設定」で選択した表示フォントが使われない場合があります。

◆ 翻訳スタイルマネージャ

翻訳スタイルマネージャを起動します。

翻訳スタイルを編集するには.....

翻訳スタイルに設定されている内容は、[翻訳スタイルの選択] ボタンのメニューにある [翻訳スタイルの編集] で、いつでも編集することができます。このボタンをクリックすると、[翻訳スタイルマネージャ] が起動します。

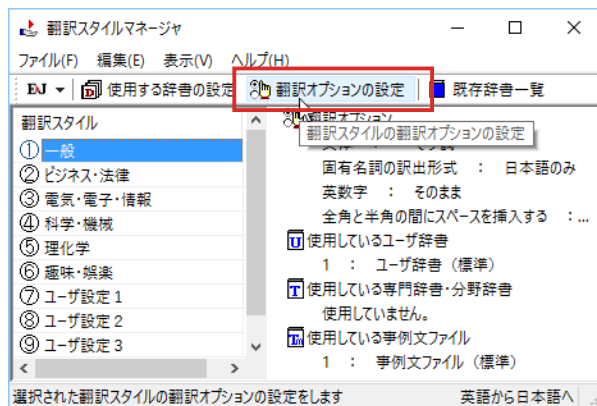


このダイアログの左側には、設定されている翻訳スタイルが一覧表示されます。その1つを選択すると、右側に設定されている内容が表示されます。

ヒント ▶ アプレットによっては、呼び出しが異なることがあります。その場合は、オンラインヘルプをご覧ください。

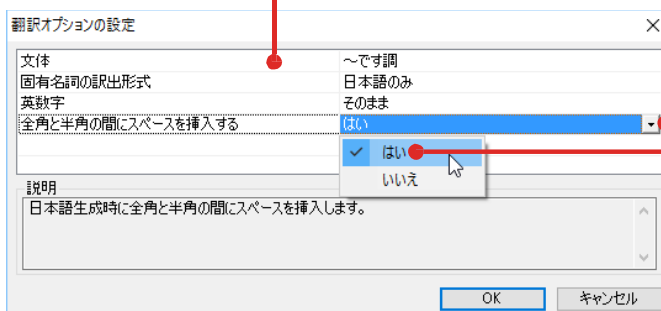
翻訳オプションを変更するには.....

[翻訳スタイルマネージャ] ウィンドウで、翻訳オプションを変更する翻訳スタイルを選択し、[翻訳オプションの設定] ボタンをクリックします。



これで、[翻訳オプションの設定] ダイアログが開きます。翻訳オプションでは、それぞれの項目をクリックすると、▼マークが出ますので、これをクリックして開くメニューから選択して設定します。

① 編集する項目をクリック



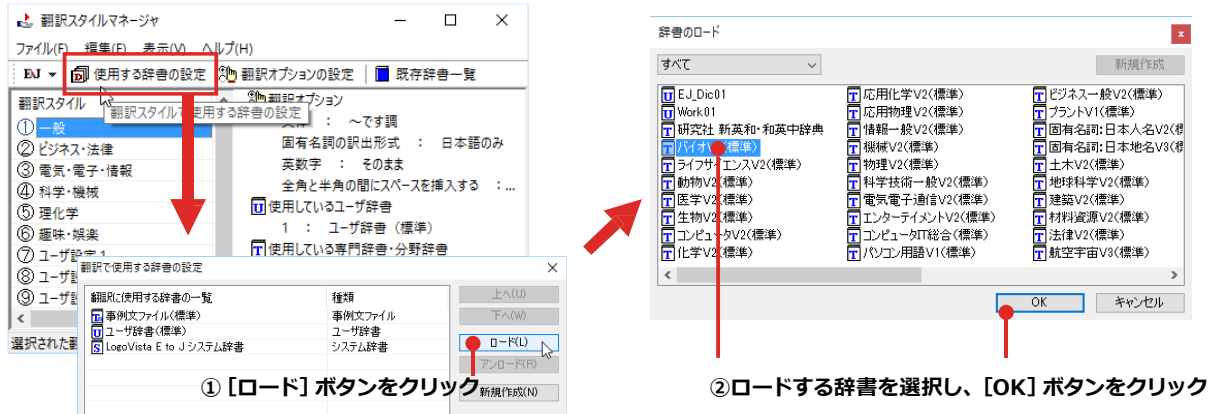
② ▼マークが出たら、クリック

③ リストが表示されたら、リストから項目を選択

分野辞書・専門辞書・辞典連携機能対応製品の翻訳辞書をロード（登録）するには.....

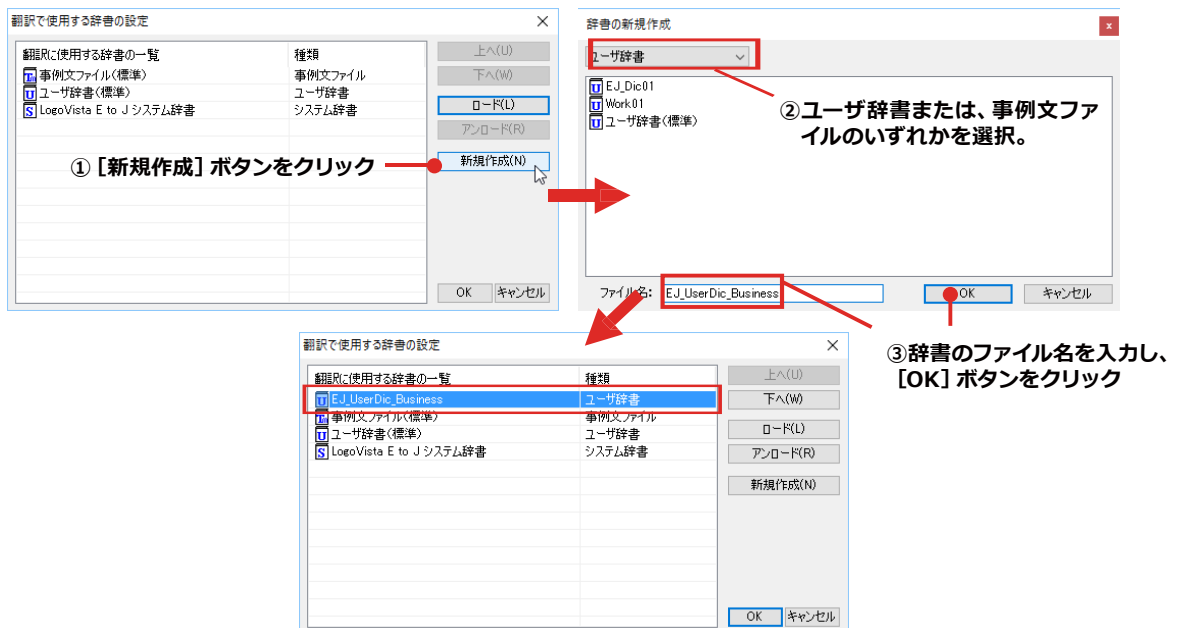
翻訳スタイル「一般」や「ユーザ設定」には分野辞書・専門辞書・辞典連携機能対応製品の翻訳辞書はロードされていません。ロードすることで翻訳に使用されます。

[翻訳スタイルマネージャ]ウィンドウで、辞書をロードする翻訳スタイルを選択し、[使用する辞書の設定]ボタンをクリックします。これで、[翻訳で使用する辞書の設定]ダイアログが開きます。



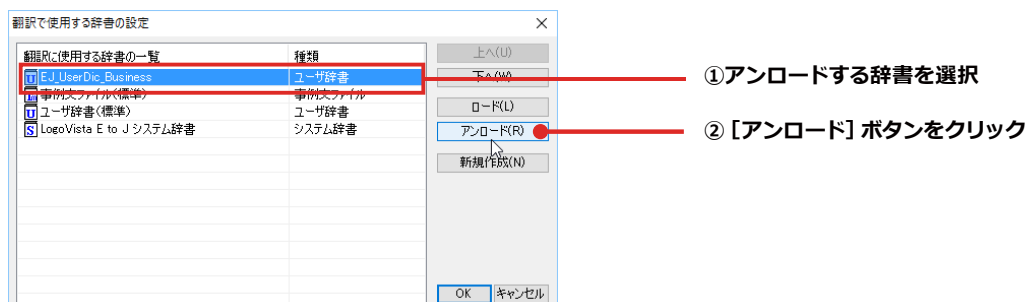
ユーザ辞書や事例文ファイルを新規に作成するには.....

ユーザ辞書は、デフォルトでは「ユーザ辞書（標準）」が用意されていますが、複数作成し、目的にそって使い分けすることができます。また、事例文を登録しておく事例文ファイルを活用することもできます。これらが必要になったときは、新規にファイルを作成し、翻訳スタイルにロードしておく必要があります。



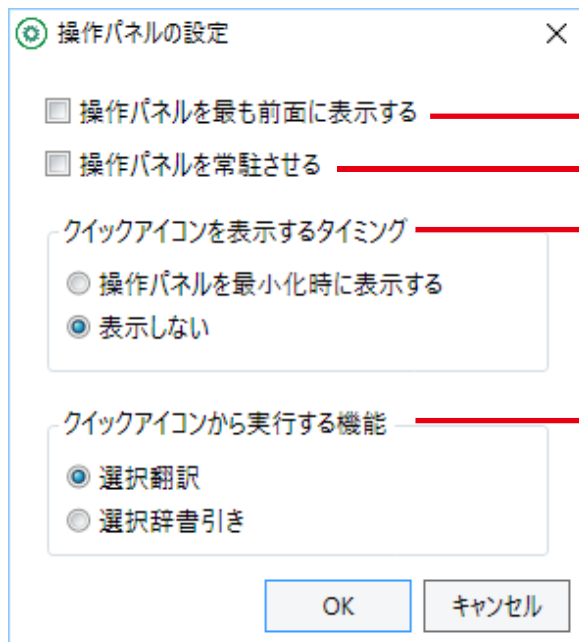
辞書をアンロード（解除）するには.....

使わない辞書をロードしたままにしておくと、翻訳速度が低下したり、思わぬ翻訳結果になったりします。使わない辞書はアンロードしておきます。



◆操作パネルの設定

ワープロなどのアプリケーションと同時に起動して、操作パネルを使う場合、翻訳を中心に作業を進めたいときは、操作パネルが常に前面に表示されていると便利です。また、翻訳を補助的に使いたいときなど、操作パネルが隠れていた方が便利な場合もあります。本製品では、このような使い方に合わせて操作パネルの表示方法を変更できます。



操作パネルの設定


- 操作パネルを最も前面に表示する
- 操作パネルを常駐させる
- クイックアイコンを表示するタイミング
 - 操作パネルを最小化時に表示する
 - 表示しない
- クイックアイコンから実行する機能
 - 選択翻訳
 - 選択辞書引き

OK キャンセル

[操作パネルを最も前面に表示する] チェックボックス
チェックしておく、操作パネルを常に画面の最前面に表示しておくことができます。

[操作パネルを常駐させる] チェックボックス
[操作パネル]を終了させても、タスクトレイに[操作パネル]アイコンを残します。Windows を起動したときにも表示されますので、いつでも本製品の機能を活用できます。

クイックアイコンを表示するタイミング
[操作パネルを最小化時に表示する]を選択すると、カーソルの横にクイックアイコンが表示されます。



クイックアイコンから実行する機能
選択翻訳または選択辞書引きを選択します。

◆HTTPプロキシ翻訳の設定

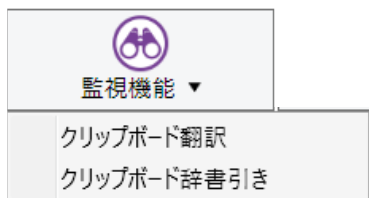
[第4章：ホームページを翻訳するには] の [2 HTTPプロキシ翻訳でホームページを翻訳するには] を参照してください。

◆ユーザデータフォルダの設定

ユーザ辞書などのユーザデータファイルを保存するフォルダを変更することができます。

監視機能

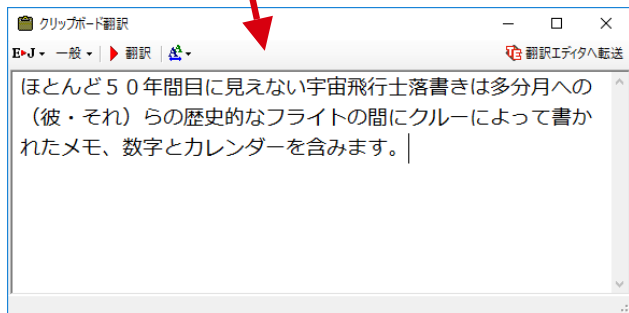
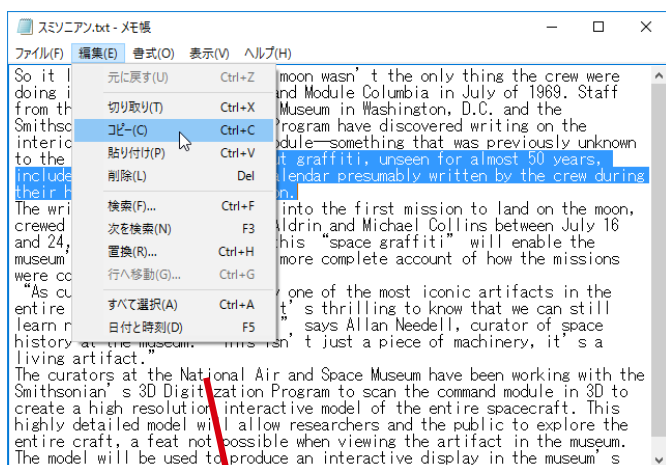
監視機能は、クリップボードを監視し、クリップボードに収納されたテキストに対し、メニューのいずれかを実行させる機能です。



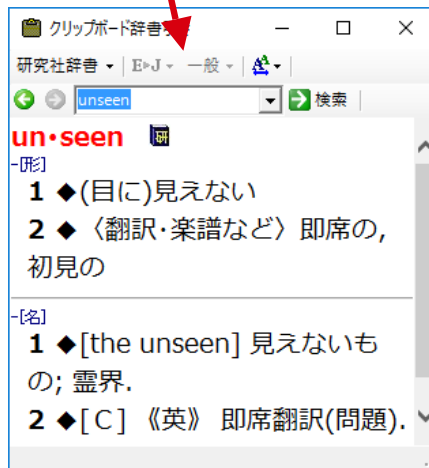
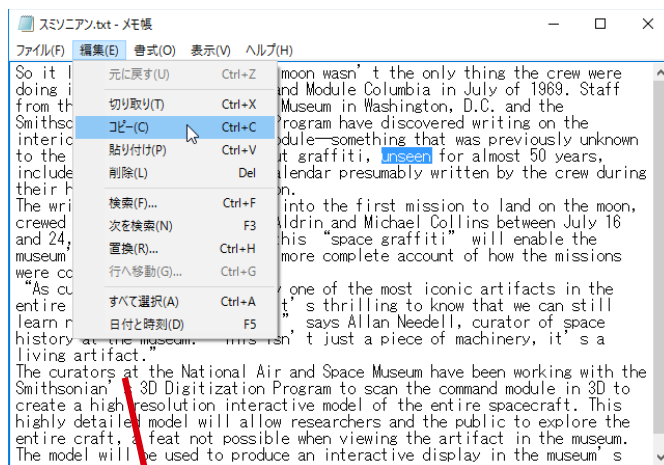
◆クリップボード翻訳、辞書引きを使うには

アプリケーション上のテキストをコピーや切り取りコマンドで、クリップボードに収納すると、翻訳、辞書引きのいずれかの機能を実行します。

翻訳



辞書引き



Chapter 3

翻訳エディタで翻訳するには

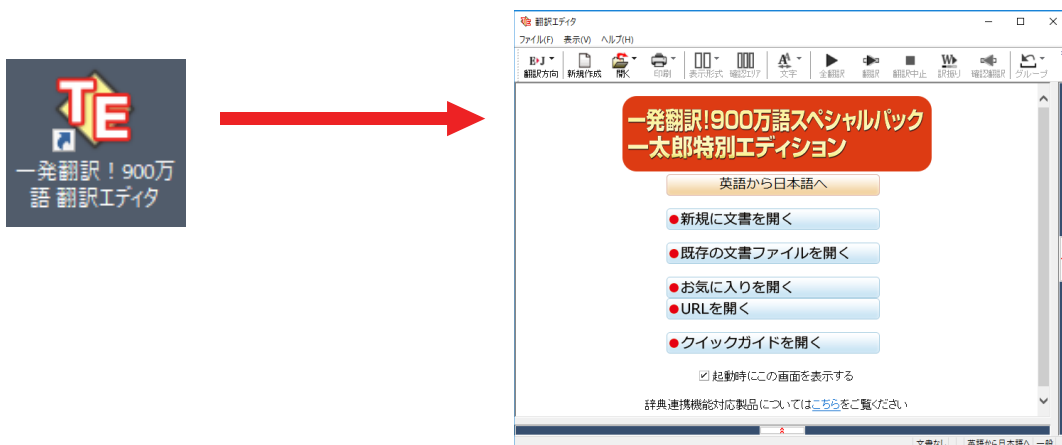
翻訳エディタについて

翻訳エディタでは、入力した原文の訳や翻訳結果の書き出し、印刷をはじめとして、原文や訳文の編集、翻訳方法の変更、辞書引き、ユーザ辞書への語句の登録などが行えます。この章では、翻訳エディタの主な機能やよりよい翻訳結果を得るためのコツを実際の翻訳例に添って説明します。

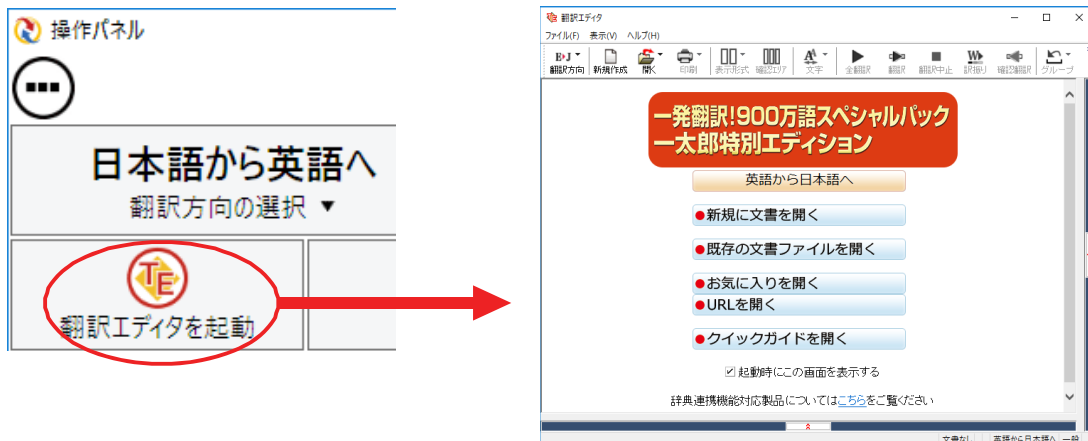
◆ 翻訳エディタを起動するには

次の3つの方法で翻訳エディタを起動できます。

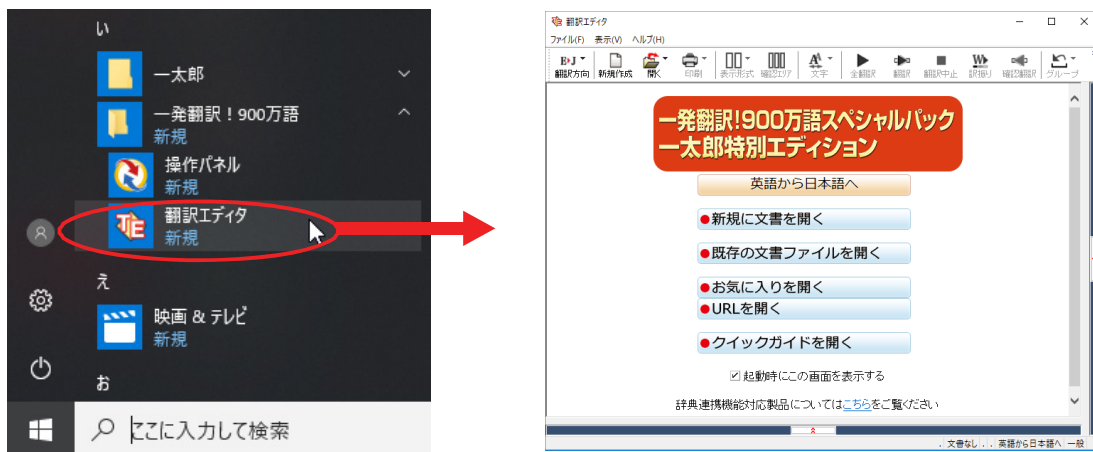
- ① デスクトップの[一発翻訳! 900万語 翻訳エディタ]をダブルクリックします。[翻訳エディタ]ウィンドウが表示されます。



- ② デスクトップの[一発翻訳! 900万語 操作パネル]をクリックして[操作パネル]を起動し、[翻訳エディタを起動]ボタンをクリックします。[翻訳エディタ]ウィンドウが表示されます。



- ③ [スタート] ボタン → [すべてのプログラム (アプリ)] → [一発翻訳! 900万語] → [翻訳エディタ] の順に選択します。Windows 8.1では [スタート] → [アプリ] → [一発翻訳! 900万語] → [翻訳エディタ] を選択します。



◆ 翻訳エディタで扱えるファイル形式

翻訳エディタでは、原文として以下のファイル形式の文書を開いて翻訳することができます。

- テキストファイル (拡張子「.txt」)
- HTMLファイル (Webブラウザで保存されたファイルまたはWebページ、拡張子「.htm」「.html」など)
- Word文書ファイル (拡張子「.doc」「.docx」)
- リッチテキスト形式のファイル (拡張子「.rtf」)
- Acrobatファイル (拡張子「.pdf」)



- ・ HTML ファイル、Word の文書ファイルやリッチテキスト形式のファイルを読み込んだときは、フォントやスタイルなどの書式情報は失われます。
- ・ 読み込めるファイルのサイズは、約 4MB(30,000文程度)までです。
- ・ Word の文書ファイル、リッチテキストファイルを読み込むためには、Word 2010～～ 2016 のいずれかが必要です。



- 英語の文は、大文字で始まり、ピリオド・疑問符・感嘆符で終わるのが原則です。ピリオド (.)・疑問符 (?)・感嘆符 (!) の後にスペース・タブ・改行コードのいずれかが続き、更に次の語句が大文字で始まる場合、文の切れ目と認識します。ダブルコロン (:)・セミコロン (;) は、見出しなど翻訳の区切りとして認識しますが文の切れ目とは認識されません。
- 日本語の文は、句点・疑問符・感嘆符で終わるのが原則です。全角の句点 (。)・疑問符 (?)・感嘆符 (!) で文の区切りとします。これらの後に括弧が続いても構いません。
- 2つ以上の改行コードは文末と認識します。見出しや箇条書きのように句読点を含まない文の場合は、次の文とつながらないように、改行を2つ以上入れます。



- ・ 英文の場合、単語の区切りに 3 つ以上の連続したスペース記号を入れると、タブ記号として処理され、スペース記号が 2 つ以下のときと翻訳結果が異なります。特に必要がなければ、スペース記号の入力は、2 つ以下にしてください。

翻訳結果は、次のファイル形式に保存、書き出しができます。

- 翻訳エディタ専用の文書ファイル (拡張子「.krydoc」) 原文や訳文以外に、翻訳方向、翻訳に使用した辞書、翻訳のしかたに関する情報などが含まれます。
- テキストファイル (拡張子「.txt」) 原文のみ、訳文のみ、左右対訳、上下対訳のいずれかの形式でテキストファイルに書き出せます。

◆ LogoVista電子辞典連携機能

付属または別売の LogoVista 電子辞典を翻訳辞書「英語→日本語翻訳」として使用することができます。

※本製品に「専門辞書」として追加されます。使用するには、他の専門辞書と同様に翻訳スタイルで辞典をロードしてください。ロードについては、[第 2 章 操作パネルの使い方]→[8 設定ツールを起動ボタンの使い方]の「分野辞書・専門辞書・辞典連携機能対応製品のロード(登録)するには」を参照してください。

※使用できるのは翻訳方向が「英語→日本語」のときのみです。

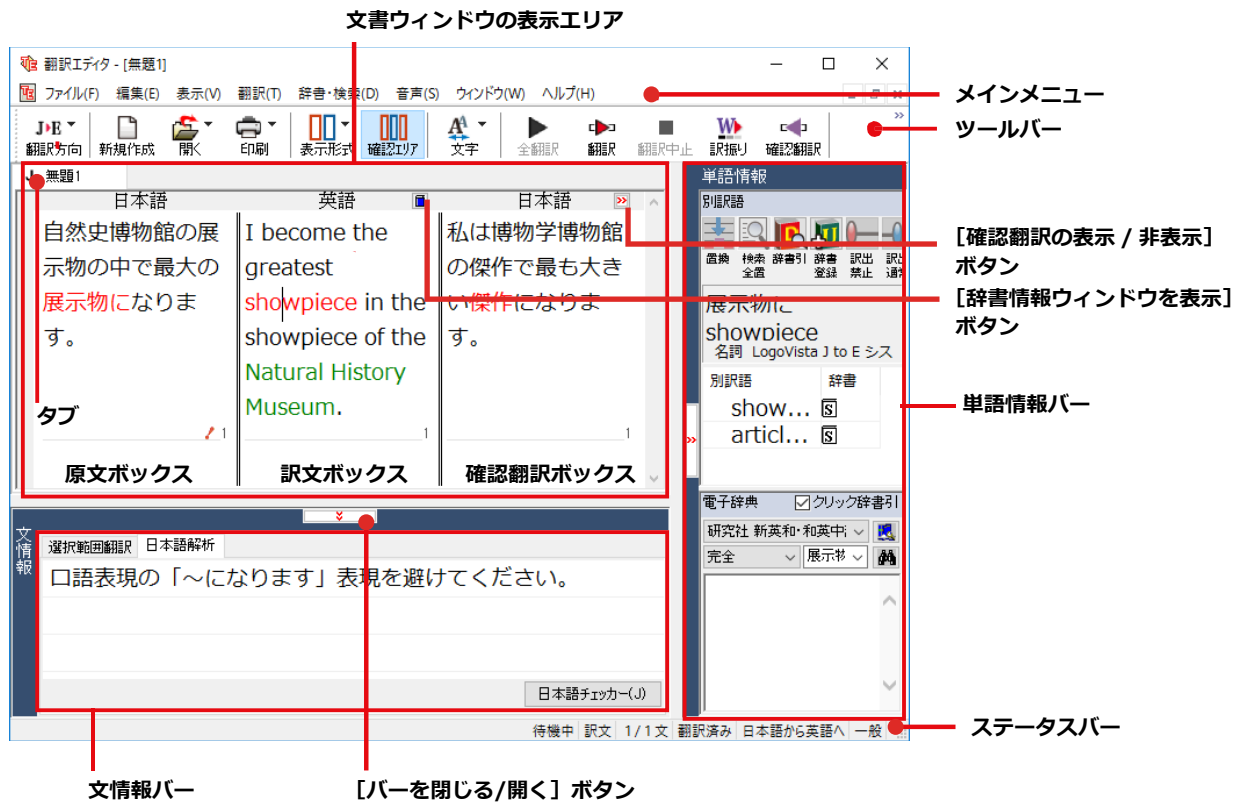
※英語以外の言語では使用できません。

※対象となる別売の LogoVista 電子辞典は、ロゴヴィスタのホームページにある専用サイトをご確認ください。

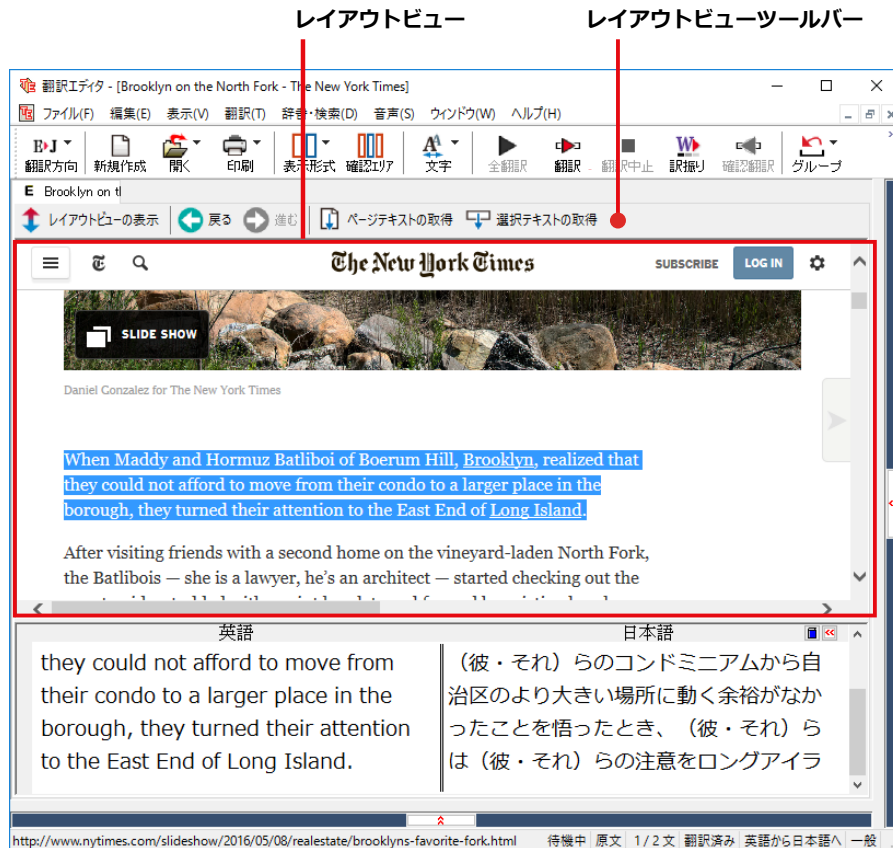
[操作パネル]→[サポート]→[辞典連携機能対応製品について] を選択してください。Web ブラウザが起動して弊社の専用ページが表示されます。

http://www.logovista.co.jp/LVERP/information/shop/trans-dic_align/index.html

◆ 翻訳エディタの名称と機能



※日本語テキストを翻訳中の画面

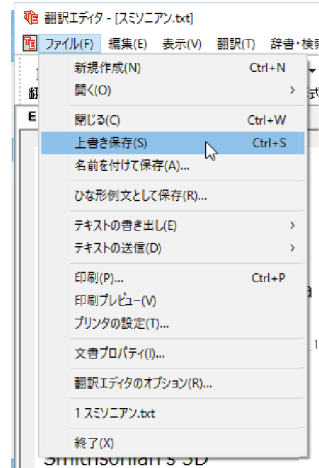


※Webページを翻訳中の画面

メインメニュー

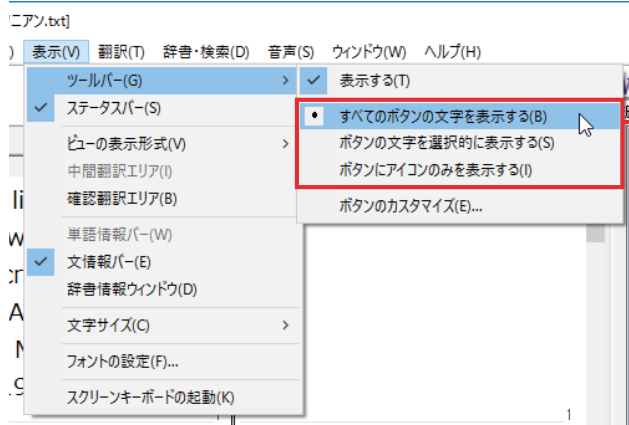
翻訳エディタのコマンドメニュー形式でまとめられています。メニュー項目をクリックするとプルダウンメニューが表示され、その中から実行するコマンドを選択します。

☞メインメニューのコマンドについては、オンラインヘルプをご覧ください。



ツールバー

よく使用する翻訳エディタのコマンドボタンの形式でまとめられています。クリックすると、実行できます。ツールバーの表示形式は[表示]メニューの[ツールバー]のサブメニューで設定できます。[すべてのボタンに文字を表示する][ボタンの文字を選択的に表示する][ボタンにアイコンのみを表示する]のいずれかを選択できます。



ツールバーにコマンド名を表示するかどうかを設定

【すべてのボタンの文字を表示する】



【ボタンの文字を選択的に表示する】

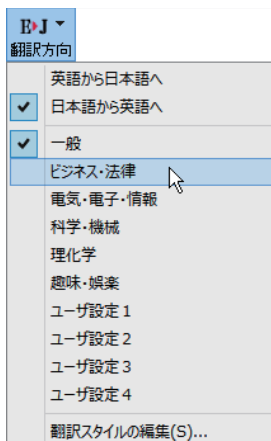


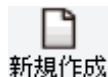
【ボタンにアイコンのみを表示する】



【翻訳方向】ボタン

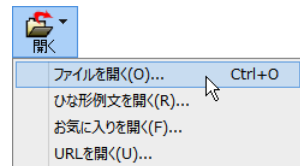
翻訳方向の選択と翻訳スタイルの選択を行います。



[新規作成] ボタン

新規作成

新しい文書を開き、空の文書ウィンドウを表示します。

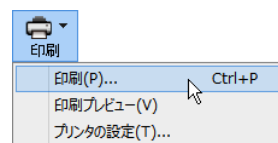
[開く] ボタン

クリックすると、文書や Web ページを開くためのメニューが表示されます。

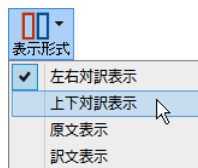
[ファイルを開く] では、保存してある翻訳エディタ専用の文書ファイル（拡張子「.krydoc」）や、翻訳したいテキストファイル、Word 文書ファイル、PDF などを開くことができます。

[ひな形を開く] では、300 以上の英文レターのひな形例文から作成したい英文のサンプルとして文書を開くことができます。

[お気に入りを開く]、[URL を開く]では、Web ページを開くことができます。

[印刷] ボタン

クリックすると、文書の印刷に関するメニューが表示されます。

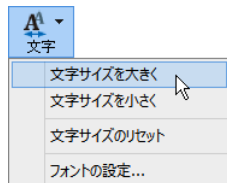
[表示形式] ボタン

文書ウィンドウの表示形式を変更できます。[左右対訳表示][上下対訳表示][原文表示][訳文表示]のいずれかの形式を選択できます。

[確認翻訳エリア表示] ボタン

確認エリア

[確認翻訳エリア]の表示/非表示を切り替えます。

[文字] ボタン

文書ウィンドウに表示する文字サイズやフォントを変更します。

[文字サイズを大きく][文字サイズを小さく][文字サイズのリセット]では、原文ボックス、訳文ボックス、日本語解析、選択範囲翻訳、単語情報バーすべての文字サイズを同時に変更します。[フォントの設定]では、言語ごとにフォントと文字サイズを指定できます。

[全翻訳] ボタン

全翻訳

原文ボックスのすべての未翻訳の原文を翻訳し、訳文ボックスに訳文を表示します。翻訳後、編集した原文も翻訳対象にします。



翻訳

[選択文翻訳] ボタン

ポインタが置かれている原文、または選択されている複数の原文を翻訳し、訳文を訳文ボックスに表示します。



翻訳中止

[翻訳停止] ボタン

実行中の翻訳を中止します。

【訳振り】 ボタン



訳振り

クリックしてオンにすると、文書ウィンドウの表示が訳振りモードになります。訳振りモードでは、原文の主要単語の上に訳語が表示されます。

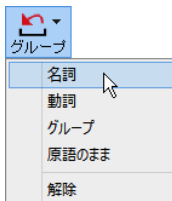
【確認翻訳の実行】 ボタン



確認翻訳

ポインタが置かれている文の翻訳結果の文、再度、オリジナル言語へと逆方向に翻訳し直し、結果を表示します。確認翻訳された文が原文テキストとほぼ同じ意味であれば、翻訳がかなり正確だと判断できます。

【グループ指定】 ボタン



グループ

名詞
動詞
グループ
原語のまま
解除

英語から日本語へ翻訳する場合に有効になります。翻訳結果が思わしくないとき、特に文節の区切りや品詞を取り違えて翻訳されているときに使います。選択した語句の品詞（[名詞][動詞]）の設定、文節を明確にするために選択した語句の[グループ]の指定、[原語のまま]訳したい語句の指定、または、これらの[解除]をすることができます。

【辞書引き】 ボタン



辞書引き

選択した語句を研究社 新英和・和英中辞典、クイック辞書、翻訳辞書で辞書引きします。

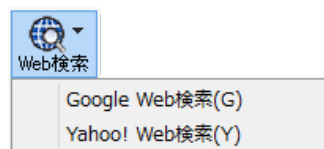
【例文検索】 ボタン



例文検索

ビジネスレターや私的な手紙、案内状などのひな形や、状況に応じたさまざまな例文を検索して、編集集中の文書に転送できます。

【Web検索】 ボタン



Web検索

Google Web検索(G)
Yahoo! Web検索(Y)

選択した語句を、検索サイトで検索します。[Google Web 検索][Yahoo! Web 検索]のいずれかを選択できます。

【音声読み上げ】 ボタン



読み上げ

選択した文を音声読み上げします。

【スクリーンキーボードの起動】 ボタン



キーボード

スクリーンキーボードを起動します。マルチリンガル版をお使いのとき、英語に含まれないアルファベットやアクセント記号などを入力するときに便利です。


【ナビ】 ボタン



LVナビ


簡単な操作説明を記述した LV ナビのウィンドウを表示します。

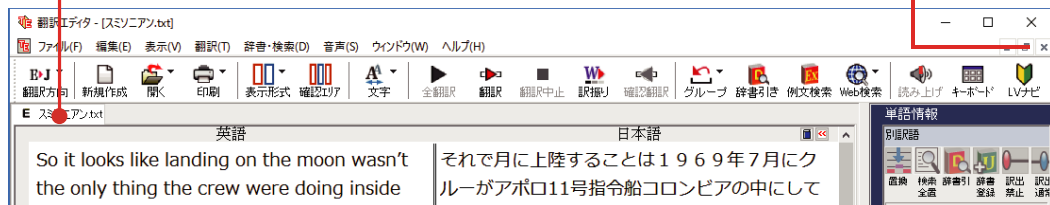
文書ウィンドウの表示エリア

翻訳エディタでは、原文と訳文を含む文章のセットを1つの文書として扱い、文書ウィンドウに表示します。翻訳エディタを起動後の最初に新規文書や既存の文書を開くと文書ウィンドウは最大化され、[翻訳エディタ] ウィンドウと一体化します。複数の文書を開いたときは、タブまたはウィンドウメニューで編集する文書を選択できます。編集中の文書を閉じるときは、[ファイル] メニューの [閉じる] を選択するか、 [閉じる] ボタンをクリックするか、タブを右クリックしてコンテキストメニューから [閉じる] を選択します。

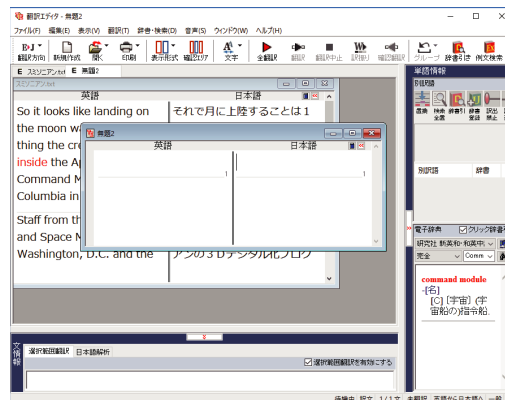
タブ

原文の言語を表すアルファベットと、文書名が表示されます。クリックした文書が表示されます。

 [閉じる] ボタン
表示中の文書を閉じます。



文書ウィンドウを最小化または拡大表示して、複数の文書を同時に表示することもできます。



文書ウィンドウ

原文ボックス

翻訳元のテキストを入力するボックスです。翻訳エディタはこのボックスにあるテキストを翻訳します。原文ボックスには、次のいずれかの方法でテキストを入力します。

- キーボードから直接入力する、ファイルに保存されたテキストを読み込む、アプリケーション上からテキストをコピー&貼り付け、またはドラッグ&ドロップする。
- OCRソフトでテキストファイルに保存されたテキストを読み込む。

原文ボックスのテキストは [編集] メニューのコマンドやキーボードで編集できます。翻訳済みの原文テキストを編集すると、その文が自動的に再翻訳されます。(自動的に再翻訳しないオプションもあります。)

訳文ボックス

翻訳された訳文が表示されます。1文ごとに原文に対する形式で表示されます。訳文ボックスのテキストは [編集] メニューのコマンドやキーボードで編集できます。

確認翻訳ボックス

[確認翻訳]には、翻訳結果の文を、再度、オリジナル言語へと逆方向に翻訳し直した結果が表示されます。確認翻訳された文が原文テキストとほぼ同じ意味であれば、翻訳がかなり正確だと判断できます。

中間翻訳結果

マルチリンガル版で、日本語と欧州言語間の翻訳など、英語を介して翻訳するときに表示されます。原文を中間言語である英語に翻訳した結果が表示されます。[中間翻訳結果]の内容を編集すると、訳文に反映されます。

単語情報バー

単語情報バーには、原文ボックスまたは訳文ボックスで選択した単語に関する情報が表示されます。▶▶ [バーを閉じる] ボタン/◀◀ [バーを開く] ボタンで表示/非表示を切り替えられます。

[別訳語]には、単語対応表示させた単語の別訳語が表示されます。

[電子辞典]では、電子辞典での辞書引きが可能で、[クリック辞書引]にチェックを入れている場合、選択した単語が自動で辞書引きされます。

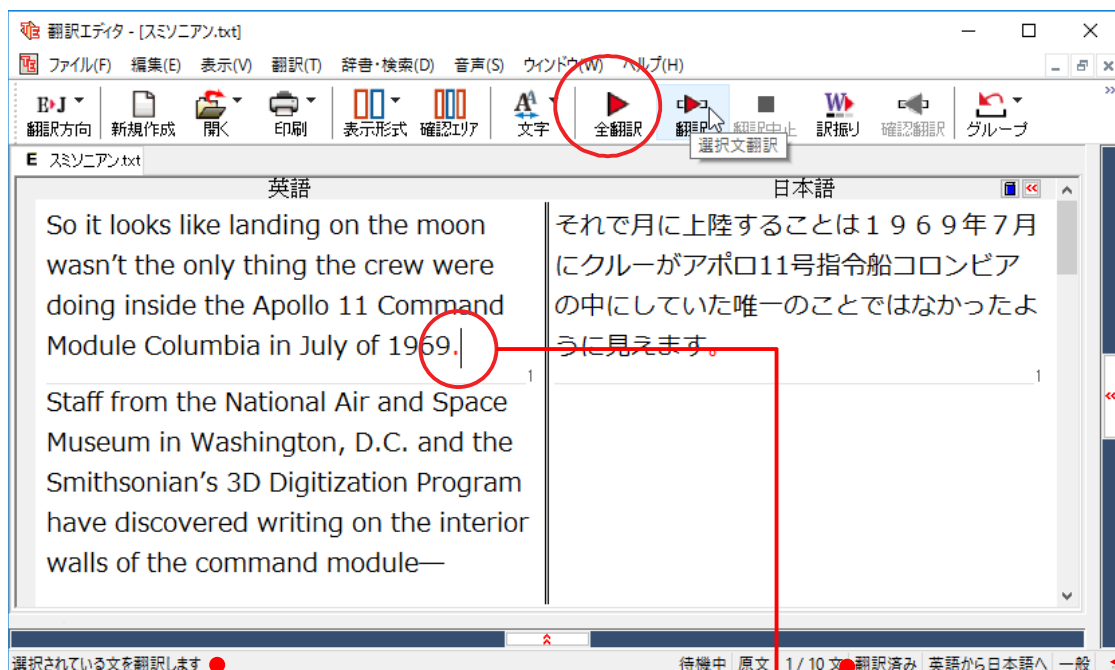
- 原文ボックスまたは訳文ボックスで単語を選択後 [辞書引き] コマンドの実行
- 原文ボックスまたは訳文ボックスで単語を選択し [クリック辞書引] での自動辞書引き
- [別訳語] のリストでリスト内の項目を選択
- 電子辞典の入力ボックスに語句を入力して辞書引き

文情報バー

[日本語解析]は、日本語から英語または別の言語に翻訳する時に有効になります。原文を分析し、翻訳に誤りが起こるようなあいまい要素があった場合は、その情報を表示します。日本語解析結果リストから項目を選択して [日本語チェッカー] ボタンをクリックすると、日本語編集ウィンドウが表示されます。編集ポイントを参考に、日本語を修正し [書き換え] ボタンをクリックします。[選択範囲翻訳]は、原文をマウスでドラッグすると、ドラッグされている部分だけの翻訳結果が自動で表示されます。▼ [バーを閉じる] ボタン/▲ [バーを開く] ボタンで表示/非表示を切り替えられます。

ステータスバー

コマンドボタンの説明や、現在行われている作業の内容 (待機中、翻訳中など)、ポインタの位置の情報 (原文か訳文か、行数) を表示します。また、選択されている翻訳方向や翻訳スタイルも表示されます。



マウスカーソルが置かれている
ツールバーボタンの説明

ポインタ位置の情報

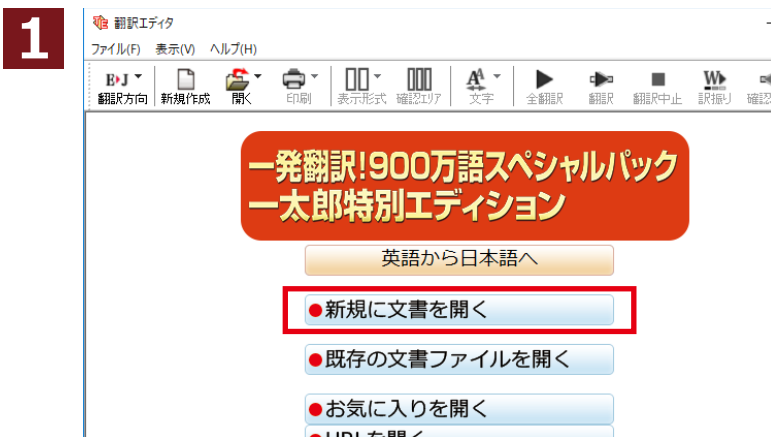
ステータスバー

◆原文エリアへの音声入力

原文エリアへの音声による入力機能です。

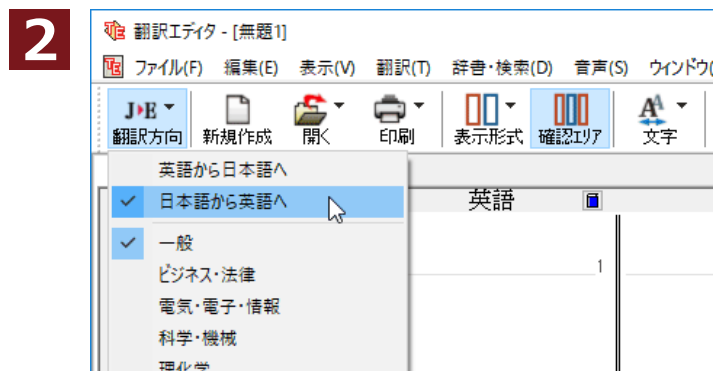
注意!

- 事前にWindowsコントロールパネルにある音声認識の設定や言語パックのインストールが必要となります。また、OSによって利用できる言語の条件やインストール方法に違いがあります。対応するOSは、Windows10/8.1となります。
- ご使用のパソコンに入力装置がない場合は、別途入力装置が必要です。



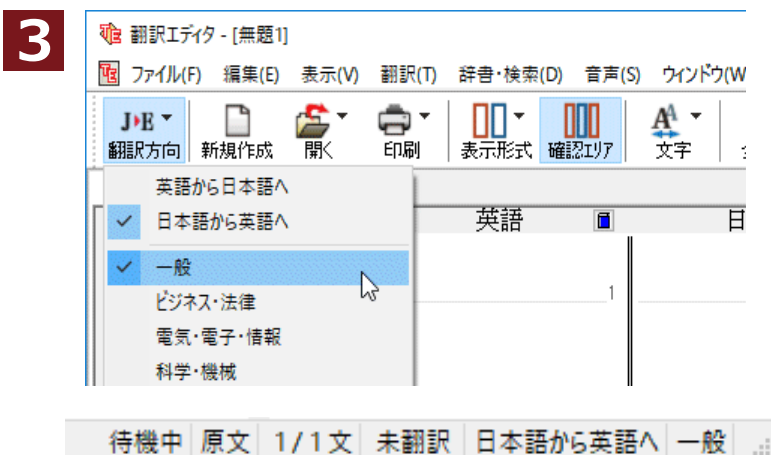
翻訳エディタを起動します。

起動メニューから[新規に文書を開く]ボタンをクリックし、新規文書を開きます。



[翻訳方向と翻訳スタイルの選択]ボタンをクリックし、翻訳方向を選択します。

この例では、[日本語から英語へ]を選択します。

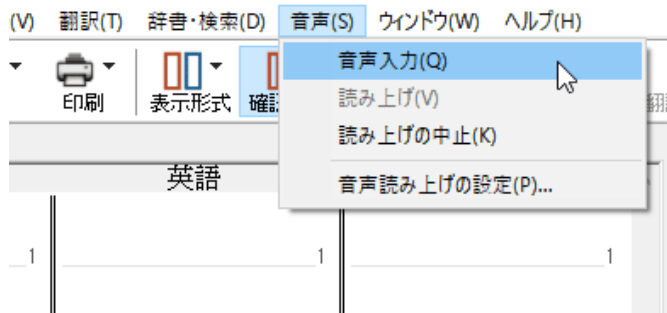


再度、[翻訳方向と翻訳スタイルの選択]ボタンをクリックし、翻訳スタイルを選択します。

この例では、[一般]を選択します。

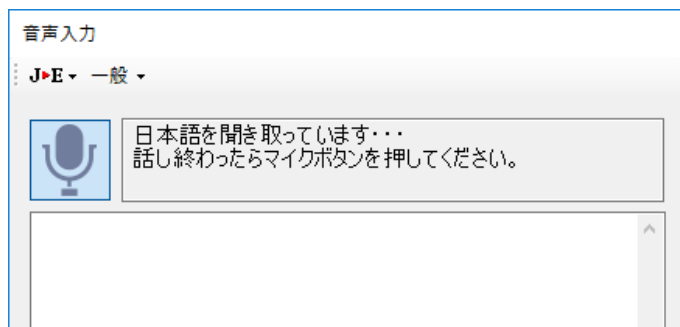
選択した翻訳方向と翻訳スタイルがステータスバーに表示されます。

4



メニューにある[音声]から[音声入力]を選択します。

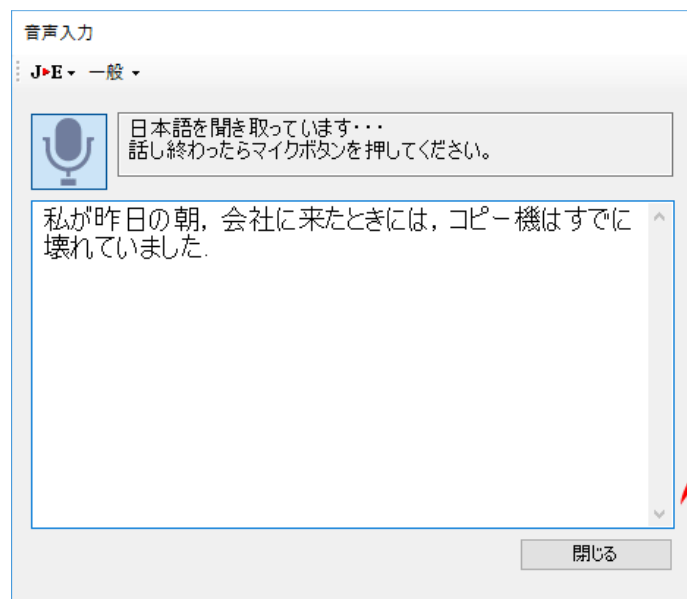
5



音声入力画面がでできます。

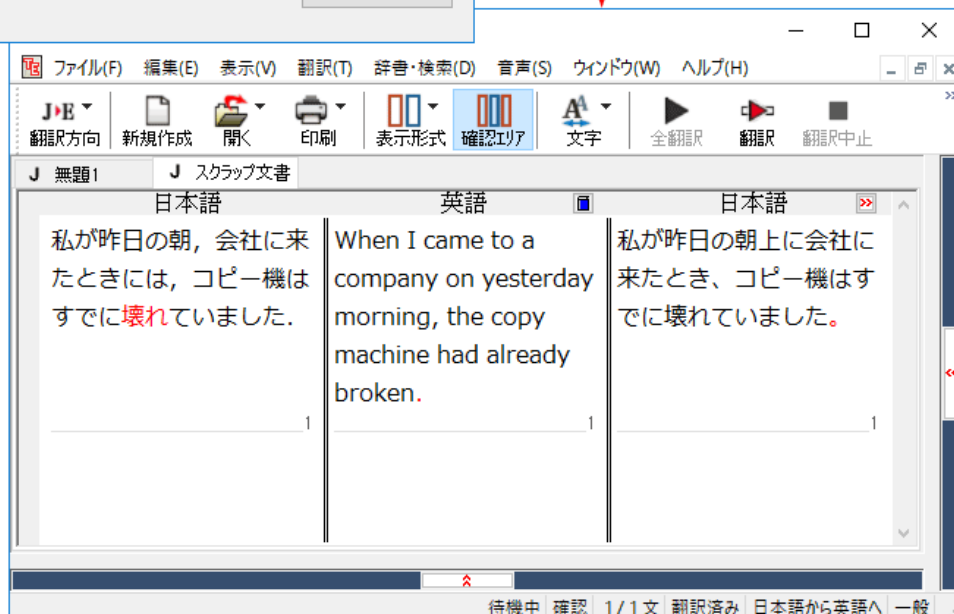
翻訳する原文を音声入力します。

6



話し終わったらマイクボタンをおしてください。

マイクボタンを押すと自動で翻訳結果が表示されます。



2

基本的な翻訳の流れ

翻訳エディタの最も基本的な機能を使って、原文の翻訳から、結果を保存・印刷するまでの流れを説明します。

◆ 翻訳の準備

翻訳エディタを起動したら、起動メニューから[新規に文書を開く]を選択して新規文書を開きます。翻訳方向と翻訳スタイルを設定し、翻訳する原文を入力します。

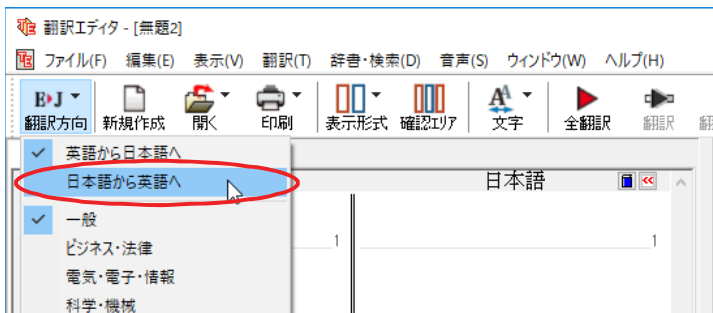
1



翻訳エディタを起動します。

起動メニューから[新規に文書を開く]ボタンをクリックし、新規文書を開きます。

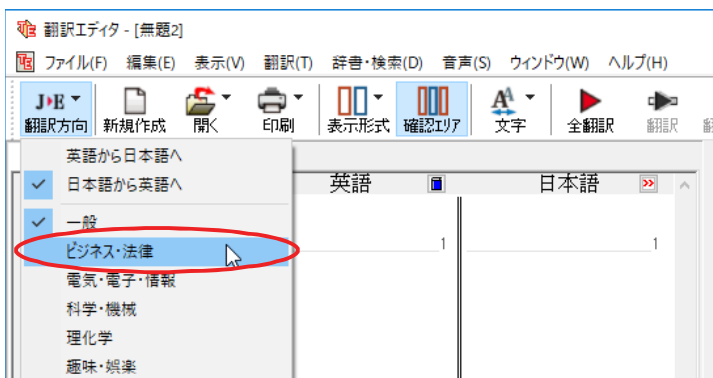
2



[翻訳方向と翻訳スタイルの選択] ボタンをクリックし、翻訳方向を選択します。

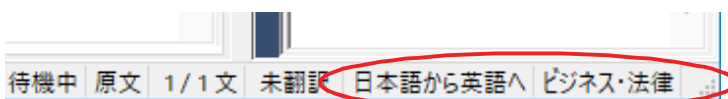
この例では、[日本語から英語へ]を選択します。

3



再度、[翻訳方向と翻訳スタイルの選択]ボタンをクリックし、翻訳スタイルを選択します。

この例では、[ビジネス・法律]を選択します。



選択した翻訳方向と翻訳スタイルがステータスバーに表示されます。

4



翻訳する原文を入力します。

これで翻訳の準備ができました。

◆ 翻訳する

入力した原文は、[全翻訳]または[翻訳]ボタンで翻訳できます。

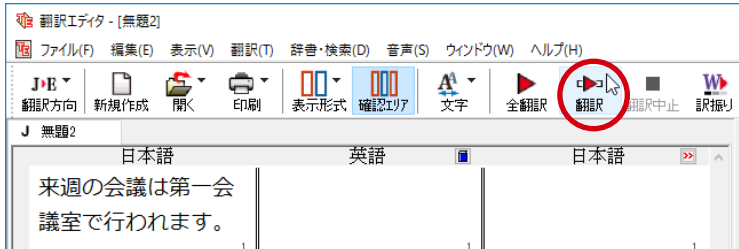


- ・[選択文翻訳]は、翻訳・未翻訳に関わらず、ポインタが置かれている文または選択している複数の文を翻訳します。
- ・[すべて翻訳]は、未翻訳のすべての原文を頭の実行から順次翻訳します。

注意!

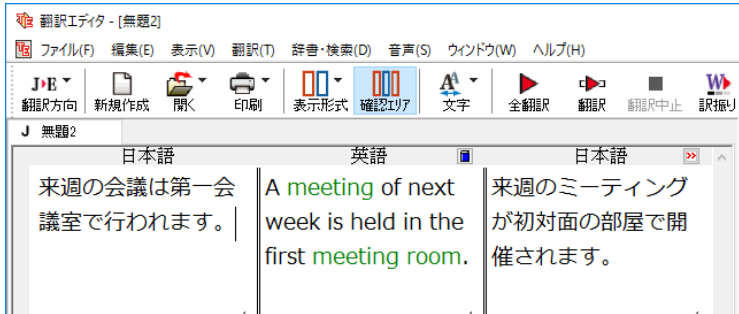
いちど翻訳した後に原文を編集した場合、その原文も「未翻訳」として扱われます。

1



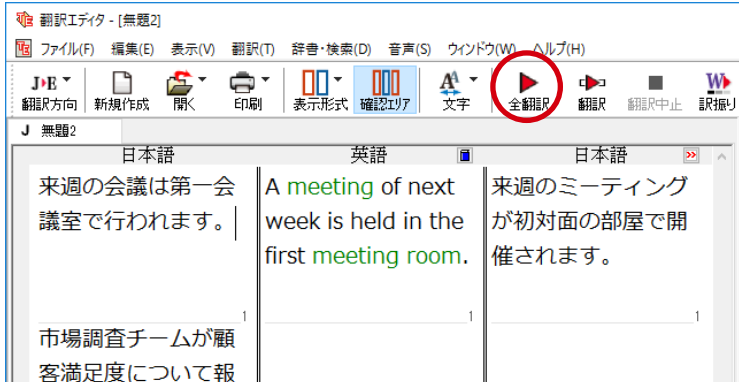
最初の文だけを翻訳してみましょう。

1文目の原文にポインタを置き、[翻訳]ボタンをクリックします。



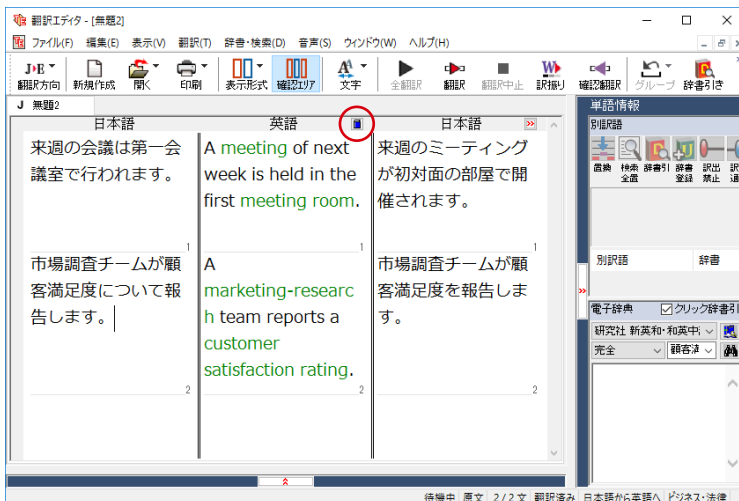
1文目が翻訳され、訳文ボックスに訳文が表示されます。このように[翻訳]では、ポインタの置かれた文だけを翻訳します。


2

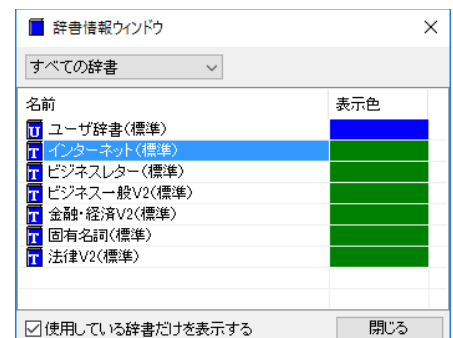


残りの文をまとめて翻訳してみましょう。

[全翻訳]ボタンをクリックします。



未翻訳のすべての原文が翻訳され、訳文ボックスのそれぞれの行に訳文が表示されます。緑色に表示されている単語は出典元の辞書を参照することができます。単語を選択し、 ボタンをクリックします。



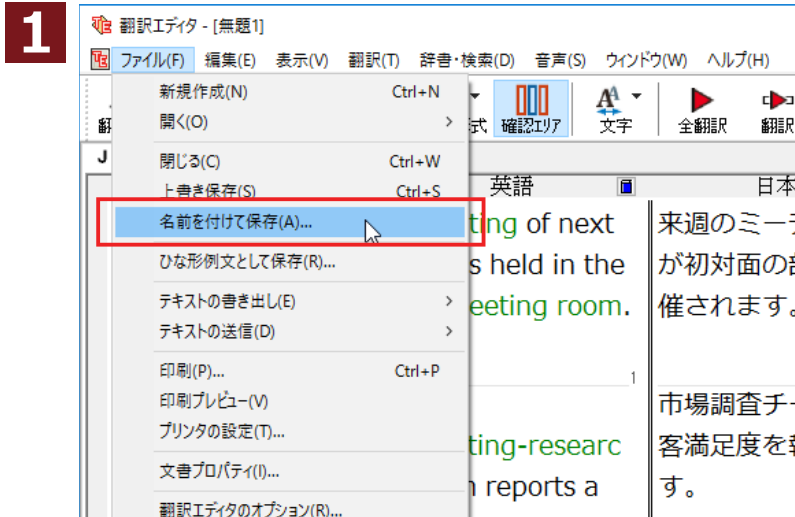
翻訳エディタには、訳文の精度を上げていくためのさまざまな機能が用意されています。詳しくは「3 英文を翻訳してみよう」、「4 和文を翻訳してみよう」をお読みください。

◆ 翻訳結果を保存する

翻訳結果は翻訳エディタ専用の文書ファイルに保存できます。文書ファイルには、原文と訳文のほか、翻訳方向や使用した翻訳スタイルなどの情報も記録され、翻訳エディタでの作業内容がそのまま保存されます。また、翻訳結果を別のアプリケーションソフトなどで利用したい場合は、テキスト形式のファイルに書き出すことができます。

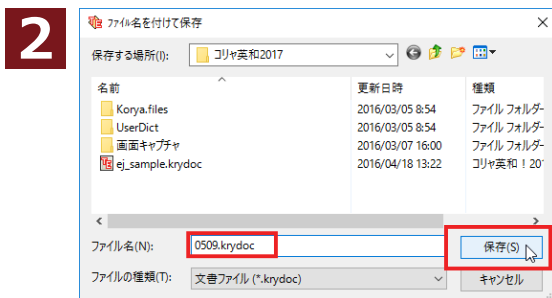
文書ファイルに保存する.....

翻訳結果を翻訳エディタ専用の文書ファイルに保存します。



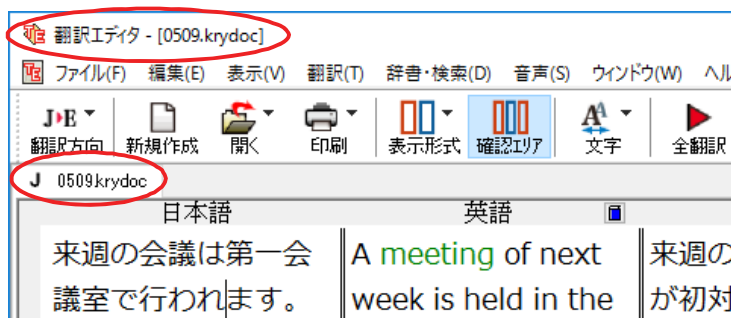
[ファイル] メニューから [名前を付けて保存] を選択します。

[ファイル名を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。



必要に応じて、保存先のフォルダに移動し、ファイル名を入力して [保存] ボタンをクリックします。

これで文書ファイルに保存できます。



保存されると、ファイル名がウィンドウに表示されます。



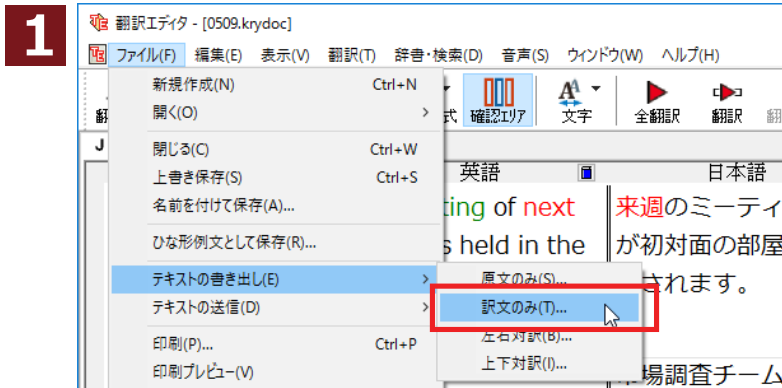
すでに保存してある文書ファイルに上書き保存するときは、[上書き保存] コマンドを使います。まだ保存したことがない文書の場合は、[ファイル名を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

テキストファイルに書き出す.....

テキストファイルには、次のいずれかの形式で書き出しができます。

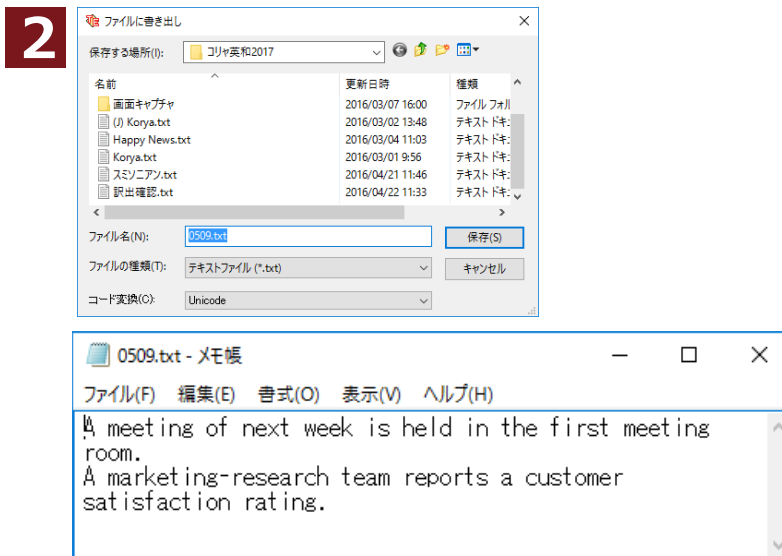
- 原文のみ
- 訳文のみ
- 左右対訳
- 上下対訳

ここでは「訳文のみ」の形式で書き出してみましょう。



[ファイル] メニューから [テキストの書き出し] を選択し、サブメニューから [訳文のみ] を選択します。

[ファイルに書き出し] ダイアログボックスが表示されます。



必要に応じて、保存先のフォルダに移動してファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックします。

訳文ボックスの内容が、テキストファイルに書き出されます。

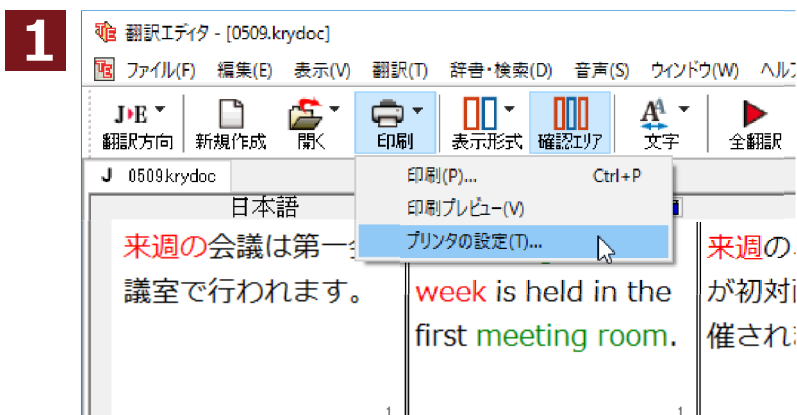
左の画面例は、書き出されたテキストファイルをメモ帳で開いたものです。このように、1文ごとに改行して保存されます。

◆ 翻訳結果を印刷する

翻訳結果を印刷してみましょう。翻訳エディタではビューの表示形式に応じて印刷することができます。最初に表示形式ボタンから、印刷する表示形式を決めておきます。

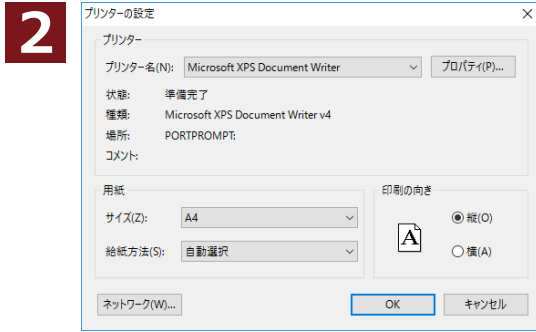
プリンタの設定.....

最初に印刷するプリンタや用紙サイズ、用紙の向きなどの設定を行います。



[印刷] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [プリンタの設定] を選択します。

[プリンタの設定] ダイアログボックスが開きます。



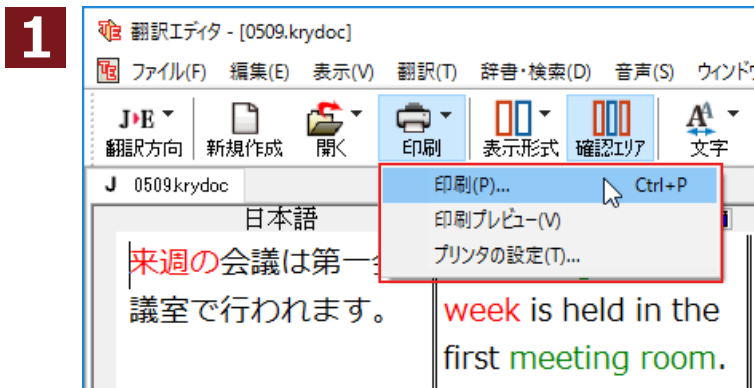
印刷するプリンタや用紙サイズ、用紙の向きなどを設定します。このダイアログの機能は、他のWindowsのアプリケーションと共通です。設定できたら [OK] ボタンをクリックします。

注意!

ご使用のプリンタによって、ダイアログの内容は異なります。

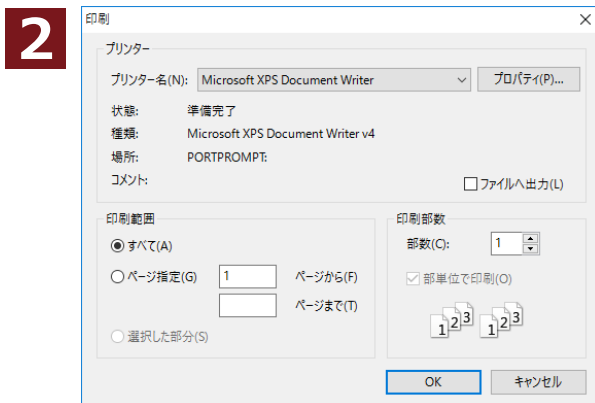
印刷の実行

印刷を実行する前に、プリンタが接続され、印刷できる状態になっていることを確認してください。



[印刷] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [印刷] を選択します。

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。



印刷部数などを設定し、[OK] ボタンをクリックします。

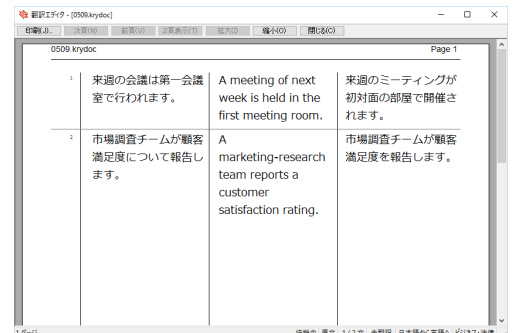
注意!

ご使用のプリンタによって、ダイアログの内容は異なります。

印刷が実行されます。



印刷前に、印刷されるイメージを画面に表示して確認できます。確認するときは、[印刷] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [印刷プレビュー] コマンドを選択します。図のようなプレビュー画面が表示され、どのように印刷されるかが確認できます。



[ファイル]メニューの[翻訳エディタのオプション]コマンド[印刷]タブでは、印刷に関する次の設定ができます。

- ・原文表示や訳文表示の印刷時に、文のセパレータを印刷するかどうか。
- ・ヘッダーを付けるかどうか。
- ・余白をあげるかどうか。
- ・左右対訳表示の印刷時に文番号を付けるかどうか

英文を翻訳してみよう

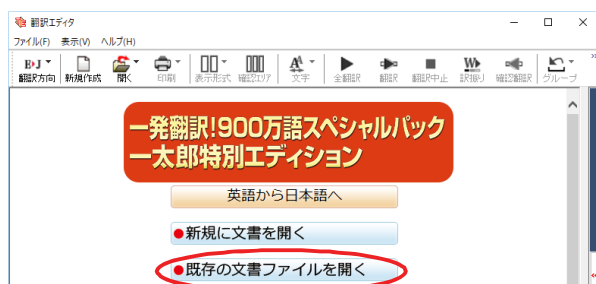
翻訳エディタの基本的な機能を理解していただくために、サンプルのテキストファイルを読み込んで翻訳したり、翻訳結果を改良したりする方法を練習してみましょう。サンプルのテキストファイルは、本製品をインストールしたフォルダの [Sample] フォルダ内にあります。規定値のままインストールした場合は以下のフォルダです。

C:\Program Files\LogoVista Corp\Korya2018P\Sample (32bit OSの場合)

C:\Program Files (x86)\LogoVista Corp\Korya2018P\Sample (64bit OSの場合)

◆ 英文を読み込んで翻訳する

1

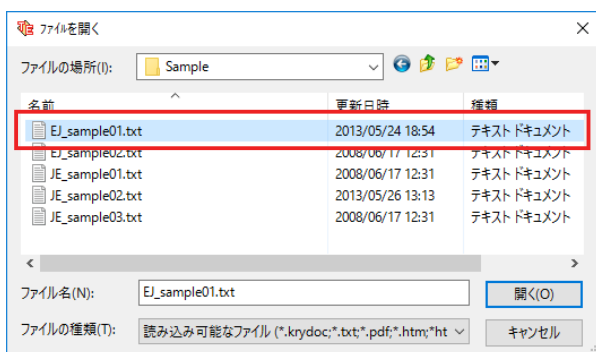


翻訳エディタを起動します。

起動メニューから [既存の文書ファイルを開く] ボタンをクリックします。

[ファイルを開く] ダイアログボックスが開きます。

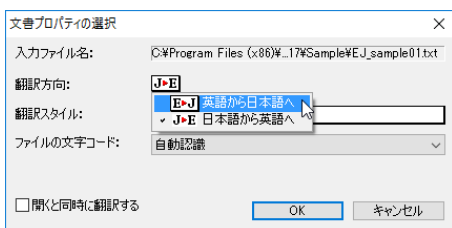
2



サンプルのテキストファイルがあるフォルダに移動し、「EJ_sample01 (.txt)」を選択して [開く] ボタンをクリックします。

[文書プロパティの選択] ダイアログボックスが開きます。

3

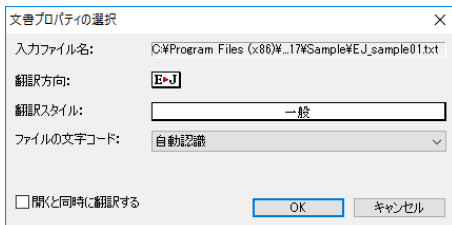


このダイアログボックスは、テキストファイル、リッチテキストファイル、Word の文書ファイルなどを開いたときに表示されます。

翻訳方向と翻訳スタイルを設定できます。

ここでは翻訳方向で [E]、翻訳スタイルで [一般] を設定します。

4



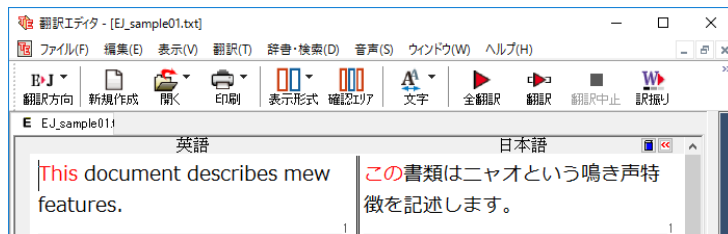
[OK] ボタンをクリックします。

テキストファイルが読み込まれます。

5



1文目の原文をクリックしてポインタを置き、[翻訳] ボタンをクリックします。

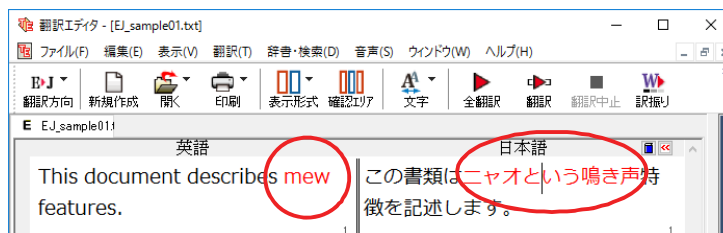


原文が翻訳され、翻訳結果が訳文ボックスに表示されます。

◆ 翻訳結果を検討して、再翻訳する

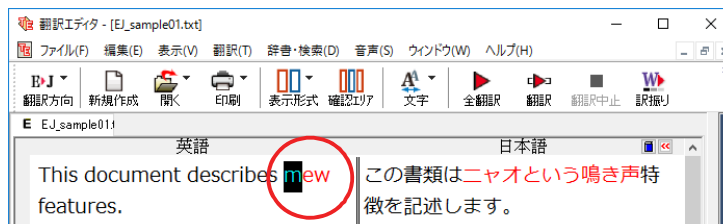
"new"という単語が"mew"と入力されていたため、おかしい訳文になっています。そこで、英文の誤りを修正し、再度翻訳してみましょう。ここではすでに、修正すべき単語がわかっています。しかし実際の翻訳では、まず、間違っている単語を見つけなければなりません。この作業は、翻訳エディタの単語対応の機能を使えば簡単にできます。

1

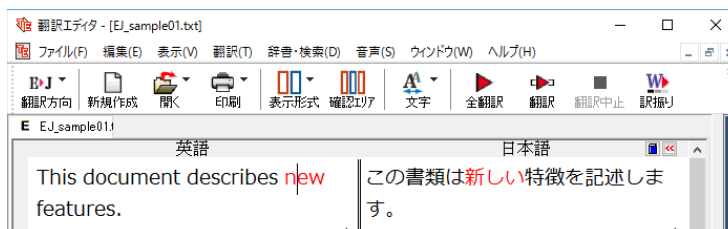


訳文の"ニャオ"という部分をクリックします。英文の"mew"、訳文の"ニャオという鳴き声"が赤で表示され、この部分が対応していることを示します。これで"ニャオという鳴き声"を改善するためには、"mew"を修正すればよいことが分かります。

2



"mew"のmをマウスでドラッグして選択し、"new"に修正します。



翻訳済みの原文を編集すると、すぐに再翻訳が実行されます。

適切な訳文になりました。このように、翻訳結果が思わしくないときは、まず不自然な部分を単語対応で検討することで、元の英文にタイプミスやOCRの認識ミス等による不備がなかったかどうかをチェックできます。

◆ 別の訳語を選択する

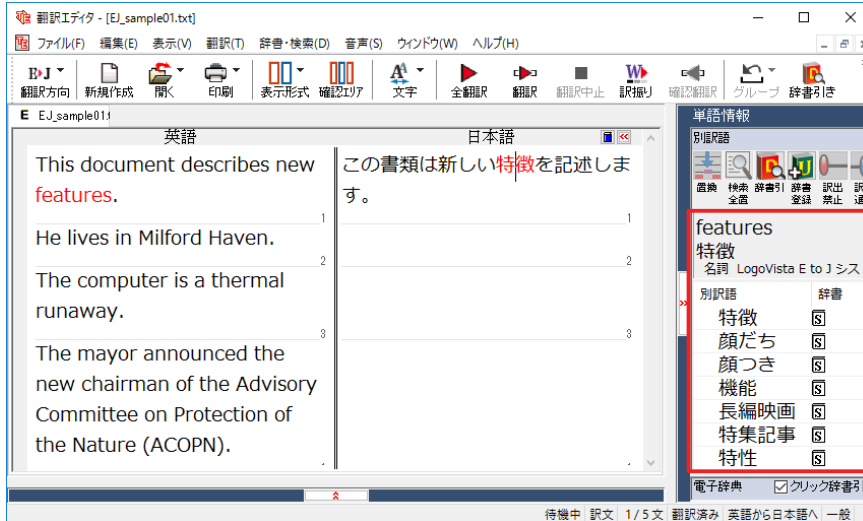
ある単語の訳語は、1つだけではありません。本製品は、もっとも使用頻度の高い訳語を使って翻訳を行います。別の訳語を選んだ方が、より好ましい訳文になることもあります。そこで翻訳エディタには、翻訳後、任意の単語に対する訳語の一覧を表示して、別の訳語に変更する機能が用意されています。

1

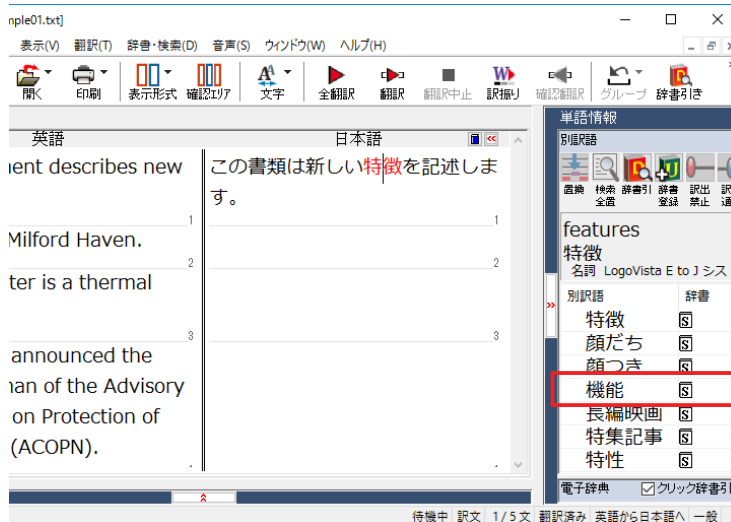


訳文の"特徴"にマウスカーソルを合わせ、マウスをクリックします。

英文の"features"と"特徴"が赤で単語対応表示されます。また、単語情報バーの[別訳語]に"features"に対する訳語の一覧が表示されます。

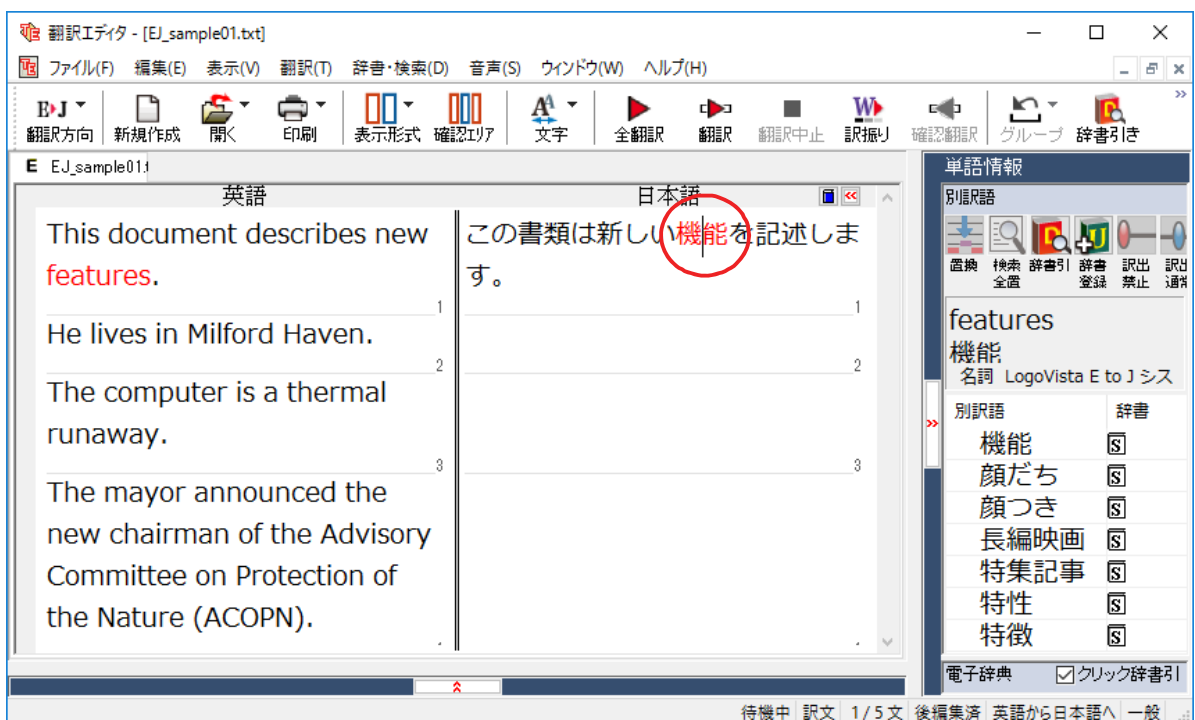


2



別訳語の一覧から、"機能"をダブルクリックします。

訳文の"特徴"が"機能"に変わります。



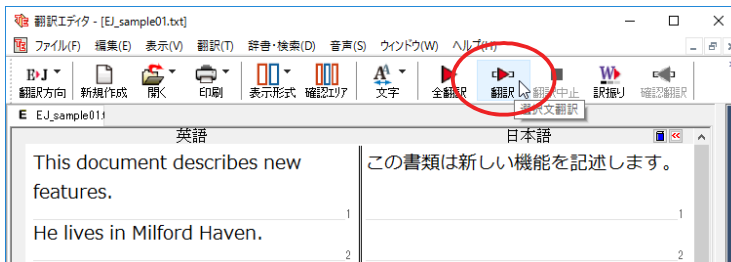
◆ユーザ辞書を使用する

本製品には、ユーザ自身が語句を登録できるユーザ辞書の機能があります。翻訳実行時に訳せなかった単語や固有名詞などを登録していくことで、翻訳の精度が上がっていきます。本製品をインストールした時点では、「ユーザ辞書（標準）」という名称のユーザ辞書が翻訳スタイルに登録されています。ユーザ辞書は、最大5個まで同時に使用できます。また、5個以上のユーザ辞書を作っておき、必要に応じて切り替えて使用することもできます。ユーザ辞書の管理は、翻訳スタイルの一部として行います。新規作成、ロード（本製品で使用するユーザ辞書として指定すること）、アンロード（本製品で使用するユーザ辞書の指定から外すこと）が行えます。翻訳スタイル「一般」にロードされている「ユーザ辞書（標準）」に語句を登録する方法を紹介します。

辞書にない単語が含まれる文を翻訳してみる.....

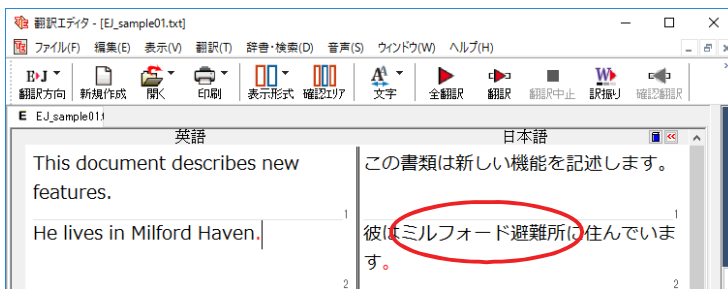
翻訳エディタで、辞書に登録されていない単語が英文に含まれる場合、どのように翻訳されるかを見てみましょう。

1



2文目の原文にポインタをおき、[翻訳] ボタンをクリックします。

英文が翻訳され、翻訳結果が訳文ボックスに表示されます。



"Milford Haven"は地名ですが、辞書に登録されていないため、"ミルフォード避難所"と訳されてしまいました。

ユーザ辞書に語句を登録する.....

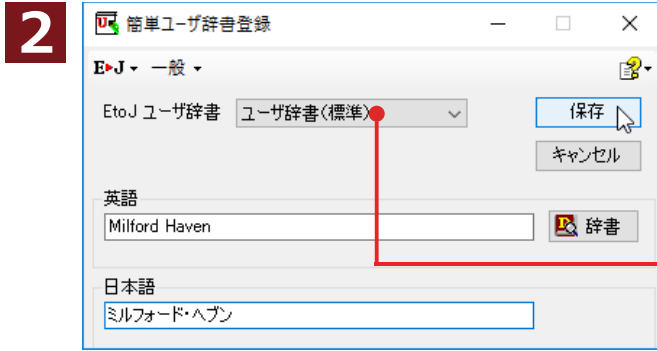
地名として翻訳されなかった"Milford Haven"をユーザ辞書に登録し、再翻訳してみましょう。

1



"Milford Haven"をマウスドラッグで選択して、[辞書・検索] メニューから [簡単ユーザ辞書登録] をクリックします。

[簡単ユーザ辞書登録] ダイアログボックスが表示されます。英語の欄には、選択した"Milford Haven"が自動的に入力されます。



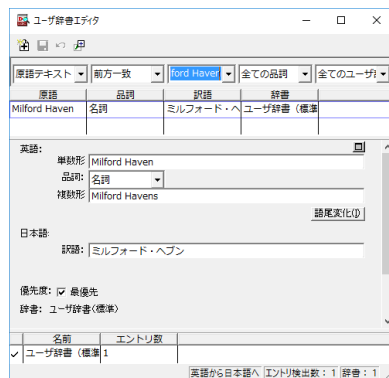
日本語の欄にミルフォード・ヘブンを入力し、[保存] ボタンをクリックします。

これで"Milford Haven"の登録が終了し、簡単ユーザ辞書登録] ダイアログボックスが閉じます。

登録先のユーザ辞書名

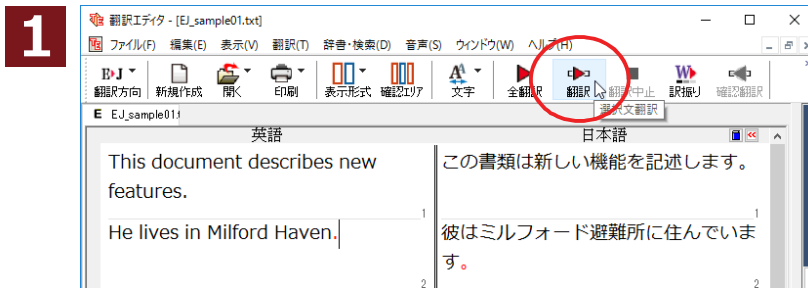


- ・ 翻訳スタイルに複数のユーザ辞書が設定されているときは、優先度が最も高いユーザ辞書が登録先のユーザ辞書名の欄に表示されます。欄の▼をクリックすると、翻訳スタイルに設定されているユーザ辞書の一覧が表示され、登録先の辞書を変更できます。
- ・ [辞書・検索]メニューの[ユーザ辞書に登録]では、品詞などの詳しい情報を設定できます。

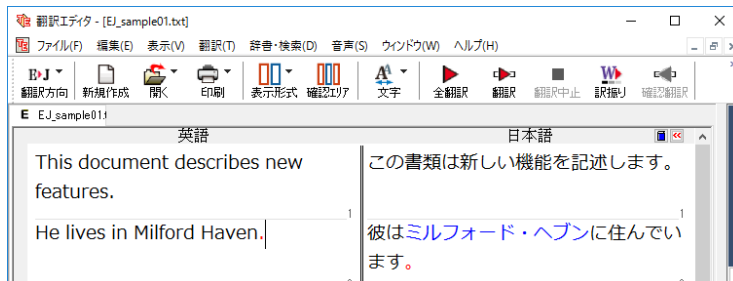


詳しくは翻訳エディタのヘルプをご覧ください。

再翻訳する.....



翻訳エディタの[翻訳] ボタンをクリックして、再翻訳してみます。



再翻訳され、以前の訳文が新しい和訳に入れ替わります。"Milford Haven"も正しく翻訳されます。



ユーザ辞書が出典元の語句は、青字で表示されます。

◆専門辞書・分野辞書を使用する

専門辞書や分野辞書は、分野ごとの専門用語が収録された辞書です。翻訳を行う文書に応じて使い分けると、より適切な翻訳結果を得ることができます。ここでは、専門辞書・分野辞書を使うことにより、翻訳結果がどのように変わるかを紹介します。

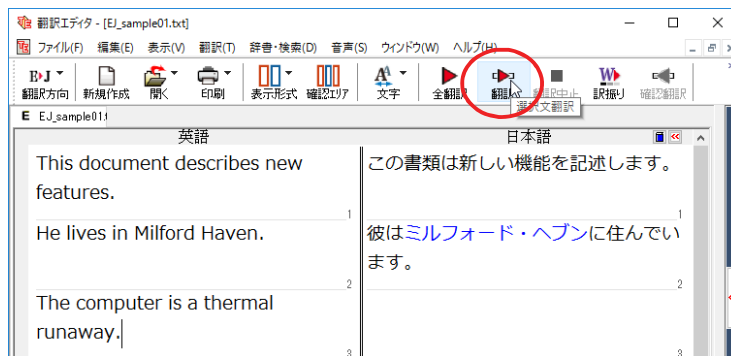


- ・ 翻訳に使用できる専門辞書・分野辞書については、本マニュアル第 1 章の「4 翻訳に使用できる辞書について」をご覧ください。
- ・ 分野辞書は、翻訳スタイルの編集ダイアログ上では専門辞書の一種として扱われます。

専門辞書なしで、コンピュータ関連の文章を翻訳してみる.....

まずは、専門辞書を利用しない場合、どのように翻訳されるかを見てみましょう。

1

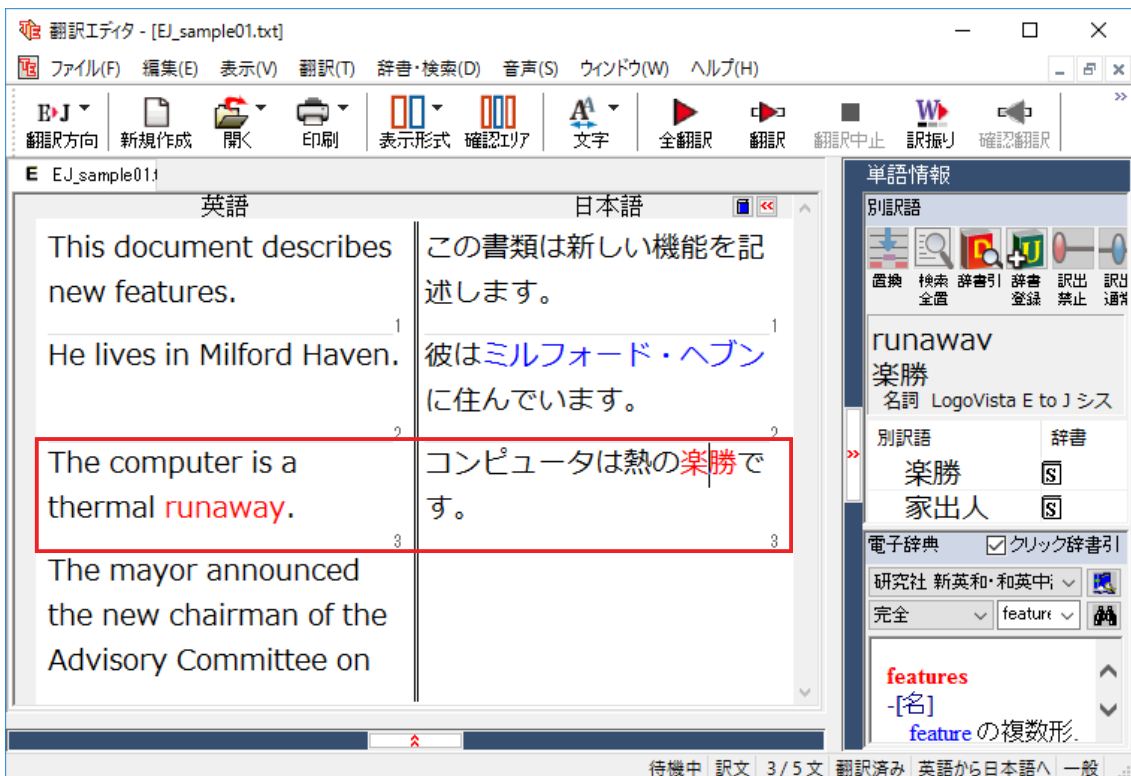


3文目の原文にポインタをおき、[翻訳] ボタンをクリックします。

次の訳文が表示されます。

コンピュータは熱の楽勝です。

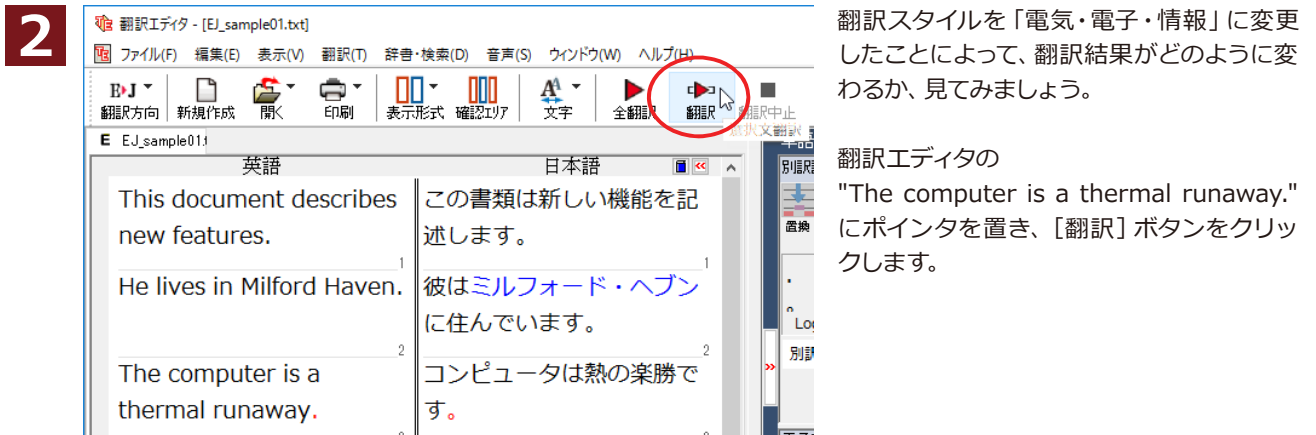
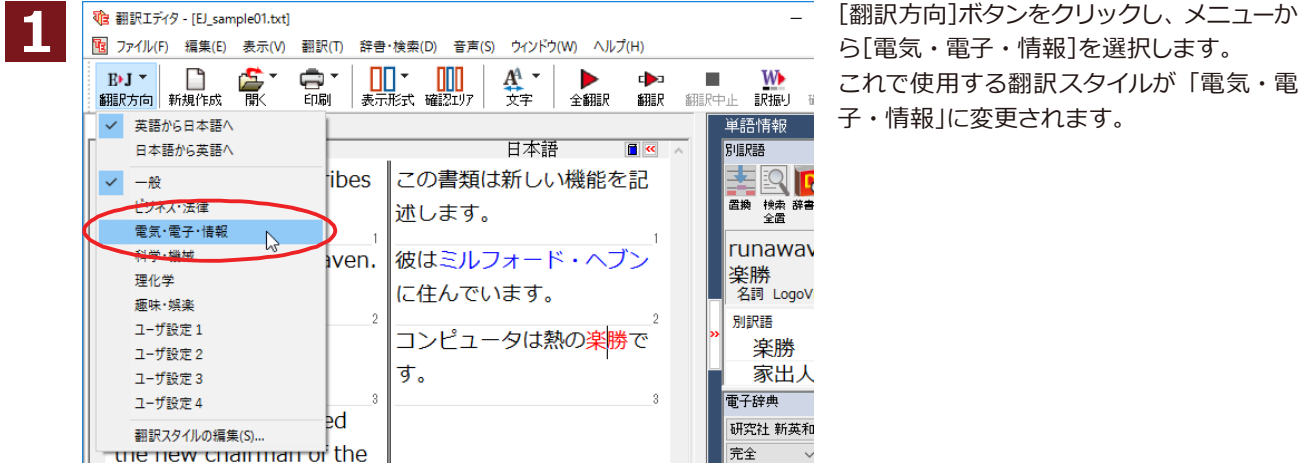
"thermal"と"runaway"が別々の単語として「熱の」と「楽勝」と訳されていることがわかります。それでは、専門辞書を利用すると、この文がどのように訳されるか見ていきましょう。



翻訳スタイル「電気・電子・情報」を使って再翻訳する.....

インストールした専門辞書を翻訳に利用するには、専門辞書をロードしておく必要があります。ここではコンピュータの専門辞書を使用します。この専門辞書は、あらかじめセットされている翻訳スタイルの「電気・電子・情報」にロードされています。

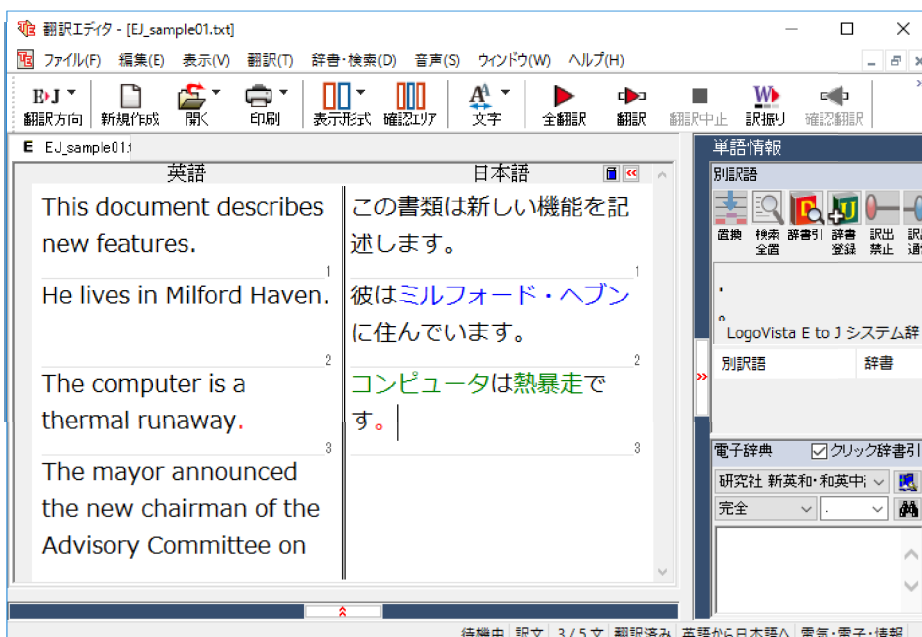
そこで、翻訳スタイルを「電気・電子・情報」に変更します。



専門辞書を使って翻訳が行われ、以前の訳文が次の訳文に入れ替わります。

コンピュータは熱暴走です。

以前は別々の単語として「熱の楽勝」と訳されていた"thermal runaway"が、ひとまとまりの語句として「熱暴走」と訳されていることがわかります。



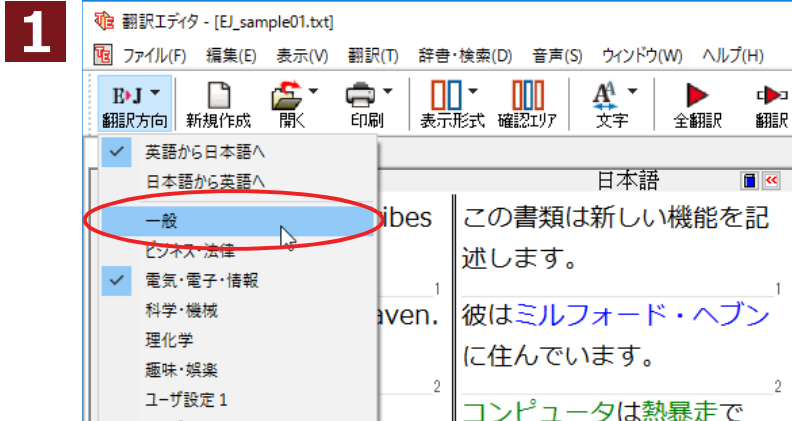
このように、専門辞書・分野辞書を使うことで、専門的な文章をより正しく翻訳することができます。

◆ 語句をグループや原語のままにする（英日翻訳のみ）

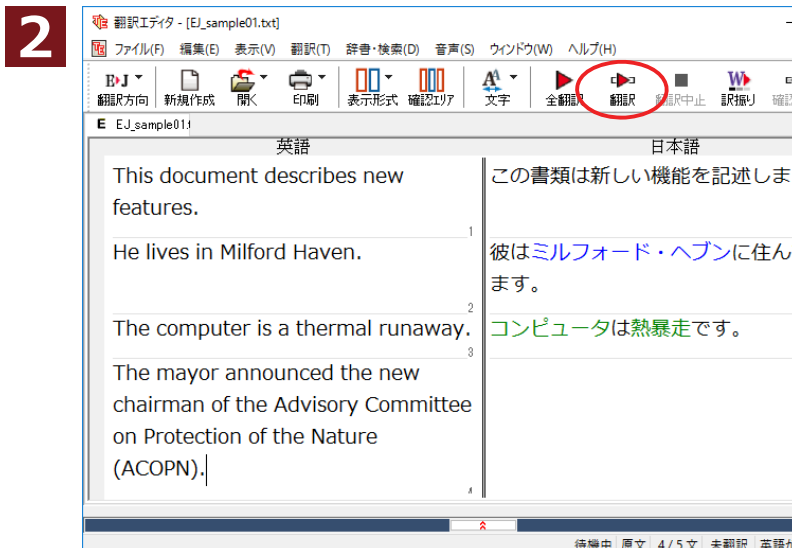
英日翻訳では、[グループ] ボタンをつかって、グループとしてひとまとまりに翻訳したい語句や、英語のまま訳出したい語句を指定できます。ここでは、[グループ] ボタンを使うことにより、翻訳結果がどのように変わるかを紹介します。

長い組織名を含む英文を、グループ指定をせずに翻訳してみる.....

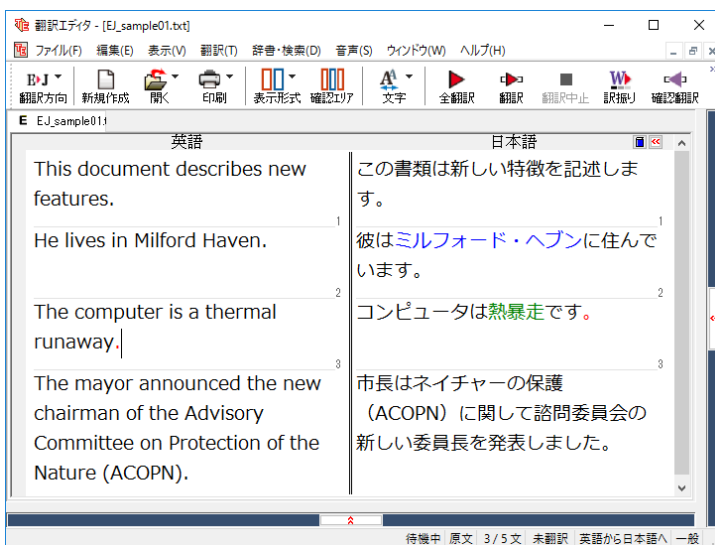
まずは、グループ指定をしない場合、どのように翻訳されるかを見てみましょう。



使用する翻訳スタイルを「一般」に戻しておきます。[翻訳方向] ボタンをクリックし、メニューから [一般] を選択します。



4文目の原文にポインタをおき、[翻訳] ボタンをクリックします。



次の訳文が表示されます。

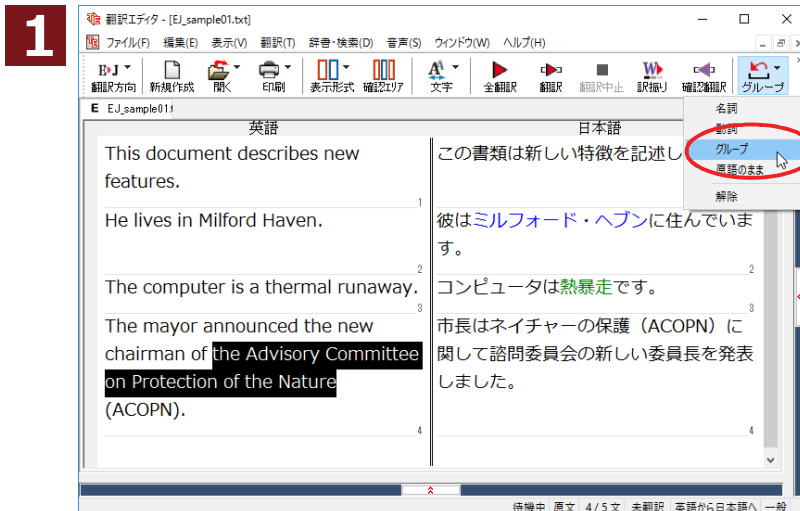
市長はネイチャーの保護 (ACOPN) に関して諮問委員会の新しい委員長を発表しました。

"the Advisory Committee on Protection of the Nature (ACOPN)"が、1つのまとまりとして訳されず、前置詞onの部分で区切られて解釈されていることがわかります。

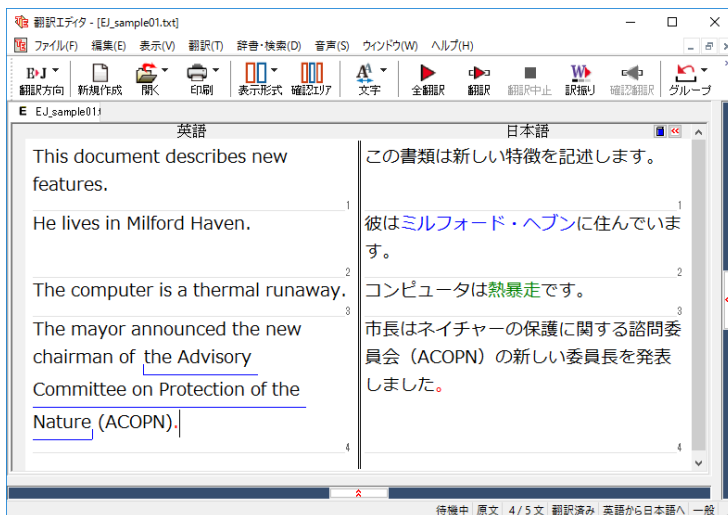
次では、グループを指定すると、この文がどのように訳されるか見ていきましょう。

組織名をグループ化する.....

組織名がひとまとまりに翻訳されるように、グループの指定をしましょう。



“ the Advisory Committee on Protection of the Nature” をマウスドラッグで選択して、[グループ] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [グループ] を選択します。



指定した部分がアンダーラインで表示され、再翻訳が行われます。以前の訳文が次の訳文に入れ替わります。

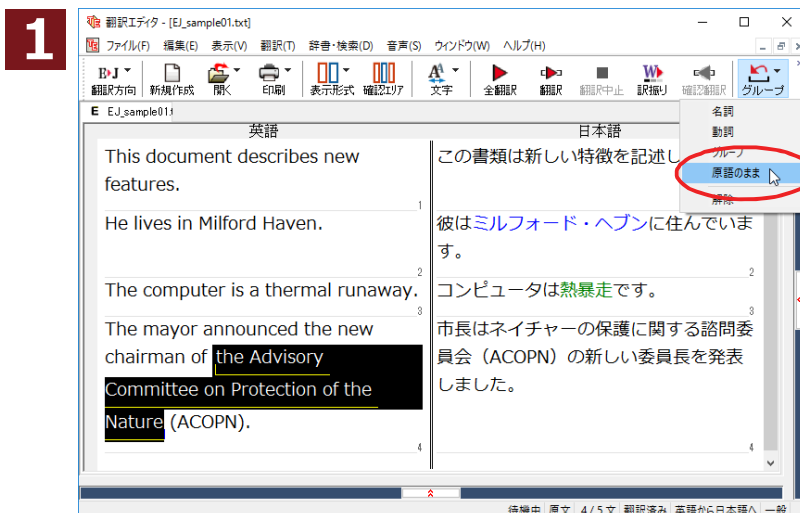
市長はネイチャーの保護に関する諮問委員会 (ACOPN) の新しい委員長を発表しました。

以前は二つに分けられて訳されていた組織名が、ひとまとまりの語句として「自然の保護に関する諮問委員会」と訳されていることがわかります。

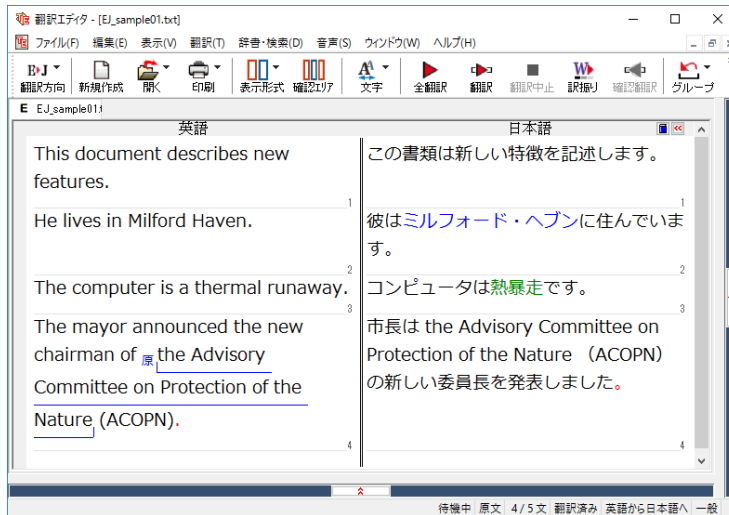
このように、複数の語句から成り立つ名称や、複文がうまく翻訳されないときは、グループを指定して翻訳することで、より正確に翻訳することができます。

組織名を原語のまま訳出する.....

名称などは、日本語に訳したくない場合があります。このときは、[原語のまま] を指定します。



“ the Advisory Committee on Protection of the Nature” をマウスドラッグで選択して、[グループ] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [原語のまま] を選択します。



指定した部分が、「原」の文字とアンダーラインで表示され、再翻訳が行われます。以前の訳文が次の訳文に入れ替わります。

市長は the Advisory Committee on Protection of the Nature (ACOPN) の新しい委員長を発表しました。

「原文のまま」を指定した部分は翻訳されずに、そのまま訳文になります。

このように、名称などで原語のまま訳出したいときは、[グループ] ボタンの [原語のまま] を使います。

◆よりよい翻訳結果を得るために

左右対訳形式で翻訳を行う翻訳エディタでは、原文と訳文を比較検討しながら、翻訳結果を改良していくことができます。ここでは、サンプルのテキストファイル「EJ_sample02 (.txt)」で改良方法を練習してみましょう。

翻訳してチェックする.....

「EJ_sample02.txt」も本製品をインストールしたフォルダの [Sample] フォルダにあります。これまでは一文ずつ翻訳してきましたが、今度は複数の文章をまとめて翻訳します。このため、各文の切れ目が明確になっていることが、正しい翻訳を得るためのポイントになります。

「英文を読み込んで翻訳する」と同様の方法でサンプルのテキストファイル「EJ_sample02. (txt)」を読み込みます。

以下のテキストが原文ボックスに入力されます。前半と後半は、ほぼ同じ内容です。どこが違うかを確認するために、まず全文を翻訳してみましょう。

Date:May 10,2007

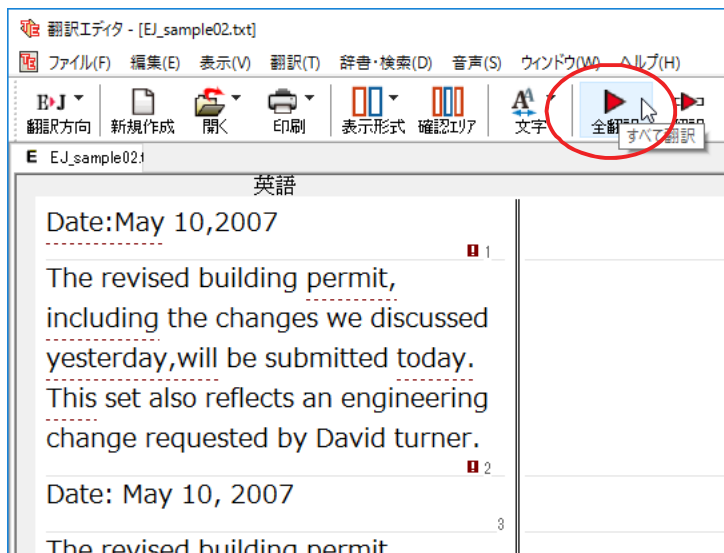
The revised building permit,including the changes we discussed yesterday,will be submitted today.This set also reflects an engineering change requested by David turner.

Date: May 10, 2007

The revised building permit, including the changes we discussed yesterday, will be submitted today.

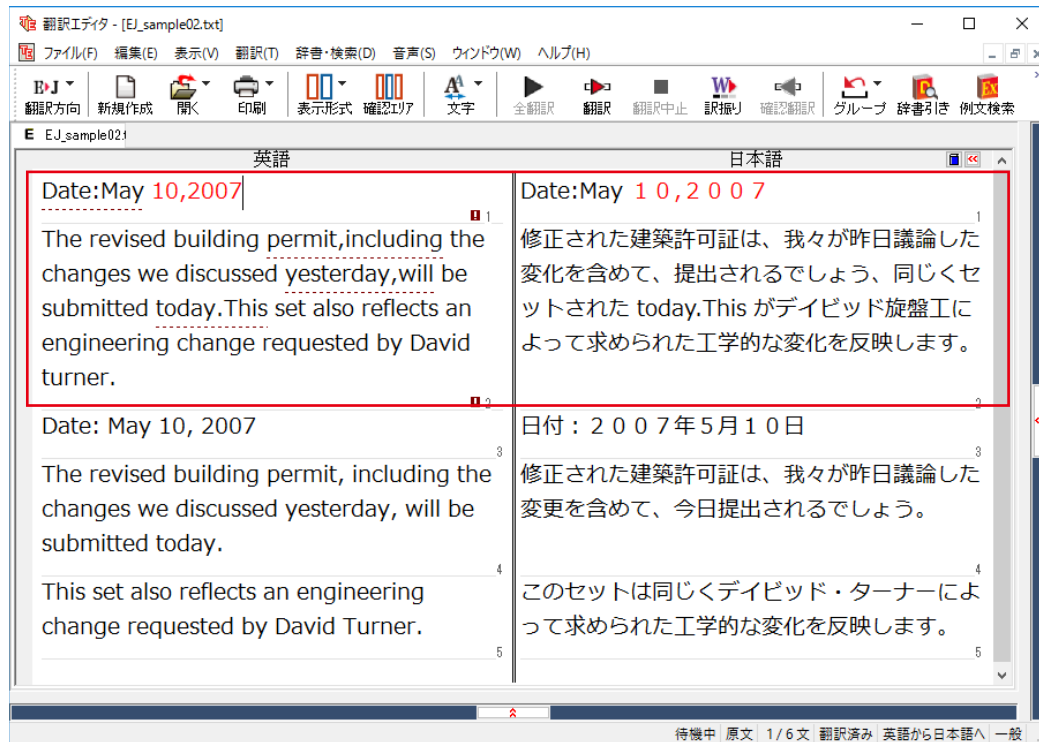
This set also reflects an engineering change requested by David Turner.

1



[全翻訳] ボタンをクリックします。翻訳が行われ、訳文が表示されます。

これが翻訳の結果です。前半と後半では、全く異なった結果になってしまいました。前半は、和訳が意味を成していないだけでなく、日付けも翻訳されていません。



原文を修正して、文末を再判定する.....

それでは、前半部分も正しい翻訳になるように修正してみましょう。

1

前半の英文で、次の△で示した部分にスペースを入力します。

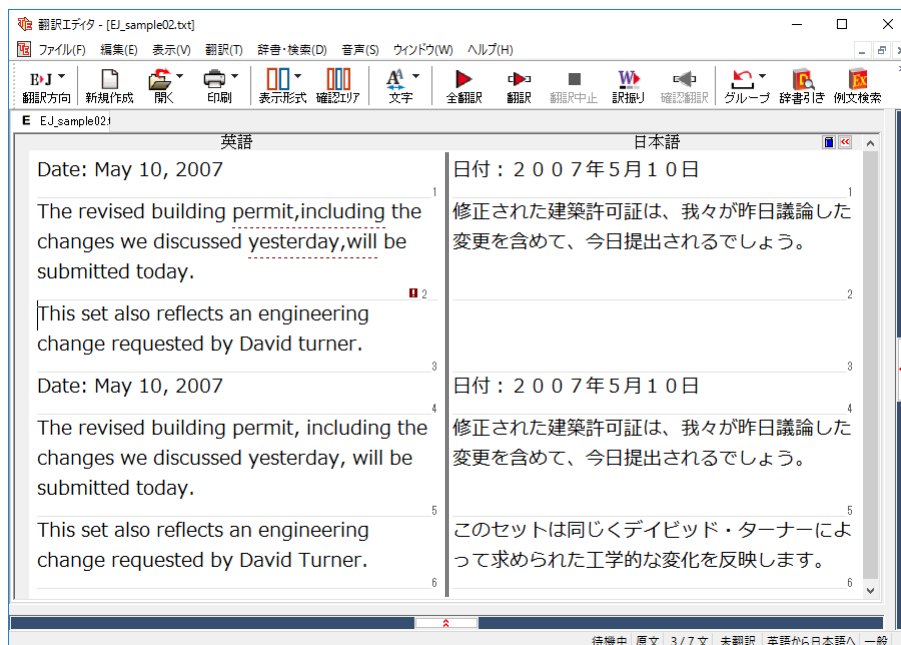
Date:△May 10,△2007

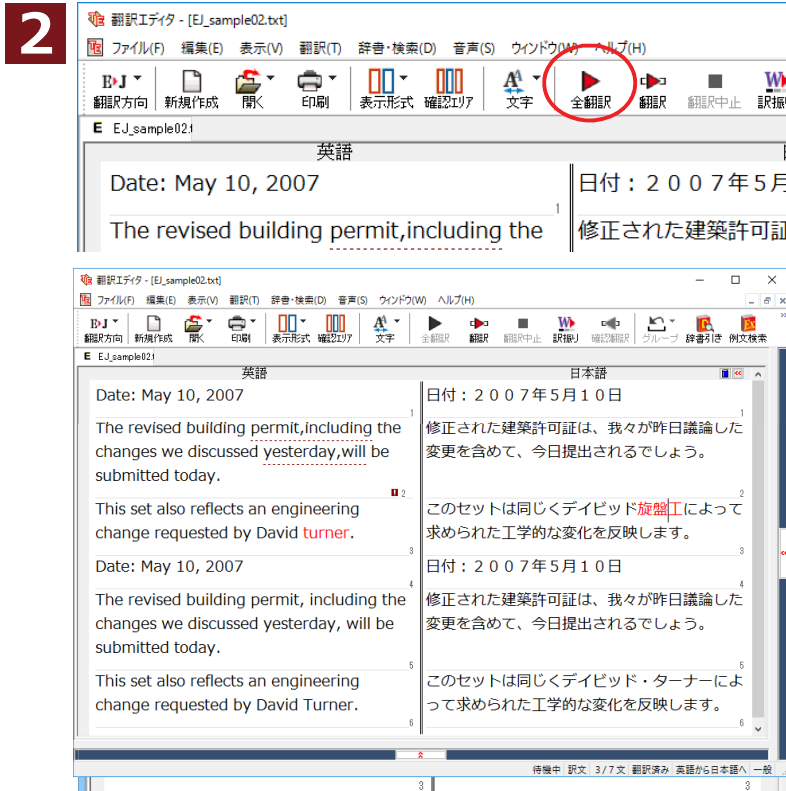
The revised building permit, including the changes we discussed yesterday,will be submitted today.△This set also reflects an engineering change requested by David turner.

スペースが正しく入力されると、次の図のようになります。

1文目は、スペースが入力されると再翻訳が実行され、日付けが正しく翻訳されます。

2文目は、スペースが入力されると行末の再判定が実行され、2つの文に分けられます。以前はピリオドの後に改行またはスペースが入力されていなかったため、この箇所が文末と認識されていなかったことがわかります。スペースを入力したことで、今度は正しく文末として判定され、文が分けられました。





それでは、再度翻訳してみましょう。[全翻訳] ボタンをクリックします。

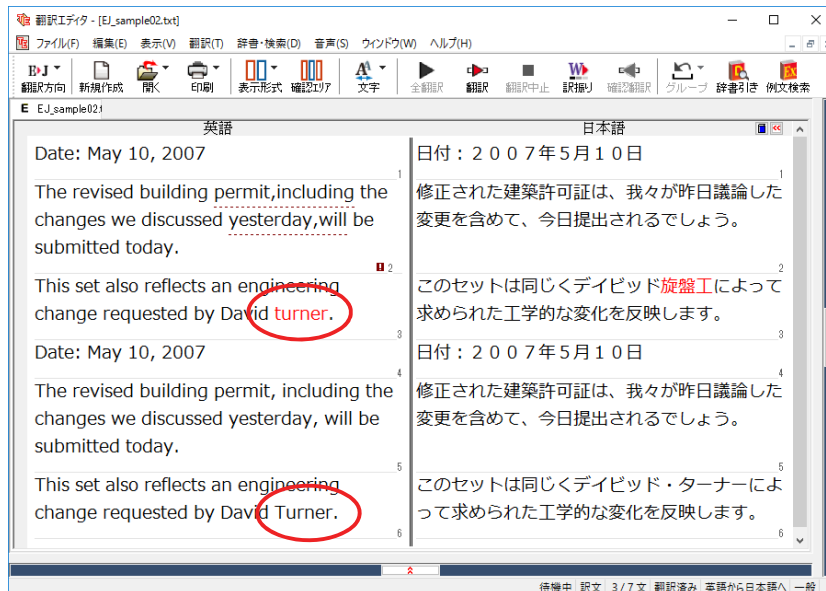
未翻訳の原文だけが再翻訳されます。

3文目の“ デイビッド旋盤工 ” という部分を除いて、正しく翻訳されました。

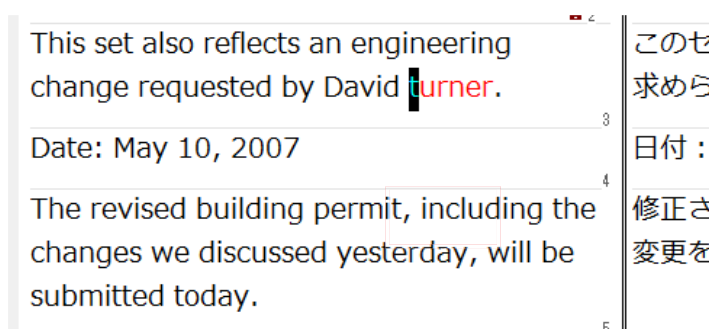
全翻訳した訳文を検討して修正する

3文目の原文を修正しましょう。

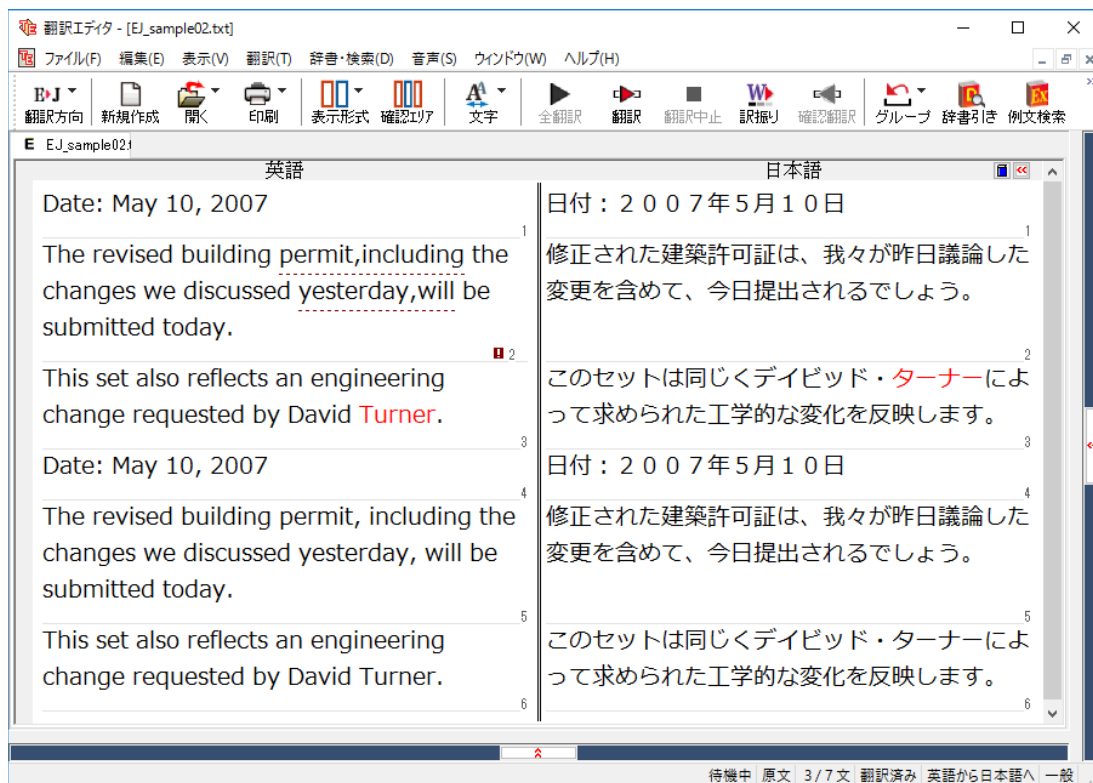
1 和訳の"旋盤工"をクリックします。"旋盤工"と"turner"が赤で表示され、対応していることがわかります。後半の文とくらべてみると、大文字で始めなければならない人名"Turner"が、小文字で始まっていたために正しく翻訳されていないことがわかります。



2 "turner"を"Turner"に修正します。



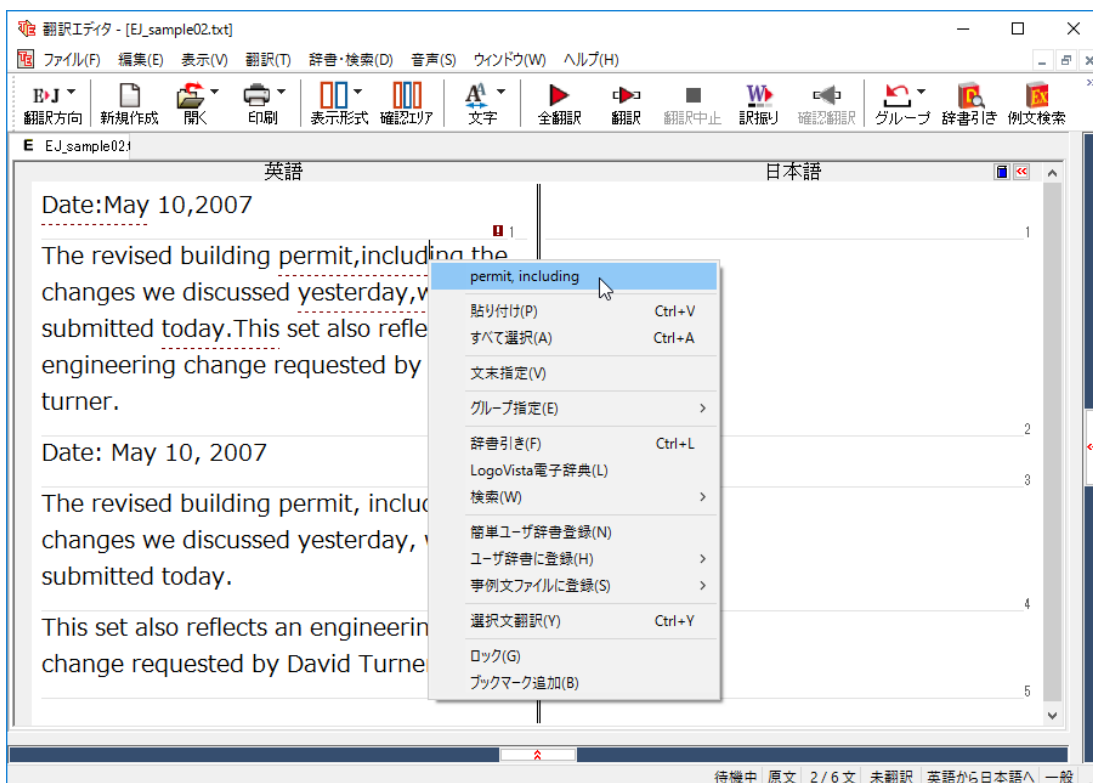
再翻訳が行われ、以前の訳文が新しい訳文に入れ替わります。今度は正しく翻訳されていることがわかります。



原文スペルチェック機能

原文にスペルが違うと考えられる用語に印が付き、右クリックコンテキストメニューから他の候補を一覧で表示する機能です。

※利用には Microsoft Office Word のインストールが必要です。



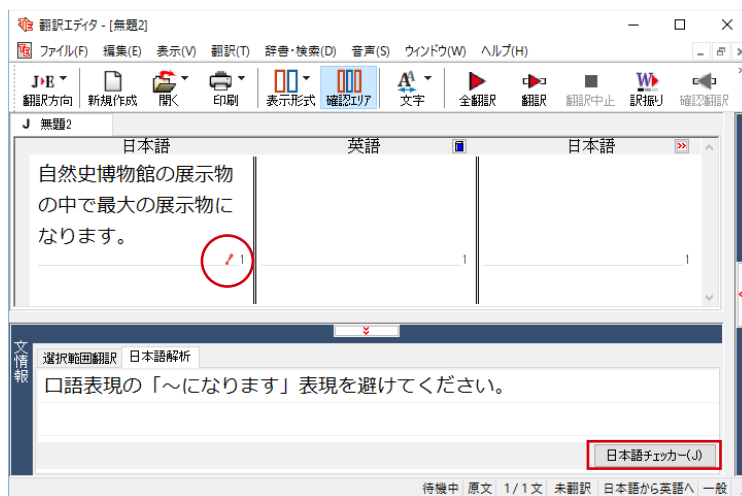
和文を翻訳してみよう


和文から英文に翻訳する場合、文法の違いなどを考慮して和文を作成しておく必要があります。元になる和文によっては意味が通らない英文になってしまうことがあります。翻訳エディタには、より適切な翻訳ができるよう、サポートする機能が用意されています。これらを利用して日英翻訳を行う方法を紹介します。

◆日本語チェッカー機能

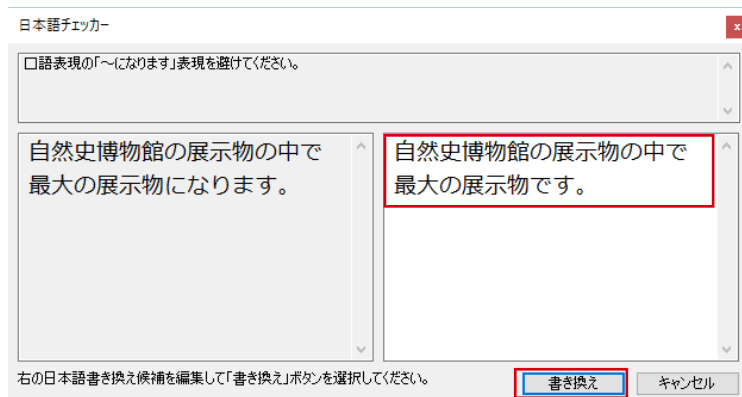
日本語を翻訳しやすい日本語に変換してくれる機能を搭載しています。今までの日英翻訳⇒【日→英→日】から【日→日→英→日】と翻訳しやすい日本語へ直してから英語に変換することで翻訳精度が大幅に向上します。

1

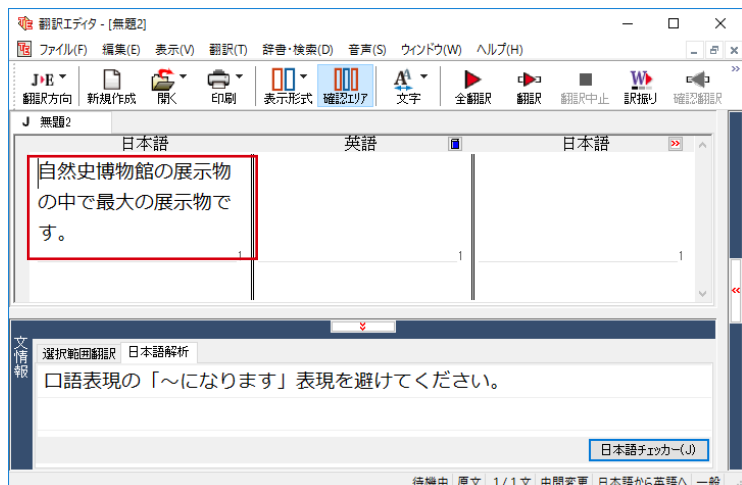


原文エリアに日本語を入力します。変換対象となる日本語がある場合、エリア右下に表示される  アイコンをクリックするか、日本語解析の [日本語チェッカー] ボタンをクリックすると、日本語チェッカーが表示されます。

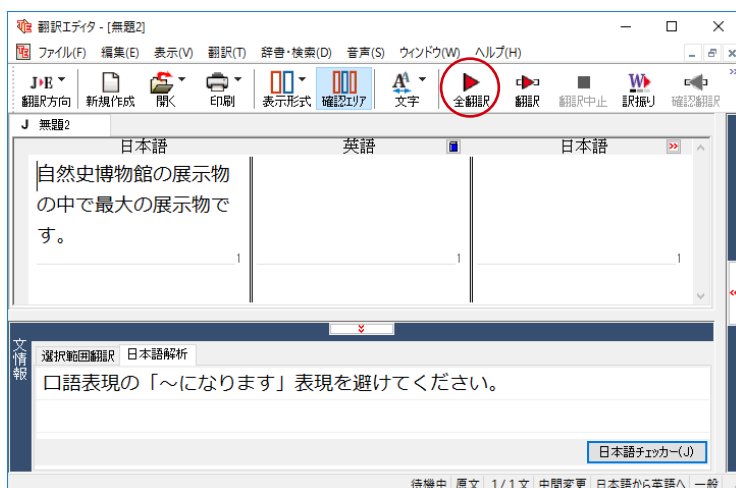
2



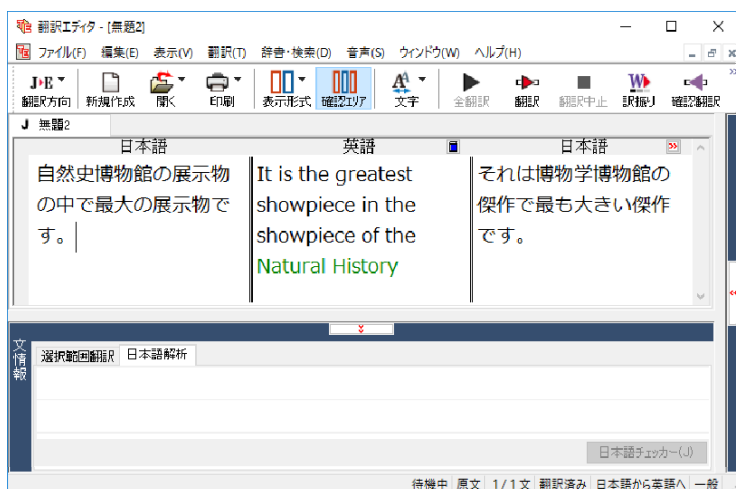
書き換え候補の日本語が表示されます。[書き換え] ボタンをクリックすると原文が書き換わります。



3



[全翻訳]ボタンをクリックして、翻訳を実行します。



翻訳結果が表示されます。

翻訳結果の比較

日本語チェッカー機能を使用せずに翻訳した場合と、日本語チェッカーで原文を書き換えた場合の比較です。

日本語を変換しないで翻訳

原文：自然史博物館の展示物の中で最大の展示物になります。

訳文：I become the greatest showpiece in the showpiece of the Natural History Museum.

確認翻訳：私は博物館の傑作で最も大きい傑作になります。

日本語を変換して翻訳

原文：自然史博物館の展示物の中で最大の展示物になります。

日本語を変換：自然史博物館の展示物の中で最大の展示物です。

訳文：It is the greatest showpiece in the showpiece of the Natural History Museum.

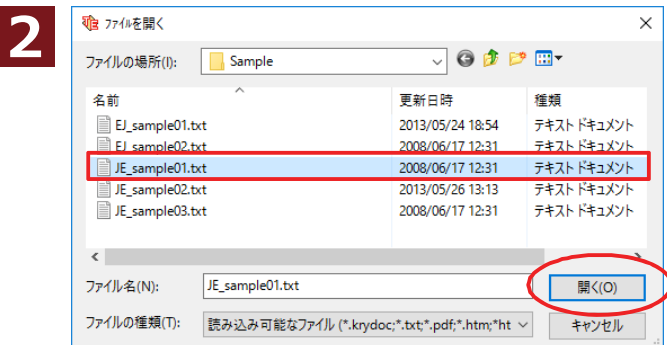
確認翻訳：それは博物館の傑作で最も大きい傑作です。

確認翻訳に注目してください。このように、日本語チェッカー機能を使用することにより、正確な訳文を作成することが可能です。

◆テキストファイルを読み込む

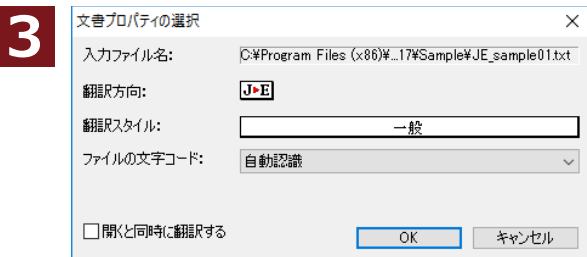
ここでは、サンプルのテキストファイル「JE_sample01 (.txt)」を読み込んで翻訳してみます。サンプルのテキストファイル「JE_sample01 (.txt)」は、本製品をインストールしたフォルダの [Sample] フォルダにあります。

1 [翻訳エディタ] ウィンドウの [開く] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [ファイルを開く] を選択します。[ファイルを開く] ダイアログボックスが表示されます。



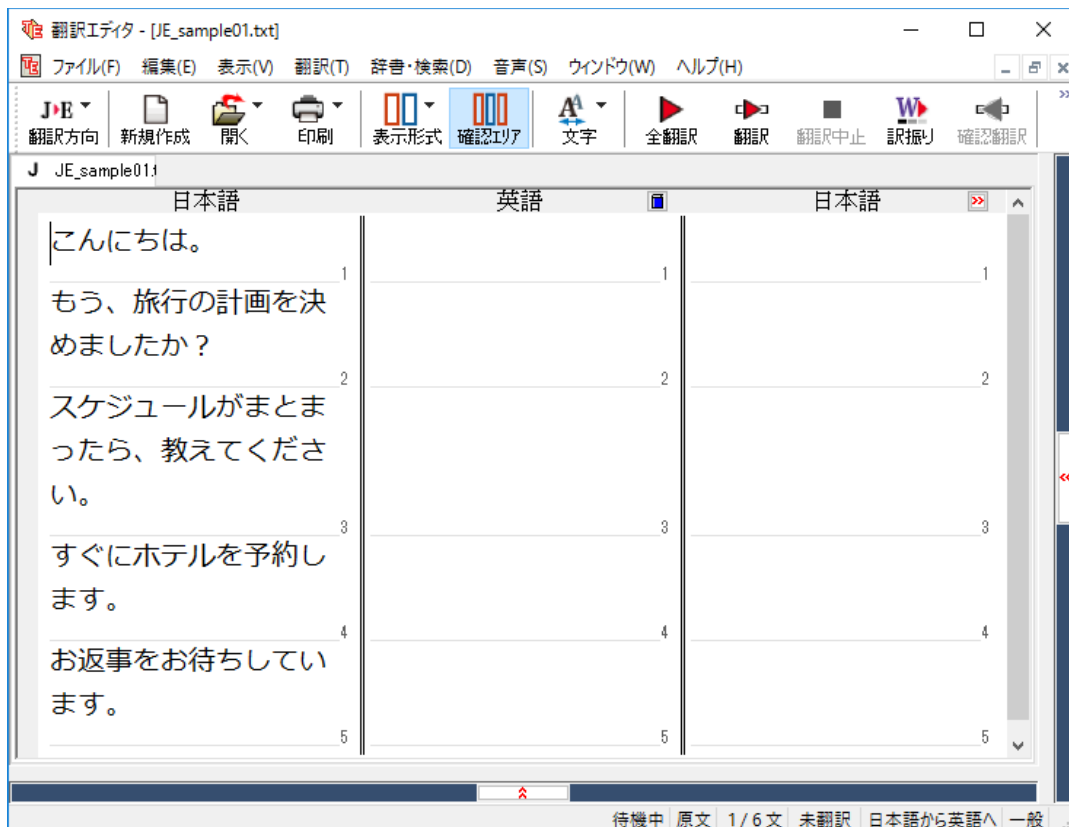
[Sample] フォルダに移動。「JE_sample01 (.txt)」を選択し、[開く] ボタンをクリックします。

[文書プロパティの選択] ダイアログボックスが開きます。



翻訳方向で [日本語から英語へ]、翻訳スタイルで [一般] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

和文のサンプルテキストが読み込まれます。



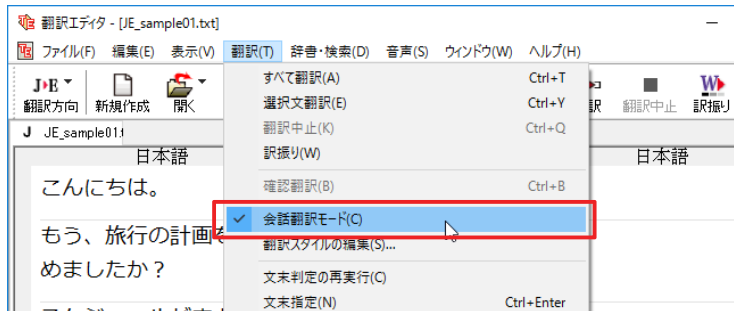
◆会話モードを活用する

親しい間柄でやりとりするメールや手紙、あるいは日記などの個人的な文章では、口語調の文体がよく使われます。口語調の文では、文語にくらべて、より主語が省略されやすくなります。このような文を翻訳するときは、会話モードを使うと便利です。原文を解析し、主語を補いながら翻訳します。

[会話モード]を使わずに翻訳してみる.....

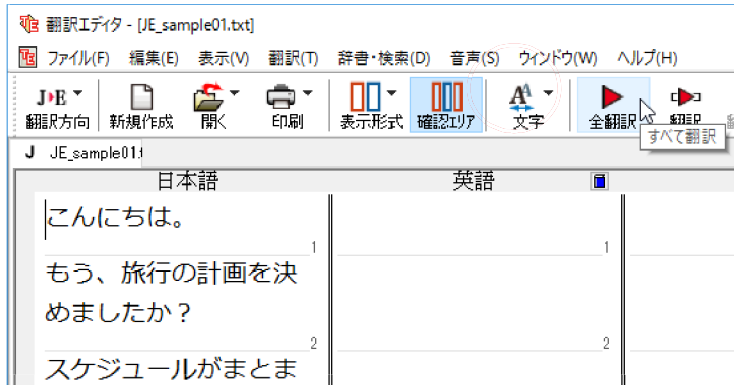
まず会話モードを使わずに翻訳し、結果を見てみましょう。

1



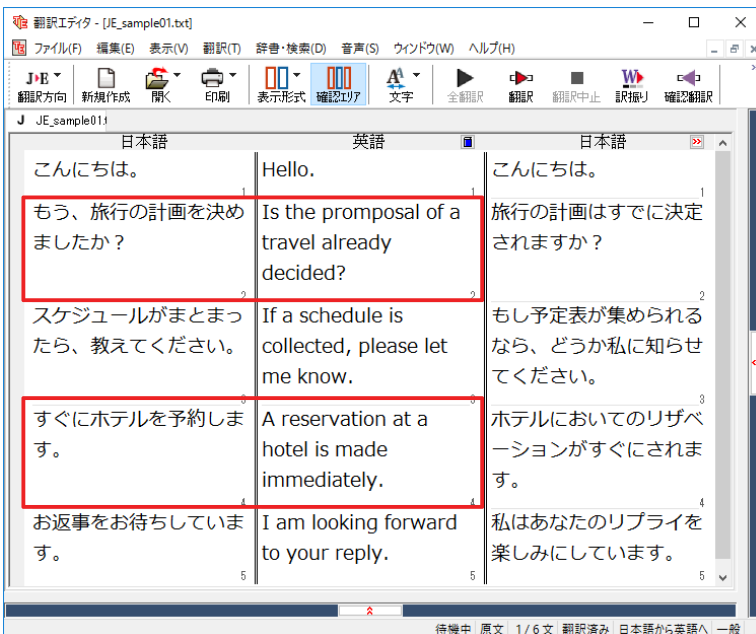
[翻訳]メニューの[会話翻訳モード]をオフ(チェックされていない状態)にします。

2



[全翻訳]ボタンをクリックします。

全ての文が翻訳され、結果が訳文ボックスに表示されます。



2文目と4文目の翻訳結果に注目してみましょう。

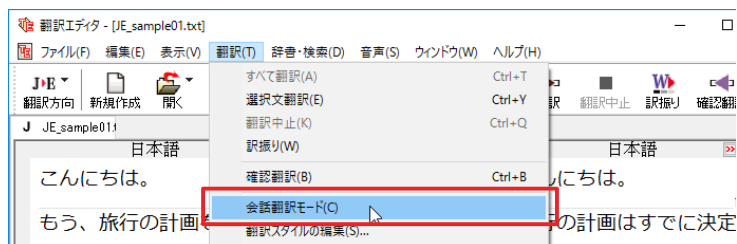
もう、旅行の計画を決めましたか？ → Is the plan of a travel already decided?
 すぐにホテルを予約します。 → A reservation at a hotel is made immediately.

いずれの原文も主語が欠けているため、訳文が受動態の文章になっていることがわかります。

[会話モード]で翻訳する.....

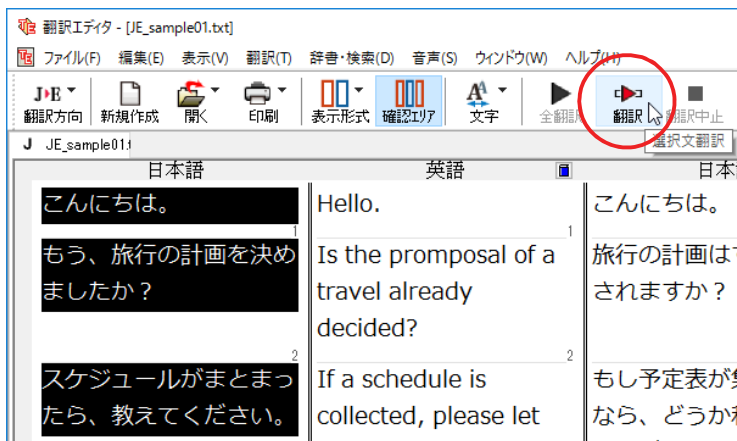
次に会話モードで翻訳し、結果を以前のものと比べてみましょう。

1



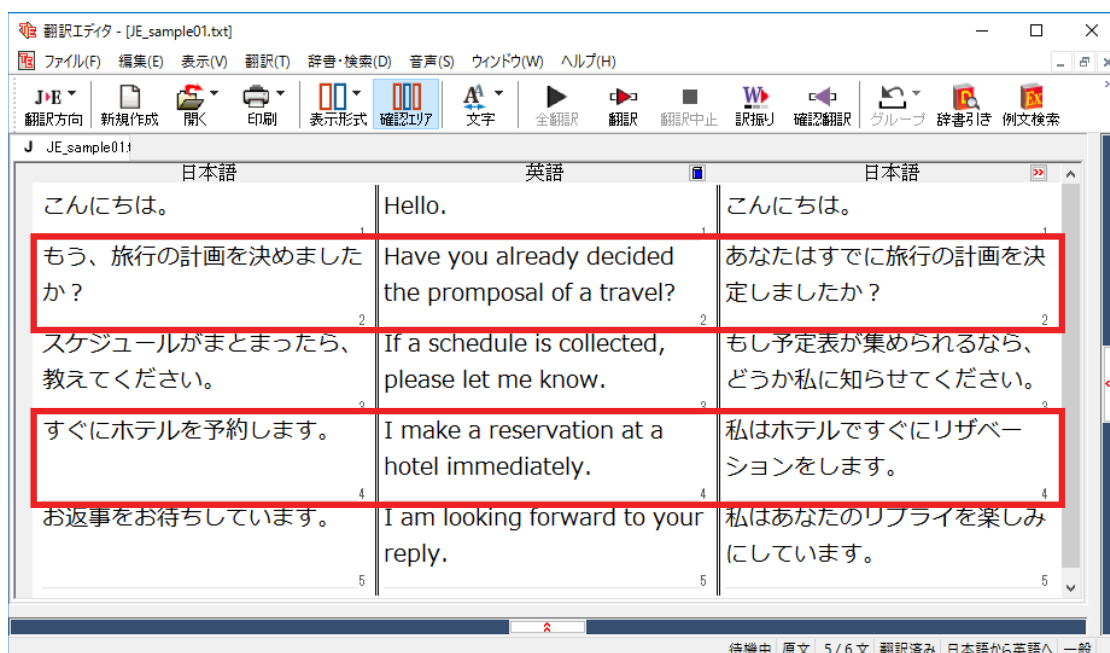
[翻訳]メニュー[会話翻訳モード]をオン(チェックが付いた状態)にします。

2



すべての原文を選択し、[翻訳] ボタンをクリックします。

再翻訳が行われます。2文目と4文目の訳文が入れ替わります。



2文目と4文目の訳文がどう変わったか見てみましょう。

もう、旅行の計画を決めましたか？ → [会話モード] オフ Is the plan of a travel already decided?

→ [会話モード] Have you already decided the plan of a travel?

すぐにホテルを予約します。

→ [会話モード] オフ A reservation at a hotel is made immediately.

→ [会話モード] I make a reservation at a hotel immediately.

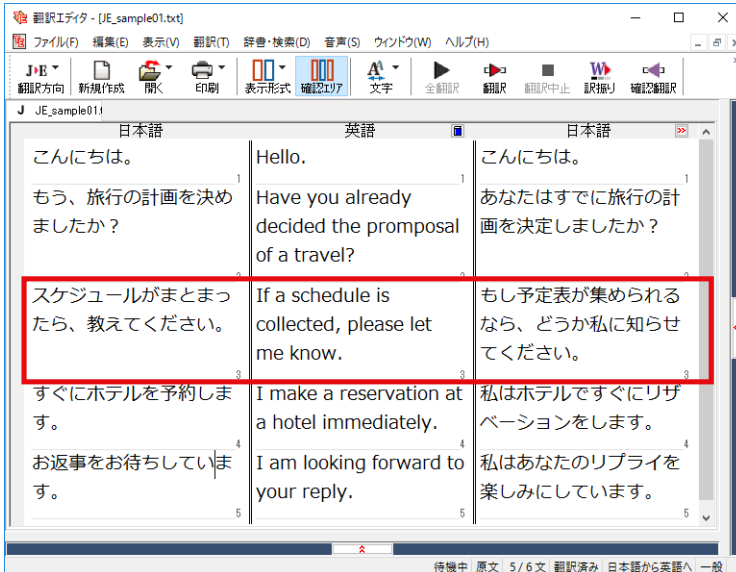
それぞれ、主語が補われてより自然な英文に翻訳されました。

このように、口語調の文章を翻訳するときは、[会話モード]を活用することで、より適切な訳文を得ることが期待できます。ただし省略されている主語が“I”か“you”以外の場合、[会話モード]では正しく翻訳できません。この場合は、原文に主語を補ってから翻訳してください。

◆ [確認翻訳]を利用して原文を修正する

日本語の表現をそのまま翻訳すると、誤訳になってしまったり、ニュアンスが異なってしまったりする場合があります。[確認翻訳]には、訳文を再度日本語に翻訳した文が表示されます。[確認翻訳]の内容と原文の内容がほぼ一致するように原文を別の表現に変えることで、より適切な訳文が得られます。

1

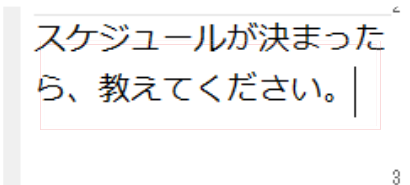


3文目に注目してください。[確認翻訳]表示エリアには3文目の訳文を日本語に翻訳した結果が表示されています。

原文 スケジュールがまとまったら、教えてください。
[確認翻訳] もしスケジュールが集められるなら、どうか私に知らせてください。

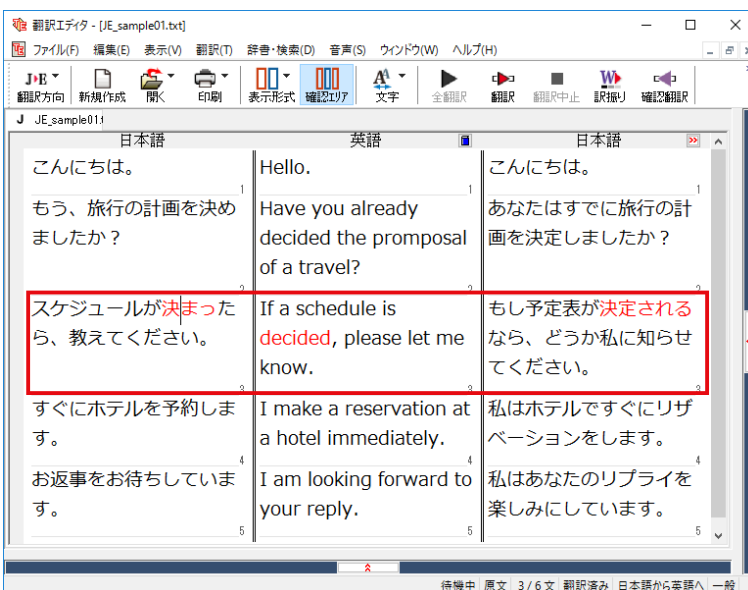
日本語の“まとめる”が、“ばらばらだったものを1つに整える”という意味で解釈されて訳されていることがわかります。しかし、この文の“まとめる”は、“決着をつける、完成させる”といった意味で使われています。そこで、原文を編集して意味を明確にします。

2



「まとまったら」を「決まったら」に修正します。

再翻訳が実行され、訳文と[確認翻訳]の内容が入れ替わります。



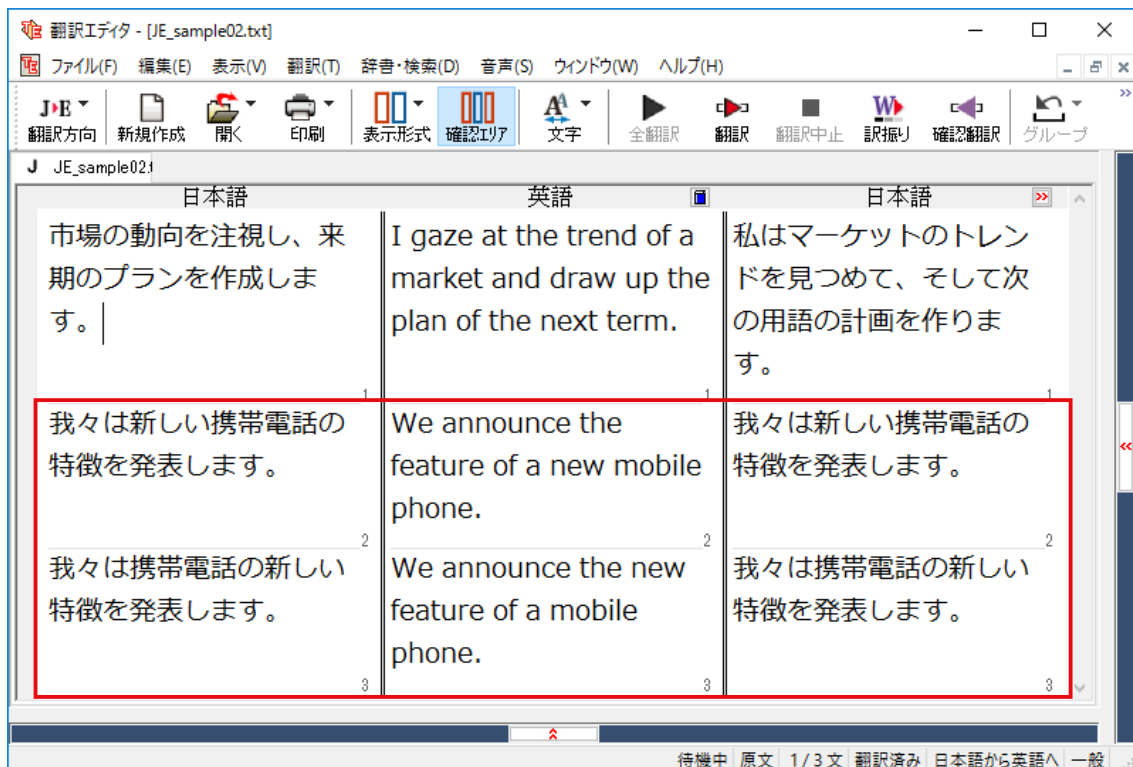
[確認翻訳]は次のようになります。

原文 スケジュールが決まったら、教えてください。
[確認翻訳] もしスケジュールが決定されるなら、どうか私に知らせてください。

こんどは、両者の意味に大きな違いが無いようです。このように確認翻訳を利用することで、適切な内容の訳文に上げることができます。

◆修飾語の位置を変えて翻訳する

修飾語の位置によって英訳が変わります。正しい訳を得るためには、できるだけ修飾される語の近くに置いてください。「JE_sample02 (.txt)」を開き、翻訳します。2文目と3文目の訳文、原文を比較してみましょう。



次のように翻訳されています。

我々は新しい携帯電話の特徴を発表します。

We announce the feature of a new mobile phone.

我々は携帯電話の新しい特徴を発表します。

We announce the new feature of a mobile phone.

これらを検討すると、前者は"新しい"が"携帯電話"の修飾語として翻訳され、後者は"新しい"が"機能"の修飾語として翻訳されていることがわかります。

このように、修飾語の位置に注意して、和文を作成してください。



和文作成のヒント

- 1文をできるだけ短くする。
わかりやすく正確な英文を作成するためには、1文を50文字以下に抑えることをお勧めします。複数の文に分けて翻訳してから、後でつなげるなど、工夫してください。
- 主語や目的語、助詞、述語等を省略しない。
- 次のような表現はできるだけ直す。
"～という"、"～のようなもの"等は削除して、明確な表現にする。
"～を行う"、"～をする"は、"～する"にならないか工夫する。
- 漢字での表記が自然なものはできるだけ漢字で書く。
「ここではきものをぬいでください。」のように複数の意味を持つ文は、漢字を使い分けることによって区別できます。また、むやみに平仮名で書くと、未知語(翻訳辞書に登録されていない語)になり、翻訳に失敗してしまいます。漢字での表記が自然なものは漢字を使ってください。助詞、助動詞などは仮名表記です。
- 体言止め(名詞・代名詞で終わる文章)にしない。
サ変名詞で終わっている文章を日英翻訳プログラムがサ変動詞にして訳すことがあります。このために翻訳に失敗する場合もあります。箇条書きの文章に体言止めがよく見られますので、どう訳したいかを考えて日本語を直してください。
- 口語文、感情表現、慣用句は避ける。
口語文や感情表現は種類が多く、様々な表現があるので、翻訳ソフトでは十分な対応ができません。また、慣用句は文字どおりの意味と含蓄された意味の二つを持つ場合もあります。入力文を書き直すか、ユーザ辞書に適切な品詞で登録することで対応してください。

◆ユーザ辞書を使う

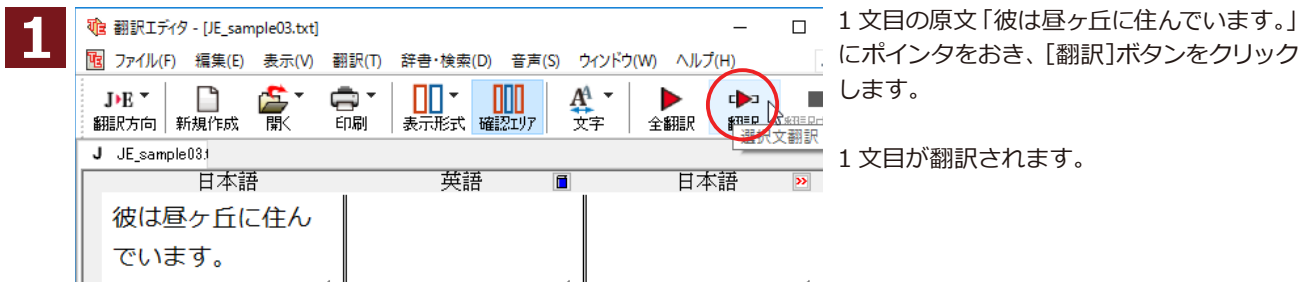
人名や地名、商品名等、システム辞書に登録されていない語句があると、訳文に日本語が残り、使われている漢字の意味で翻訳されてしまう場合があります。このような場合は、その語句をユーザ辞書に登録してください。



ユーザ辞書は、英日のときと同様に、翻訳スタイルを設定するダイアログボックスで最大 5 つまでロードしておくことができます。ここでは、デフォルトのユーザ辞書「ユーザ辞書(標準)」に語句を登録します。

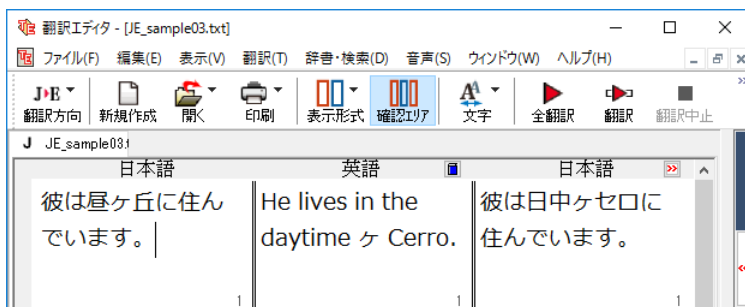
辞書にない語句を含む和文を翻訳する.....

「JExample03(.txt)」は、本製品をインストールしたフォルダの[Sample]フォルダにあります。「テキストファイルを読み込む」と同様の方法で、サンプルのテキストファイル「JExample03(.txt)」を読み込みます。



1 文目の原文「彼は昼ヶ丘に住んでいます。」にポインタをおき、「翻訳」ボタンをクリックします。

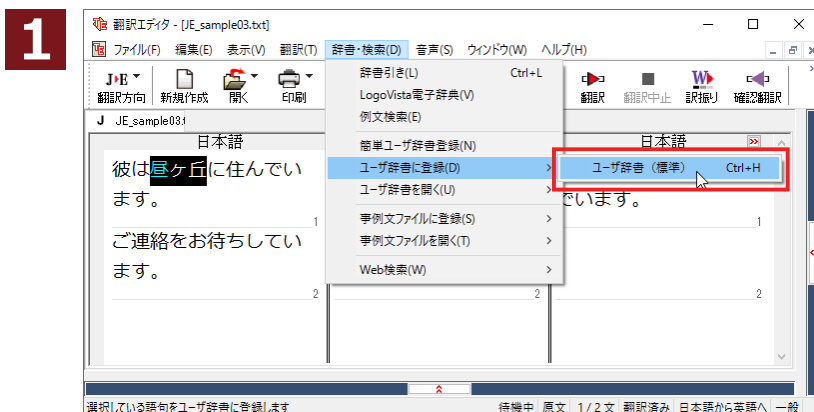
1 文目が翻訳されます。



"昼ヶ丘"という地名が登録されていないため、意味を成さない英文になってしまいました。そこで、"昼ヶ丘"をユーザ辞書に登録してみましょう。

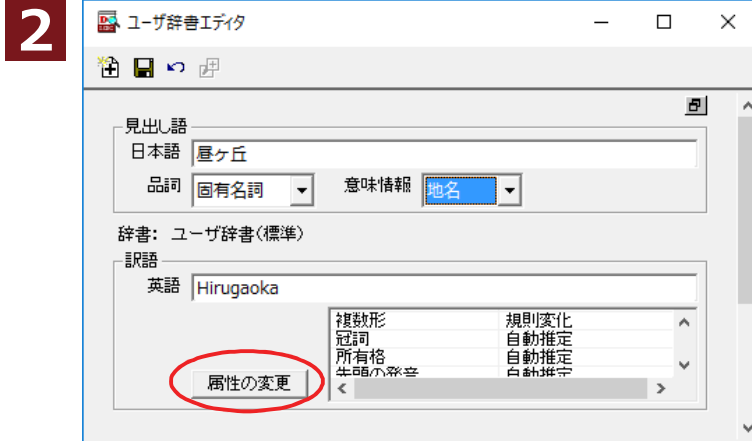
ユーザ辞書に登録する.....

ユーザ辞書への登録方法は、英語から翻訳する場合と同様、[簡単ユーザ辞書登録]と[ユーザ辞書に登録]の二種類があります。ここでは、[ユーザ辞書に登録]を使う方法を説明します。



和文の " 昼ヶ丘 " をマウスドラッグで選択し、[辞書・検索]メニューの[ユーザ辞書に登録]で登録先のユーザ辞書（この例では「ユーザ辞書(標準)」）を選択します。

ユーザ辞書エディタが起動し、[ユーザ辞書エディタ]ウィンドウが表示されます。

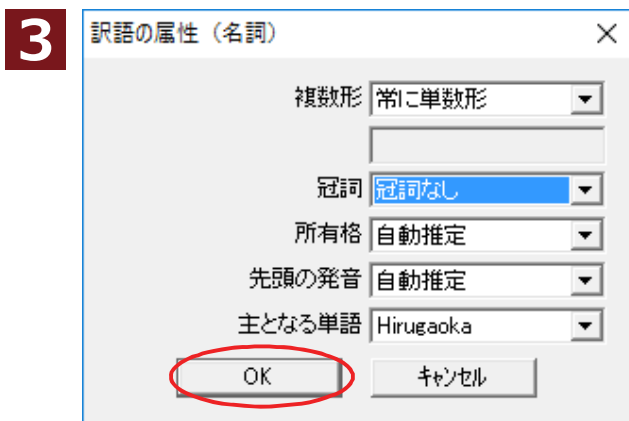


このウィンドウで新しい単語をユーザ辞書に登録できます。すでに「昼ヶ丘」が「見出し語」フィールドの「日本語」入力ボックスに入力されています。ここでは、次のように設定します。

「見出し語」-「品詞」：「固有名詞」を選択
「見出し語」-「意味情報」：「地名」を選択
「訳語」-「英語」：「Hirugaoka」を入力
訳語の属性も編集します。「属性の変更」ボタンをクリックします。

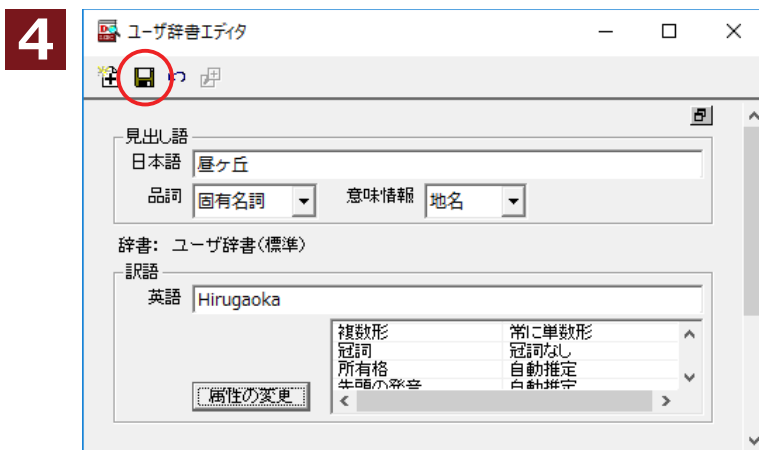
「訳語の属性(名詞)」ダイアログボックスが開きます。

ヒント 「ユーザ辞書エディタ」ウィンドウ属性欄に表示される項目は、選択した品詞によって変わります。各項目の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。

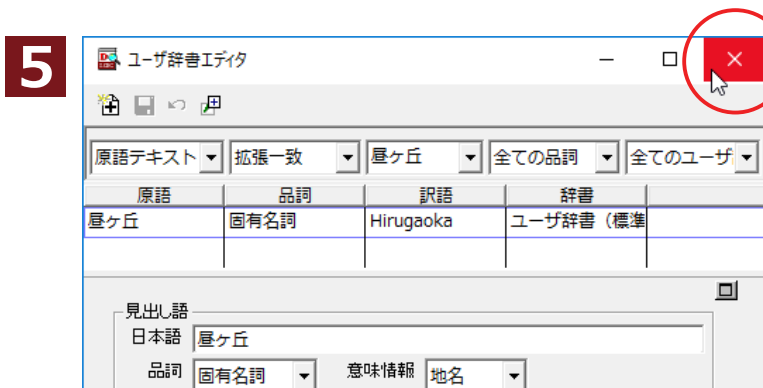


地名を登録するので、「複数形」で「常に単数形」、「冠詞」で「冠詞なし」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

「ユーザ辞書エディタ」ウィンドウに戻ります。



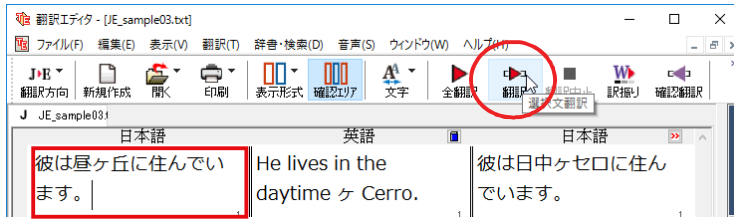
「エントリ保存」ボタンをクリックします。これで「Hirugaoka」の登録が終了します。



「閉じる」ボタンをクリックします。これでユーザ辞書エディタが閉じます。

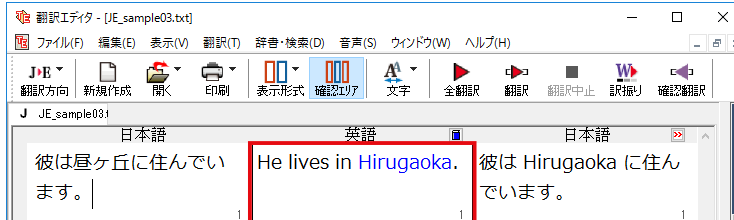
再翻訳する.....

1



1文目の原文にポインタをおき、[翻訳] ボタンをクリックして、再翻訳してみます。

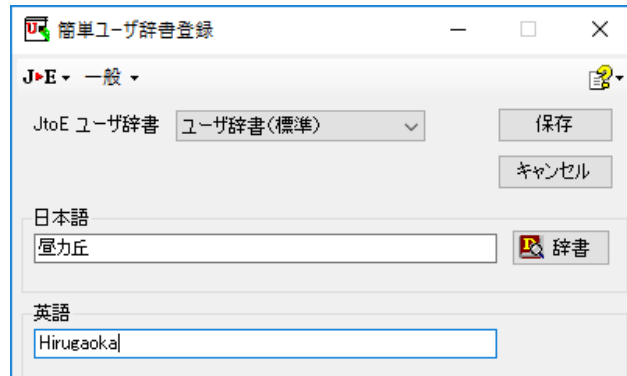
2



再翻訳され、以前の訳文が新しい英訳に入れ替わります。"昼ヶ丘"が"Hirugaoka"と訳されます。



- ・キヤレットを合わせていないとき、ユーザ辞書が出典元の語句は、青字で表示されます。
- ・[辞書・検索]メニューの[簡単ユーザ辞書登録]では、訳語を入力するだけで、単語を登録できます。

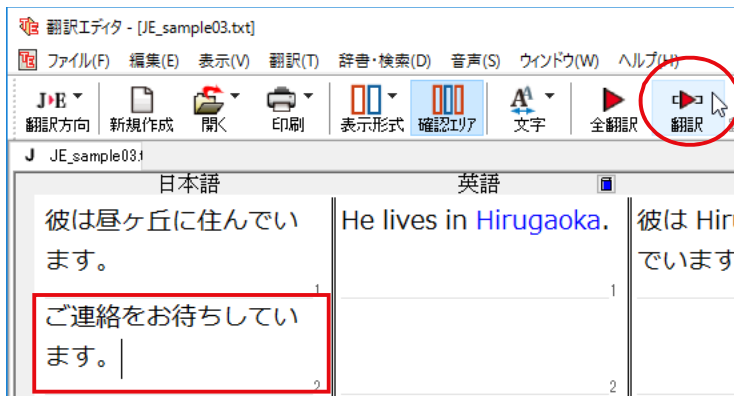


◆事例文を登録する

手紙文やビジネス文書などでは、類似した文が繰り返され、決まり文句が使われることがあります。これらを事例文として登録しておく、翻訳がスピードアップします。また、あいさつ文など、直訳すると意味が通らなくなってしまう文章も、正確に翻訳できるようになります。事例文を登録するためには、登録先の事例文ファイルを作成し、使用する翻訳スタイルにロードしておく必要があります。

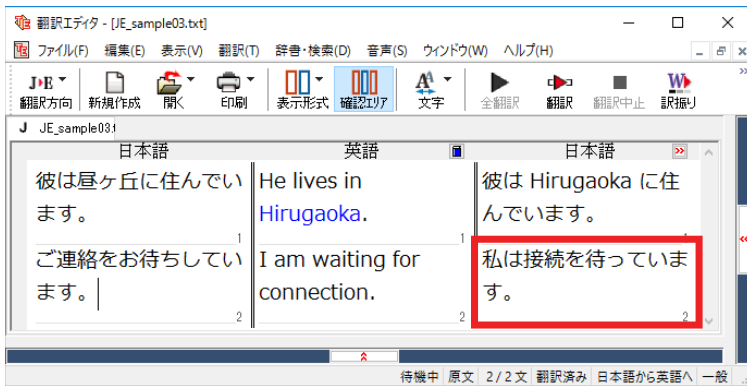
事例文を登録しないで翻訳してみる.....

1



2文目の原文「ご連絡をお待ちしています。」にポインタをおき、[翻訳] ボタンをクリックします。

翻訳結果が表示されます。

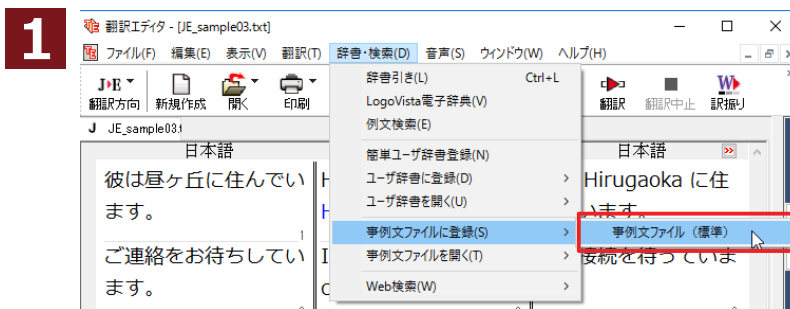


I am waiting for connection.
[確認翻訳]私は接続を待っています。

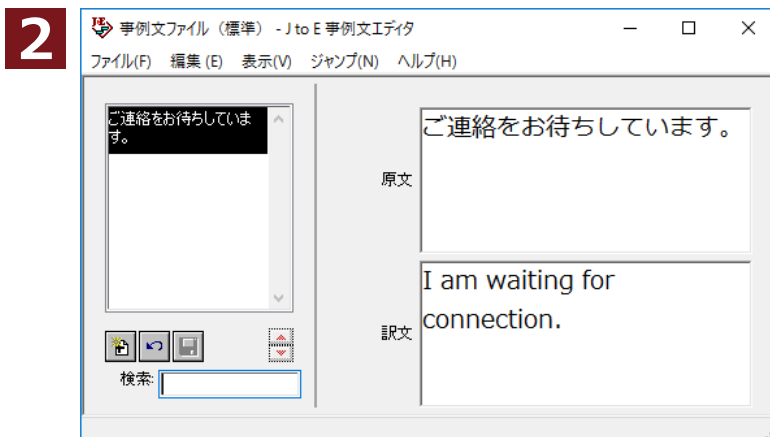
このように、文が直訳されてしまい、元の和文が持つニュアンスからは、かけ離れてしまいました。

事例文を登録する.....

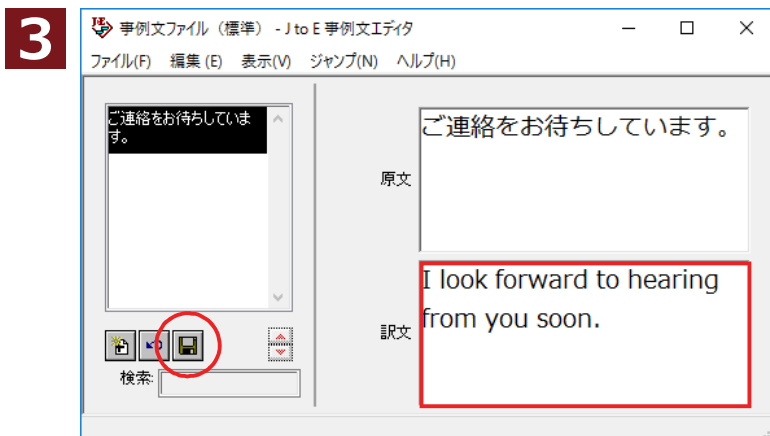
"ご連絡をお待ちしています。"に相当する結び文として、英語では"I look forward to hearing from you soon."が使われます。この文を事例文として登録してみましょう。



2文目の原文「ご連絡をお待ちしています。」にポインタを置き、[辞書・検索]メニューの[事例文ファイルに登録]を選択し、サブメニューから登録先のファイルを選択します。



[J to E 事例文エディタ] ダイアログボックスが表示されます。[原文]には、選択した「ご連絡をお待ちしています。」が、自動的に入力されます。



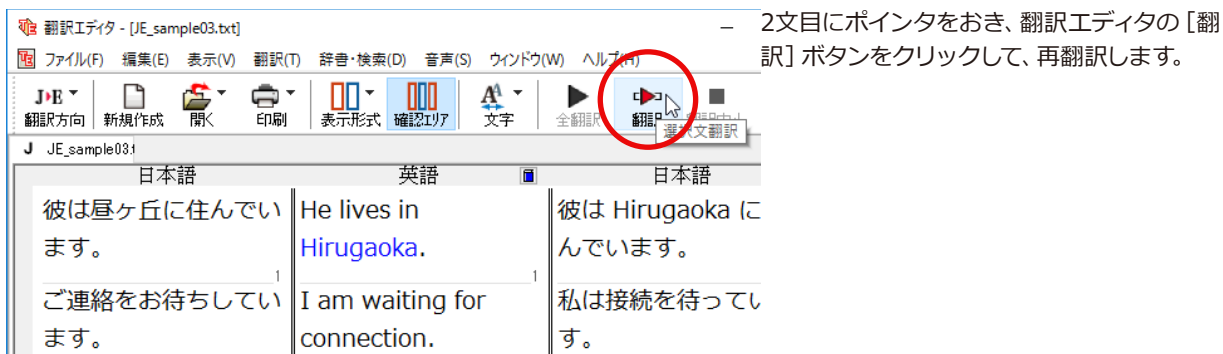
[訳文]に "I look forward to hearing from you soon."と入力し、[エントリ保存]ボタン(保存)をクリックします。

1つの事例文が登録できました。

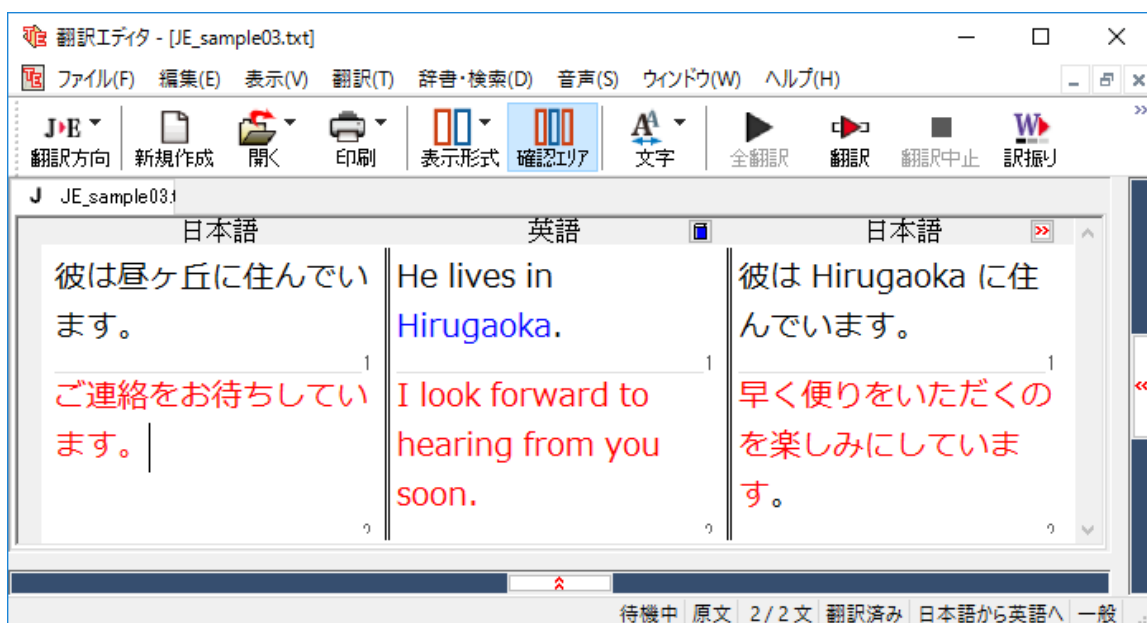
4 [ファイル]メニューから[終了]を選択して[J to E 事例文エディタ]ダイアログボックスを閉じます。

再翻訳する.....

1



再翻訳され、以前の訳文が新しい英訳に入れ替わります。今度は事例文に登録したとおりに翻訳されました。



このように、事例文を使うと、決まり文句やあいさつ文をより正しく翻訳することができます。



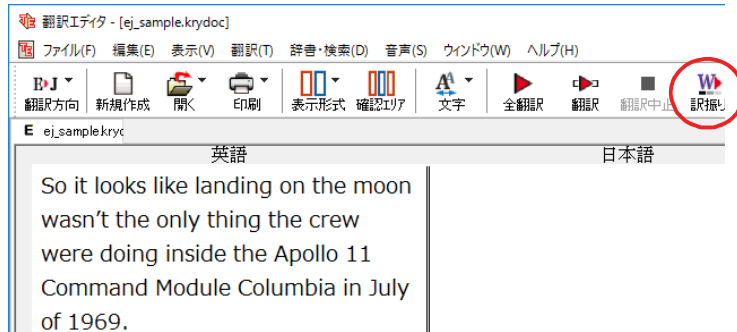
事例文が適用された訳文は赤で表示されます。

訳振り機能を利用する

英日翻訳では、原文の主要単語に訳語を振って表示する訳振り機能を利用できます。単語の意味を確認しながら、自分で翻訳したい場合などに便利です。

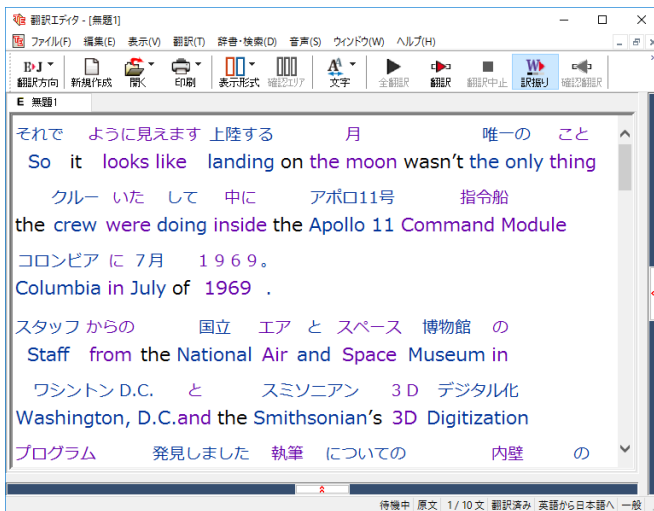
◆訳振りの実行

1



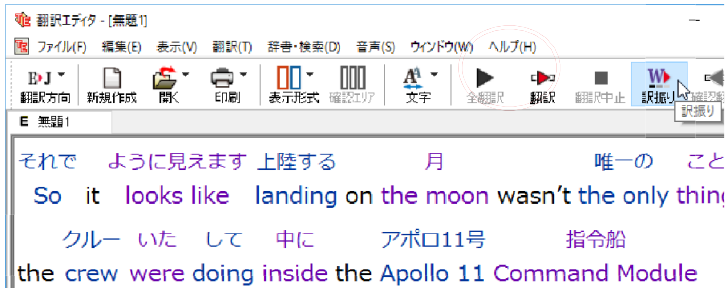
原文を入力し、[訳振り] ボタンをクリックします。

全翻訳が行われ、文書ウィンドウの表示が訳振りモードになります。

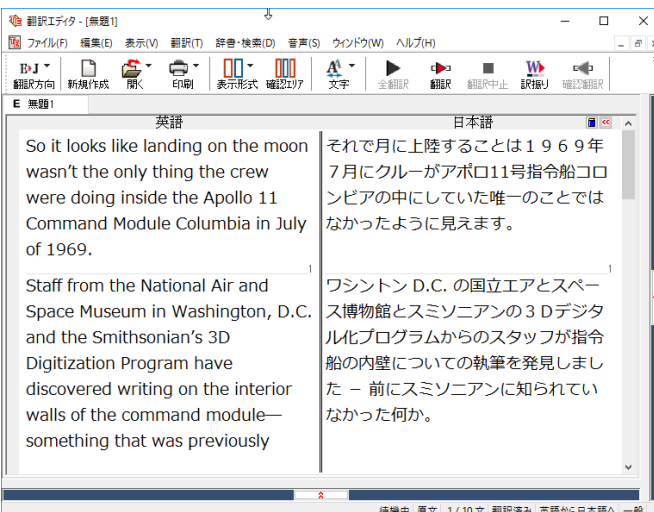


このように訳振りモードでは、冠詞や助動詞などの基本単語を除いた主要な単語の上に、訳語が表示されます。

2



訳文を確認したいときは、[訳振り] ボタンをクリックします。



訳振りモードが終了し、通常の原文ボックスと訳文ボックスの表示に戻ります。

ひな形や例文を利用しながら作文するには

例文検索には、手紙やビジネス文書に利用できるひな形や例文が豊富に用意されています。これらを検索して翻訳エディタで編集中の文書に入力して利用できます。

翻訳エディタでひな形や例文を利用する方法は2種類あります。

- ・編集中の文書に文や段落の単位で例文を入力する方法
- ・ひな形を文書として開き、必要な箇所を編集する方法（日英のみ）

◆編集中の文書に文や段落の単位で例文を入力するには

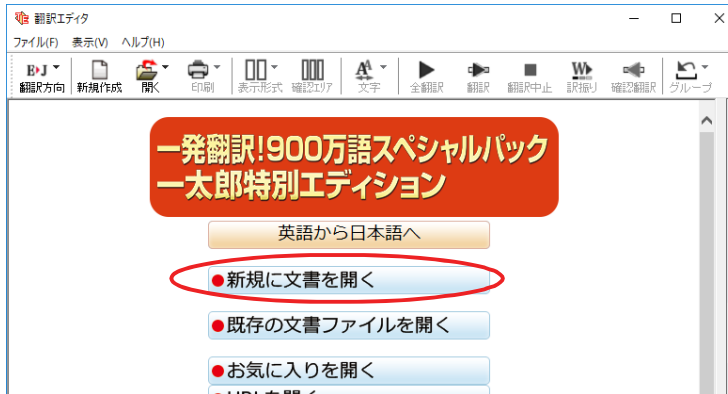
翻訳エディタで入力した語句をもとに例文を検索し、編集中の文書に入力する手順を説明します。

1



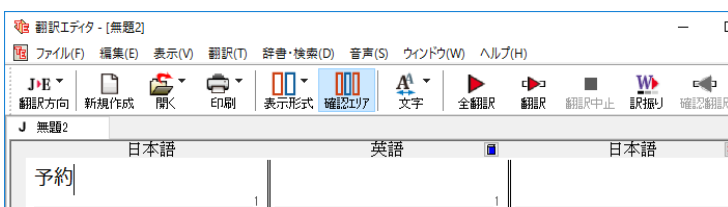
翻訳エディタを起動します。[翻訳方向] ボタンをクリックして、表示されるメニューから翻訳方向を選択します。ここでは、[日本語から英語へ]を選択します。

2



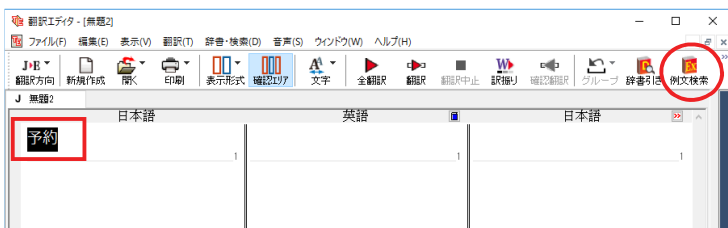
起動メニューから[新規に文書を開く]を選択します。

3

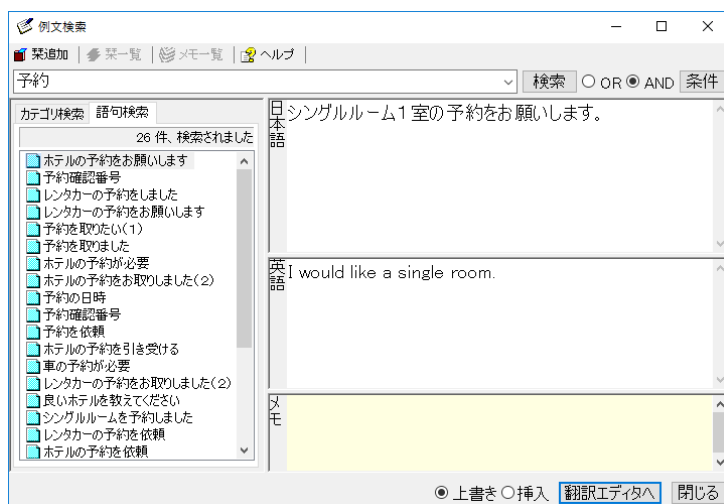


原文に「予約」と入力します。

4

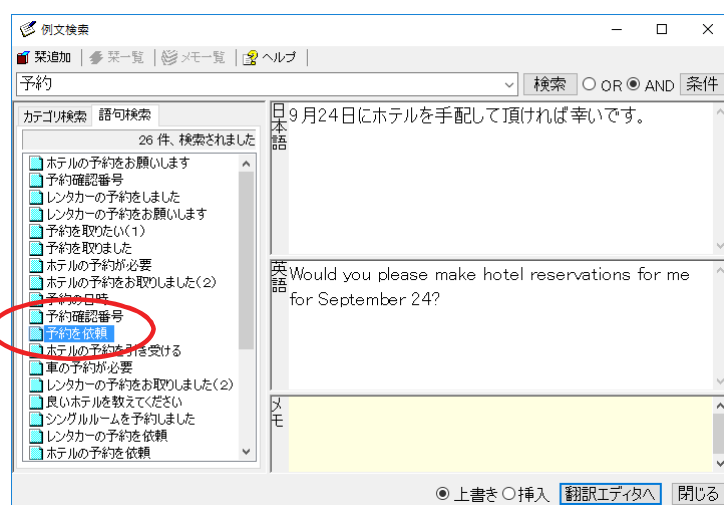


入力した語句をもとに、例文を検索してみます。「予約」を選択し、[例文検索]ボタンをクリックします。



【例文検索】ウィンドウが表示され、検索結果が表示されます。

5

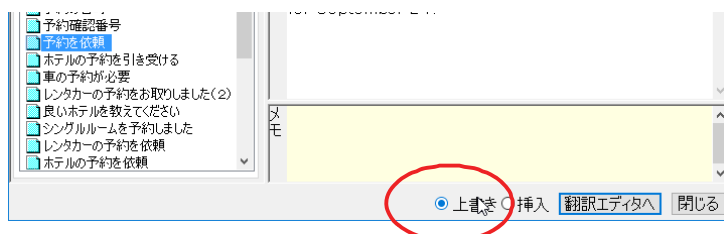


左のボックスにキーワードを含むテーマが一覧表示されます。

テーマをクリックすると、右のボックスに例文が表示され、内容を確認できます。

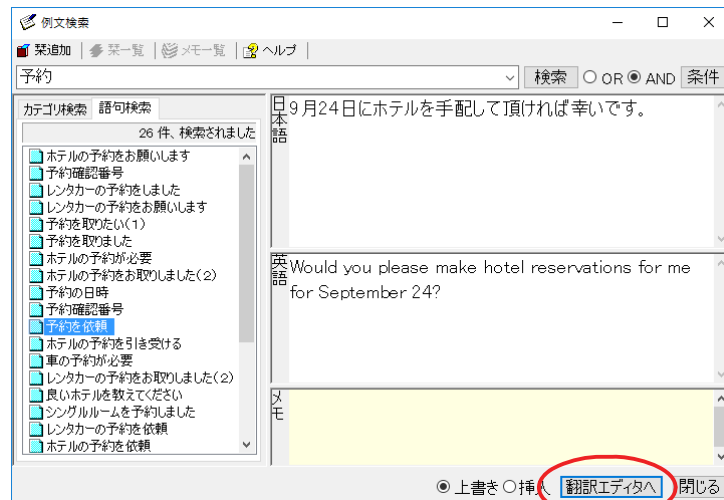
使いたい例文を表示します。

6



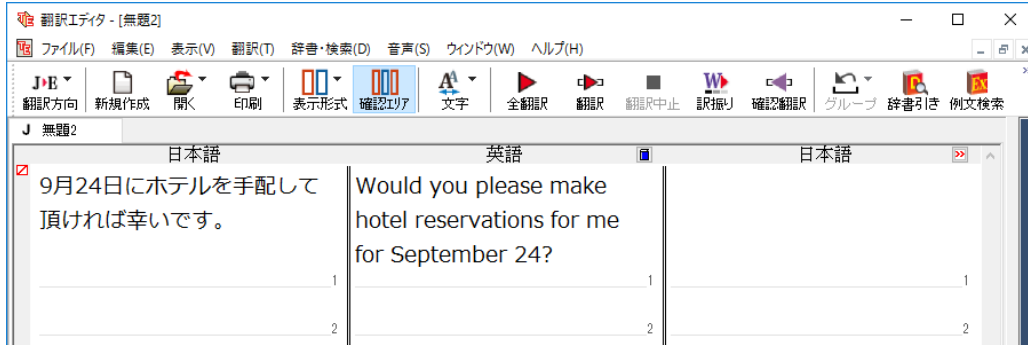
【上書き】【挿入】いずれかのラジオボタンをクリックして、入力方法を選択します。【上書き】を選択したときは、元の文書に上書きされます。【挿入】を選択したときは、ポインタがある文の1つ前に例文が挿入されます。ここでは上書きを選択します。

7

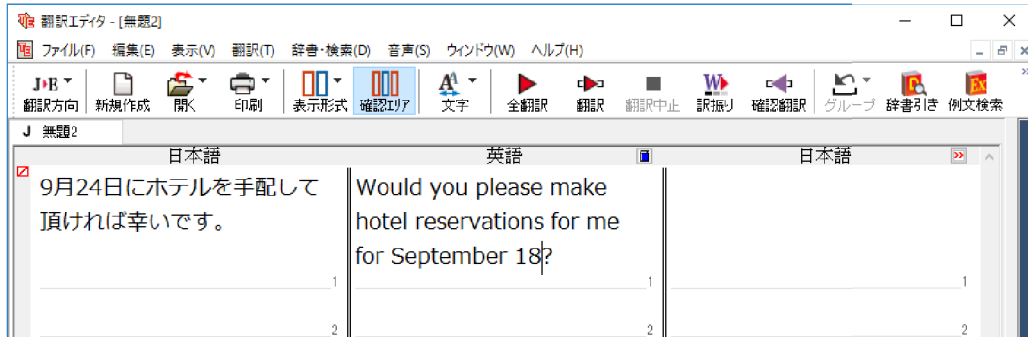


【翻訳エディタへ】ボタンをクリックします。

例文の日本語が原文ボックスに、英語が訳文ボックスに入力されます。



8 訳文ボックスで必要な箇所を編集して文を仕上げます。なお、入力した例文は手入力で編集できますが、再翻訳はできません。



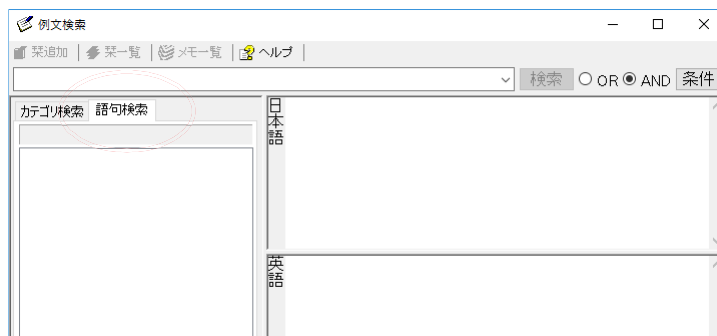
翻訳方向で[英語から日本語へ]が選択されているときは、例文の英語が原文ボックスに、日本語が訳文ボックスに入力されます。

◆例文検索ウィンドウで例文を検索するには

翻訳エディタで語句を選択せずに[例文検索]ウィンドウを開き、直接例文を検索することもできます。検索方法は2つあります。1つはキーワードで検索していく「語句検索」です。もう1つは、カテゴリにしたがってツリー表示から検索していく「カテゴリ検索」です。

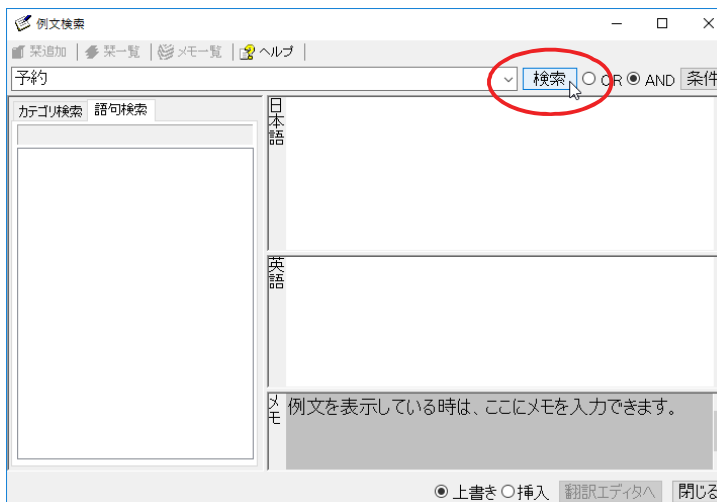
語句で検索する.....

1



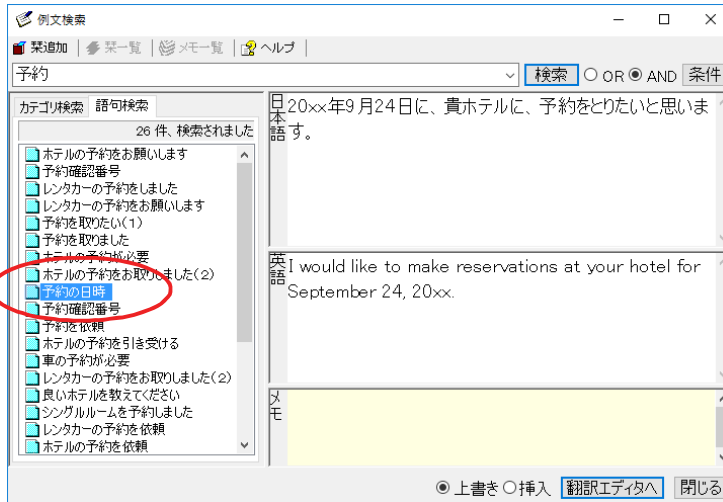
[例文検索] ウィンドウの [語句検索] タブを開きます。

2



[検索文字列] 入力ボックスにキーワードを入力して[検索]ボタンをクリックします。

3



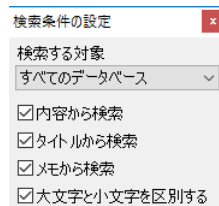
左のボックスにキーワードを含むテーマが一覧表示されます。

使いたいテーマをクリックすると、右のボックスに例文が表示されます。

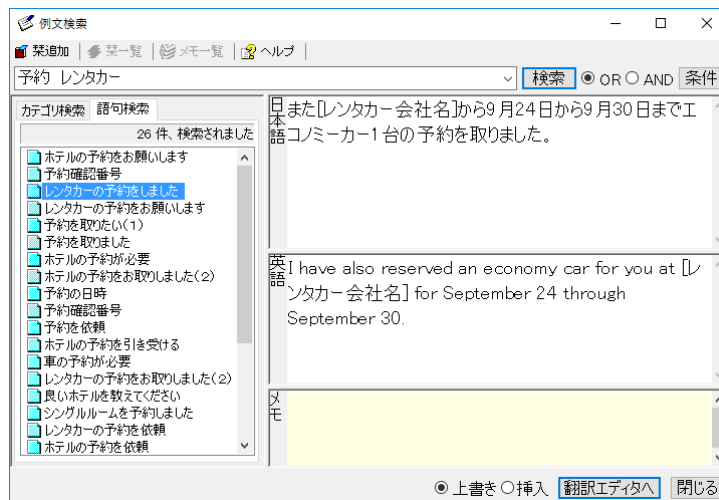
このように内容を確認しながら、使いたいテーマを検索します。



- ・[条件]ボタンをクリックすると、例文を検索する範囲を設定することができます。

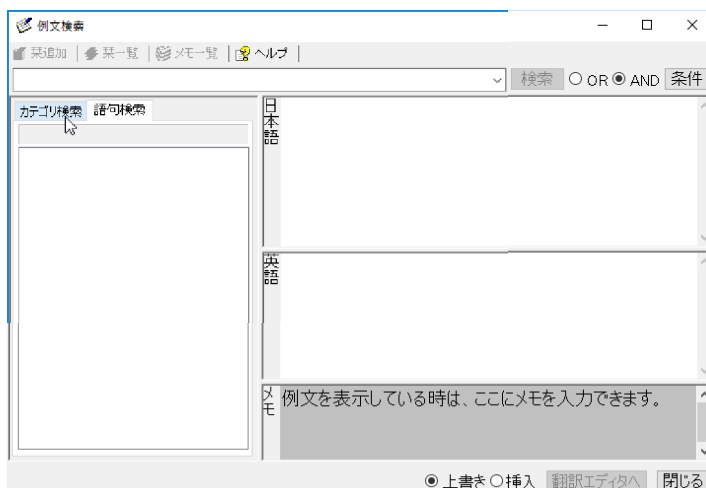


- ・スペースで区切りながら、複数の語句を検索条件として入力することもできます。[OR]が選択されているときは、入力した条件のいずれかに該当する例文が検索されます。[AND]が選択されているときは、入力したすべての条件に該当する例文が検索されます。

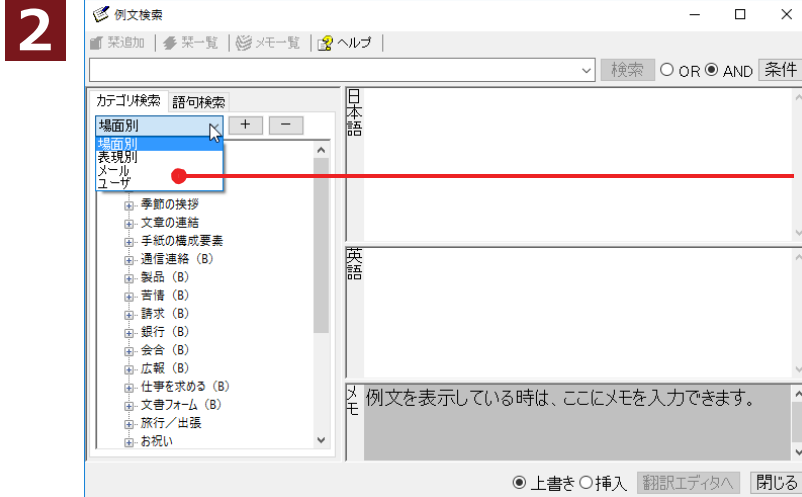


カテゴリで検索する.....

1

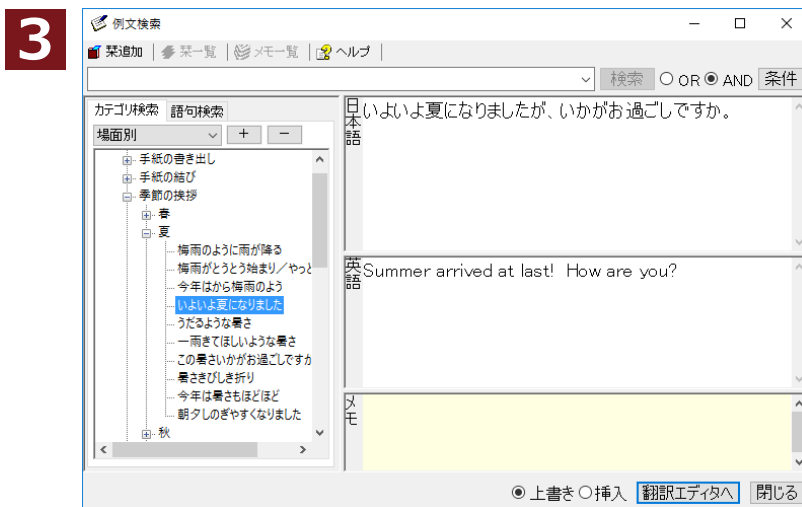


[例文検索] ウィンドウの [カテゴリ検索] タブを開きます。



[カテゴリ検索] タブの最上部のプルダウンメニューで、検索したいデータベースを選択します。左のボックスに、カテゴリと例文タイトルがツリー形式で表示されます。

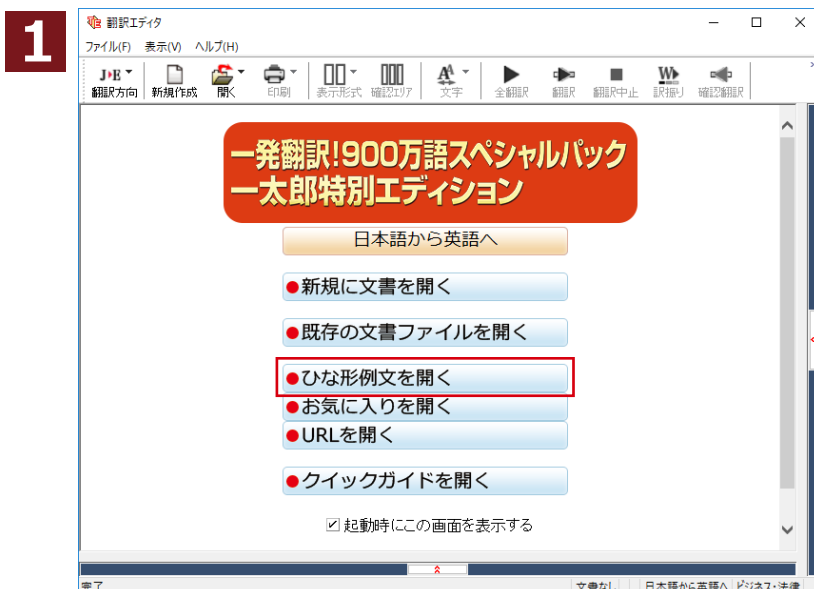
データベースを選択するプルダウンメニュー



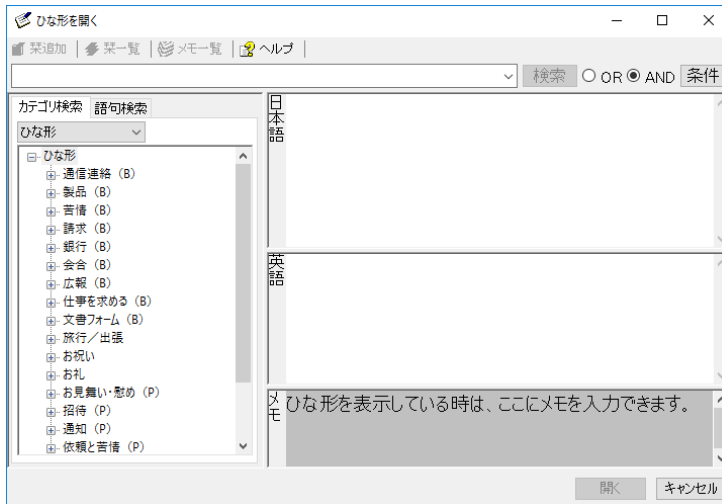
ツリー表示から参照したいカテゴリをクリックで選択すると、そのカテゴリに分類されているタイトル一覧が表示されます。タイトルを選択すると、右のボックスに例文が表示されます。

◆ひな形を文書として開き必要な箇所を修正する方法 (日英のみ)

1つの文書としてのひな形を利用して必要な箇所を修正して目的の英文書を作成する手順を説明します。

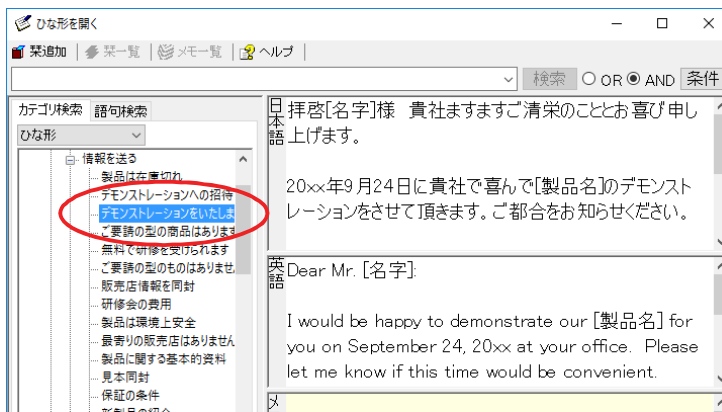


翻訳エディタを起動します。起動メニューから [ひな形例文を開く] を選択します。



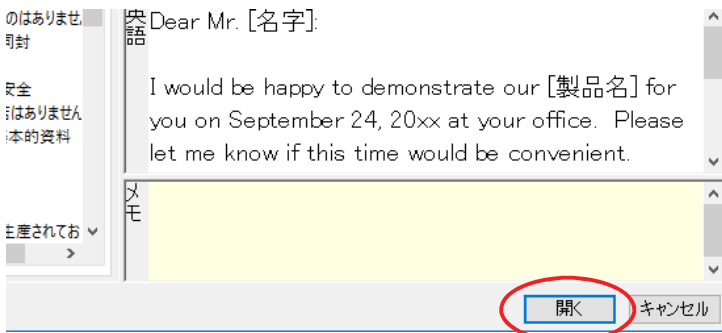
[ひな形を開く]ウィンドウが表示されます。

2



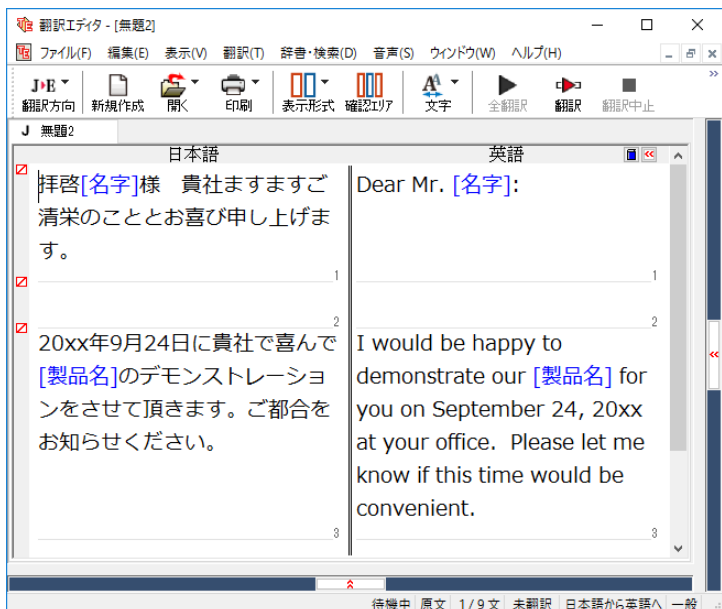
[ひな形を開く] ウィンドウで作成したい英文と似た例文を探して選択します。

3



[開く]を選択します。

[ひな形を開く]ウィンドウが閉じて、選択したひな形例文の文書が開きます。



例文には青い [] で囲まれたフィールドがある場合があります。これらに英語を埋め込むだけで目的の文書が完成させることができます。

WebページやPDFファイルを翻訳する

ネット上のWebページや、コンピュータに保存されているPDFファイルは、翻訳エディタのレイアウトビューでレイアウトを確認しながら翻訳できます。

◆レイアウトビューの機能

レイアウトビューは、翻訳エディタでネット上のWebページや、コンピュータに保存されているPDFファイルを開いたときに表示されます。レイアウト表示のほか、シンプルなWebブラウザ、PDFブラウザとしての機能も備えています。Webページから別のリンク先に移動したり、PDFの別のページを表示したりできます。

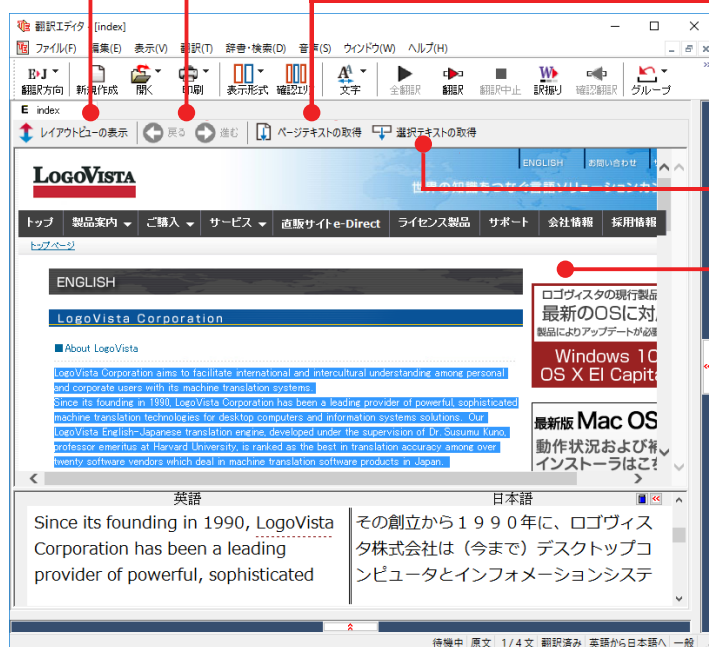
レイアウトビューの表示 ／非表示の切り替え

Web ページから他のページに移動したときに有効になります。
[戻る]をクリックすると、今までの表示履歴を1ページさかのぼります
[進む]をクリックすると、[戻る]でさかのぼった表示履歴を、再度たどります。

表示中のページのテキストを取得して、原文ボックスに追加します。

選択中のテキストを取得して、原文ボックスに追加します。

レイアウトビュー



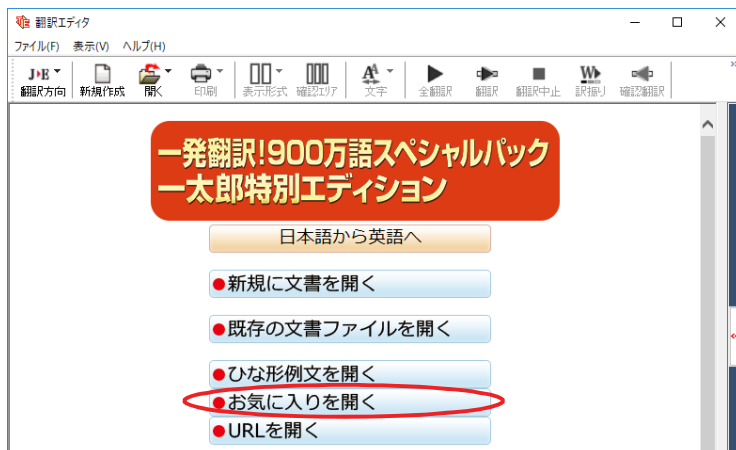
◆Webページを翻訳するには

翻訳エディタでWebページを開く方法は2種類あります。

お気に入りを開くには.....

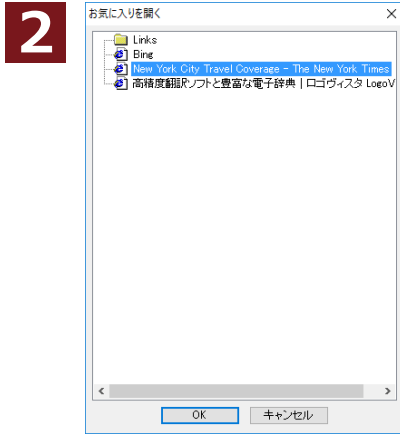
Internet Explorerで登録したお気に入りページを、翻訳エディタから指定して開くことができます。

1



翻訳エディタを起動します。
起動メニューから[お気に入りを開く]ボタンをクリックします。

[お気に入りを開く] ダイアログが表示されます。



お気に入りの一覧から開きたい Web ページを選択し[OK]ボタンをクリックします。

[文書プロパティの選択] ダイアログが表示されます。

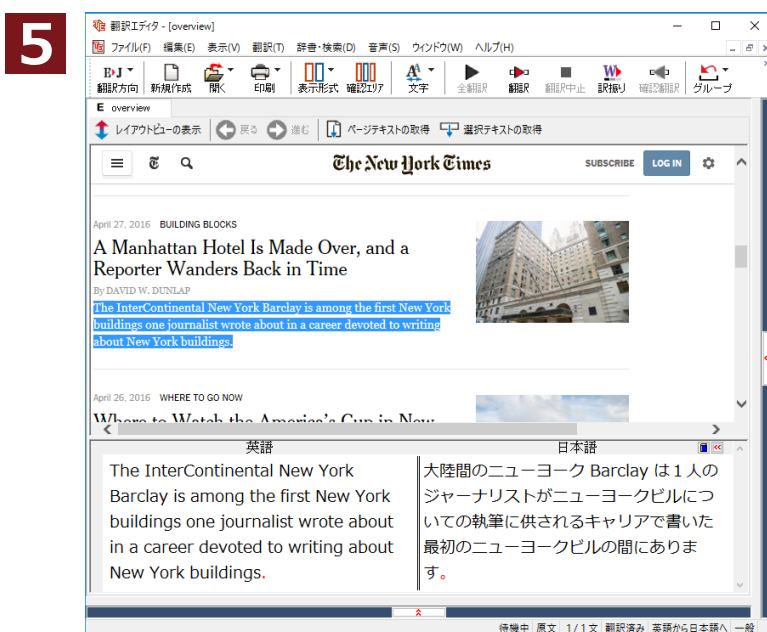


翻訳方向、翻訳スタイルを設定し、[OK]ボタンをクリックします。選択したお気に入りのページが、レイアウトビューに表示されます。



Webページのテキストを取得します。ここでは、[選択テキストの取得] ボタンをクリックします。

表示中のページの選択したテキストが原文ボックスに追加されます。

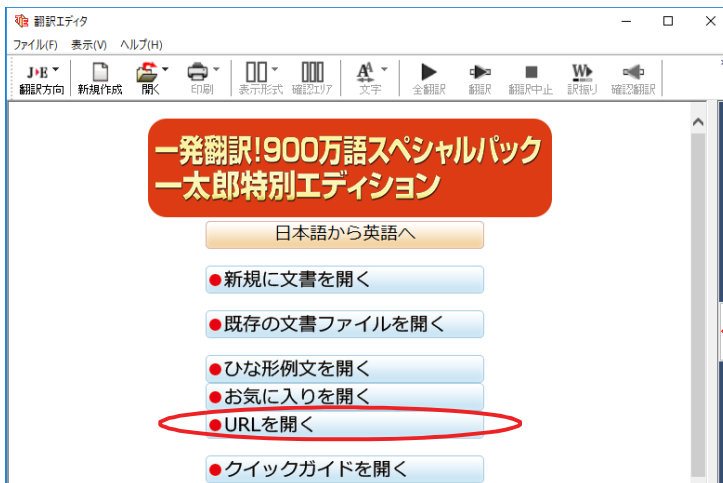


翻訳エディタの機能を使って、翻訳や訳文の編集を行います。

翻訳結果は [テキストの書き出し] で保存できます。

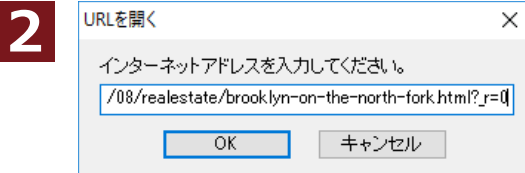
URLを指定してWebページを開くには.....

- 1** 翻訳したいWebページのURLがわかっているときは、翻訳エディタで指定して開くことができます。URLはインターネット上のデータを指定するためのアドレスです。「www.logovista.co.jp」といった形式で記述されます。



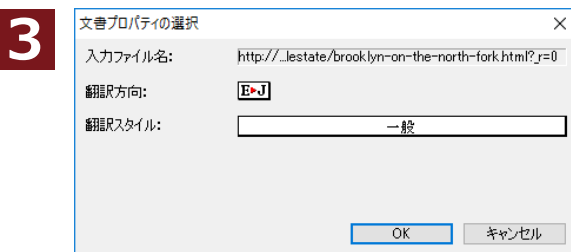
翻訳エディタを起動します。起動メニューから「URLを開く」ボタンをクリックします。

「URLを開く」ダイアログが表示されます。

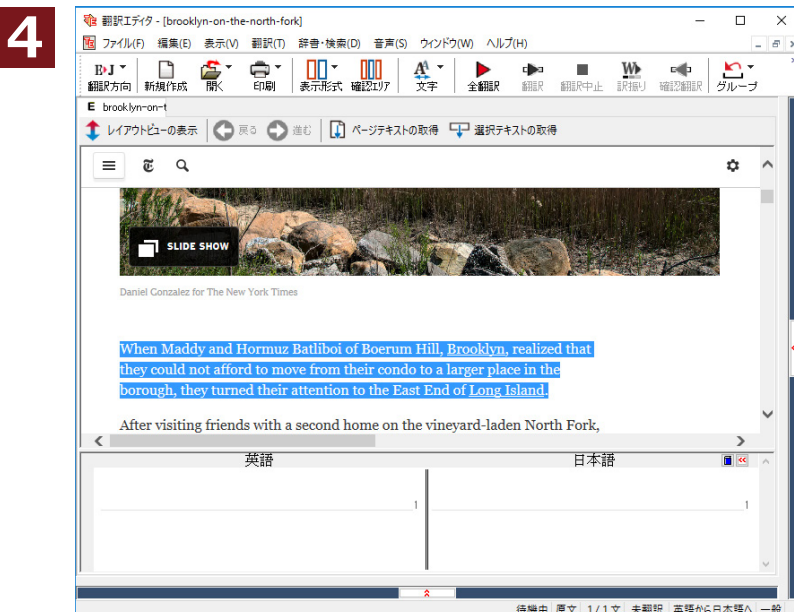


URLを入力し「OK」ボタンをクリックします。

「文書プロパティの選択」ダイアログが表示されます。



翻訳方向、翻訳スタイルを設定し、「OK」ボタンをクリックします。入力URLのページが、レイアウトビューに表示されます。



以降の操作は、前項「お気に入りのWebページを開くには」の手順4以降と同じです。



Internet Explorer で表示中の Web ページは、Internet Explorer に表示された一発翻訳！900万語 ツールバーの機能を使って翻訳エディタで開くことができます。詳しくは第4章「ホームページを翻訳するには」をお読みください。

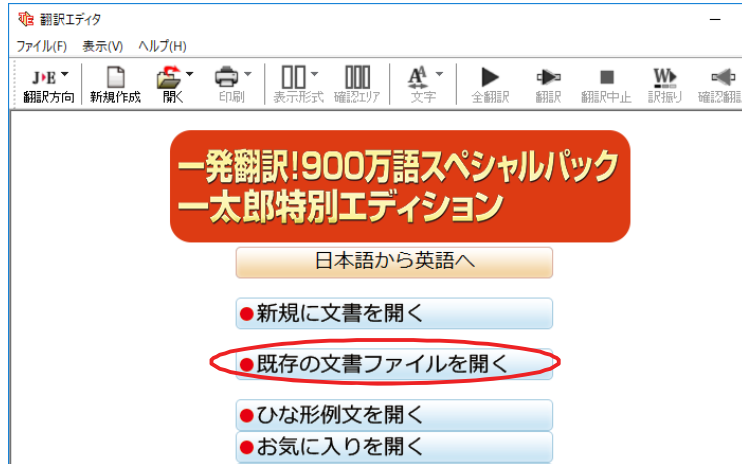
◆PDF ファイルを翻訳するには

PDFファイルも、Webページ同様にレイアウトビューを利用して翻訳できます。

PDFファイルを開くには.....

翻訳したいPDFファイルを、翻訳エディタから指定して開くことができます。

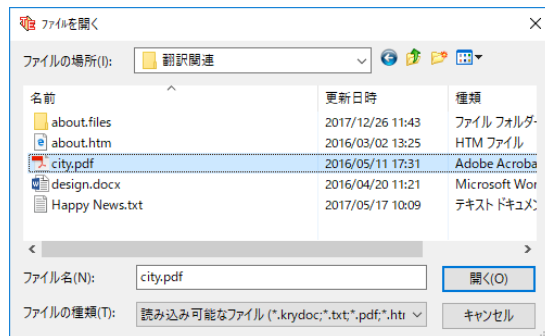
1



翻訳エディタを起動します。
起動メニューから [既存の文書ファイル開く] ボタンをクリックします。

[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

2



[ファイルを開く] ダイアログから翻訳するPDF ファイルページを選択し [OK] ボタンをクリックします。

[文書プロパティの選択] ダイアログが表示されます。

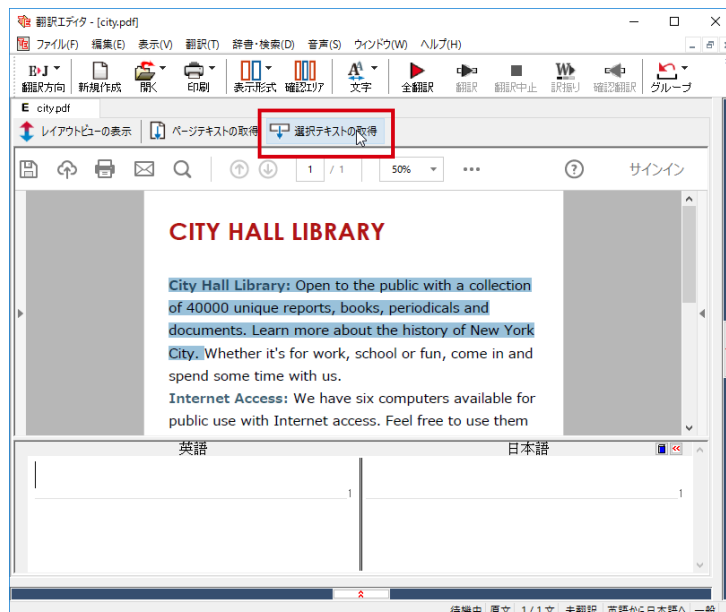
3



翻訳方向、翻訳スタイルを設定し、[OK] ボタンをクリックします。

PDFファイルがレイアウトビューに表示されます。

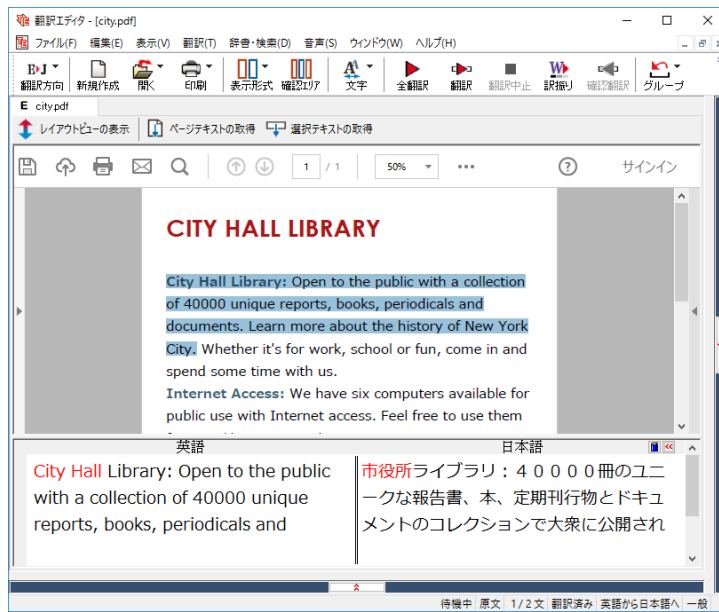
4



PDFファイルのテキストを取得します。ここでは、翻訳したい部分を選択し、[選択テキストの取得] ボタンをクリックします。

選択したテキストが原文ボックスに追加されます。

5



翻訳エディタの機能を使って、翻訳や訳文の編集を行います。



翻訳結果は翻訳エディタの文書ファイルへの保存、テキストファイルへの書き出しができます。文書ファイルにはレイアウトビューの内容は含まれません。

Chapter 4

ホームページを翻訳するには

1

Internet Explorerでホームページを翻訳するには

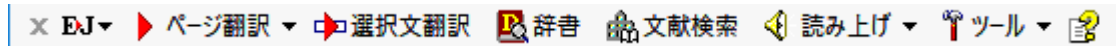
本製品をインストールする前に、Internet Explorer 11がインストールされている場合、一発翻訳！900万語 ツールバーが自動的に組み込まれます。ここでは、翻訳機能や翻訳方法を紹介します。

注意！

プロバイダなどによりカスタマイズされたInternet Explorerは使用できないことがあります。必ず、カスタマイズされていないInternet Explorerをお使いください。

◆Internet Explorerに組み込まれた翻訳機能について

翻訳機能が組み込まれたInternet Explorerには、一発翻訳！900万語スペシャルパック ツールバーが表示されます。

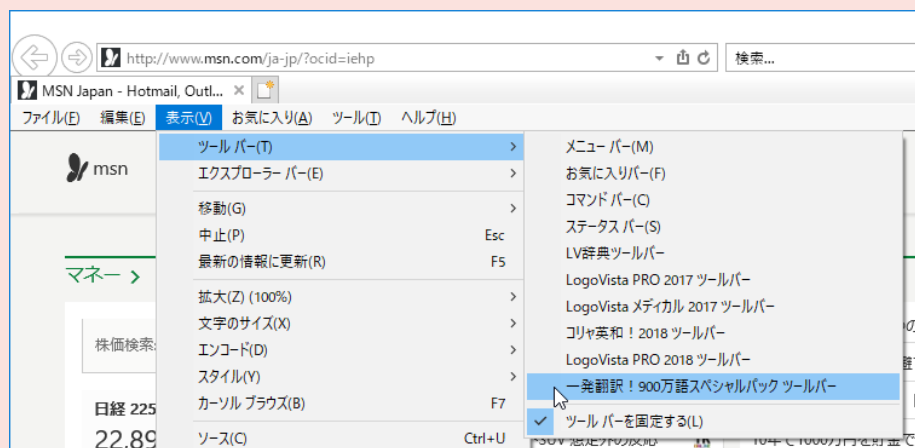


一発翻訳！900万語スペシャルパック ツールバー

注意！

ツールバーが表示されていないときは、次の方法で一発翻訳！900万語スペシャルパック ツールバーを表示させてください。

- ① [Alt]キーを押してメニューバーを表示させます。
- ② [表示]→[ツールバー]→[一発翻訳！900万語スペシャルパック ツールバー]の順に選択して、チェックマークをオンにします。



この方法だけでは表示されない場合は、操作パネルを起動し、[サポート]ボタン→[IE アドインについて]を選択し、表示されるオンラインヘルプの手順に従って設定を行ってください。

一発翻訳! 900万語 ツールバーの主な機能.....

ツールバーには、主に次のような機能があります。

HTML 等で記述された Web ページの翻訳

Web ページを Internet Explorer 上で翻訳します。

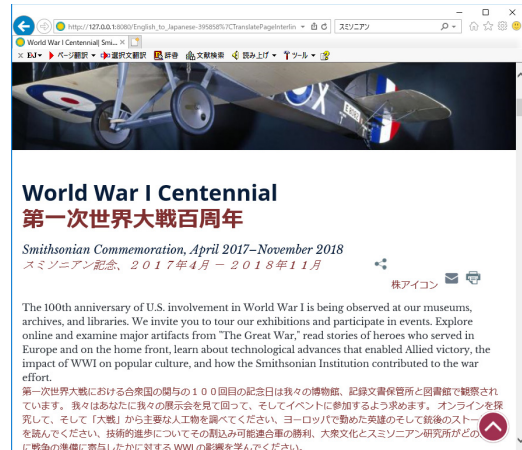
[ページ翻訳]→[訳文のみ]/[上下対訳]/[ヘッダ・リンクタグのみ]

表示中のWebページを翻訳し、結果をInternet Explorer上で表示します。

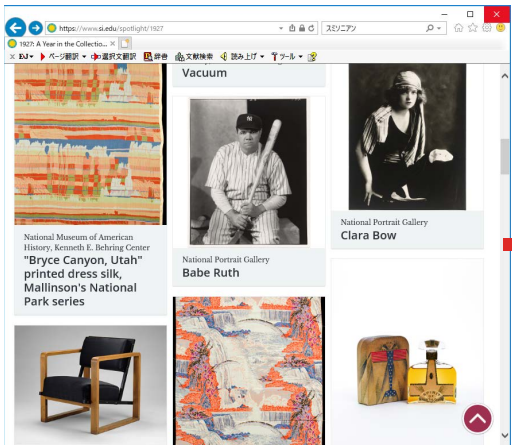
元のレイアウトが保たれるので、素早くWebページを読み進めていきたいときなどに便利です。



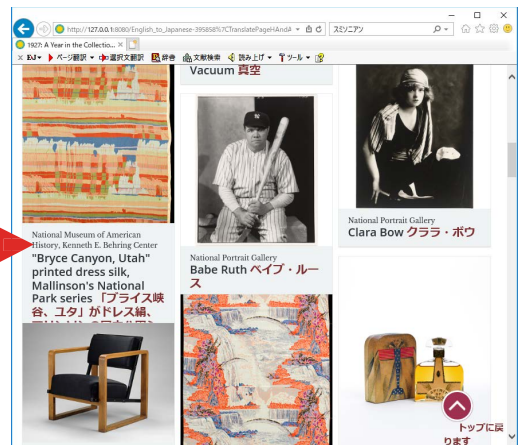
[訳文のみ]



[上下対訳]



[ヘッダ・リンクタグのみ]



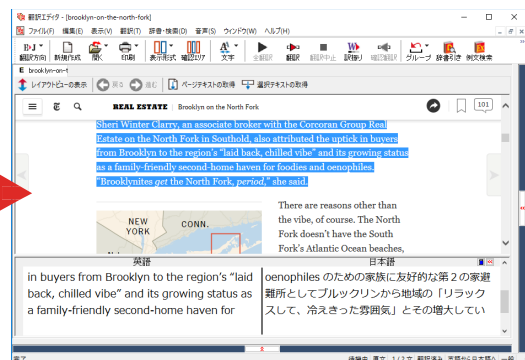
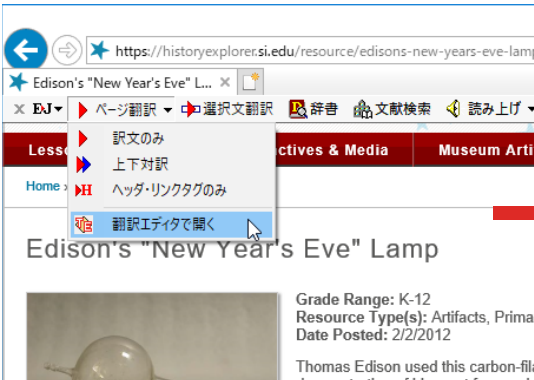
HTML 等で記述された Web ページの翻訳

[ページ翻訳]→[翻訳エディタで開く]/[選択文翻訳]

[翻訳エディタで開く]は、表示中の Web ページを翻訳エディタのレイアウトビューに転送して翻訳します。

[選択文翻訳]は、Internet Explorer 上で選択したテキスト部分を翻訳エディタで翻訳します。

どちらも、より詳細に訳文を検討したいときに便利です。



上記の他、辞書引き、音声読み上げなどの機能が利用できます。

一発翻訳! 900万語 ツールバーの名称と機能.....

ツールバーには、コマンドボタンが用意されています。ツールバー上のボタンをクリックすると、そのコマンドの機能が実行できます。ボタンの右に▼がある各ボタンにはプルダウンメニューがあります。プルダウンメニューは、それぞれのボタンをクリックすると開きます。プルダウンメニューを開いて、メニューにあるコマンドをクリックすると、そのコマンドを実行できます。



翻訳方向と翻訳スタイルの選択

翻訳する方向および翻訳スタイルを切り替えるボタンです。

翻訳方向の選択	翻訳したい方向を切り替えることができます。
翻訳スタイルの選択	翻訳する原文の性質にあわせて、よりよい翻訳結果を得るために使用する翻訳スタイルを切り替えることができます。翻訳スタイルには、あらかじめ「一般」、「ビジネス・法律」、「電気・電子・情報」、「科学・機械」、「理化学」、「趣味・娯楽」などが用意されています。ただし、製品パッケージにより異なります。
翻訳スタイルの編集	翻訳スタイルマネージャを起動します。翻訳スタイルを編集することができます。

ページ翻訳

Internet Explorerに表示されている Web ページ全体を翻訳したり、ページ全体を他の翻訳ツールに転送したりするときに使います。以下の翻訳方法や転送先を選べます。

訳文のみ	Web ページ上の原文をページごと翻訳し、訳文のみを表示します。
上下対訳	Webページ上の原文をページごと翻訳し、原文と訳文を上下に表示します。
ヘッダ・リンクタグのみ	Webページ上のヘッダとリンクタグだけを翻訳し、原文に続けて訳文を表示します。
翻訳エディタで開く	[翻訳エディタ]を起動し、表示されている Web ページをレイアウトビューに転送します。同時に、転送したページ全体のテキストが原文ボックスに入力されます。

選択文翻訳

Internet Explorer 上で選択したテキストを [翻訳エディタ] に転送して翻訳します。翻訳したい原文テキストを選択してこの ボタンをクリックすると、[翻訳エディタ]が起動し、翻訳結果を表示します。

辞書

Internet Explorer 上で選択したテキストを辞書引きします。調べたい語句を選択してこのボタンをクリックすると、[辞書ビュー]が開き、研究社 新英和・和英中辞典から辞書引きが行えます。本製品で使われている翻訳用の辞書(システム辞書)やクイック辞書からも辞書引きが行えます。

文献検索

海外の文献検索サイトから文献を検索する場合に使用します。簡単な操作で日本語の語句を翻訳して、または、英語のまま検索することができます。

読み上げ

音声合成エンジンがインストールされているときに表示されます。音声による読み上げの実行と、音声読み上げの設定ができます。

注意！

音声がかえれないときは、Windows の [Volume Control] パネルの音量を確認してください。

ツール

本製品で使用できる各種のツールを呼び出すことができます。

☞ [ツール] ボタンに登録されている各ツールについては、「第 2 章 操作パネルの使い方」をご覧ください。

ヘルプ

オンラインヘルプを表示します。

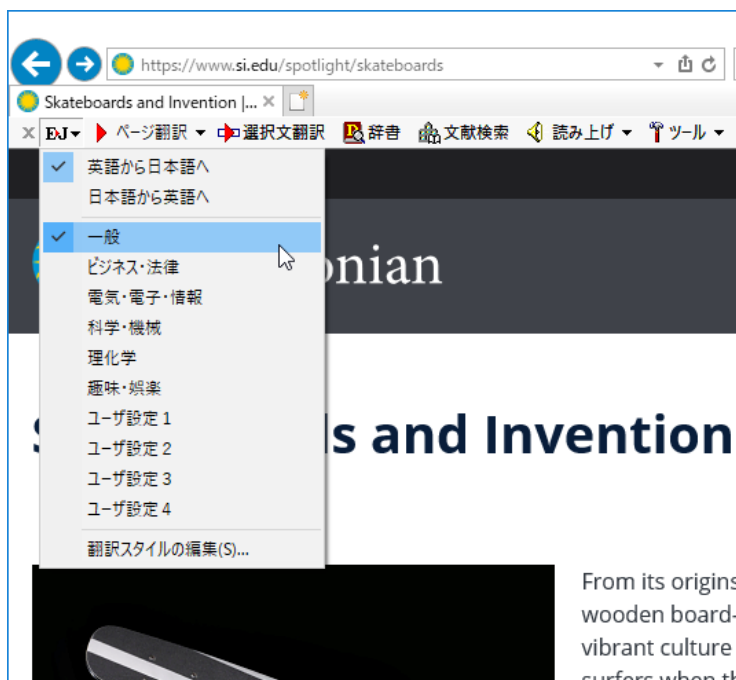
◆WebページをInternet Explorer上で翻訳する

HTML等で記述された通常のWebページは、Internet Explorer上でレイアウトを保ったまま翻訳できます。また、お気に入り翻訳の機能を使えば、頻繁に閲覧するページが自動的に翻訳されるようになります。

表示したWebページを翻訳するときは.....

Internet Explorer 上に表示されている Web ページの翻訳には、[ページ翻訳ボタン]の[訳文のみ]、[上下対訳]、[ヘッダ・リンクタグのみ]のいずれかを使います。いずれも元のページのレイアウトやリンクを生かしながら、原文を翻訳結果に入れ替えて表示します。訳文のみを表示したい場合は [訳文のみ]、原文と訳文の両方を表示したい場合は [上下対訳]、タイトルやリンク部分だけを確認したい場合は[ヘッダ・リンクタグのみ]を選択します。ここでは、[上下対訳]の場合を例にとりて説明します。

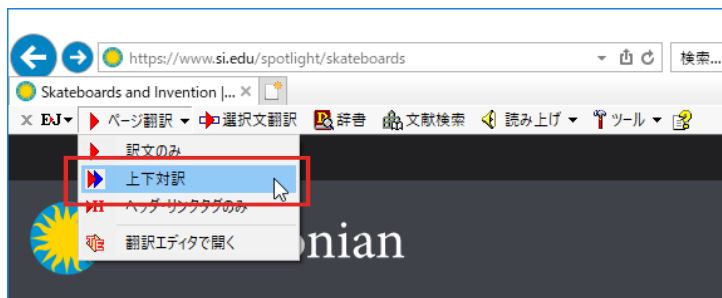
1



インターネットにアクセスし、翻訳したい Web ページを開きます。

[翻訳方向の選択]ボタンをクリックして、表示されるメニューから翻訳方向を設定します。再度[翻訳方向の選択]ボタンをクリックし、Web ページの内容に合わせて翻訳スタイルを選択します。この例では、[英語から日本語へ]、[一般]を選択します。

2



[ページ翻訳]をクリックし、表示されるメニューから[訳文のみ]、[上下対訳]、[ヘッダ・リンクタグのみ]のいずれかを選択します。この例では、[上下対訳]を選択します。

翻訳が開始され、終了すると、原文と訳文が上下に並んで表示されます。

Skateboards and Invention



From its origins—roll wooden board—the vibrant culture of art, surfers when there w skateboard was first board, or deck, owes *malu* (surfboards) an Native Hawaiians.

The National Museum

http://127.0.0.1:8080/English_to_Japanese-1902686%7CTranslatePageli

Skateboards and Invention |...

Skateboards and Invention | スケートボードと発明

Skateboards and Invention | スケートボードと発明

From its origins—roller-skate wheels attached to a wooden board—the skateboard has given rise to a vibrant culture of art, music, and sport. Used by surfers when there were no waves to ride, the skateboard was first manufactured in California. Its board, or deck, owes its heritage to the *papa he'e malu* (surfboards) and *papahōlua* (land sleds) of Native Hawaiians.

その起源 - 木の板に取り付けられたローラースケート車輪 - からスケートボードは芸術、音楽とスポーツの活気に溢れた文化を呼び起こしました。乗るべき波がなかったとき、サーファーによって使われて、スケートボードは最初にカリフォルニアで生産されました。

そのボード、あるいはデッキ、はその遺産をババに負っている彼「e malu (サーフボード) と生まれつきのハワイ人の papahōlua (土地そり)。

The National Museum of American History's Lemelson Center for the Study of Invention and Innovation

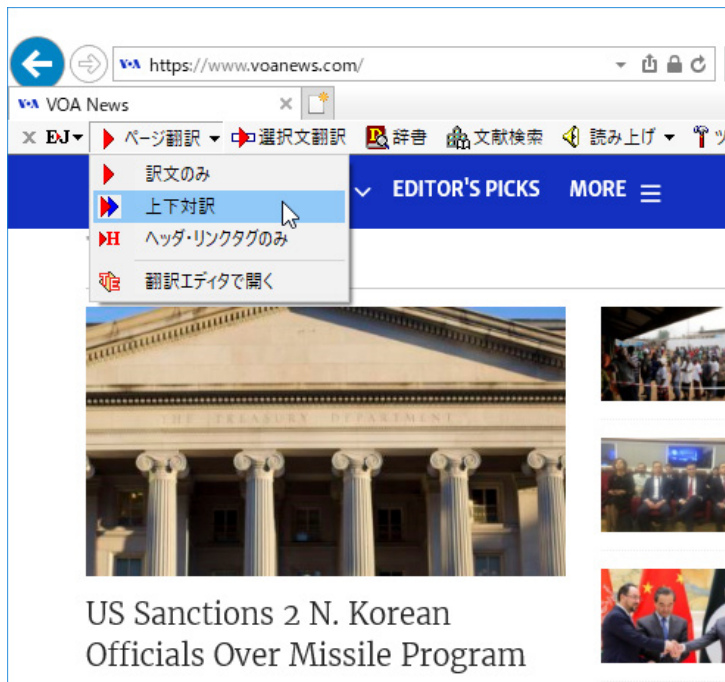


[ページ翻訳]ボタンでページ全体を翻訳する場合、ページ構造によっては、翻訳・表示ができない場合があります。その場合は、「Web ページを翻訳エディタに転送して翻訳する」で紹介している[選択文翻訳]コマンドをご利用ください。

お気に入りを翻訳するには.....

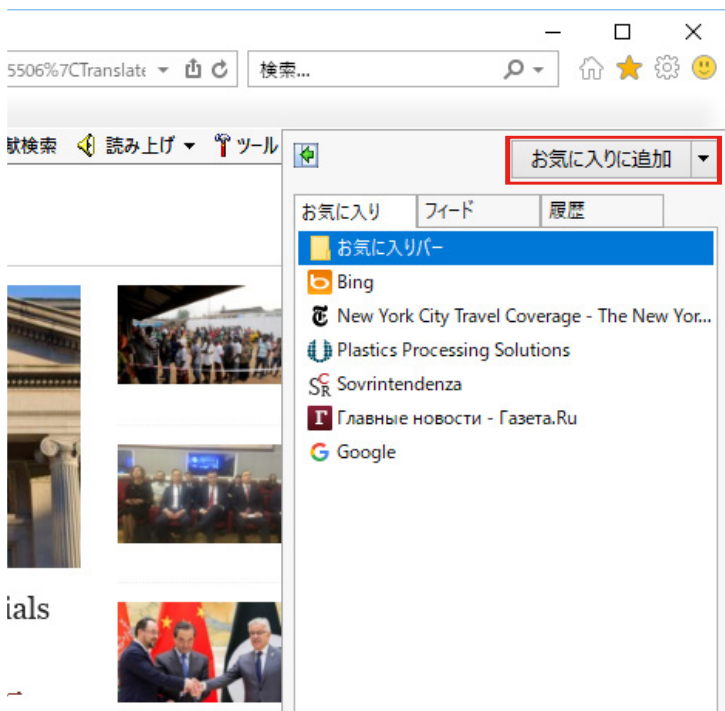
ニュースサイトなど、頻繁に翻訳して閲覧するページは、翻訳したページをお気に入りに追加しておく便利です。お気に入りを選択するたびに、自動的に翻訳が行われ、最新内容の翻訳結果が表示されるようになります。

1



登録する Web ページを表示し、ツールバーの [ページ翻訳] からページ翻訳を実行します。[訳文のみ][上下対訳][ヘッド・リンクタグのみ]のいずれかでも構いません。

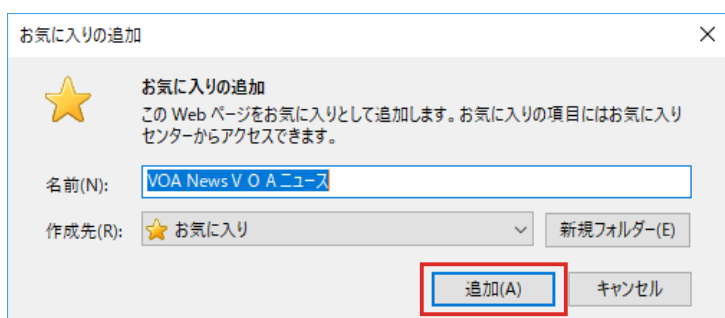
2



IE のお気に入りボタン、または IE 上を右クリックして開くコンテキストメニューから [お気に入りに追加] を選択し、翻訳されたページをお気に入りに追加します。

[お気に入りに追加] ダイアログが表示されます。

3



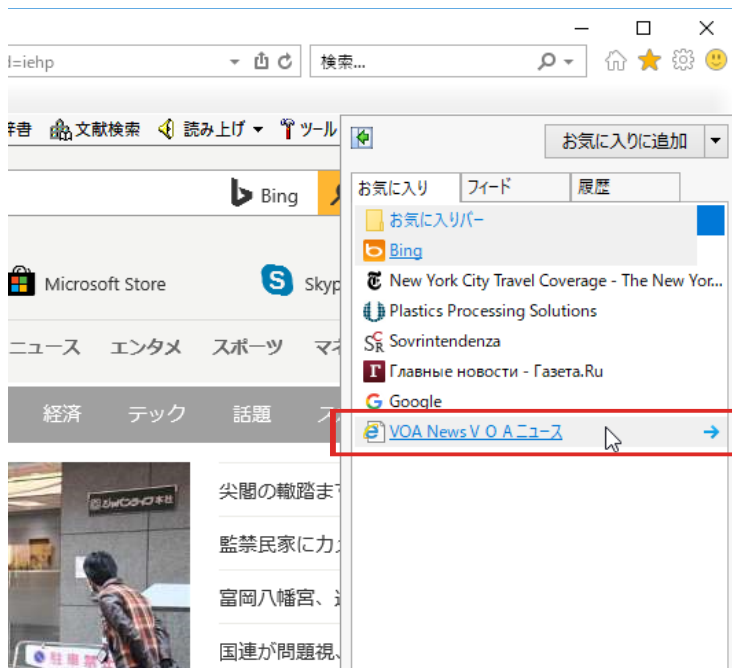
名前を入力し、作成先を選択して [追加] ボタンをクリックします。

これでお気に入りに登録されます。

お気に入りの翻訳を実行する.....

通常のお気に入りページの表示と同じように、お気に入りを選択するだけで最新内容の翻訳結果が表示されます。

1



お気に入りを選択します。



自動的に翻訳が行われ、最新内容の翻訳結果が表示されます。



翻訳方向や翻訳形式は、お気に入りに追加した時点のものが適用されます。

注意！

ツールバーが表示されていない場合、お気に入り翻訳はできません。

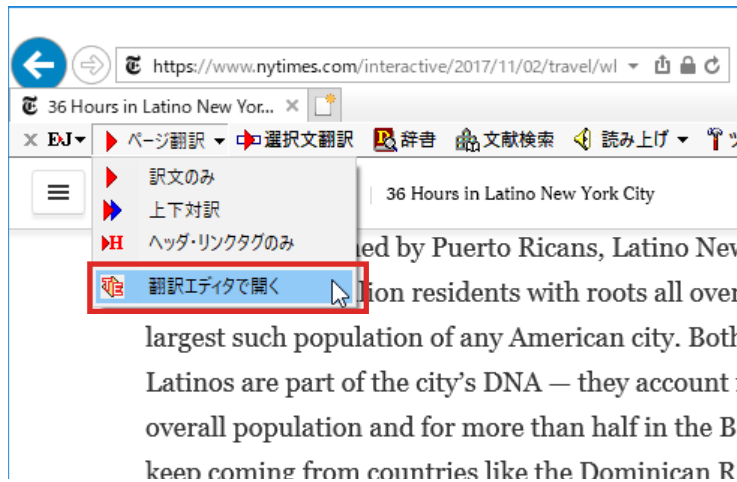
◆Webページを翻訳エディタに転送して翻訳するには

Internet Explorerで表示中のWebページを翻訳して、より詳細に訳文を検討したいときは、翻訳エディタに転送します。Webページに含まれるテキストを対訳表示で検討しながら翻訳できます。より適切な訳文が得られるように、原文を編集することもできます。ページ全体を転送して、レイアウトを確認しながら翻訳する方法と、選択したテキストのみ転送する方法があります。

表示したWebページを翻訳するときは.....

翻訳エディタでは、ホームページに含まれるテキストを、対訳表示で検討しながら翻訳できます。より適切な訳文が得られるように、原文を編集することもできます。

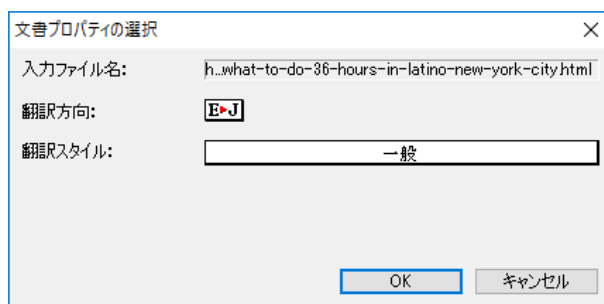
1



インターネットにアクセスし、翻訳エディタに転送したいページがあったら、[ページ翻訳] ボタンの [翻訳エディタで開く] を選択します。

[文書プロパティの選択]が表示されます。

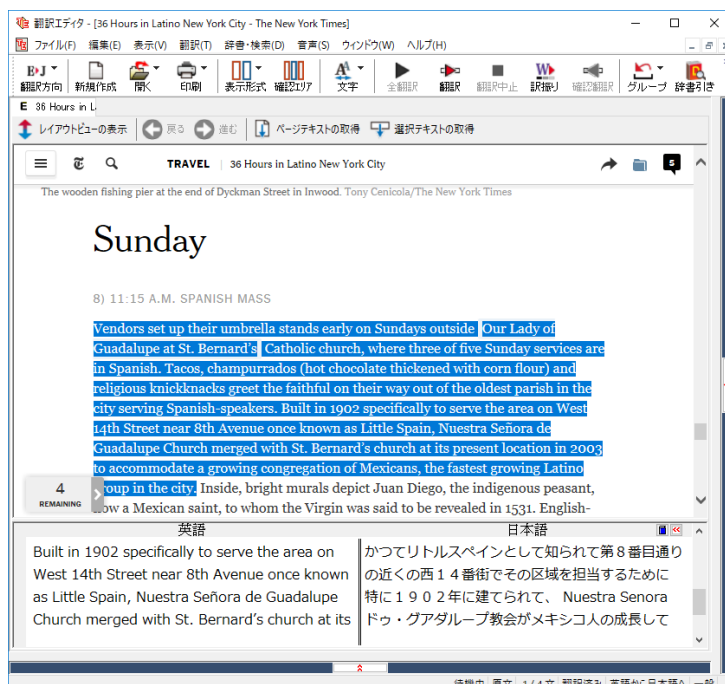
2



翻訳方向、翻訳スタイルを設定し、[OK] ボタンをクリックします。

翻訳エディタが起動し、転送したページがレイアウトビューに表示されます。

3



翻訳エディタの機能を使いながら、翻訳や訳文の修正を行います。

☞ [翻訳エディタ] については、第3章「翻訳エディタで翻訳するには」をご覧ください。



フレーム機能で画面が分割されている場合など、Web ページによっては Internet Explorer 上での表示中の部分とは別の部分が翻訳エディタのレイアウトビューに表示される場合があります。この場合は、レイアウトビュー内でリンク先を選択するなどの操作を行い、目的の部分を表示してください。

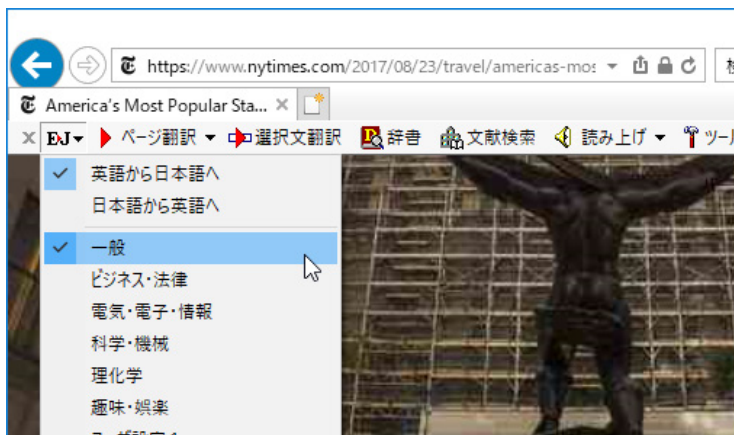


Web ページによっては、自動的にテキストが取得されないことがあります。このような場合は、レイアウトビュー内で翻訳したいテキストを選択して、[選択テキストの取得]をクリックしてください。

選択したテキストを翻訳するときは.....

こんどは、[選択文翻訳]で行う翻訳操作の例を紹介します。一部の文章だけを翻訳するときに便利です。

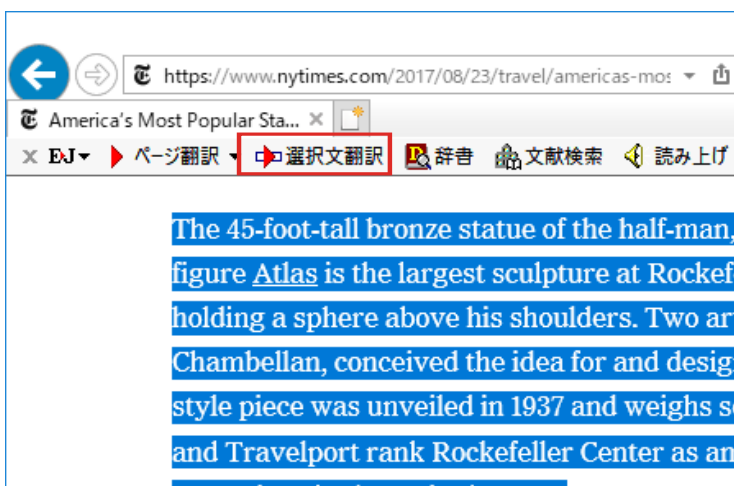
1



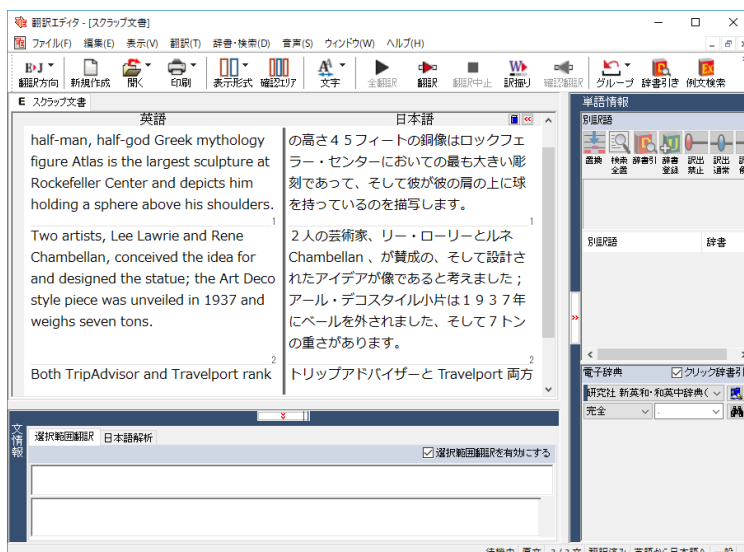
インターネットにアクセスし、翻訳したい Web ページを開きます。

[翻訳方向の選択]ボタンをクリックして、表示されるメニューから翻訳方向を設定します。再度、[翻訳方向の選択]ボタンをクリックし、Web ページの内容に合わせて翻訳スタイルを選択します。この例では、[英語から日本語へ]、[一般]を選択します。

2



翻訳したい文を選択し、[選択文翻訳] ボタンをクリックします。



[翻訳エディタ] が起動し、選択した部分の翻訳が開始されます。終了すると、翻訳結果が対訳で表示されます。

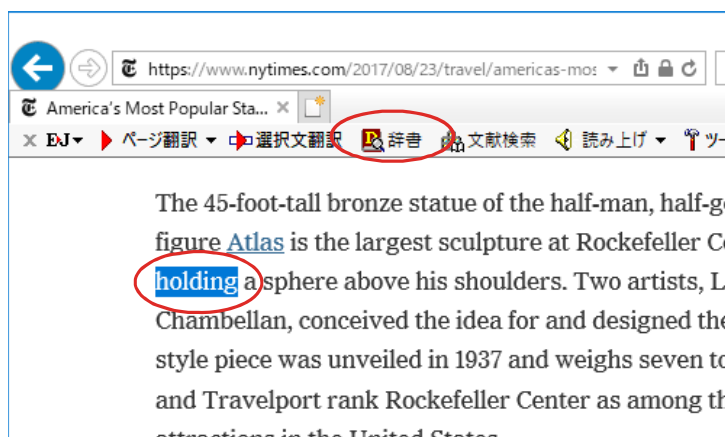


テキストを選択しないで[選択文翻訳]ボタンをクリックすると原文を入力する状態になります。

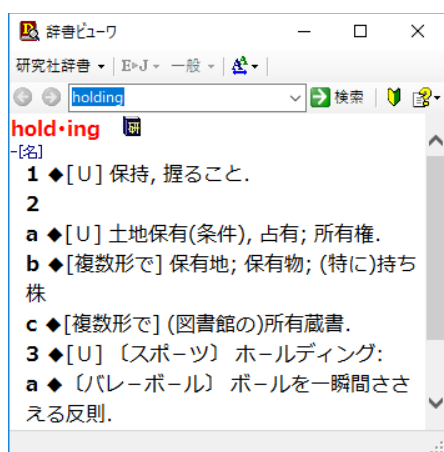
◆辞書引きするには

ホームページ上の語句を研究社 新英和・和英中辞典や、本製品の翻訳辞書、クイック辞書で辞書引きすることができます。

1



[翻訳方向の選択] ボタンをクリックして辞書引きしたい言語の方向を選択しておきます。辞書引きする語句を選択し、[辞書] ボタンをクリックします。



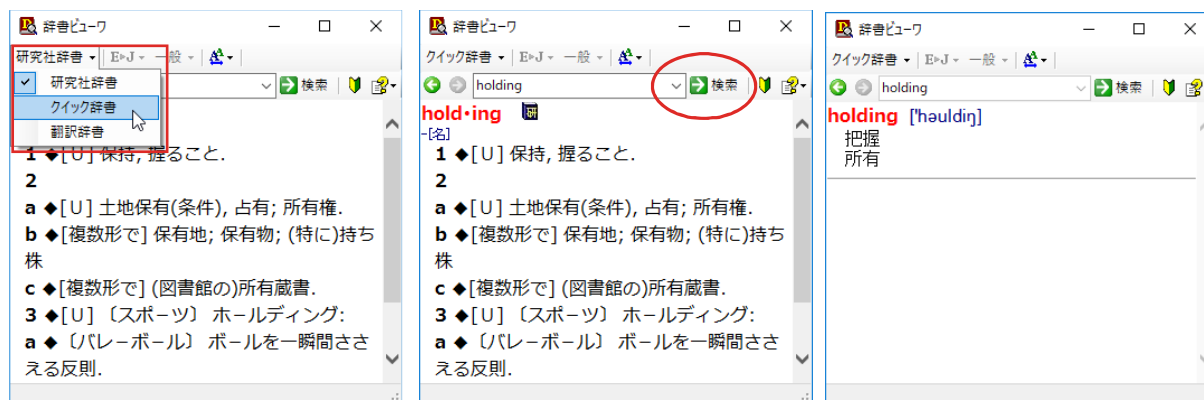
[辞書ビュー] ウィンドウが開き、辞書引き結果が表示されます。初期値では、研究社新英和・和英中辞典で辞書引きされます。



語句を選択せずに[辞書]ボタンをクリックしたときは、空の[辞書ビュー]ウィンドウが開きます。

◆検索対象の辞書を変更するときは

[辞書ビュー] ウィンドウの辞書ボタンをクリックして開くリストから、辞書を選択して変更することができます。辞書を変更したときは[検索]ボタンをクリックすると、変更した辞書で辞書引きが行われ、結果が表示されます。



HTTPプロキシ翻訳でホームページを翻訳するには

HTTPプロキシ翻訳はFirefoxなどの、Internet Explorer以外のブラウザでホームページを翻訳する際に利用する機能です。ここでは、Firefoxを例にその使い方を紹介します。

◆HTTPプロキシ翻訳を有効にする

ここでは、この機能を有効にする方法を説明します。

「HTTPプロキシ翻訳」とは.....

HTTPプロキシ翻訳は、お使いのコンピュータに翻訳専用のプロキシサーバ（翻訳サーバ）を存在させ、Webブラウザでホームページにアクセスしたときに、そのホームページを直接Webブラウザ上に表示するのではなく、翻訳サーバを通して表示させるという機能です。HTTPプロキシ翻訳では、設定方法により、次のいずれかの方法でホームページを表示します。

- 翻訳せずにそのまま表示する
- 翻訳して上下対訳で表示する
- 翻訳して訳文だけを表示する

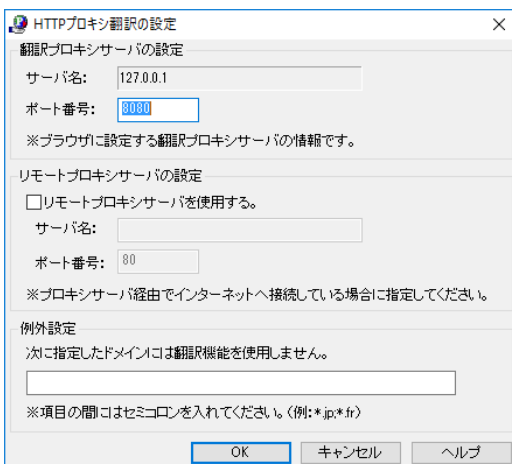
注意！

- プロバイダが独自に使用しているブラウザでは、ホームページ翻訳は行えません。
- プロキシサーバを経由できないファイアウォール環境では、プロキシ方式のホームページ翻訳を利用できない場合があります。
- プロキシ方式では、セキュリティで保護されたホームページは翻訳できません。

HTTPプロキシ翻訳機能を有効にするには.....

次の手順で設定します。

1



[操作パネル]→[設定ツールを起動]→[HTTPプロキシ翻訳の設定]を選択します。ダイアログが表示されます。

必要な設定を行い[OK]ボタンをクリックします。通常は、このままの設定で[OK]ボタンをクリックします。

これでHTTPプロキシ翻訳設定機能が有効になります。

HTTPプロキシ翻訳が有効になると、タスクトレイに[HTTPプロキシ翻訳]アイコンが表示されます。このアイコンがタスクトレイに表示されているとき、HTTPプロキシ翻訳が有効になっています。



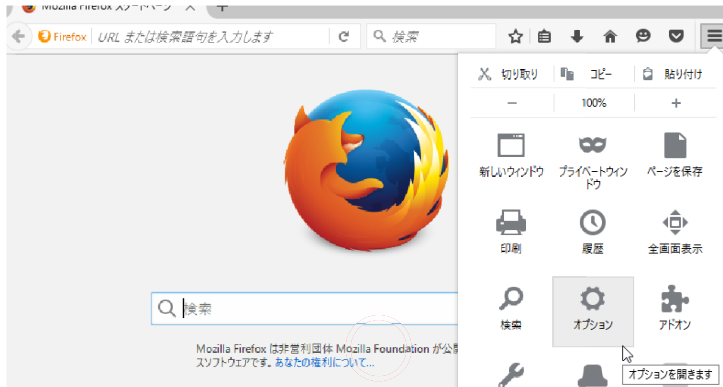
ヒント

[リモートプロキシサーバの設定]は、ネットワークなどを通じプロキシサーバを経由してインターネットに接続している場合などに設定します。通常このプロキシサーバは、別のコンピュータで動作していますので、「リモートプロキシサーバ」と呼ばれます。このサーバが存在する環境では、このサーバがある場所を翻訳サーバに指示しておく必要があります。詳細は、ネットワーク管理者にお尋ねください。

◆Webブラウザの設定を行う

HTTPプロキシ翻訳をWebブラウザで利用するためには、Webブラウザに翻訳サーバを使用すること、翻訳サーバがある場所を指示しておく必要があります。

1



Firefox を起動し、メニューを表示させ [オプション] を選択します。

[オプション] ページが表示されます。

2



左にあるメニューから [詳細] をクリックします。

3



[詳細] の [ネットワーク] をクリックします。

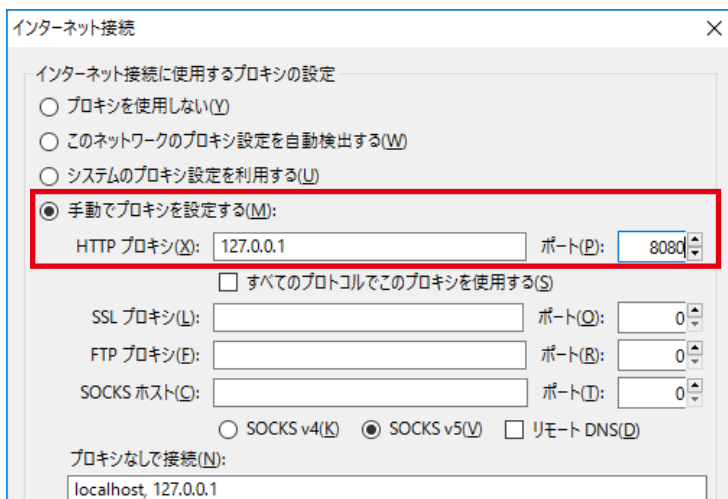
4



[接続] にある [接続設定] ボタンをクリックします。

[インターネットの接続設定] ダイアログが表示されます。

5



[手動でプロキシを設定する] ラジオボタンを選択し、[HTTP プロキシ]入力ボックスに半角角数字で「127.0.0.1」と入力し、その右にある[ポート番号]入力ボックスに「8080」と入力します。入力を終わったら [OK] ボタンをクリックして [インターネット接続の設定]ダイアログを閉じます。

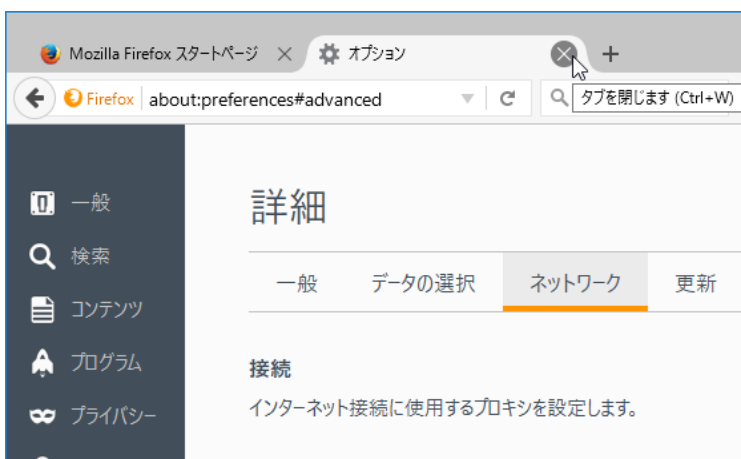


ヒント ポート番号は [HTTP プロキシ翻訳の設定] ダイアログの [翻訳プロキシサーバの設定] の [ポート番号] で設定した番号です。通常は、「8080」です。

注意！

手順 5 を行う前に、[インターネット接続時に利用するプロキシの設定] の [HTTP プロキシ] の設定内容を控えておくようにしてください。翻訳サーバを使わなくなったとき、元に戻す必要があります。

6



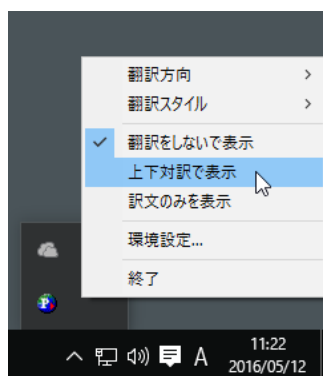
[オプション]タブを閉じます。

他のブラウザでも同様に翻訳サーバの設定を行うと、HTTP プロキシ翻訳を利用できます。

◆ホームページを翻訳する

HTTP プロキシ翻訳を有効にし、ブラウザでプロキシサーバ (翻訳サーバ) の設定を行うと、ホームページにアクセスしたときに翻訳サーバが機能し、指定した方法でホームページを翻訳させることができます。

HTTPプロキシ翻訳機能を有効にするには.....



タスクトレイの [HTTP プロキシ翻訳] アイコンをクリックし、表示されるメニューから翻訳方法を設定します。この例では、「上下対訳で表示」を選択します。

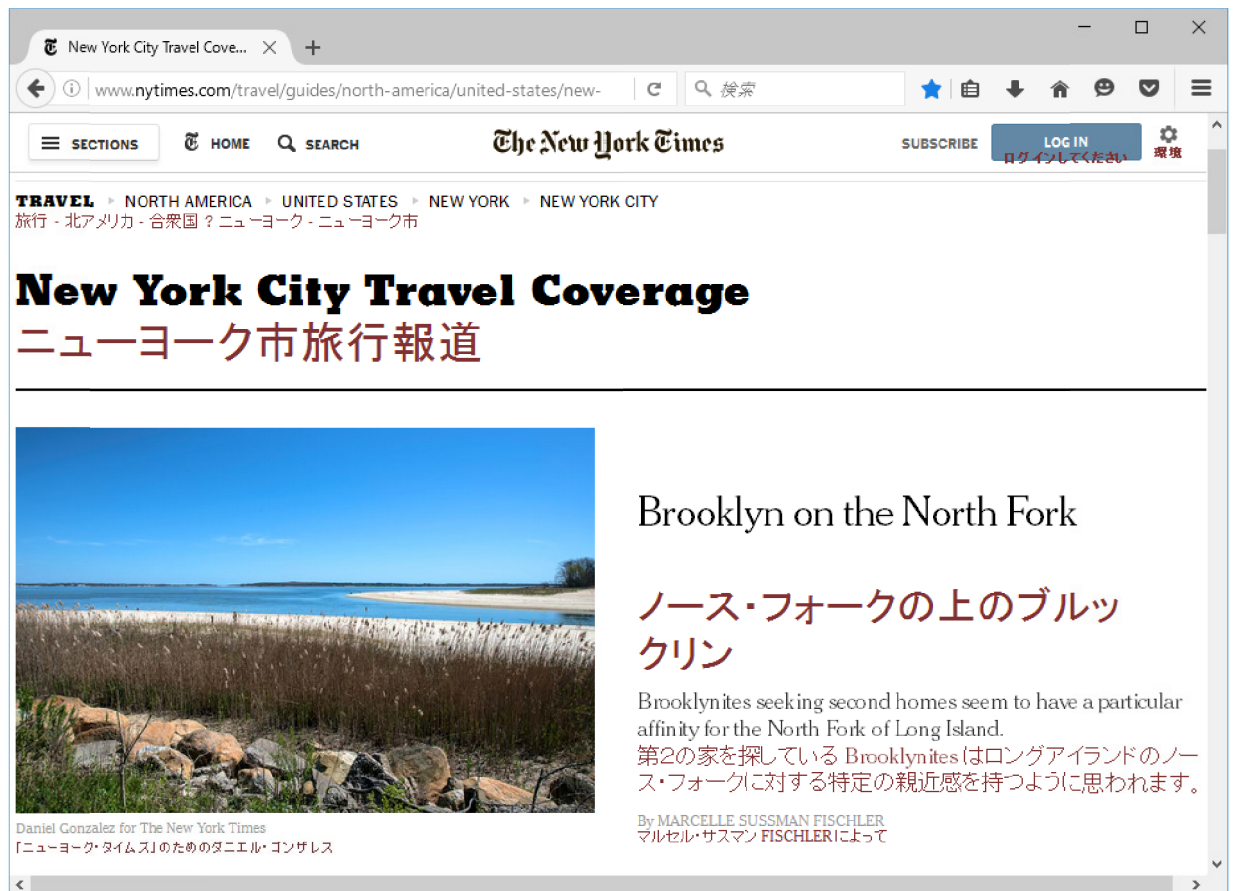
これにより翻訳サーバの動作を設定できます。



ヒント 翻訳方向や翻訳スタイルを選択することもできます。翻訳スタイルについては、第 1 章の「2 翻訳エンジンについて」をご覧ください。

ホームページにアクセスする.....

ホームページにアクセスすると、翻訳サーバは設定された翻訳方法を実行し、その結果をブラウザに表示します。「訳文のみを表示」に設定した場合、元の英文ページにアクセスすると、訳文だけがブラウザに表示されます。なお、翻訳を行うと、何もしないでホームページにアクセスする場合よりも表示するまでに時間がかかります。



- 注意!**
- この方法でホームページを翻訳する場合、ホームページにアクセスした時点で翻訳サーバの機能が実行されますので、「上下対訳で表示」や「訳文のみを表示」にしておくこと、翻訳する必要がないホームページまで翻訳してしまうこととなります。こうした場合は、最初は「翻訳をしないで表示」にしておき、必要に応じて「上下対訳で表示」や「訳文のみを表示」に変更してから、再度同じページにアクセスします。
 - また、[HTTP プロキシ翻訳の設定]ダイアログの[例外設定]入力ボックスに翻訳対象にしないページの URL を入力しておくこともできます。例えば「*.jp」など、ワイルドカードを使用して、日本語のホームページを翻訳対象外に指定しておくこともできます。詳しくは、[HTTP プロキシ翻訳の設定] ダイアログのオンラインヘルプをご覧ください。

ヒント ▶ 翻訳サーバを停止するときは、タスクトレイの[HTTP プロキシ翻訳]アイコンをクリックして開くリストで「終了」を選択します。この場合は、ブラウザの設定も元に戻してください。

ヒント ▶ HTTP プロキシ翻訳でページ全体を翻訳する場合、ページの構造によっては、翻訳・表示ができない場合があります。その場合は、操作パネルの[選択翻訳]ボタンを利用し、選択した文章の翻訳を行ってください。

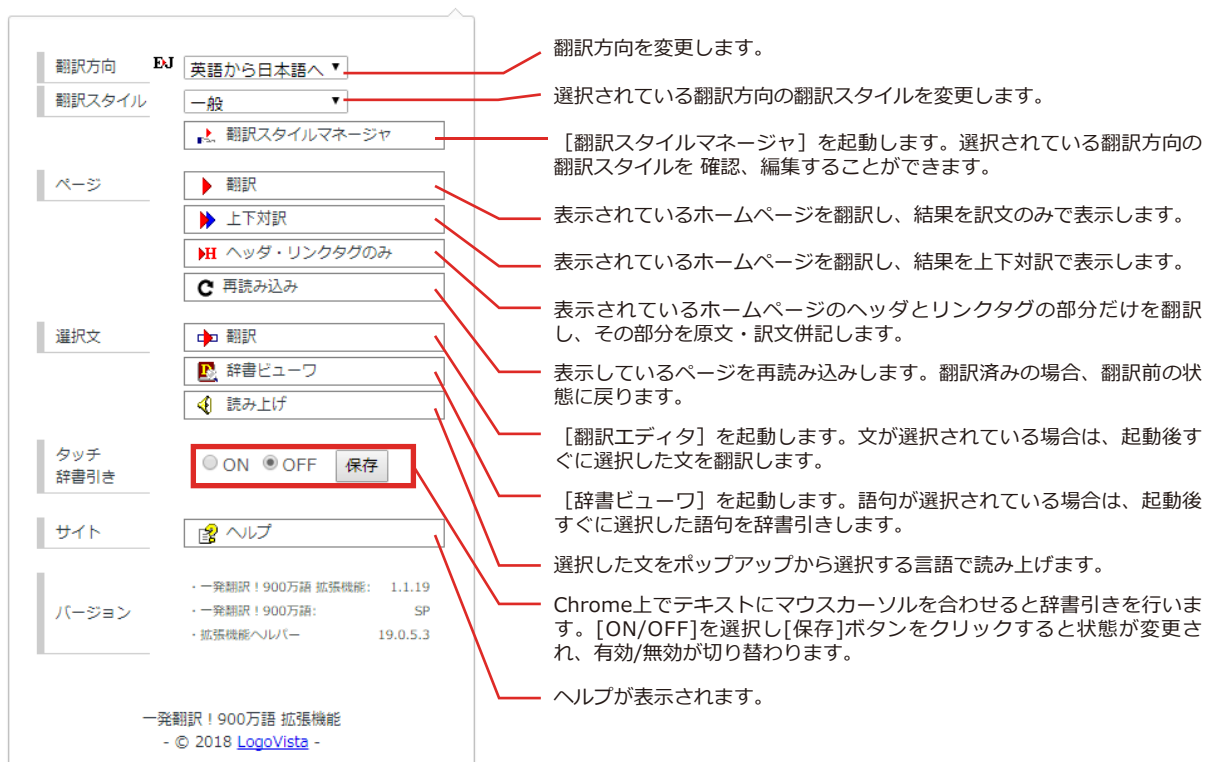
Google Chromeでホームページを翻訳するには

Google Chromeに機能拡張を利用してホームページを翻訳します。



一発翻訳! 900万語 翻訳拡張機能の名称と機能

一発翻訳! 900万語 翻訳拡張機能には、コマンドボタンが用意されています。ボタンをクリックすると、そのコマンドの機能が実行できます。ボタンの右に▼がある各ボタンにはプルダウンメニューがあります。プルダウンメニューは、それぞれのボタンをクリックすると開きます。プルダウンメニューを開いて、メニューにあるコマンドをクリックすると、そのコマンドを実行できます。



◆一発翻訳！900万語 拡張機能をインストールする

インストールするには.....

Chrome 拡張機能をご利用いただくには下記のアドレスにアクセスして「1. 一発翻訳！900万語 拡張機能」と「2. 拡張機能ヘルパー」を順にインストールする必要があります。

<http://www.logovista.co.jp/LVERP/information/support/download/koryaIPSPwin/Chrome.html>

The screenshot shows a web browser window displaying the installation page for the 'One-click Translation! 900 Million Words Extension'. The page features a large blue header with the title 'Chrome拡張機能 「一発翻訳！900万語 拡張機能」'. Below the header, there is a section for '対象製品' (Target Product) and '一発翻訳！900万語スペシャルバック 一太郎特別エディション' (One-click Translation! 900 Million Words Special Back One-touch Special Edition). A navigation bar includes links for '使い方' (Usage), '必要なシステム構成' (Required System Configuration), 'インストール方法' (Installation Method), 'アンインストール方法' (Uninstallation Method), and '製品について' (About the Product). The main content area is titled '使い方' (Usage) and states: 'Chromeに翻訳機能を追加してWebページを参照しながら直接翻訳することが可能です。' (You can add the translation function to Chrome and translate web pages directly while viewing them). Below this, there is a preview of the extension in action, showing a CNN article being translated from English to Japanese. The extension's settings panel is visible on the right, showing options for '翻訳方向' (Translation Direction), '翻訳スタイル' (Translation Style), 'ページ' (Page), '選択文' (Selected Text), 'タッチ' (Touch), 'サイト' (Site), and 'バージョン' (Version).

注意！

- 翻訳エディタや操作パネルなどを起動している場合は必ず終了してください。
- アドインをしているアプリケーションがある場合は、アドインを解除ください。
- 常駐ソフトが起動していると、インストールに失敗することがあります。起動中のアプリケーションや常駐ソフトは全て終了してから、インストールを行ってください。

Chapter 5

メールを翻訳するには

Microsoft Outlookでメールを翻訳するには

Microsoft Outlook 2016/2013/2010には、アドイン機能を使って翻訳機能のツールバーをアドインできます。これにより、操作パネルを使用せずに英文メールを翻訳できます。ここでは、アドインの設定方法をOutlook 2013の例で紹介します。

◆ Outlookに翻訳機能をアドインするには

Outlookがインストールされているとき、[アドイン設定] ダイアログボックスで翻訳機能をアドインします。

注意!

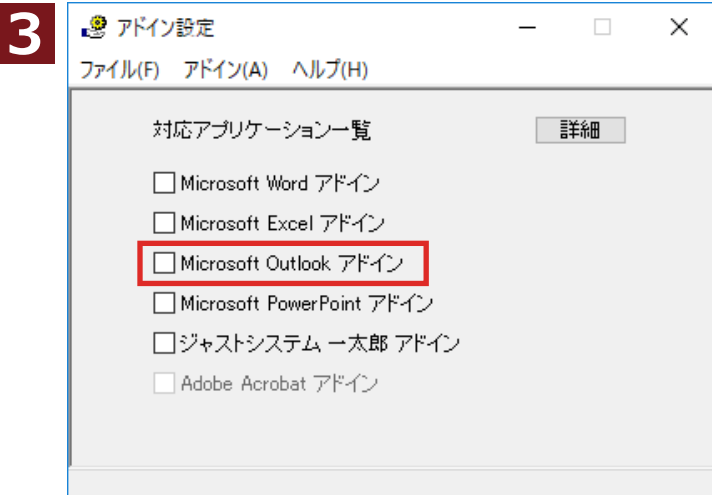
Outlookが起動していると正しくアドインできません。起動している場合、必ず終了させてから作業してください。アドイン機能については、[第6章アプリケーションで翻訳するには]を参照してください。

- 1 デスクトップにある[一発翻訳! 900万語 操作パネル]アイコンをダブルクリックして[操作パネル]を表示させます。



操作パネルの [アドイン設定] ボタンをクリックします。

[アドイン設定] ダイアログボックスが表示されます。



[Microsoft Outlook アドイン] をクリックして ON にすると [Microsoft Office カスタマイズインストーラー] が起動しますのでインストールを行ってください。

[アドイン設定] ダイアログボックスを閉じます。

これで、Outlook に翻訳機能が組み込まれます。



アドインを解除するときは、[Microsoft Outlook アドイン]をクリックして OFF にします。

リボンに組み込まれた翻訳機能.....

翻訳機能が組み込まれたMicrosoft Outlookでは、リボンに「一発翻訳! 900万語」タブが表示されます。

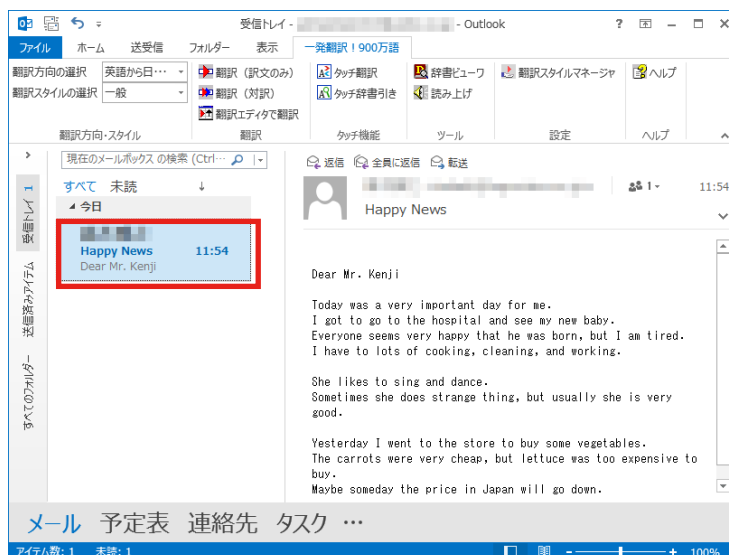


翻訳方向の選択	▼マークをクリックして開くプルダウンメニューから翻訳方向を選択します。
翻訳スタイルの選択	▼マークをクリックして開くプルダウンメニューから翻訳スタイルを選択します。
翻訳 (訳文のみ)	選択した文、アイテムを翻訳し、翻訳結果を翻訳ビューワに表示、または原文と訳文を入れ替えたアイテムを作成します。受信メッセージやRSSフィードを新規ウィンドウで開いたときには利用できません。
翻訳 (対訳)	選択したアイテムの本文を翻訳し、原文と訳文が上下対訳になったアイテムを作成、表示します。
翻訳エディタで翻訳	選択したアイテムの本文を翻訳エディタに取り込んで翻訳します。
タッチ翻訳	テキストにマウスカーソルを合わせるとその文章を翻訳します。
タッチ辞書引き	単語にマウスカーソルを合わせるとその単語を辞書引きします。
辞書ビューワ	[辞書ビューワ]ウィンドウを開き、選択した語句を辞書引きします。
読み上げ	音声エンジンがインストールされているとき、選択した文を読み上げます。
翻訳スタイルマネージャ	翻訳スタイルマネージャを起動します。
ヘルプ	オンラインヘルプを表示します。

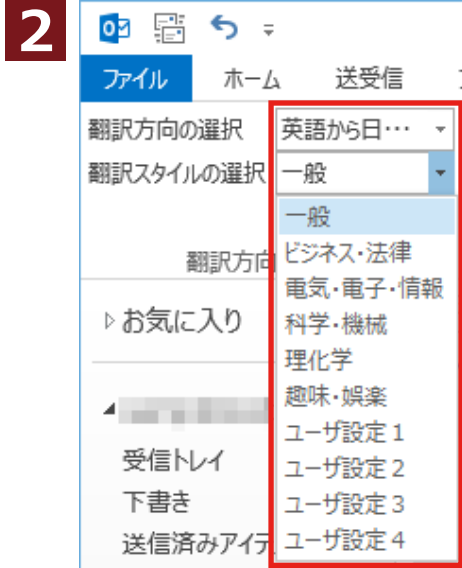
◆英文メールを翻訳するには

ここでは、「一発翻訳! 900万語」タブの「翻訳 (訳文のみ)」ボタンで行う翻訳操作の例を紹介します。

1



インターネットに接続し、メールを受信します。翻訳を行う英文メールのタイトルを選択します。

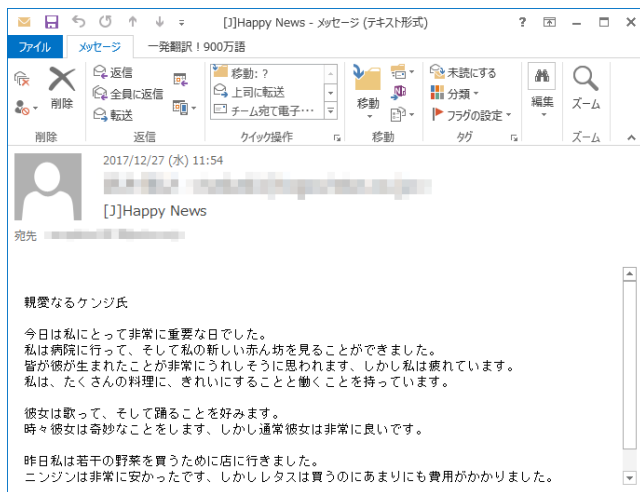


メッセージの内容に合わせてツールの翻訳方向と翻訳スタイルを設定します。



ツールの [翻訳 (訳文のみ)] ボタンをクリックします。

翻訳が開始されます。



終了すると、翻訳結果が表示されます。



翻訳結果は新しいアイテムとして保存されます。保存されたアイテムのタイトルには、英日翻訳をした場合には [J] 日英翻訳の場合は [E] が表示されます。

日英翻訳で保存されたアイテム

英日翻訳で保存されたアイテム

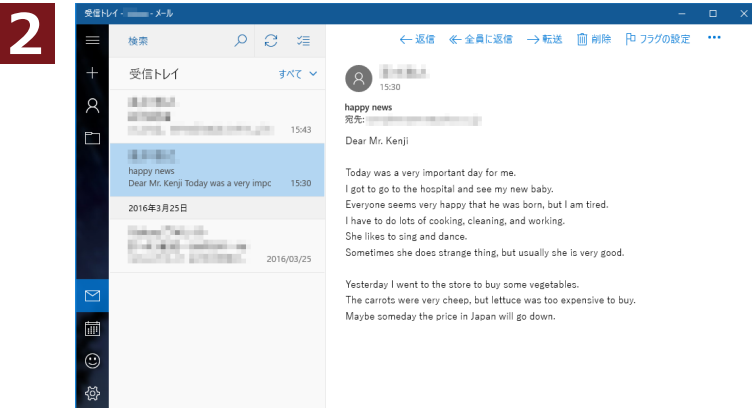
操作パネルを使ってメールを翻訳するには

メールソフトを通常通りに使ってメールを受信し、必要に応じて翻訳したいときは、操作パネルを使います。ここでは、Windows 10の「メール」で受け取ったメールを、操作パネルのツールで翻訳する例を紹介します。Windows Live メールなど、ほとんどのメールソフトでも同様に翻訳できます。操作パネルの機能と使い方については、「第2章 操作パネルの使い方」を参照してください。

◆メールを受信し翻訳するには

ここでは、Windows 10の「メール」で英文メールを受信し、操作パネルの「翻訳」ボタンで翻訳する方法を紹介します。

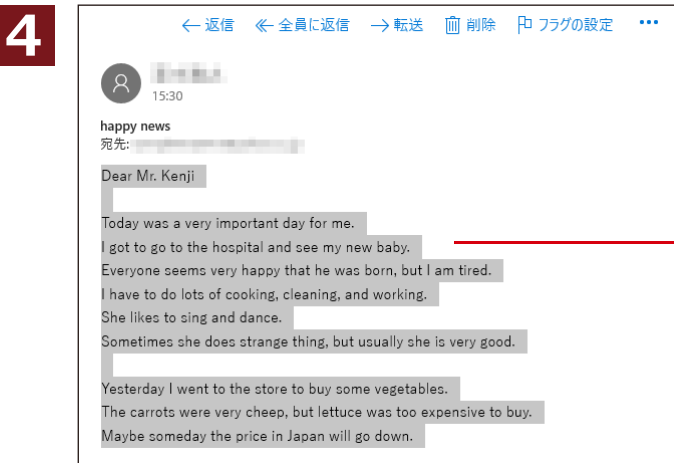
1 デスクトップにある「一発翻訳！ 900万語 操作パネル」アイコンをクリックして、「操作パネル」を表示させておきます。



インターネットに接続し、メールソフトでメールを受信します。



翻訳したいメールがあった場合、「操作パネル」でメールの内容と合った翻訳方向と翻訳スタイルを選択します。



メールソフトで翻訳したい文を選択します。

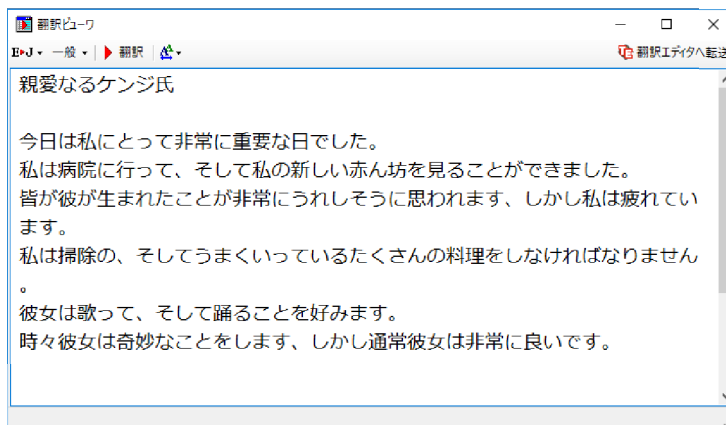
選択された文

5



[選択翻訳]ボタンをクリックします。

6



[翻訳ビュー]が開き、選択した文の翻訳結果が表示されます。

Chapter 6

アプリケーションで翻訳するには

翻訳機能を組み込めるアプリケーションについて

本製品の翻訳機能はいろいろなアプリケーションソフトに組み込んで、アプリケーションから直接翻訳を行えるようにできます。これを「アドイン機能」といいます。ここでは、組み込めるアプリケーションのチェック方法などを説明します。

◆ 翻訳機能を組み込めるアプリケーションをチェックするには

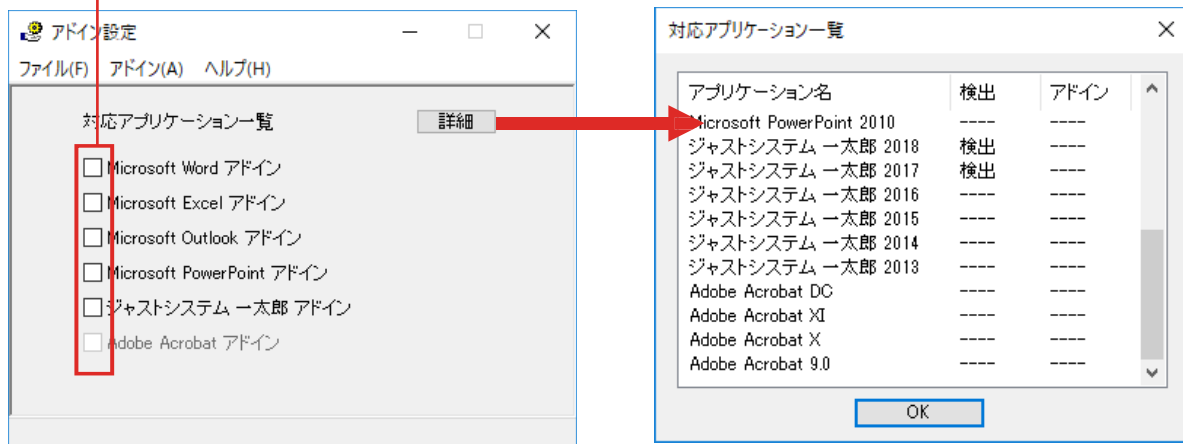
対応しているアプリケーションは以下ですが、実際には[対応アプリケーション一覧]ダイアログボックスで検出されたアプリケーションに組み込むことができます。

ジャストシステム 一太郎 2018/2017/2016/2015/2014/2013
 Microsoft Word 2016/2013/2010
 Microsoft Excel 2016/2013/2010
 Microsoft PowerPoint 2016/2013/2010
 Microsoft Outlook 2016/2013/2010
 Adobe Acrobat 9.0/X/XI/DC (Standard/Pro)

・Adobe Reader XI, Adobe Acrobat Reader DCについては、操作パネルと連携した翻訳や辞書引きが可能です。

[対応アプリケーション一覧]ダイアログボックスは、[操作パネル]→[アドイン設定]を選択し、[アドイン設定]ダイアログボックスを開き、[詳細]ボタンをクリックします。

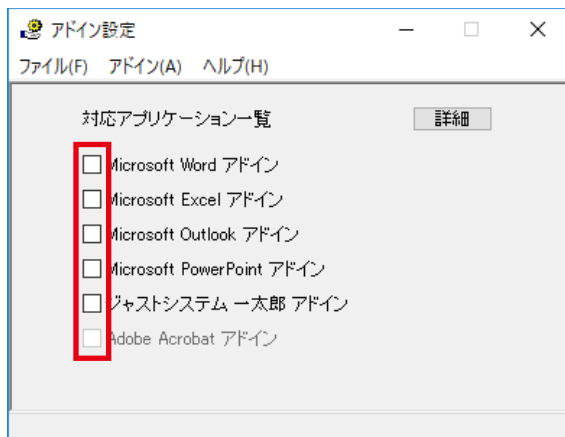
翻訳機能を組み込むときは、チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます、解除するときは、チェックマークを外します。



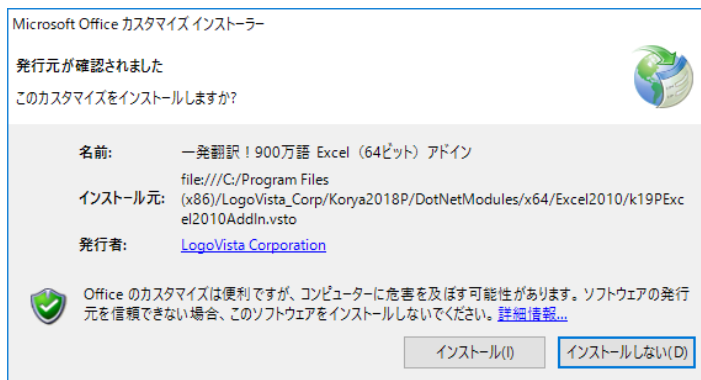
アドイン対象のソフトの状態が一覧で確認できます。

翻訳機能を組み込むときは.....

[アドイン設定] ダイアログボックスで翻訳機能を組み込むアプリケーション名の左側のチェックボックスをクリックしてチェックマークをつけます。これで翻訳機能が組み込まれます。



次のようなメッセージが表示されます。[インストール] をクリックしてください。



ヒント

アドインを解除するときは、チェックマークを外します。

ジャストシステム一太郎で翻訳を行うには

ジャストシステムの「一太郎」に翻訳機能を組み込んで活用することができます。組み込める一太郎のバージョンは、2018/2017/2016/2015/2014/2013です。ここでは、一太郎2018に翻訳機能を組み込んで翻訳を行う方法を説明します。他のバージョンでも同様です。

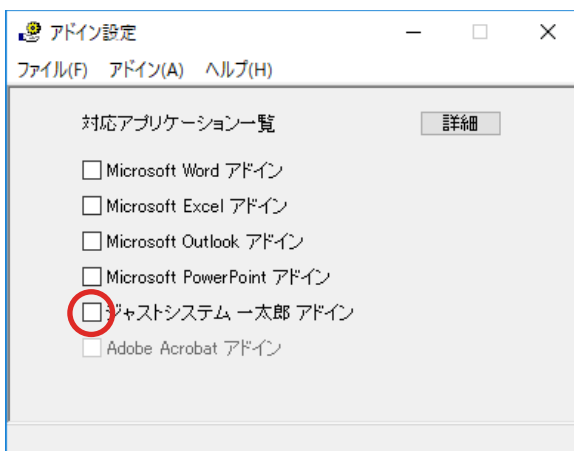
◆一太郎2018に翻訳機能を組み込むには

翻訳機能に組み込む手順を説明します。

1 [操作パネル]→[アドイン設定]の順に選択します。

[アドイン設定]ダイアログボックスが開きます。

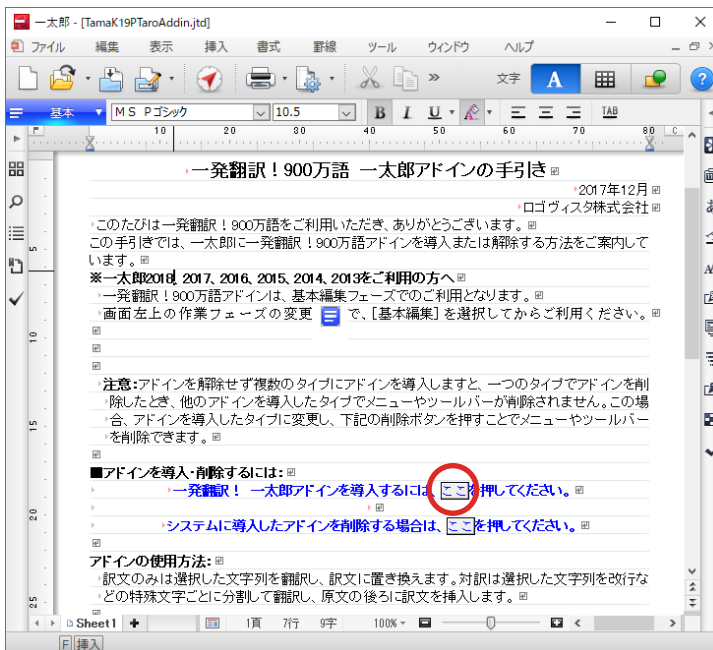
2



[ジャストシステム一太郎アドイン]を ON にします。

一太郎が起動し、「一発翻訳！ 900万語 一太郎アドインの手引き」が開きます。

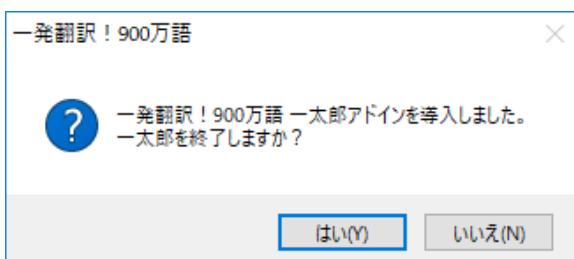
3



「一発翻訳！ 一太郎アドインを導入するには～」の[ここ]ボタンをクリックします。

これで、翻訳機能の組み込みが開始され、確認メッセージが表示されます。

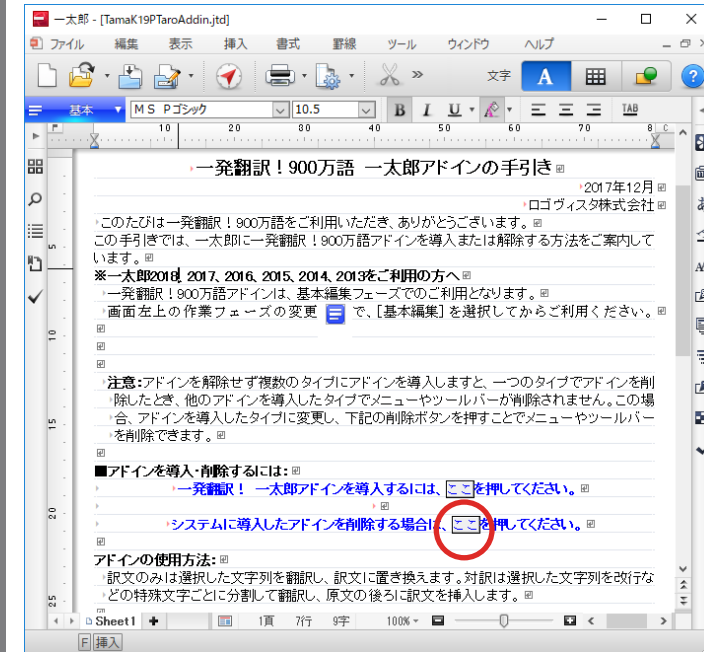
4



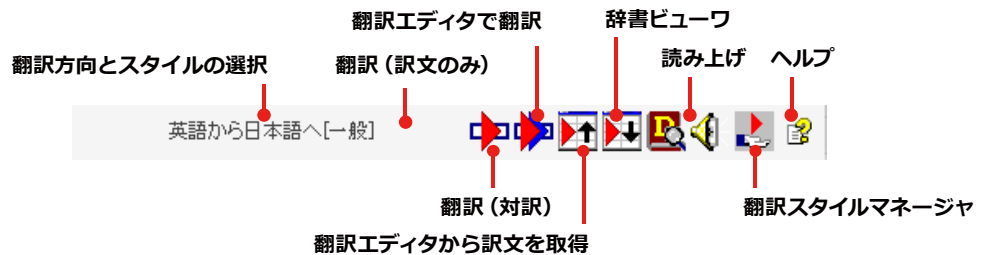
[はい]ボタンをクリックして終了します。



翻訳機能を解除するときは、一太郎を終了してから[アドイン設定]ダイアログボックスを開き、[ジャストシステム一太郎アドイン]を OFF にします。一太郎が起動し、「一発翻訳！ 900万語 一太郎アドインの手引き」が開きます。「システムに導入したアドインを削除する場合は～」の[ここ]ボタンをクリックし、画面の表示に従って操作します。



◆一太郎に組み込まれた翻訳機能

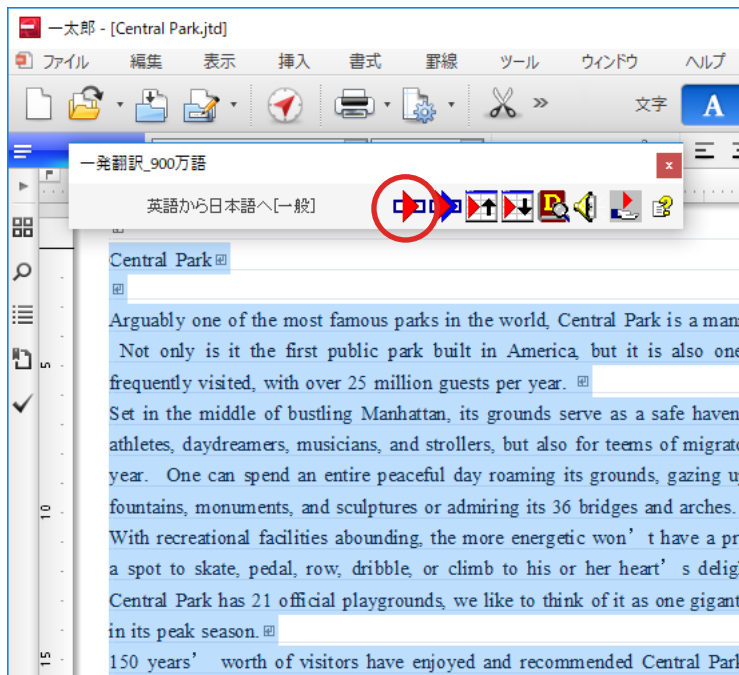


翻訳方向とスタイルの設定	[翻訳エンジンとスタイルの設定]ダイアログが開きます。翻訳方向の変更、翻訳スタイルの変更、選択した翻訳スタイルの編集を行えます。 翻訳スタイルについては、第1章の「3.翻訳スタイルについて」をご覧ください。
翻訳 (訳文のみ)	選択されているテキストの翻訳を行い、訳文のみを表示します。
翻訳 (対訳)	選択されているテキストの翻訳を行い、上下対訳形式で表示します。
翻訳エディタで翻訳	翻訳エディタを起動し、選択されたテキストを翻訳します。
翻訳エディタから訳文を取得	[翻訳エディタで翻訳]ボタンで原文を翻訳したのち、翻訳エディタから訳文を取得し、選択したテキストと入れ替えます。
辞書ビューフ	辞書ビューフを起動し、研究社 新英和・和英中辞典、クイック辞書、翻訳辞書で選択したテキストの辞書引きを行います。
読み上げ	音声合成エンジンがインストールされているとき、選択されたテキストを読み上げます。
翻訳スタイルマネージャ	翻訳スタイルマネージャを起動します。
ヘルプ	一太郎アドイン翻訳機能のオンラインヘルプを起動します。

◆基本的な翻訳操作

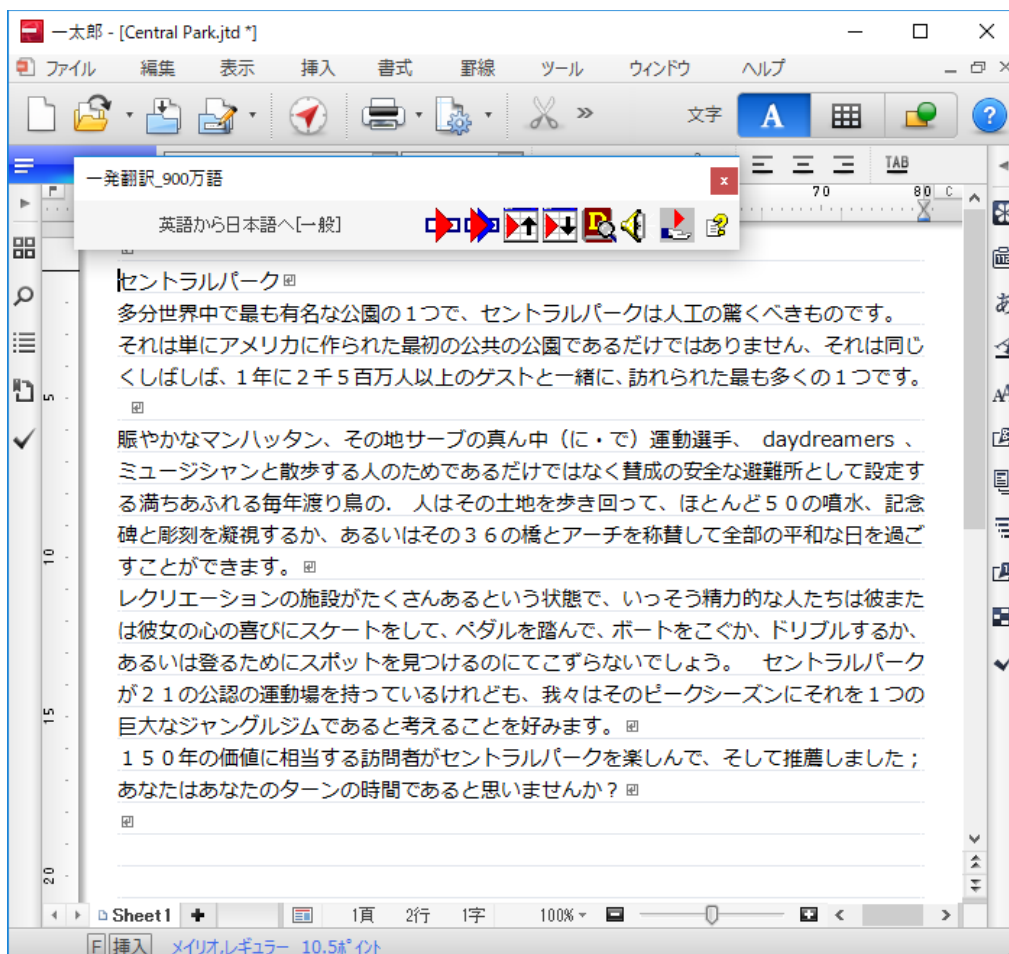
ここでは、[一発翻訳! 900万語_翻訳 (訳文のみ)] ボタンで行う翻訳操作の例を紹介します。

1



一郎に文書を入力し、翻訳する文を選択します。次に [一発翻訳! 900万語_翻訳 (訳文のみ)] ボタンをクリックします。

翻訳が開始され、翻訳中を示すダイアログが表示されます。終了すると、翻訳結果が表示されます。



Microsoft Wordで翻訳を行うには

ここでは、Microsoft Word 2013に翻訳機能を組み込んで、翻訳を行う方法を説明します。Microsoft Word 2016/2010も同様です。

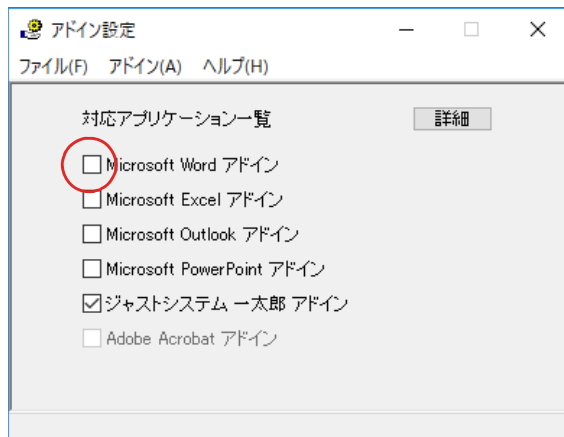
注意！

制限ユーザでMicrosoft Officeアプリケーション（Word、Excel、PowerPoint、Outlook）のアドイン機能をご使用になる場合は、本製品がインストールされる前に、Officeアプリケーションがインストールされている必要があります。後からOfficeアプリケーションのインストールを行った場合、本製品の修正インストールを行ってください。修正インストールについては、インストールガイド「11 [重要] 一発翻訳！900万語スペシャルバック 一太郎特別エディションの変更と削除を行うには」をご覧ください。

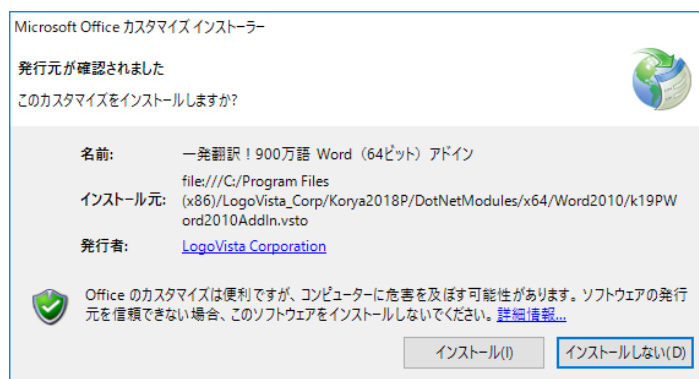
◆Microsoft Word 2013に翻訳機能を組み込むには

翻訳機能に組み込む手順を説明します。

- 1 [操作パネル]→[アドイン設定]の順に選択します。[アドイン設定]ダイアログボックスが開きますので、「Microsoft Word アドイン」のチェックボックスを選択します。



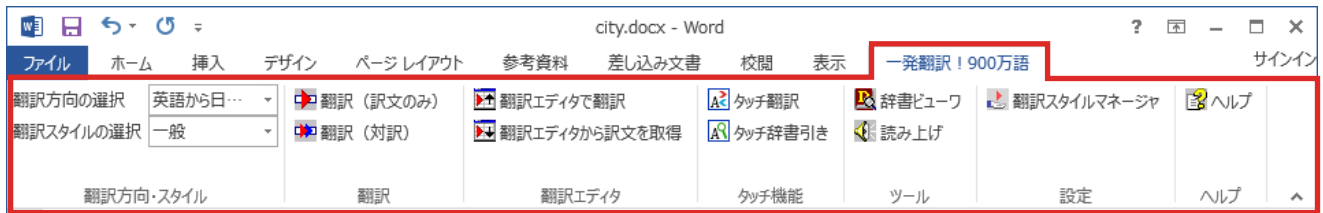
- 2 次のようなメッセージが表示されます。[インストール]をクリックしてください。



アドインを解除するときは、チェックマークを外します。

◆Microsoft Wordに組み込まれた翻訳機能

翻訳機能が組み込まれたMicrosoft Wordでは、リボンに翻訳機能のタブが表示されます。



一発翻訳！900万語 タブ

翻訳方向の選択	クリックして開く、プルダウンメニューから翻訳方向を選択します。
翻訳スタイルの選択	クリックして開く、プルダウンメニューから翻訳スタイルを選択します。
翻訳（訳文のみ）	選択されたテキストを翻訳し、訳文のみを表示します。
翻訳（対訳）	選択されたテキストを翻訳し、原文と訳文を表示します。
翻訳エディタで翻訳	翻訳エディタを起動し、選択されたテキストを翻訳します。
翻訳エディタから訳文を取得	[翻訳エディタで翻訳]ボタンで原文を翻訳したのち、翻訳エディタから訳文を取得し、選択したテキストと入れ替えます。
タッチ翻訳	テキストにマウスカーソルを合わせるとその文章を翻訳します。
タッチ辞書引き	単語にマウスカーソルを合わせるとその単語を辞書引きします。
辞書ビューワ	辞書ビューワを起動し、研究社新英和・和英中辞典、クイック辞書、翻訳辞書で選択したテキストの辞書引きを行います。
読み上げ	音声合成エンジンがインストールされているとき、選択されたテキストを読み上げます。
翻訳スタイルマネージャ	翻訳スタイルマネージャを起動します。
ヘルプ	オンラインヘルプを表示します。

◆ 基本的な翻訳操作

ここでは [翻訳 (対訳)] ボタンで翻訳を行う例を紹介します。

1



Word に文書を入力し、翻訳方向を設定します。

2



必要に応じて、翻訳スタイルを選択します。

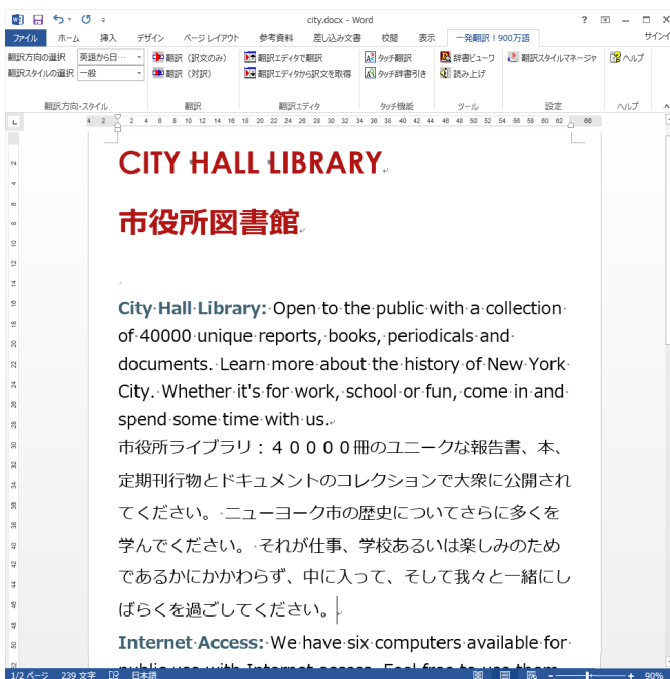
3



翻訳するテキストをマウスの左ボタンを押しながら、なぞって強調表示させます(この操作を「選択する」といいます)。次に [翻訳 (対訳)] ボタンをクリックします。

翻訳が開始されます。

4



終了すると、原文と訳文が上下に表示されます。

このように、Word の文書を簡単に翻訳することができます。

Microsoft Excelで翻訳を行うには

ここでは、Microsoft Excel 2013に翻訳機能を組み込んで、翻訳を行う方法を説明します。Microsoft Excel 2016/2010も同様です。なお、Excelでの翻訳はセル単位で行われます。

注意！

制限ユーザでMicrosoft Officeアプリケーション（Word、Excel、PowerPoint、Outlook）のアドイン機能をご使用になる場合は、本製品がインストールされる前に、Officeアプリケーションがインストールされている必要があります。後からOfficeアプリケーションのインストールを行った場合、本製品の修正インストールを行ってください。修正インストールについては、インストールガイド「11 [重要] 一発翻訳！900万語スペシャルバック 一太郎特別エディションの変更と削除を行うには」をご覧ください。

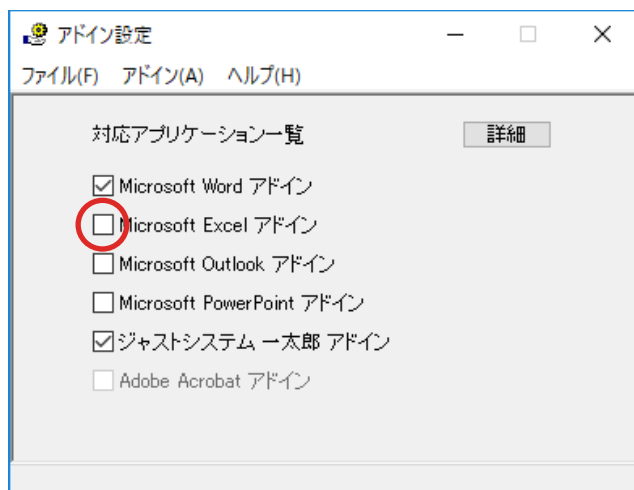
◆Microsoft Excel 2013に翻訳機能を組み込むには

翻訳機能に組み込む手順を説明します。

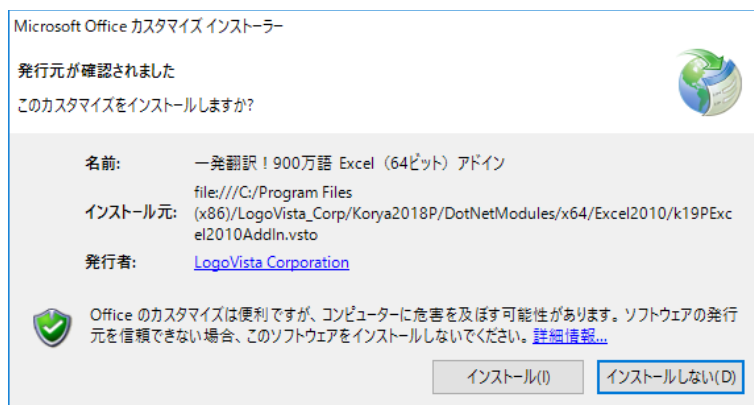
1 [操作パネル] → [アドイン設定] の順に選択します。

[アドイン設定] ダイアログボックスが開きます。

2



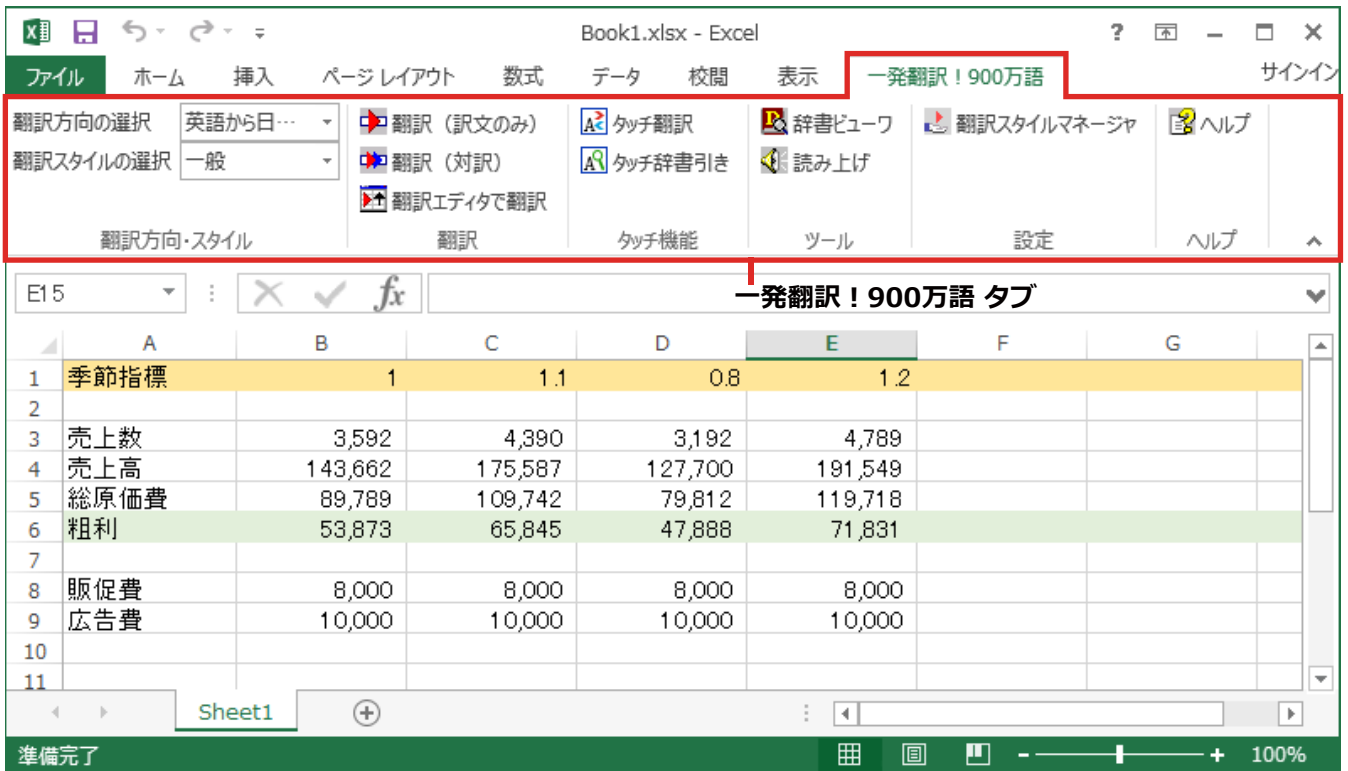
次のようなメッセージが表示されます。[インストール] をクリックしてください。



アドインを解除するときは、チェックマークを外します。

◆Microsoft Excelに組み込まれた翻訳機能

翻訳機能が組み込まれたMicrosoft Excelでは、リボンに翻訳機能のタブが表示されます。

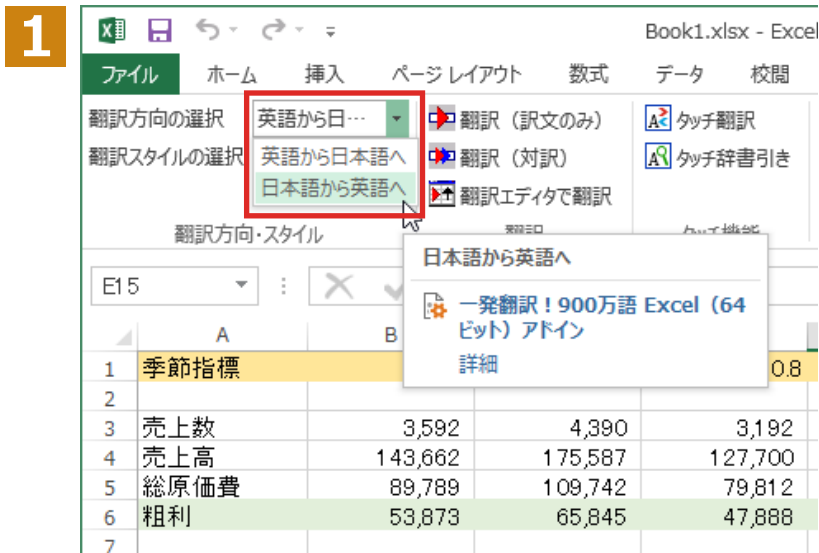


タブのコマンドの名称と機能.....

それぞれのコマンドの機能については、「2 Microsoft Word で翻訳を行うには」を参照してください。

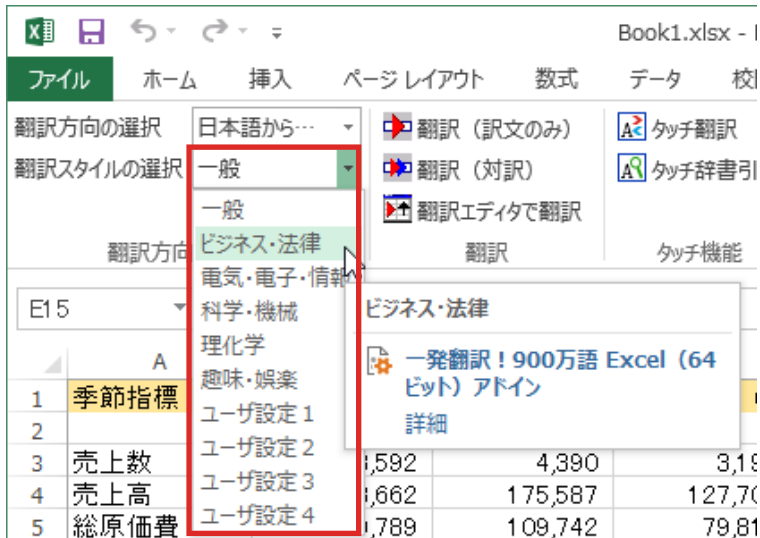
◆基本的な翻訳操作

ここでは「翻訳 (訳文のみ)」ボタンで翻訳を行う例を紹介します。

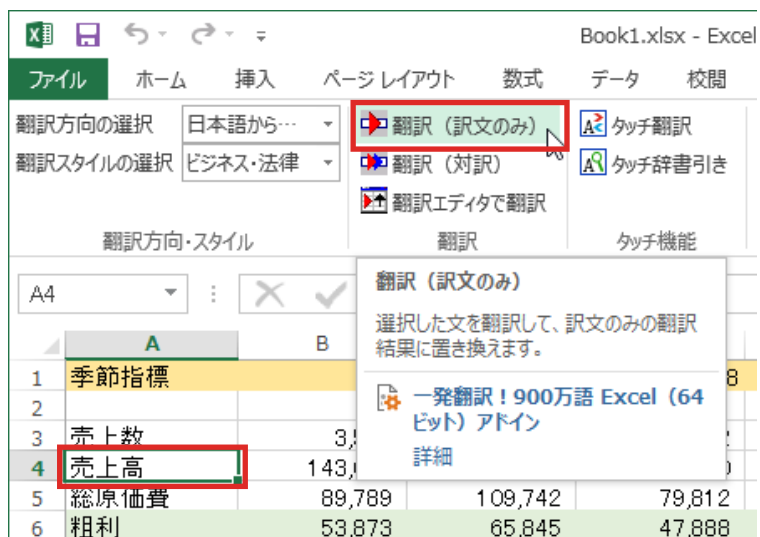


Excelにデータを入力し、翻訳方向を設定します。

2



3



翻訳が終了すると、原文が訳文に入れ替わります。



このように、Excelのセルを簡単に翻訳することができます。
 なお、複数のセルを選択して翻訳することもできます。

Adobe Acrobatで翻訳を行うには

ここでは、Adobe Acrobatに翻訳機能を組み込んで翻訳する方法を説明します。

注意！

- 他のLogoVista製品に含まれるAdobe Acrobatアドインと、本製品のAdobe Acrobatまたはアドインを併用することはできません。アドインを利用する場合は、他のLogoVista製品に含まれるアドインを解除してください。
- 制限ユーザの場合、そのままではアドイン機能を利用できないことがあります。Adobe Acrobatアドインが機能するためには、本製品のモジュールがAdobe Acrobatの [plug_in] フォルダにコピーされる必要があります。この処理をアドイン設定機能が実行しています。制限ユーザの場合、システムドライブの [Program Files] フォルダへの書き込み権限がありません。そのため、Adobe Acrobatをシステムドライブの [Program Files] フォルダにインストールしている場合は、制限ユーザの権限ではアドイン設定機能でアドインを設定できません。あらかじめ、管理者権限を持ったユーザでアドインを設定しておく必要があります。

◆Adobe Acrobatに翻訳機能を組み込むには

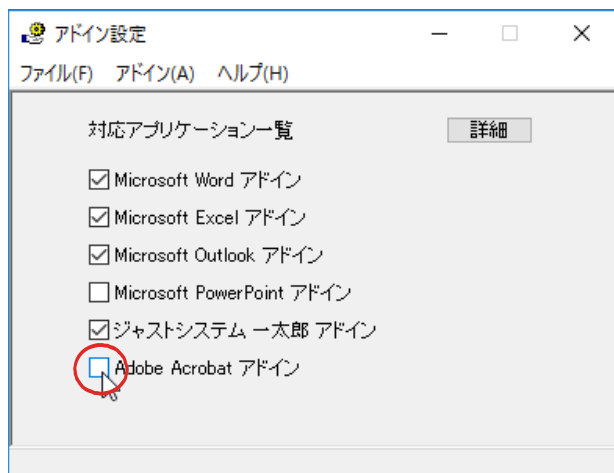
翻訳機能に組み込む手順を説明します。

1

[操作パネル]→[アドイン設定]の順に選択します。

[アドイン設定]ダイアログボックスが開きます。

2



[Adobe Acrobat アドイン]をONにし、ダイアログボックスを閉じます。











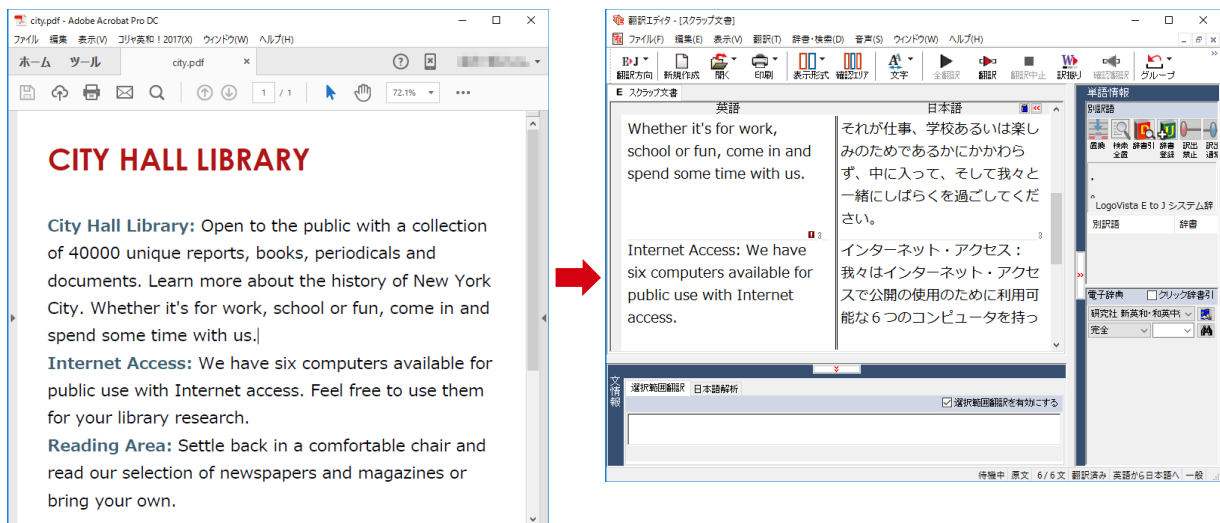
ヒント [Adobe Acrobat アドイン]OFF にすると、翻訳機能を解除できます。

◆Adobe Acrobatに組み込まれた翻訳機能

翻訳機能が埋め込まれた Adobe Acrobat は、本製品のメニューやツールバーが表示されます。DC ではツールへの登録が可能です。

コマンドの名称と機能

-  **EJ** 翻訳方向の選択
-  翻訳スタイルの選択（DC以外のバージョンでは、アイコンではなくスタイル名が表示）
-  **PDF全体のテキスト部分を選択し、レイアウトを保持したまま訳文を別のPDFファイルに出力します。**
-  **PDF全体のテキストを取得して翻訳（全てのテキスト翻訳）**
-  **表示されているページのテキストを取得して翻訳（ページテキスト翻訳）**
-  **選択されているテキストを取得して翻訳（選択範囲テキスト翻訳）**
-  **辞書ビューフ**
-  **読み上げ**



PDF全体のテキストを取得して翻訳（全てのテキスト翻訳）

◆制限事項

翻訳アドインには、次のような制限事項があります。

- 翻訳が可能なのは本文だけです。しおりやサムネイル、注釈、署名、PDFフォームの入力文字列など、特殊な文字列は翻訳の対象となりません。
- セキュリティのかかったドキュメントの対してはいかなる処理も行ってしまうことができないため、翻訳を行うことはできません。
- ヘッダ・フッタを含む文書やページをまたいだ文など、一部の文書において単語の区切り、および翻訳が部分的に正常でない場合があります。

一発翻訳!900万語スペシャルパック 一太郎
特別エディション

ユーザーズガイド

ロゴヴィスタ株式会社